

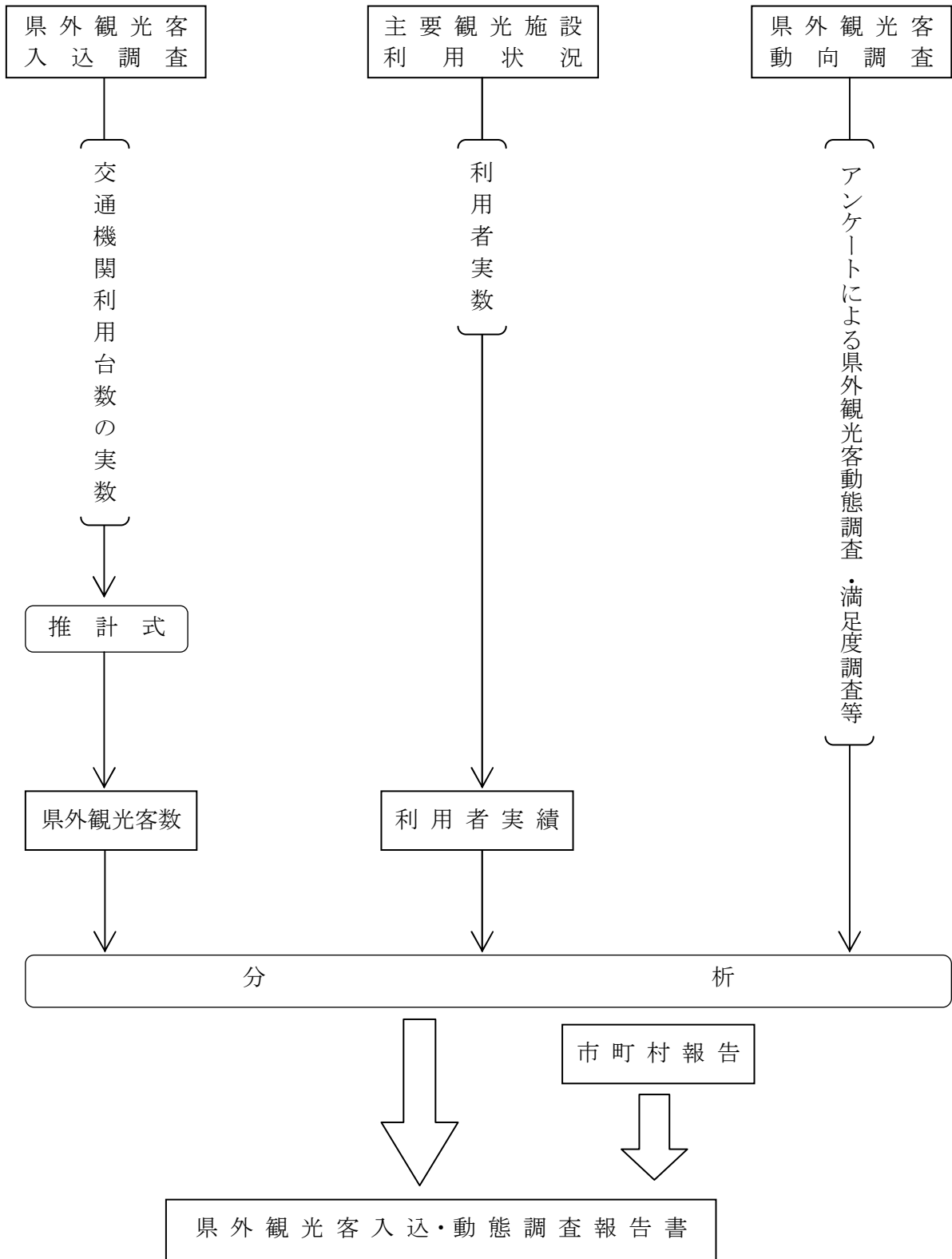
平成 24 年

県外観光客入込・動態調査報告書

平成 25 年 9 月

高知県観光振興部観光政策課

調査方法体系図



は じ め に

この調査は、県外観光客の動態を把握し、今後の観光行政に関する諸政策の基礎資料とするため、次の方法により行ったものである。

I 県外観光客入込調査

平成24年1月1日から12月31日までに本県に入り込んだ県外観光客数を交通機関等の調査資料に基づき推計した。

II 主要観光施設等利用状況

平成24年の主要観光施設等における県内・県外観光客の利用状況を、各施設からの報告に基づき取りまとめた。

III 県外観光客動態調査

県内の観光地を訪れた観光客を対象に、四季別に年4回、各調査地とも1季節ごと100人に対し、直接聞き取り調査を実施した。

アンケート調査地（10ヵ所）

室戸岬、モネの庭、龍河洞、アンパンマンミュージアム、高知城、桂浜、土佐和紙工芸村、黒潮本陣、四万十川観光開発遊覧船乗場、足摺岬

IV 観光客満足度調査

県内の観光地を訪れた観光客を対象に、四季別に年4回、各調査地とも1季節ごと50人に対し、直接聞き取り調査を実施した。

アンケート調査地（6カ所）

キラメッセ室戸、高知龍馬空港、高知駅、高知城、四万十川観光開発遊覧船乗場、足摺岬

V お客様の声アンケート

「お客様の声アンケートはがき」を県内139の観光施設等に設置して、観光客の満足度調査を実施した。

VI おもてなしの宿アンケート

「おもてなしの宿アンケートはがき」を県内45の宿泊施設に設置して、宿泊客の満足度調査を実施した。

VII プロスポーツキャンプ調査

県内で行われたプロ野球の阪神タイガース、オリックス・バファローズ、埼玉西武ライオンズのキャンプ、プレシーズンマッチ、サッカーJリーグのアルビレックス新潟、東京ヴェルディ、徳島ヴォルティスのキャンプ、プレシーズンマッチ、プロゴルフトーナメントのカシオワールドオープン、PRGRレディースカップ、ラグビートップリーグ公式戦の観戦客を対象に、直接聞き取り調査を実施した。

VIII 観光動態調査ルート分析

県外観光客動態調査のデータを基に、観光客の周遊ルートを分析した。

IX 参考資料（市町村報告分のみ掲載）

平成24年に県内で実施されたイベント・祭りの入込数及びキャンプ場・海水浴場・市場・温泉施設の利用状況を、各市町村からの報告に基づき取りまとめた。

目 次

I 県外観光客入込調査

1 概 要	1
2 展 望	2
3 調 査 結 果	3
交通機関別入込状況	3
交通機関別観光客占有率の推移	3
交通機関別観光客の推移	3
(参考資料) 県外観光客の推移と主な出来事	4

II 主要観光施設等利用状況

1 概 要	5
(1) 観光施設利用状況	5
(2) ゴルフ場利用状況	6
(3) 有料道路利用状況	6
(4) 有料駐車場利用状況	6
2 施設等利用実績	8
(参 考) 四国3県の施設入込状況	18

III 県外観光客動態調査

1 概 要	19
2 年代別入込	21
3 日帰り客と宿泊客	23
4 発地ブロック別入込	26
5 旅行日数	31
6 旅行形態別旅行目的	34
7 入込利用交通機関	36
8 旅行形態	37

9	利用宿泊施設	39
10	県内消費額	42
	(参 考) 県外観光客1人あたりの県内消費額及び経済波及効果	47
11	宿泊地域	48
12	調査地別分析 (旅行目的割合)	50
	(旅行形態割合)	52
	(過去来県回数別割合)	53
	(動機割合)	54
13	総括	56
	観光客アンケート調査票	58

IV 観光客満足度調査

1	概 要	61
2	単純集計結果	62
3	クロス集計結果	81
	(参 考) 満足度アンケート調査票	100

V お客様の声アンケート

1	概 要	102
2	「お客様の声」 回答者	103
3	「お客様の声」 満足度	106
	(参 考) 意見の抜粋	118

VI おもてなしの宿アンケート

1	概 要	127
2	「おもてなしの宿」 回答者	128
3	「おもてなしの宿」 満足度	132
	(参 考) 意見の抜粋	138

VII プロスポーツキャンプ等調査

1 概 要	142
2 観戦者年代	148
3 日帰り客と宿泊客	158
4 出発地	161
5 旅行形態	167
6 入込利用交通機関	171
7 県内消費額	173
8 県内客・県外客	177
9 立寄観光スポット	178

VIII 観光動態調査ルート分析

1 概 要	179
2 立寄市町村	180
2-1 発地別立寄市町村	182
2-2 年代別立寄市町村	184
2-3 旅行形態別立寄市町村	185
2-4 旅行目的別立寄市町村	186
3 周遊ルート分析	188
3-1 発地別周遊ルート	191
3-2 旅行形態別周遊ルート	205

IX 参考資料（市町村報告分）

1 祭り・イベントの入込状況	215
2 道の駅・朝市・市場利用状況	217
3 キャンプ場・海水浴場利用状況	218
4 温泉施設利用状況	219

I 県外観光客入込調査

1 概要

- (1) 平成 24 年に高知県を訪れた県外観光客入込数は、3,840 千人と推計され、対前年比 98.9%、44 千人の減少となったが、龍馬伝の放送や土佐・龍馬であい博の実施の前年となる平成 21 年比では 121.7%、684 千人の増加となり、現在の集計方法になった平成 15 年以降、3 番目に高い数値となった。

志国高知龍馬ふるさと博を実施していた平成 23 年比で微減に留まり、平成 21 年比では大幅増となったことは、この間の本県の観光産業の成長や観光キャンペーン「リョーマの休日」を展開する中で、「エリアキャンペーン」や「龍馬パスポート」などの施策に官民が一体となって取り組んだことの効果と考えられる。

- (2) 交通機関別入込数では、乗用車利用者が対前年比 102.9%、68,908 人の増加となる一方、観光バスは、対前年比 87.3%、120,090 人の減少となった。

また、乗用車利用者が全体の 65%、観光バスが 22%となっている。

- (3) 観光施設では、利用者数第 1 位は高知城懐徳館で、245,400 人の入込があったが、前年比では減少している。龍馬関係施設では、高知県立坂本龍馬記念館も前年比で減少しており、「龍馬伝」放送による龍馬ブームが落ち着いて来ていることが伺われる。

第 2 位は高知県立美術館で、230,849 人となり、前年比で増加している。これは、平成 24 年に開催した各種企画展による入館者数が好調に推移したためである。

また、「志国高知 龍馬ふるさと博」の花のメイン会場であった高知県立牧野植物園の利用者数は 165,389 人となり、前年比で減少しており、博覧会の反動減があったと考えられる。

- (4) 県外観光客一人当たりの消費額は、26,065 円であり、前年と比較して 1,523 円の増加（対前年比 106.2%）となった。

増加の要因は、宿泊費（+139 円）や飲食費（+794 円）、土産代（+547 円）の単価の増加で、これは県外観光客全体に占める宿泊客の割合が増加したことや、乗用車利用者が増加する一方で観光バス利用者が減少することに表れているように本県への旅行形態が団体旅行から個人旅行へシフトしていることによると考えられる。

また、交通費（+325 円）も増加しているが、これはガソリン価格の上昇が影響していると考えられる。

なお、県外観光客の総消費額については、入込客数が微減に留まる一方で、一人当たりの消費額が前年増となっていることから、前年と比較して 4,768 百万円の増加（対前年比 105.0%）となっている。

2 展 望

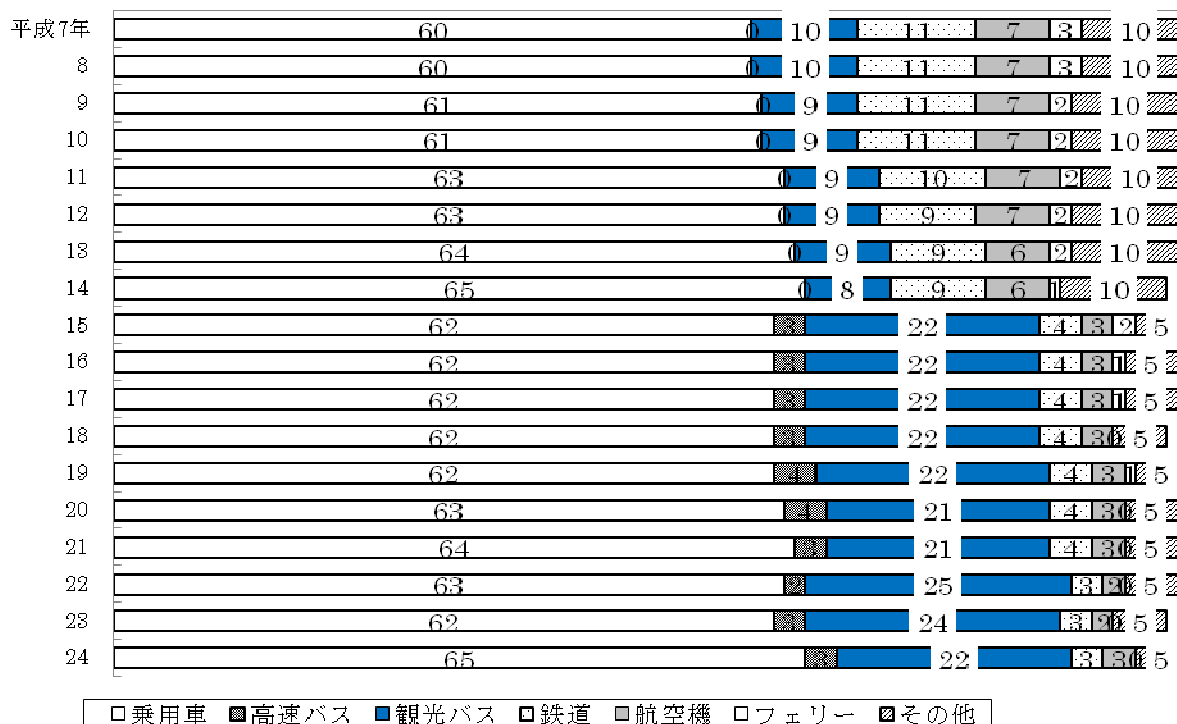
平成 24 年は、官民一体となった高知県観光キャンペーン「リョーマの休日」などにより、博覧会を実施していた前年の県外観光客入込数に対し微減に留めるとともに、県外観光客の総消費額では、前年を上回る結果となった。

平成 25 年は、2 年目となる「リョーマの休日」を改善し展開していくとともに、観光資源の発掘・磨き上げなどによる地域観光の推進や、スポーツツーリズム、国際観光の推進等により、第 2 期産業振興計画の 4 年後（平成 27 年度末）の目標で掲げた、県外観光客入込数 400 万人以上、観光総消費額 1,100 億円以上を目指していく。

3 調査結果

・交通機関別入込状況

(表1-1) 交通機関別観光客占有率の推移 (%)



(表1-2) 交通機関別観光客の推移

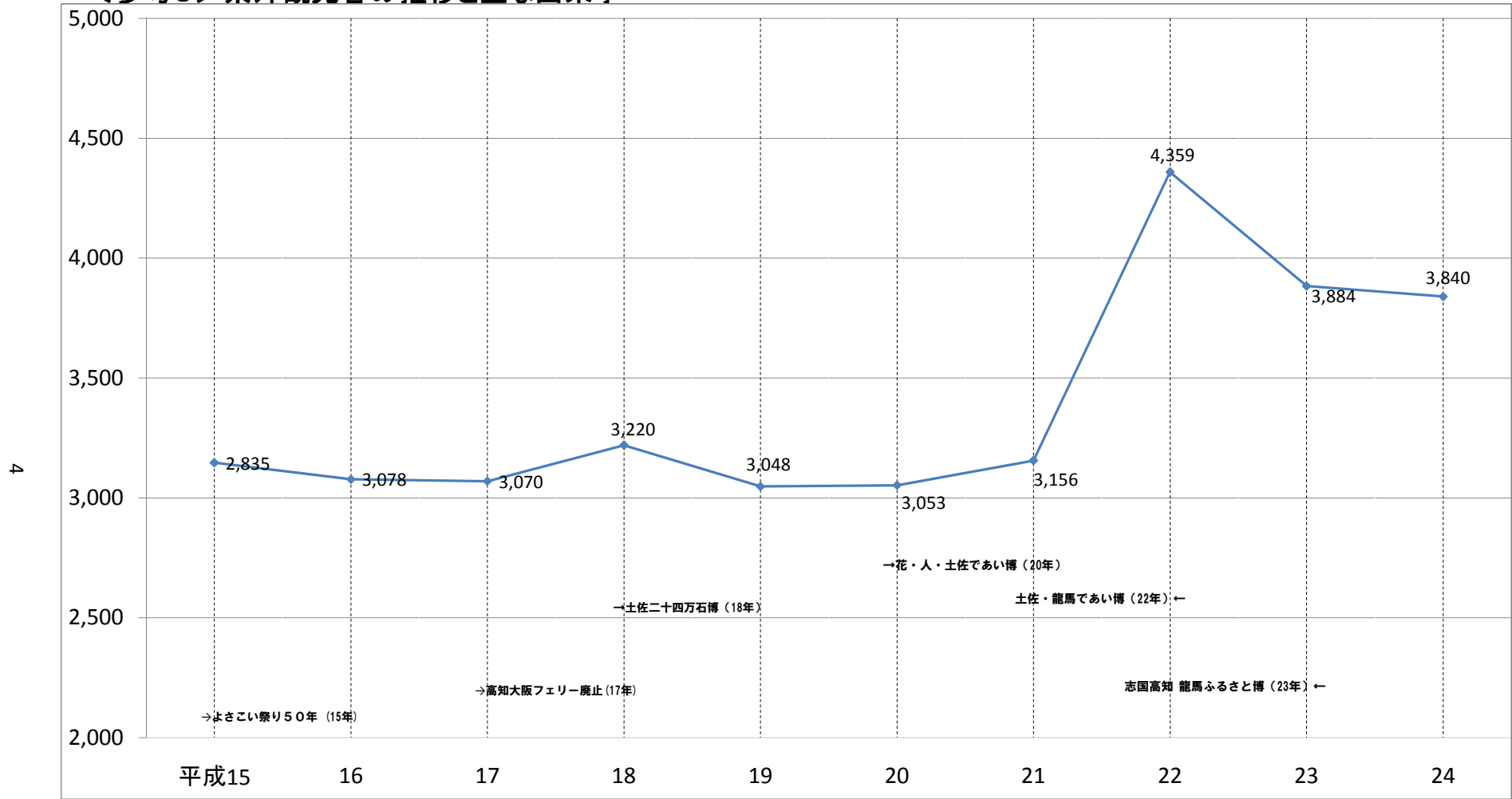
単位：千人

	乗用車	高速バス	観光バス	鉄道	航空機	フェリー	その他	合計
平成7年	2,908	—	486	541	332	134	484	4,885
8	3,038	—	499	568	339	128	503	5,075
9	3,143	—	487	576	347	124	515	5,192
10	3,115	—	450	553	347	117	504	5,086
11	3,138	—	425	475	345	96	492	4,971
12	3,169	—	430	462	349	112	497	5,019
13	3,222	—	434	457	328	109	500	5,050
14	3,380	—	434	451	319	67	512	5,163
15	1,944	92	688	138	82	56	150	3,147
16	1,906	101	673	132	95	25	146	3,078
17	1,898	104	670	135	93	24	146	3,070
18	1,998	111	706	135	102	16	154	3,220
19	1,885	108	666	133	95	16	145	3,048
20	1,914	111	642	135	91	15	145	3,053
21	2,012	103	674	122	81	14	150	3,156
22	2,737	108	1,080	120	93	13	208	4,359
23	2,412	110	947	120	96	12	186	3,886
24	2,481	112	827	121	102	11	186	3,840

※平成15年分より推計手法を見直している。

平成14年以前は高速バス利用は「その他」に計上していた。

＜参考3＞県外観光客の推移と主な出来事



(千人)

Ⅱ 主要観光施設等利用状況

1 概要

(1) 観光施設利用状況（県内・県外利用者合計）

県内主要観光施設（60施設）の年間総利用者数は、
約2,556千人、前年比91.5%、約268千人の減

<利用者数上位施設>（参照：表 1-1-①、②）

	施設名称	H24年	H23年	前年比
①	高知城懐徳館	245,400人	289,072人	84.9%
②	高知県立美術館	230,849人	185,586人	124.4%
③	高知県立坂本龍馬記念館	175,058人	249,588人	70.1%
④	アンパンマンミュージアム	173,475人	203,524人	85.2%
⑤	高知県立牧野植物園	165,389人	191,746人	86.3%

※桂浜公園駐車場は、駐車台数で集計しているため、順位付けはしていない。

<利用者数の前年からの増加数上位施設>（参照：表 1-1-①、②）

	施設名称	H24年	H23年	前年比	増加数
①	高知県立美術館	230,849人	185,586人	124.4%	45,263人
②	高知県立文学館	50,923人	24,478人	208.0%	26,445人
③	横倉山自然の森博物館	12,286人	5,248人	234.1%	7,038人
④	四万十川観光開発	47,252人	41,293人	114.4%	5,959人
⑤	土佐和紙工芸村	93,703人	89,457人	104.7%	4,246人

<利用者数の前年からの増加率上位施設>（参照：表 1-1-①、②）

	施設名称	H23年	H21年	前々年比	増減数
①	横倉山自然の森博物館	12,286人	5,248人	234.1%	7,038人
②	大原富枝文学館	1,339人	619人	216.3%	720人
③	高知県立文学館	50,923人	24,478人	208.0%	26,445人
④	青山文庫	3,163人	2,157人	146.6%	1,006人
⑤	大方あかつき館 上林暁文学館	338人	263人	128.5%	75人

(2) ゴルフ場利用状況（参照：表 1-5）

県内主要 11 ゴルフ場の利用者数は、約 467 千人、対前年比 99.7%、約 1 千人の減、となっている。

(3) 有料道路利用状況（参照：表 1-6）

高知自動車道の通行台数は、約 9,093 千台、対前年比 78.2%、約 2,528 千台の減となっている。

（自動二輪車～特大車のすべてを含む。県内 6 か所の I C から出た車の台数の合計）

(4) 有料駐車場利用状況（参照：表 1-7）

有料駐車場別	H24年	H23年	前年比
桂 浜（全 車）	194,469台	214,756台	90.6%
高知公園（県外バス）	2,987台	3,481台	85.8%
龍 河 洞（県外バス）	376台	398台	94.5%

表1-1① 平成24年 月別観光施設利用実績 単位:人

名 称	月	1		2		3		4		5		6	
			前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
1 キラメッセ室戸 鯨館 (室戸市)	月計	355	79.4	359	93.7	573	156.1	587	132.2	978	132.9	333	85.8
	累計	355	79.4	714	86.0	1,287	107.5	1,874	114.2	2,852	120.0	3,185	115.2
2 中岡慎太郎館 (北川村)	月計	459	48.5	414	65.4	619	65.9	554	68.9	1,186	65.3	607	71.3
	累計	459	48.5	873	55.3	1,492	59.3	2,046	61.6	3,232	62.9	3,839	64.1
3 モネの庭マルモッタン 1/10～2/29休園(北川村)	月計	1,092	122.3	0	(前年0)	4,253	116.9	7,529	107.2	15,147	130.9	4,998	69.4
	累計	1,092	122.3	1,092	122.3	5,345	118.0	12,874	111.4	28,021	121.2	33,019	108.9
4 安芸市立書道美術館 (安芸市)	月計	78	120.0	269	91.2	209	87.4	125	117.9	168	118.3	753	104.9
	累計	78	120.0	347	96.4	556	92.8	681	96.6	849	100.2	1,602	102.4
5 安芸市歴史民俗資料館 (安芸市)	月計	331	87.6	683	78.9	925	119.4	401	86.6	168	18.8	121	36.9
	累計	331	87.6	1,014	81.5	1,939	96.0	2,340	94.3	2,508	74.2	2,629	70.9
6 内原野陶芸館 (安芸市)	月計	750	114.0	731	98.1	985	135.3	574	108.5	937	116.7	805	98.5
	累計	750	114.0	1,481	105.6	2,466	115.7	3,040	114.3	3,977	114.8	4,782	111.7
7 龍馬歴史館 (香南市)	月計	1,156	59.4	1,500	65.4	休業		休業		休業		休業	
	累計	1,156	59.4	2,656	62.7	2,656	41.0	2,656	32.3	2,656	20.5	2,656	17.8
8 高知県立のいち動物公園 (香南市)	月計	9,277	96.2	5,524	74.3	14,321	101.1	17,163	98.2	24,146	100.5	5,761	121.3
	累計	9,277	96.2	14,801	86.7	29,122	93.2	46,285	95.0	70,431	96.8	76,192	98.3
9 香南市サイクリングターミナル 宿泊以外 (香南市)	月計	103	63.2	75	46.9	179	164.2	158	57.2	359	156.8	53	189.3
	累計	103	63.2	178	75.7	357	103.8	515	83.1	874	102.9	927	105.7
10 絵金蔵 (香南市)	月計	367	81.9	389	70.5	556	109.0	758	146.9	894	94.4	275	41.5
	累計	367	81.9	756	75.6	1,312	86.9	2,070	102.2	2,964	99.7	3,239	89.1
11 月見山こどもの森 (香南市)	月計	1,643	81.1	1,717	86.1	2,809	101.7	3,130	71.2	3,722	122.1	1,410	94.9
	累計	1,643	81.1	3,360	83.6	6,169	90.9	9,299	83.2	13,021	91.5	14,431	91.9
12 四国自動車博物館 (香南市)	月計	660	86.6	549	101.5	813	97.2	739	85.6	1,456	67.8	728	92.6
	累計	660	86.6	1,209	92.8	2,022	94.5	2,761	92.0	4,217	81.9	4,945	83.3
13 龍河洞 (香美市)	月計	4,266	96.2	3,709	84.6	6,685	95.5	7,875	120.0	12,996	80.9	4,864	78.0
	累計	4,266	96.2	7,975	90.4	14,660	92.6	22,535	100.7	35,531	92.4	40,395	90.4
14 アンパンマンミュージアム (香美市)	月計	10,451	92.1	6,925	71.5	13,780	86.8	13,674	89.2	21,148	69.6	8,845	62.7
	累計	10,451	92.1	17,376	82.6	31,156	84.4	44,830	85.8	65,978	79.9	74,823	77.4
15 吉井勇記念館 (香美市)	月計	21	80.8	33	235.7	45	93.8	45	132.4	100	163.9	107	305.7
	累計	21	80.8	54	135.0	99	112.5	144	118.0	244	133.3	351	161.0
16 西島園芸団地 (南国市)	月計	7,044	85.4	9,864	94.4	11,830	100.0	13,294	111.5	16,715	104.6	6,479	97.8
	累計	7,044	85.4	16,908	90.4	28,738	94.1	42,032	99.0	58,747	100.5	65,226	100.2
17 高知県立歴史民俗資料館 (南国市)	月計	2,044	81.6	2,012	70.3	4,888	147.8	2,652	60.8	3,725	68.7	1,440	79.2
	累計	2,044	81.6	4,056	75.6	8,944	103.1	11,596	89.0	15,321	83.0	16,761	82.7
18 ゆとりすとパークおとよ ハーブ園(大豊町)	月計	250	(前年0)	110	(前年0)	324	(前年0)	1,241	40.2	2,723	75.8	509	92.5
	累計	250	(前年0)	360	(前年0)	684	(前年0)	1,925	62.4	4,648	69.6	5,157	71.3
19 大原富枝文学館 (本山市)	月計	98	466.7	38	253.3	55	275.0	223	384.5	183	190.6	125	357.1
	累計	98	466.7	136	377.8	191	341.1	414	363.2	597	284.3	722	294.7
20 高知県立牧野植物園 (高知市)	月計	6,161	85.0	13,276	76.4	21,816	89.2	27,119	79.9	29,318	96.8	9,515	76.1
	累計	6,161	85.0	19,437	79.0	41,253	84.0	68,372	82.4	97,690	86.2	107,205	85.2
21 高知城懐徳館 (高知市)	月計	14,970	76.2	13,015	70.6	24,212	92.9	28,078	96.9	31,144	82.9	12,364	73.4
	累計	14,970	76.2	27,985	73.5	52,197	81.4	80,275	86.2	111,419	85.3	123,783	83.9
22 高知県立文学館 (高知市)	月計	1,690	108.8	2,151	129.0	8,932	637.5	1,816	127.4	2,838	148.0	1,573	91.3
	累計	1,690	108.8	3,841	119.2	12,773	276.4	14,589	241.3	17,427	218.8	19,000	196.1
23 高知県立美術館 (高知市)	月計	16,542	219.8	18,567	153.0	15,750	89.7	12,441	173.5	25,704	286.4	37,124	305.7
	累計	16,542	219.8	35,109	178.6	50,859	136.6	63,300	142.6	89,004	166.8	126,128	192.5
24 高知市立自由民権記念館 (高知市)	月計	442	124.2	608	109.5	715	135.9	529	148.2	883	146.4	405	89.2
	累計	442	124.2	1,050	115.3	1,765	122.8	2,294	127.9	3,177	132.5	3,582	125.6
25 高知市立龍馬の生まれたまち 記念館(高知市)	月計	3,242	48.4	2,991	47.1	4,782	59.2	4,204	75.4	7,098	70.3	2,680	54.6
	累計	3,242	48.4	6,233	47.8	11,015	52.1	15,219	57.0	22,317	60.6	24,997	59.9
26 高知県立坂本龍馬記念館 (高知市)	月計	10,584	54.1	10,723	60.3	16,583	78.3	13,196	76.1	20,295	60.5	9,595	55.3
	累計	10,584	54.1	21,307	57.1	37,890	64.7	51,086	67.3	71,381	65.2	80,976	63.9
27 桂浜水族館 (高知市)	月計	5,024	91.9	2,636	71.2	5,642	95.0	6,315	87.5	10,392	89.1	4,077	98.8
	累計	5,024	91.9	7,660	83.6	13,302	88.1	19,617	87.9	30,009	88.3	34,086	89.4
28 桂浜公園駐車場 単位:台数 (高知市)	月計	11,213	81.5	8,712	72.3	16,028	100.8	16,732	87.3	23,060	85.5	10,005	73.0
	累計	11,213	81.5	19,925	77.2	35,953	86.2	52,685	86.5	75,745	86.2	85,750	84.4
29 土佐山内家宝物資料館 (高知市)	月計	657	65.8	1,233	75.0	1,242	124.0	824	96.8	1,496	119.6	657	90.2
	累計	657	65.8	1,890	71.5	3,132	85.9	3,956	88.0	5,452	94.9	6,109	94.3
30 「龍馬伝」幕末志士社中 (高知市)	月計	11,763	(前年0)	10,146	(前年0)	18,113	(前年0)	3,699	(前年0)	4,594	(前年0)	2,309	(前年0)
	累計	11,763	(前年0)	21,909	(前年0)	40,022	(前年0)	43,721	(前年0)	48,315	(前年0)	50,624	(前年0)
31 いの町紙の博物館 (いの町)	月計	1,097	106.0	820	75.8	1,271	107.9	1,779	114.1	3,036	87.0	2,428	130.5
	累計	1,097	106.0	1,917	90.6	3,188	96.8	4,967	102.3	8,003	95.9	10,431	102.2
32 土佐和紙工芸村 (いの町)	月計	5,943	105.7	5,492	107.4	7,661	107.4	8,646	107.5	9,861	111.9	6,984	110.8
	累計	5,943	105.7	11,435	106.5	19,096	106.9	27,742	107.1	37,603	108.3	44,587	108.7
33 佐川地質館 (佐川町)	月計	346	82.2	439	96.7	811	124.2	833	98.6	1,074	100.9	859	100.4
	累計	346	82.2	785	89.7	1,596	104.5	2,429	102.4	3,503	101.9	4,362	101.6
34 青山文庫 (佐川町)	月計	116	85.9	232	356.9	288	160.0	289	94.4	182	94.3	194	144.8
	累計	116	85.9	348	174.0	636	167.4	925	134.8	1,107	125.9	1,301	128.4

※桂浜公園駐車場は、ゴールデンウィークの渋滞対策臨時駐車場分を含む(単位:台数)

7	前 年 比	8	前 年 比	9	前 年 比	10	前 年 比	11	前 年 比	12	前 年 比
618	95.1	1,825	129.2	414	79.3	447	78.6	452	106.1	288	128.0
3,803	111.4	5,628	116.6	6,042	112.9	6,489	109.6	6,941	109.4	7,229	110.0
511	52.8	1,058	79.6	570	82.0	846	88.8	655	66.8	221	52.1
4,350	62.5	5,408	65.3	5,978	66.6	6,824	68.7	7,479	68.5	7,700	67.9
5,411	76.9	5,986	96.3	3,685	97.1	3,800	67.8	3,014	78.7	1,116	53.1
38,430	102.9	44,416	101.9	48,101	101.6	51,901	98.0	54,915	96.7	56,031	95.1
584	78.0	491	129.2	96	75.6	338	135.2	323	88.3	151	255.9
2,186	94.5	2,677	99.4	2,773	98.3	3,111	101.3	3,434	99.9	3,585	102.5
195	60.2	376	52.4	175	41.6	555	102.0	347	72.3	128	67.0
2,824	70.1	3,200	67.4	3,375	65.3	3,930	68.8	4,277	69.1	4,405	69.0
1,016	125.1	1,121	113.3	738	136.9	1,016	88.1	2,206	78.8	420	87.7
5,798	113.9	6,919	113.8	7,657	115.7	8,673	111.6	10,879	102.9	11,299	102.3
休業		休業		休業		休業		休業		休業	
2,656	16.0	2,656	12.3	2,656	11.4	2,656	10.5	2,656	9.8	2,656	9.5
5,787	106.2	10,051	89.0	9,315	72.3	22,093	98.1	18,120	104.4	4,999	100.8
81,969	98.8	92,020	97.6	101,335	94.6	123,428	95.2	141,548	96.3	146,547	96.4
128	90.1	206	85.5	62	33.0	257	158.6	68	74.7	62	78.5
1,055	103.5	1,261	100.1	1,323	91.4	1,580	98.1	1,648	96.9	1,710	96.1
1,253	106.8	1,242	132.8	610	100.8	728	115.2	729	93.8	412	107.9
4,492	93.4	5,734	99.8	6,344	99.9	7,072	101.3	7,801	100.6	8,213	100.9
1,158	59.0	1,405	66.6	1,276	69.8	1,749	58.8	1,602	63.6	1,026	56.9
15,589	88.2	16,994	85.9	18,270	84.5	20,019	81.4	21,621	79.8	22,647	78.3
983	124.3	1,708	95.3	751	98.0	833	101.5	650	88.3	490	101.2
5,928	88.1	7,636	89.6	8,387	90.3	9,220	91.2	9,870	91.0	10,360	91.5
10,147	103.6	27,064	93.4	8,999	94.6	8,268	98.2	6,546	111.8	4,039	85.8
50,542	92.8	77,606	93.0	86,605	93.2	94,873	93.6	101,419	94.6	105,458	94.2
15,805	91.6	35,745	92.0	16,292	89.7	11,640	82.1	10,621	103.1	8,549	105.9
90,628	79.5	126,373	82.7	142,665	83.4	154,305	83.3	164,926	84.4	173,475	85.2
116	236.7	128	209.8	72	118.0	75	70.8	139	88.0	20	23.0
467	174.9	595	181.4	667	171.5	742	149.9	881	134.9	901	121.8
6,791	113.1	6,609	92.3	3,414	91.0	4,335	75.4	4,717	91.5	2,355	67.1
72,017	101.3	78,626	100.5	82,040	100.1	86,375	98.5	91,092	98.1	93,447	96.9
1,462	54.3	3,533	66.4	1,352	78.2	4,786	160.3	3,585	195.5	874	104.9
18,223	79.3	21,756	76.9	23,108	77.0	27,894	84.5	31,479	90.3	32,353	90.7
694	59.6	1,116	54.4	904	64.4	1,563	112.0	2,733	131.4	169	82.8
5,851	69.7	6,967	66.7	7,871	66.4	9,434	71.2	12,167	79.4	12,336	79.4
55	76.4	114	438.5	103	515.0	106	378.6	149	70.0	90	600.0
777	245.1	891	259.8	994	273.8	1,100	281.3	1,249	206.8	1,339	216.3
7,977	88.9	12,067	93.4	6,818	71.4	12,531	88.9	14,468	98.2	4,323	76.2
115,182	85.5	127,249	86.2	134,067	85.3	146,598	85.6	161,066	86.6	165,389	86.3
16,058	89.3	33,013	83.4	17,653	82.5	22,652	92.9	20,012	90.4	12,229	76.2
139,841	84.5	172,854	84.3	190,507	84.1	213,159	85.0	233,171	85.4	245,400	84.9
2,815	111.4	15,013	379.3	9,177	416.6	1,960	68.9	1,491	67.0	1,467	142.2
21,815	178.6	36,828	227.7	46,005	250.4	47,965	226.0	49,456	210.9	50,923	208.0
8,449	58.9	37,744	140.4	11,570	90.4	21,502	93.9	16,475	73.1	8,981	43.5
134,577	168.5	172,321	161.5	183,891	153.8	205,393	144.2	221,868	134.5	230,849	124.4
648	(前年0)	1,180	222.2	448	58.9	891	54.9	1,016	89.4	440	62.2
4,230	148.4	5,410	160.0	5,858	141.4	6,749	117.1	7,765	112.5	8,205	107.9
3,855	77.8	8,537	69.7	3,762	72.7	4,367	84.4	4,578	76.6	2,974	92.4
28,852	61.8	37,389	63.5	41,151	64.2	45,518	65.7	50,096	66.6	53,070	67.6
12,313	70.9	28,453	75.5	12,920	72.1	17,224	85.0	14,094	73.0	9,078	88.3
93,289	64.7	121,742	67.0	134,662	67.4	151,886	69.0	165,980	69.4	175,058	70.1
7,778	106.5	17,267	88.8	6,023	96.4	5,515	88.0	4,615	115.0	3,099	89.3
41,864	92.2	59,131	91.2	65,154	91.6	70,669	91.3	75,284	92.5	78,383	92.4
16,054	100.7	32,086	92.9	17,648	92.5	17,950	99.7	15,697	100.4	9,284	92.9
101,804	86.6	133,890	88.1	151,538	88.6	169,488	89.6	185,185	90.4	194,469	90.6
781	90.6	1,106	73.2	789	89.7	841	69.4	781	71.4	428	83.8
6,890	93.9	7,996	90.4	8,785	90.3	9,626	88.0	10,407	86.5	10,835	86.4
3,730	22.8	6,760	24.7	3,778	28.0	4,328	28.5	4,596	29.7	5,491	57.0
54,354	332.8	61,114	139.9	64,892	113.5	69,220	95.6	73,816	84.0	79,307	81.4
1,605	79.0	3,044	142.0	2,352	120.6	3,236	93.6	2,423	50.3	2,176	144.1
12,036	98.4	15,080	104.9	17,432	106.7	20,668	104.4	23,091	93.9	25,267	96.8
7,961	117.3	11,821	106.3	7,475	104.2	7,719	94.1	7,831	97.5	6,309	88.6
52,548	109.9	64,369	109.2	71,844	108.7	79,563	107.1	87,394	106.1	93,703	104.7
589	77.1	1,630	122.2	637	90.4	814	114.5	960	107.1	458	120.8
4,951	97.9	6,581	103.0	7,218	101.7	8,032	102.9	8,992	103.3	9,450	104.1
230	135.3	253	114.5	332	143.1	449	220.1	365	170.6	233	226.2
1,531	129.4	1,784	127.1	2,116	129.3	2,565	139.4	2,930	142.6	3,163	146.6

表1-1② 平成24年 月別観光施設利用実績

名 称	月	1		2		3		4		5		6	
			前 年 比		前 年 比		前 年 比		前 年 比		前 年 比		前 年 比
35 横倉山自然の森博物館 (越知町)	月計	235	141.6	171	112.5	328	128.1	404	137.4	1,186	270.2	1,283	675.3
	累計	235	141.6	406	127.7	734	127.9	1,138	131.1	2,324	177.8	3,607	240.9
36 ゆすはら・維新の道社中 <small>※4月からは有料入館者のみカウント (榑原町)</small>	月計	599	(前年0)	353	(前年0)	1,068	57.1	382	23.4	827	29.8	422	41.1
	累計	599	(前年0)	952	(前年0)	2,020	108.0	2,402	68.6	3,229	51.4	3,651	50.0
37 ウェル花夢 (四万十町)	月計	44	67.7	25	156.3	45	45.5	398	83.6	658	95.4	93	143.1
	累計	44	67.7	69	85.2	114	63.3	512	78.0	1,170	86.9	1,263	89.5
38 海洋堂ホビー館 四万十 (四万十町)	月計	5,020	(前年0)	2,499	(前年0)	4,524	(前年0)	5,310	(前年0)	8,357	(前年0)	2,624	(前年0)
	累計	5,020	(前年0)	7,519	(前年0)	12,043	(前年0)	17,353	(前年0)	25,710	(前年0)	28,334	(前年0)
39 大方あかつき館 上林暁文学館 (黒潮町)	月計	28	107.7	15	23.7	25	15.4	43	172.0	51	127.5	111	326.5
	累計	28	107.7	43	67.8	68	89.5	111	109.9	162	114.9	273	156.0
40 とまろつと (四万十市)	月計	123	81.5	54	63.5	287	77.6	1,137	122.7	1,673	98.1	447	69.3
	累計	123	81.5	177	75.0	464	76.6	1,601	104.4	3,274	101.1	3,721	95.8
41 かわらっこ(受付者のみ) (四万十市)	月計	0	(前年0)	6	(前年0)	38	47.5	188	81.7	1,077	123.1	55	13.9
	累計	0	(前年0)	6	(前年0)	44	55.0	232	74.8	1,309	110.5	1,364	86.3
42 四万十川学遊館 (四万十市)	月計	340	103.3	215	86.7	691	98.2	700	97.2	1,441	79.3	691	72.0
	累計	340	103.3	555	96.2	1,246	97.3	1,946	97.3	3,387	88.7	4,078	85.3
43 四万十川観光開発 (四万十市)	月計	1,170	67.7	2,369	97.1	4,902	124.5	4,403	146.4	4,930	145.8	3,648	117.7
	累計	1,170	67.7	3,539	84.9	8,441	104.1	12,844	115.6	17,774	122.6	21,422	121.8
44 西土佐観光協会カヌー館 (四万十市)	月計	605	94.5	545	75.7	955	89.7	1,300	70.8	1,850	77.4	855	100.6
	累計	605	94.5	1,150	84.6	2,105	86.8	3,405	79.9	5,255	79.0	6,110	81.5
45 四万十市立郷土資料館 (四万十市)	月計	183	102.2	180	75.0	402	106.1	501	95.6	351	69.1	255	85.3
	累計	183	102.2	363	86.6	765	95.9	1,266	95.8	1,617	88.4	1,872	87.9
46 竜串海中観光 (土佐清水市)	月計	481	112.6	510	155.5	529	129.0	471	128.7	1,319	116.2	195	74.7
	累計	481	112.6	991	131.3	1,520	130.5	1,991	130.0	3,310	124.2	3,505	119.7
47 高知県立足摺海洋館 (土佐清水市)	月計	2,568	113.8	2,550	153.2	3,657	95.1	3,933	126.5	5,764	97.9	2,047	105.2
	累計	2,568	113.8	5,118	130.5	8,775	113.0	12,708	116.8	18,472	110.2	20,519	109.7
48 足摺海底館 (土佐清水市)	月計	2,517	121.4	2,373	110.0	4,568	135.8	3,234	123.5	6,790	109.0	1,612	96.2
	累計	2,517	121.4	4,890	115.6	9,458	124.5	12,692	124.3	19,482	118.5	21,094	116.4
49 ジョン万次郎資料館 (土佐清水市)	月計	1,320	(前年0)	1,702	(前年0)	1,977	(前年0)	744	(前年0)	1,352	(前年0)	526	62.9
	累計	1,320	(前年0)	3,022	(前年0)	4,999	(前年0)	5,743	(前年0)	7,095	244.4	7,621	203.8
50 大月エコロジーキャンプ場 24年4月まで閉鎖(大月町)	月計	0		0		0		71	36.4	288	97.6	50	151.5
	累計	0		0		0		71	22.5	359	58.9	409	63.6
51 オーベルジュ土佐山 (温泉利用者・高知市)	月計	1,803	93.1	1,388	86.0	1,725	122.4	1,239	90.0	1,538	95.4	1,587	106.4
	累計	1,803	93.1	3,191	89.9	4,916	99.1	6,155	97.2	7,693	96.8	9,280	98.3
52 雲の上の温泉 1/16～2/29休業(改修) (温泉利用者・榑原町)	月計	2,862	67.5	0		4,371	108.1	4,096	93.5	5,604	93.2	3,615	102.0
	累計	2,862	67.5	2,862	38.1	7,233	62.6	11,329	71.1	16,933	77.1	20,548	80.6
53 四万十源流の家 (温泉利用者・中土佐町)	月計	0						0		84	2.0	102	3.5
	累計	0				0		0		84	0.5	186	0.9
53 黒潮本陣 (温泉利用者・中土佐町)	月計	3,701	101.5	2,627	98.7	2,901	86.8	2,678	88.0	3,356	81.5	2,175	75.2
	累計	3,701	101.5	6,328	100.3	9,229	95.6	11,907	93.8	15,263	90.8	17,438	88.5
54 足摺テルメ 3/17オープン (温泉利用者・土佐清水市)	月計	0		577	55.9	780	71.3	1,054	99.2	1,591	84.7	659	79.5
	累計	0		577	24.7	1,357	39.6	2,411	53.7	4,002	62.9	4,661	64.8
55 土佐市宇佐ホエールウォッチング 4/20～10/31(土佐市)	月計	休業		休業		0		96	19.6	417	92.1	125	1250.0
	累計					0		96	19.6	513	54.3	638	66.9
56 佐賀漁協 ホエールウォッチング H24休業(黒潮町)	月計	休業		休業		休業		休業		休業		休業	
	累計					0		0		0		0	
57 大方町遊漁船主会 4月～10月(黒潮町)	月計	休業		休業		0		32	69.6	224	63.6	15	12.9
	累計					0		32	69.6	256	64.3	271	52.7
58 窪津 定置網観光 5月～10月(土佐清水市)	月計	休業		休業		0		0		0		0	
	累計					0		0		0		0	
59 〃 ホエールウォッチング 5月～10月(土佐清水市)	月計	休業		休業		0		0		10	20.0	0	
	累計					0		0		10	16.7	10	16.7
60 足摺ホエールウォッチング 5月～10月(土佐清水市)	月計	休業		休業		0		0		15	150.0	0	
	累計					0		0		15	150.0	15	150.0
既存施設計	月計	153,834	99.8	144,091	91.0	241,468	108.3	229,636	97.3	328,395	95.5	162,072	98.7
	累計	153,834	99.8	297,925	95.3	539,393	100.7	769,029	99.7	1,097,424	98.4	1,259,496	98.4

【総計】

東部 (室戸市～香美市)	月計	31,009	90.7	22,867	76.5	46,752	93.1	53,312	94.2	83,405	85.5	29,660	73.4
	累計	31,009	90.7	53,876	84.1	100,628	88.0	153,940	90.1	237,345	88.4	267,005	86.5
中部 (南国市～中土佐町)	月計	108,426	97.9	107,604	90.1	171,336	108.9	152,805	93.5	207,249	95.5	118,529	106.0
	累計	108,426	97.9	216,030	93.8	387,366	99.9	540,171	98.0	747,420	97.3	865,949	98.4
西部 (四万十町～土佐清水市)	月計	14,399	156.0	13,620	151.9	23,380	151.5	23,519	146.3	37,741	129.2	13,883	115.3
	累計	14,399	156.0	28,019	154.0	51,399	152.9	74,918	150.8	112,659	142.8	126,542	139.1
合計	月計	153,834	99.8	144,091	91.0	241,468	108.3	229,636	97.3	328,395	95.5	162,072	98.7
	累計	153,834	99.8	297,925	95.3	539,393	100.7	769,029	99.7	1,097,424	98.4	1,259,496	98.4

7	前年比	8	前年比	9	前年比	10	前年比	11	前年比	12	前年比
	1,455		247.9		2,779		182.7		1,612		447.8
5,062	242.9	7,841	217.5	9,453	238.4	11,184	234.9	12,175	237.7	12,286	234.1
517	28.5	863	28.0	406	25.3	423	22.0	447	28.9	110	16.4
4,168	45.7	5,031	41.2	5,437	39.4	5,860	37.3	6,307	36.5	6,417	35.8
611	71.3	2,907	96.9	441	87.8	310	97.5	101	87.8	66	137.5
1,874	82.6	4,781	90.7	5,222	90.5	5,532	90.9	5,633	90.8	5,699	91.2
9,378	80.1	20,865	72.5	5,453	52.8	4,327	62.9	3,780	75.7	2,374	122.2
37,712	322.0	58,577	144.7	64,030	126.0	68,357	118.5	72,137	115.1	74,511	115.3
10	250.0	15	100.0	10	200.0	5	16.7	15	68.2	10	83.3
283	158.1	298	153.6	308	154.8	313	136.7	328	130.7	338	128.5
2,022	116.3	4,818	107.9	1,033	58.7	1,193	119.5	321	78.7	315	101.6
5,743	102.1	10,561	104.7	11,594	97.8	12,787	99.5	13,108	98.9	13,423	99.0
1,348	108.5	3,466	83.5	534	111.9	224	54.2	76	69.4	6	300.0
2,712	96.1	6,178	88.6	6,712	90.1	6,936	88.2	7,012	88.3	7,018	88.4
1,271	91.6	3,429	90.9	1,011	100.4	818	72.8	584	76.9	312	120.9
5,349	86.7	8,778	88.3	9,789	89.4	10,607	87.9	11,191	87.2	11,503	87.9
4,156	97.7	4,346	133.6	4,527	135.2	5,070	90.3	5,624	94.0	2,107	169.9
25,578	117.1	29,924	119.2	34,451	121.1	39,521	116.0	45,145	112.7	47,252	114.4
517	17.0	2,031	33.9	1,710	91.4	3,725	88.8	1,310	156.0	760	98.1
6,627	62.9	8,658	52.3	10,368	56.3	14,093	62.3	15,403	65.7	16,163	66.7
206	81.1	479	79.0	256	76.2	259	59.8	348	108.8	176	68.2
2,078	87.2	2,557	85.5	2,813	84.6	3,072	81.7	3,420	83.9	3,596	82.9
564	119.2	1,277	112.2	395	78.2	481	66.5	348	69.0	438	97.1
4,069	119.7	5,346	117.8	5,741	113.8	6,222	107.9	6,570	104.8	7,008	104.3
3,718	108.7	10,859	103.4	2,984	99.6	2,378	105.5	1,958	113.8	3,656	132.8
24,237	109.5	35,096	107.5	38,080	106.9	40,458	106.8	42,416	107.1	46,072	108.8
2,952	87.1	7,211	76.5	2,379	64.0	4,015	108.2	2,437	61.7	1,995	73.5
24,046	111.8	31,257	101.0	33,636	97.1	37,651	98.1	40,088	94.7	42,083	93.4
714	61.2	2,174	93.5	844	94.3	900	97.4	612	69.3	449	36.9
8,335	169.9	10,509	145.3	11,353	139.7	12,253	135.4	12,865	129.5	13,314	119.4
660	100.3	1,506	93.7	265	97.8	65	76.5	14 (前年0)		10 (前年0)	
1,069	82.2	2,575	88.5	2,840	89.3	2,905	89.0	2,919	89.4	2,929	89.7
1,287	118.8	1,855	93.3	1,327	95.1	1,447	107.7	1,331	106.2	1,299	94.2
10,567	100.4	12,422	99.3	13,749	98.9	15,196	99.7	16,527	100.2	17,826	99.7
4,154	95.2	8,092	103.2	4,347	95.6	4,855	70.2	4,249	107.6	3,409	89.9
24,702	82.7	32,794	87.0	37,141	87.9	41,996	85.4	46,245	87.1	49,654	87.3
315	13.2	729	18.9	187	7.2	182	7.0	137	5.3	104	4.1
501	2.3	1,230	4.7	1,417	5.0	1,599	5.1	1,736	5.1	1,840	5.1
2,305	96.9	3,881	100.6	2,553	98.6	3,026	116.2	2,957	114.6	3,224	126.5
19,743	89.4	23,624	91.1	26,177	91.7	29,203	93.8	32,160	95.4	35,384	97.6
1,337	115.6	3,690	142.3	1,395	138.1	952	68.1	1,011	111.6	1,096 (前年0)	
5,998	71.8	9,688	88.5	11,083	92.7	12,035	90.1	13,046	91.5	14,142	99.2
614	106.2	1,353	96.6	256	100.4	69 (前年0)		休業		休業	
1,252	81.7	2,605	88.8	2,861	89.7	2,930	91.9	2,930	91.9	2,930	91.9
休業		休業		休業		休業		休業		休業	
0		0		0		0		0		0	
275	115.1	345	57.7	59	143.9	65	59.6	休業		休業	
546	72.5	891	66.0	950	68.2	1,015	67.6	1,015	67.6	1,015	67.6
17	113.3	0		0		0		休業		休業	
17	53.1	17	42.5	17	42.5	17	39.5	17	39.5	17	39.5
27	168.8	89	76.1	7	25.0	2	40.0	休業		休業	
37	48.7	126	65.3	133	60.2	135	59.7	135	59.7	135	59.7
8	53.3	56	90.3	9 (前年0)		0		休業		休業	
23	92.0	79	90.8	88	101.1	88	101.1	88	101.1	88	101.1
183,680	83.1	398,138	88.8	184,023	84.4	221,754	85.9	194,572	85.6	114,302	81.5
1,443,176	96.2	1,841,314	94.5	2,025,337	93.5	2,247,091	92.7	2,441,663	92.0	2,555,965	91.5

43,712	89.5	88,406	88.2	43,055	83.1	52,645	86.6	45,472	93.6	21,921	87.9
310,717	86.9	399,123	87.2	442,178	86.7	494,823	86.7	540,295	87.3	562,216	87.3
110,177	80.4	240,169	90.4	117,656	85.7	144,320	85.8	130,561	83.1	78,611	76.0
976,126	96.0	1,216,295	94.8	1,333,951	94.0	1,478,271	93.1	1,608,832	92.2	1,687,443	91.3
29,791	85.0	69,563	84.4	23,312	80.1	24,789	84.9	18,539	86.3	13,770	114.9
156,333	124.1	225,896	108.4	249,208	104.9	273,997	102.7	292,536	101.5	306,306	102.0
183,680	83.1	398,138	88.8	184,023	84.4	221,754	85.9	194,572	85.6	114,302	81.5
1,443,176	96.2	1,841,314	94.5	2,025,337	93.5	2,247,091	92.7	2,441,663	92.0	2,555,965	91.5

表1-2 入場無料施設

名 称	月	1		2		3		4		5		6	
			前 年 比		前 年 比		前 年 比		前 年 比		前 年 比		前 年 比
わんぱくこうち (高知市)	月計	24,500	113.2	18,500	108.8	31,350	142.8	32,950	38279.0	34,600	115.0	14,100	135.6
	累計	24,500	113.2	43,000	111.3	74,350	122.7	107,300	114471.0	141,900	115.0	156,000	116.6

表1-3 宿泊施設 宿泊者数

名 称	月	1		2		3		4		5		6	
			前 年 比		前 年 比		前 年 比		前 年 比		前 年 比		前 年 比
北川温泉 (北川村)	月計	560	137.6	409	72.9	367	84.8	343	81.7	501	109.4	352	88.7
	累計	560	137.6	969	100.1	1,336	95.4	1,679	92.2	2,180	95.7	2,532	94.6
香南市サイクリングターミナル (香南市)	月計	207	89.2	85	55.2	300	106.8	189	109.9	234	78.5	26	16.5
	累計	207	89.2	292	75.6	592	88.8	781	93.1	1,015	89.3	1,041	80.4
羽尾大釜荘 (香南市)	月計	45	1500.0	6	(前年0)	31	(前年0)	5	(前年0)	30	85.7	22	115.8
	累計	45	1500.0	51	1700.0	82	2733.3	87	2900.0	117	307.9	139	243.9
べふ峡温泉 (香美市)	月計	2,154	86.6	1,387	99.9	1,431	80.1	1,557	48.0	2,169	56.9	1,192	44.0
	累計	2,154	86.6	3,541	91.4	4,972	87.8	6,529	73.3	8,698	68.4	9,890	64.1
ゆとりすとパークおおとよ オートキャンプ場(大豊町)	月計	0	(前年0)	0	(前年0)	4	(前年0)	79	64.2	264	64.7	33	412.5
	累計	0	(前年0)	0	(前年0)	4	(前年0)	83	67.5	347	65.3	380	70.5
〃 コテージ(大豊町)	月計	0	(前年0)	0	(前年0)	14	(前年0)	105	145.8	130	85.5	45	53.6
	累計	0	(前年0)	0	(前年0)	14	(前年0)	119	165.3	249	111.2	294	95.5
さめうら荘 (土佐町)	月計	418	121.2	500	104.6	392	82.7	413	136.3	206	126.4	249	122.1
	累計	418	121.2	918	111.5	1,310	101.0	1,723	107.7	1,929	109.4	2,178	110.7
オーベルジュ土佐山 (高知市)	月計	329	83.9	301	88.0	570	119.0	450	94.9	613	89.6	505	108.4
	累計	329	83.9	630	85.8	1,200	98.9	1,650	97.8	2,263	95.4	2,768	97.6
中津溪谷 ゆの森 (仁淀川町)	月計	256	112.3	189	83.3	256	76.4	282	108.5	295	97.7	220	100.0
	累計	256	112.3	445	97.8	701	88.7	983	93.6	1,278	94.5	1,498	95.3
黒潮本陣 (中土佐町)	月計	658	83.0	595	96.0	974	99.9	891	90.6	1,111	94.0	776	99.2
	累計	658	83.0	1,253	88.7	2,227	93.3	3,118	92.5	4,229	92.9	5,005	93.8
松葉川温泉 (四万十町)	月計	441	92.1	382	93.6	625	98.1	596	92.5	722	87.7	435	63.2
	累計	441	92.1	823	92.8	1,448	95.0	2,044	94.3	2,766	92.5	3,201	87.0
四万十楽舎 (四万十市)	月計	27	128.6	35	129.6	273	176.1	59	141.0	141	115.6	9	900.0
	累計	27	128.6	62	129.2	335	165.0	394	158.9	535	144.6	544	146.6
ベルリーフ大月 (大月町)	月計	425	133.6	326	176.2	367	165.3	612	241.9	698	170.2	538	221.4
	累計	425	133.6	751	149.3	1,118	154.2	1,730	176.9	2,428	174.9	2,966	181.9
国民宿舎椰子 (宿毛市)	月計	611	96.1	619	98.7	1,352	92.3	787	120.2	815	79.4	438	77.9
	累計	611	96.1	1,230	97.4	2,582	94.7	3,369	99.6	4,184	94.9	4,622	93.0
ライダーズイン室戸 (室戸市)	月計	9	45.0	16	145.5	47	97.9	69	101.5	128	96.2	27	180.0
	累計	9	45.0	25	80.6	72	91.1	141	95.9	269	96.1	296	100.3
ライダーズイン奥物部 (香美市)	月計	0		0		0		33	51.6	89	80.2	12	300.0
	累計	0		0		0		33	47.8	122	67.8	134	72.8
ライダーズイン雲の上 (梲原町)	月計	0		0		16	36.4	71	142.0	148	94.9	33	150.0
	累計	0		0		16	30.8	87	85.3	235	91.1	268	95.7
ライダーズイン中土佐 (中土佐町)	月計	15	50.0	40	800.0	40	54.1	124	185.1	160	83.3	20	125.0
	累計	15	50.0	55	157.1	95	87.2	219	124.4	379	103.0	399	103.9
ライダーズイン四万十 (四万十町)	月計	0		8	(前年0)	19	63.3	49	102.1	65	127.5	5	125.0
	累計	0		8	(前年0)	27	90.0	76	97.4	141	109.3	146	109.8
宿泊施設計	月計	6,155	96.3	4,898	97.2	7,078	95.1	6,714	84.5	8,519	81.0	4,937	74.8
	累計	6,155	96.3	11,053	96.7	18,131	96.1	24,845	92.6	33,364	89.3	38,301	87.2

7	前年比	8	前年比	9	前年比	10	前年比	11	前年比	12	前年比
	20,650		114.4		22,600		98.9		17,400		89.9
176,650	116.4	199,250	114.1	216,650	111.7	242,950	107.4	262,600	105.1	274,650	102.7

7	前年比	8	前年比	9	前年比	10	前年比	11	前年比	12	前年比
	476		116.7		648		139.1		417		217.2
3,008	97.5	3,656	103.0	4,073	108.8	4,541	109.1	5,000	108.4	5,444	107.7
410	139.5	431	75.6	101	142.3	198	139.4	414	481.1	193	183.8
1,451	91.3	1,882	87.2	1,983	88.9	2,181	91.9	2,595	92.5	2,788	95.8
30	73.2	78	58.2	16	38.1	19	105.6	8	9.8	23	209.1
169	172.4	247	106.5	263	96.0	282	96.6	290	90.3	313	94.3
1,833	48.6	2,995	64.5	1,526	57.2	2,294	62.6	5,438	466.3	1,711	53.8
11,723	61.1	14,718	61.7	16,244	61.3	18,538	61.4	23,976	63.6	25,687	62.8
191	111.7	626	103.0	403	221.4	277	181.0	28	15.9	8	800.0
571	80.4	1,197	90.8	1,600	106.7	1,877	113.6	1,905	113.8	1,913	114.2
263	65.1	637	101.3	219	106.3	172	95.6	122	63.0	54	131.7
557	78.2	1,194	89.0	1,413	91.3	1,585	91.8	1,707	96.1	1,761	96.9
302	151.0	605	102.9	247	110.8	327	120.2	251	370.0	282	67.5
2,480	114.4	3,085	112.0	3,332	111.9	3,659	112.6	3,910	108.0	4,192	103.8
549	94.0	959	101.7	650	96.7	616	110.6	630	678.6	495	35.9
3,317	97.0	4,276	98.0	4,926	97.8	5,542	99.1	6,172	100.1	6,667	88.4
305	82.7	570	114.9	272	128.9	281	87.5	349	303.3	225	89.6
1,803	92.9	2,373	97.4	2,645	99.9	2,926	98.6	3,275	98.9	3,500	98.3
933	88.9	1,600	96.1	967	95.2	1,005	88.0	915	943.0	762	92.9
5,938	93.0	7,538	93.6	8,505	93.8	9,510	93.2	10,425	92.9	11,187	92.9
695	86.6	1,320	95.7	631	94.0	737	107.4	649	836.3	540	99.8
3,896	86.9	5,216	89.0	5,847	89.5	6,584	91.2	7,233	91.0	7,773	91.6
384	70.7	1,075	90.0	252	111.0	86	132.3	164	275.0	0	
928	101.5	2,003	95.0	2,255	96.5	2,341	97.5	2,505	99.7	2,505	98.9
875	136.1	1,580	125.7	846	188.4	673	155.8	656	259.3	488	79.6
3,841	168.9	5,421	153.5	6,267	157.5	6,940	157.3	7,596	153.8	8,084	145.6
824	125.2	1,317	94.3	615	97.9	592	84.3	591	665.1	737	124.1
5,446	96.7	6,763	96.3	7,378	96.4	7,970	95.4	8,561	95.8	9,298	97.6
67	121.8	117	90.7	62	105.1	54	90.0	29	26.6	13	46.4
363	103.7	480	100.2	542	100.7	596	99.7	625	99.8	638	97.6
21	70.0	35	43.2	16	69.6	21	67.7	7	7.5	0	
155	72.4	190	64.4	206	64.8	227	65.0	234	65.5	234	65.5
21	36.8	175	124.1	82	112.3	66	61.7	27	28.5	0	
289	85.8	464	97.1	546	99.1	612	93.0	639	93.1	639	92.7
105	61.4	240	106.7	100	52.6	110	67.1	23	27.5	34	121.4
504	90.8	744	95.4	844	87.0	954	84.1	977	83.1	1,011	84.0
33	5.7	104	106.1	52	118.2	58	100.0	15	8.3	1	(前年0)
179	25.2	283	35.0	335	39.3	393	43.1	408	44.1	409	44.2
8,317	76.8	15,112	90.8	7,474	95.2	8,054	87.8	10,775	83.8	6,010	70.9
46,618	85.1	61,730	86.4	69,204	87.3	77,258	87.4	88,033	86.9	94,043	85.7

表1-4 平成24年 月別交通機関利用実績

名 称	月	1		2		3		4		5		6	
			前 年 比 (%)		前 年 比 (%)		前 年 比 (%)		前 年 比 (%)		前 年 比 (%)		前 年 比 (%)
JR(土讃線)	月計	84,325	95.9	79,026	99.8	94,603	104.5	91,695	115.8	87,671	101.8	74,503	100.0
	累計	84,325	95.9	163,351	97.8	257,954	100.1	349,649	103.8	437,320	103.4	511,823	102.9
航空機	月計	42,709	95.7	47,254	97.4	52,814	118.8	43,238	119.6	48,582	118.3	43,652	106.1
	累計	42,709	95.7	89,963	96.6	142,777	103.7	186,015	107.0	234,597	109.2	278,249	108.7
宿毛フェリー	月計	1,702	92.2	1,327	88.2	2,140	105.1	2,004	95.3	2,792	98.9	1,404	90.6
	累計	1,702	92.2	3,029	90.4	5,169	96.0	7,173	95.8	9,965	96.6	11,369	95.9
交通機関 計	月計	128,736	95.8	127,607	98.8	149,557	109.2	136,937	116.6	139,045	106.9	119,559	102.0
	累計	128,736	95.8	256,343	97.3	405,900	101.3	542,837	104.8	681,882	105.2	801,441	104.7

表1-5 平成24年 月別ゴルフ場利用実績 単位:人

名 称	月	1		2		3		4		5		6	
			前 年 比		前 年 比		前 年 比		前 年 比		前 年 比		前 年 比
黒潮	月計	7,050	103.9	6,109	92.9	8,118	113.7	7,257	96.8	8,423	104.4	6,712	91.6
カントリークラブ	累計	7,050	103.9	13,159	98.5	21,277	103.8	28,534	101.9	36,957	102.5	43,669	100.6
土佐	月計	6,303	102.4	5,232	93.3	5,314	121.5	6,312	102.7	7,484	114.0	5,089	98.7
カントリークラブ	累計	6,303	102.4	11,535	98.1	16,849	104.4	23,161	103.9	30,645	106.2	35,734	105.1
錦山	月計	2,999	109.2	2,565	94.0	3,888	101.5	4,329	95.7	3,947	101.8	3,321	93.6
カントリークラブ	累計	2,999	109.2	5,564	101.6	9,452	101.6	13,781	99.6	17,728	100.1	21,049	99.0
バシフィック	月計	3,230	115.4	2,634	91.3	3,056	94.2	3,205	94.2	3,695	99.3	2,931	103.9
ゴルフクラブ	累計	3,230	115.4	5,864	103.1	8,920	99.9	12,125	98.3	15,820	98.6	18,751	99.4
高知	月計	2,622	116.7	2,138	93.0	3,110	104.5	3,097	109.2	4,060	123.1	2,769	101.0
ゴルフクラブ	累計	2,622	116.7	4,760	104.7	7,870	104.7	10,967	105.9	15,027	110.1	17,796	108.6
グリーンフィール	月計	2,367	104.1	2,071	89.8	3,151	114.5	3,558	111.6	4,520	111.4	3,015	98.1
ゴルフクラブ	累計	2,367	104.1	4,438	96.9	7,589	103.5	11,147	106.0	15,667	107.5	18,682	105.8
土佐ユートピア	月計	2,656	109.8	1,858	84.0	2,124	92.1	2,411	91.9	3,125	111.4	2,200	103.2
カントリークラブ	累計	2,656	109.8	4,514	97.5	6,638	95.7	9,049	94.7	12,174	98.5	14,374	99.2
土佐山田	月計	3,265	108.9	2,604	89.6	3,519	92.9	4,059	106.3	4,581	114.3	3,269	96.5
ゴルフ倶楽部	累計	3,265	108.9	5,869	99.4	9,388	96.9	13,447	99.6	18,028	102.9	21,297	101.9
四万十	月計	1,859	130.0	1,525	95.0	1,733	104.4	1,761	88.6	2,229	111.4	1,630	97.5
カントリークラブ	累計	1,859	130.0	3,384	111.5	5,117	109.0	6,878	102.9	9,107	104.9	10,737	103.7
高南	月計	1,799	139.1	1,255	89.1	1,693	98.5	2,297	109.8	2,459	115.7	1,501	86.0
カントリークラブ	累計	1,799	139.1	3,054	113.1	4,747	107.4	7,044	108.2	9,503	110.0	11,004	106.0
スカイベイ	月計	2,915	109.1	2,223	103.8	2,546	109.4	2,433	97.7	3,234	114.8	2,328	100.7
ゴルフクラブ	累計	2,915	109.1	5,138	106.7	7,684	107.6	10,117	105.0	13,351	107.2	15,679	106.2
計	月計	37,065	109.6	30,214	92.5	38,252	105.9	40,719	100.3	47,757	110.2	34,765	96.8
	累計	37,065	109.6	67,279	101.2	105,531	102.8	146,250	102.1	194,007	104.0	228,772	102.8

7	前 年 比	8	前 年 比	9	前 年 比	10	前 年 比	11	前 年 比	12	前 年 比
	(%)		(%)		(%)		(%)		(%)		(%)
84,096	102.9	104,157	97.9	83,165	110.5	81,873	101.6	81,380	108.9	87,117	97.7
595,919	102.9	700,076	102.1	783,241	103.0	865,114	102.8	946,494	103.3	1,033,611	102.8
50,171	105.9	60,745	102.2	51,324	104.4	58,013	107.4	56,513	102.1	50,947	101.4
328,420	108.3	389,165	107.3	440,489	106.9	498,502	107.0	555,015	106.5	605,962	106.0
1,827	99.8	3,761	89.5	1,654	82.3	2,090	85.8	1,994	82.2	2,030	100.4
13,196	96.4	16,957	94.8	18,611	93.5	20,701	92.7	22,695	91.6	24,725	92.3
136,094	103.9	168,663	99.2	136,143	107.7	141,976	103.6	139,887	105.6	140,094	99.0
937,535	104.6	1,106,198	103.8	1,242,341	104.2	1,384,317	104.1	1,524,204	104.2	1,664,298	103.8

7	前 年 比	8	前 年 比	9	前 年 比	10	前 年 比	11	前 年 比	12	前 年 比
	(%)		(%)		(%)		(%)		(%)		(%)
7,247	113.2	7,026	96.5	6,181	97.3	7,997	94.8	6,405	92.7	8,356	99.5
50,916	102.3	57,942	101.5	64,123	101.1	72,120	100.4	78,525	99.7	86,881	99.7
5,144	97.7	4,485	87.0	5,128	100.0	5,308	82.6	6,372	95.4	6,096	92.1
40,878	104.1	45,363	102.1	50,491	101.9	55,799	99.7	62,171	99.2	68,267	98.5
3,281	80.9	2,470	87.5	2,907	88.6	3,984	93.1	3,581	93.0	3,449	81.5
24,330	96.1	26,800	95.3	29,707	94.6	33,691	94.4	37,272	94.2	40,721	93.0
3,191	113.6	2,951	102.6	3,119	103.6	3,516	91.9	3,501	88.7	3,670	90.3
21,942	101.2	24,893	101.4	28,012	101.6	31,528	100.4	35,029	99.1	38,699	98.2
2,980	81.5	2,417	94.2	3,096	101.9	3,504	97.4	3,711	111.1	3,673	92.3
20,776	103.6	23,193	102.5	26,289	102.5	29,793	101.8	33,504	102.8	37,177	101.7
3,318	104.5	3,455	100.3	3,354	91.2	4,515	110.1	4,402	94.7	3,684	92.5
22,000	105.6	25,455	104.9	28,809	103.1	33,324	104.0	37,726	102.8	41,410	101.8
2,741	110.3	2,432	96.4	2,461	103.7	2,687	104.3	2,522	93.0	3,069	102.2
17,115	100.8	19,547	100.2	22,008	100.6	24,695	101.0	27,217	100.2	30,286	100.4
4,359	111.9	4,324	110.6	4,709	135.1	4,461	106.7	4,511	108.3	4,431	113.7
25,656	103.5	29,980	104.4	34,689	107.8	39,150	107.6	43,661	107.7	48,092	108.2
1,908	85.6	1,550	71.2	1,751	99.5	1,931	85.4	1,795	80.7	1,920	92.1
12,645	100.5	14,195	96.2	15,946	96.5	17,877	95.2	19,672	93.6	21,592	93.5
1,948	98.9	1,685	84.3	1,837	101.4	2,058	94.3	1,890	101.1	1,735	88.5
12,952	104.9	14,637	102.0	16,474	101.9	18,532	101.0	20,422	101.0	22,157	99.9
2,678	105.8	2,229	94.1	2,572	100.6	2,790	98.8	2,592	89.8	2,821	88.9
18,357	106.2	20,586	104.7	23,158	104.2	25,948	103.6	28,540	102.2	31,361	100.8
38,795	100.8	35,024	94.4	37,115	101.8	42,751	95.7	41,282	95.5	42,904	94.5
267,567	102.5	302,591	101.5	339,706	101.5	382,457	100.9	423,739	100.3	466,643	99.7

表1-6 平成24年 月別有料道路利用実績 単位:台

名称	月	1		2		3		4		5		6		
			前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比	
高知自動車道	大豊インター	月計	43,086	94.3	42,230	92.3	48,118	94.3	46,680	96.7	51,321	99.9	44,341	100.5
		累計	43,086	94.3	85,316	93.3	133,434	93.7	180,114	94.4	231,435	95.6	275,776	96.3
	南国インター	月計	116,195	97.9	109,575	96.5	133,389	101.1	123,477	97.8	134,915	99.5	114,517	96.7
		累計	116,195	97.9	225,770	97.2	359,159	98.6	482,636	98.4	617,551	98.7	732,068	98.3
	高知インター	月計	230,160	63.6	212,243	63.2	252,262	63.1	234,850	62.2	252,872	63.2	223,818	69.7
		累計	230,160	63.6	442,403	63.4	694,665	63.3	929,515	63.0	1,182,387	63.0	1,406,205	64.0
	伊野インター	月計	107,201	51.7	101,437	51.5	117,134	40.5	105,784	49.3	113,200	51.8	102,997	59.4
		累計	107,201	51.7	208,638	51.6	325,772	47.0	431,556	47.5	544,756	48.3	647,753	49.8
	土佐インター	月計	63,364	42.7	59,850	42.2	68,644	41.0	63,626	40.1	69,057	42.6	62,863	51.5
		累計	63,364	42.7	123,214	42.4	191,858	41.9	255,484	41.5	324,541	41.7	387,404	43.0
	須崎東インター	月計	147,613	59.3	135,340	57.5	162,070	56.8	151,339	56.1	170,256	59.2	142,662	65.0
		累計	147,613	59.3	282,953	58.5	445,023	57.8	596,362	57.4	766,618	57.8	909,280	58.8
	計	月計	707,619	62.6	660,675	61.8	781,617	59.0	725,756	60.7	791,621	63.0	691,198	69.2
		累計	707,619	62.6	1,368,294	62.2	2,149,911	61.0	2,875,667	60.9	3,667,288	61.4	4,358,486	62.5

表1-7 平成24年 月別駐車場利用実績

名称	月	1		2		3		4		5		6	
			前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
高知公園駐車場 (県外バス)	月計	181	102.3	278	74.7	272	85.3	301	140.0	279	94.3	273	83.2
	累計	181	102.3	459	83.6	731	84.2	1,032	95.3	1,311	95.1	1,584	92.8
龍河洞駐車場 (県外バス)	月計	22	129.4	45	125.0	24	114.3	35	194.4	21	58.3	42	113.5
	累計	22	129.4	67	126.4	91	123.0	126	137.0	147	114.8	189	114.5
桂浜駐車場 (全車)	月計	11,213	81.5	8,712	72.3	16,028	100.8	16,732	87.3	23,060	85.5	10,005	73.0
	累計	11,213	81.5	19,925	77.2	35,953	86.2	52,685	86.5	75,745	86.2	85,750	84.4
計	月計	11,416	81.8	9,035	72.5	16,324	100.5	17,068	88.0	23,360	85.5	10,320	73.3
	累計	11,416	81.8	20,451	77.4	36,775	86.2	53,843	86.8	77,203	86.4	87,523	84.6

7	前 年 比	8	前 年 比	9	前 年 比	10	前 年 比	11	前 年 比	12	前 年 比
326,911	96.7	384,432	97.0	431,953	97.4	482,002	97.8	532,834	98.1	579,949	97.8
127,137	103.7	147,659	101.1	122,632	101.8	130,728	103.7	132,493	104.2	129,058	103.9
859,205	99.1	1,006,864	99.4	1,129,496	99.6	1,260,224	100.1	1,392,717	100.4	1,521,775	100.7
246,325	102.3	285,865	100.7	236,961	100.3	249,776	101.1	244,236	102.7	249,543	102.5
1,652,530	67.8	1,938,395	71.2	2,175,356	73.5	2,425,132	75.7	2,669,368	77.5	2,918,911	79.2
111,795	98.1	127,300	98.1	107,906	98.8	115,844	100.6	112,467	99.8	115,388	100.6
759,548	53.7	886,848	57.4	994,754	60.2	1,110,598	62.8	1,223,065	65.0	1,338,453	67.1
68,372	101.4	74,764	99.2	65,071	103.3	69,929	101.1	67,925	104.7	73,797	107.2
455,776	47.1	530,540	50.9	595,611	53.8	665,540	56.6	733,465	59.1	807,262	61.7
162,722	103.2	197,346	100.2	156,440	103.6	163,864	102.7	160,115	103.9	176,604	109.8
1,072,002	62.9	1,269,348	66.8	1,425,788	69.5	1,589,652	71.9	1,749,767	74.0	1,926,371	76.3
767,486	101.7	890,455	100.0	736,531	101.3	780,190	101.8	768,068	102.8	791,505	103.9
5,125,972	66.3	6,016,427	69.8	6,752,958	72.3	7,533,148	74.5	8,301,216	76.4	9,092,721	78.2

7	前 年 比	8	前 年 比	9	前 年 比	10	前 年 比	11	前 年 比	12	前 年 比
1,799	93.1	2,000	94.2	2,150	90.9	2,469	90.1	2,810	85.7	2,987	85.8
44	129.4	27	128.6	21	38.9	39	55.7	43	116.2	13	76.5
233	117.1	260	118.2	281	102.6	320	93.0	363	95.3	376	94.5
16,054	100.7	32,086	92.9	17,648	92.5	17,950	99.7	15,697	100.4	9,284	92.9
101,804	86.6	133,890	88.1	151,538	88.6	169,488	89.6	185,185	90.4	194,469	90.6
16,313	100.7	32,314	93.0	17,819	92.0	18,308	99.2	16,081	99.2	9,474	92.7
103,836	86.8	136,150	88.2	153,969	88.6	172,277	89.6	188,358	90.4	197,832	90.5

(参 考)

四国3県の施設入込状況

単位：千人

県	施設名	年		
		平成24年	平成23年	対前年比 (%)
徳島県	大鳴門橋	8,373	8,406	99.6%
	渦の道	523	535	97.8%
	あすたむらんど	419	444	94.4%
	吉野川ハイウェイオアシス	984	967	101.8%
	祖谷のかずら橋	317	310	102.3%
香川県	栗林公園	583	555	105.0%
	屋島	529	485	109.1%
	琴平	2,425	2,749	88.2%
	小豆島	1,059	1,044	101.4%
愛媛県	松山城ロープウェイリフト	981	961	102.1%
	道後温泉本館及び別館	1,060	1,082	98.0%
	とべ動物園	503	535	94.0%
	マイントピア別子	419	427	98.1%
	愛媛県総合科学博物館	243	207	117.4%

※通過台数

Ⅲ 県外観光客動態調査

1 概要

● はじめに

観光施策の基礎資料とすることを目的として、高知県内の観光地で四季ごとにアンケート調査を実施し、観光客の動向を把握するとともに調査結果の分析を行った。

調査精度の均一化を図るため、調査の時間帯を10時から17時まで偏りがないように調整しながら、1グループに1名（1回答）を徹底した対面聞き取り方式により調査を実施した。

とりまとめにあたっては、アンケート調査に基づく全般的な傾向等について記載するとともに、それぞれの調査項目について、その特徴的な事項の説明を加えた。

なお、暦年調査のため、参考資料は冬春夏秋の順に表示している。

● 調査場所（10ヶ所）

室戸岬、モネの庭、アンパンマンミュージアム、龍河洞、高知城、桂浜、土佐和紙工芸村、黒潮本陣、四万十川観光開発遊覧船乗場、足摺岬

● 調査時期

- ・ 冬期：平成23年12月31日～平成24年3月3日
- ・ 春期：平成24年4月28日～平成24年5月26日
- ・ 夏期：平成24年8月4日～平成24年9月2日
- ・ 秋期：平成24年10月6日～平成24年11月4日

※冬期の四万十川観光開発遊覧船乗場、夏期のモネの庭、アンパンマンミュージアムでは、1日で十分なサンプル数を得ることができず、2日間調査を行っている。

● 平成 24 年度観光統計調査の特徴

県内旅行日数は前年同様の 2.0 日。

日帰り客と宿泊客の割合(表 3-1)は、「1泊2日」旅行が前年比 3.0 ポイント増の 41.9% となり、「3泊4日」が 0.2 ポイント増の 4.3%、「4泊5日」が 0.1 ポイント増の 2.1% となり、「日帰り」旅行が 1.1 ポイント減の 35.9%、「2泊3日」が 1.6 ポイント減の 13.3%、「5泊6日」以上が 0.6 ポイント減の 2.5% となった。結果的に、県内旅行の平均日数(図 5-1)は前年同様の 2.0 日となった。

中四国からの入込割合が増加。わざわざ高知で宿泊。

発地ブロック別入込割合(参考 3)では、21 年度調査から減少傾向にあった中四国からの旅行者が増加した。「四国」からの旅行者は、前年に比べて 3.2 ポイント増加、「中国」からの旅行者は 1.1 ポイント増加した。

また、発地別県内旅行日数割合(参考 8)を見ると、前年に比べ、中四国からの旅行者の「日帰り」割合が減少し、「1泊2日」割合が増加しており、「日帰り」が可能な地域からの旅行者の宿泊が増加している。

平均消費額は 1,523 円の増加。飲食費の増加が目立つ。

県内平均消費額(図 10-1)は、26,065 円で、前年比 1,523 円の増加となった。その内訳(参考 13)を見ると、「飲食費」が前年比で約 790 円増加、「土産代」が約 550 円増加、「交通費」が約 330 円増加、「宿泊費」が約 140 円増加、入場料を含む「その他」が約 280 円減少となった。

また、飲食費は年代別消費額費目別割合(表 10-4)で横ばいとなった 20 代と 40 代をのぞくと、すべての年代で増加となっていることから、旅行者の食への関心の高さがうかがえる。

旅行形態は「家族」が減少。「友人知人」が増加へ。

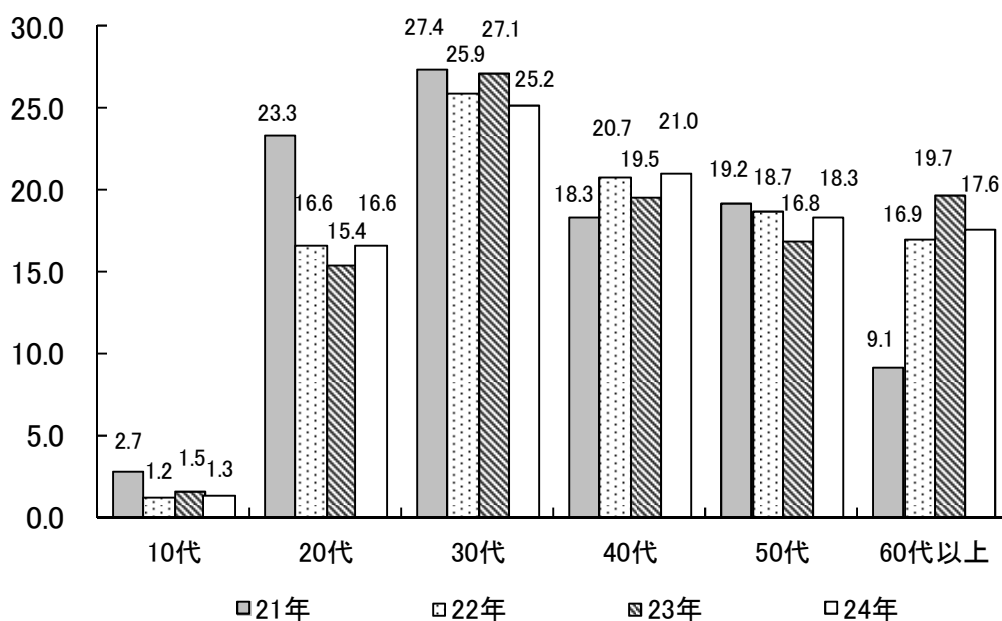
年代別旅行形態割合(表 8-1)が、前年と比較すると「家族」が全体で 7.4 ポイント減少し、「友人知人」が 4.5 ポイント増加となった。年代別に見ると、「家族」がすべての年代で減少、「友人知人」は 20 代をのぞいたすべての年代で増加した。

2 年代別入込

(表 2-1) 年代別旅行者割合(上段:件 下段:%) [24 年、過去 3 年間]

年代 \ 年	21年 (n=2362)	22年 (n=2967)	23年 (n=2929)	24年 (n=2869)	対前年比 24年/23年
10 代	64	36	44	38	86.7%
	2.7	1.2	1.5	1.3	
20 代	551	494	452	476	107.8%
	23.3	16.6	15.4	16.6	
30 代	646	768	794	722	93.0%
	27.4	25.9	27.1	25.2	
40 代	432	615	570	601	107.7%
	18.3	20.7	19.5	21.0	
50 代	453	554	492	526	108.9%
	19.2	18.7	16.8	18.3	
60代以上	216	500	577	506	89.3%
	9.1	16.9	19.7	17.6	

(図 2-2) 年代別旅行者割合(%) [24 年、過去 3 年間]



(参考1) 年代別性別旅行者割合(上段:件 下段:%) [24年、過去2年間]

年代	平成22年 (n=2967)		平成23年 (n=2929)		平成24年 (n=2869)	
	男	女	男	女	男	女
10代	16	20	27	17	23	15
	44.4	55.6	61.4	38.6	60.5	39.5
20代	251	243	244	208	269	207
	50.8	49.2	54.0	46.0	56.5	43.5
30代	465	303	446	348	442	280
	60.5	39.5	56.2	43.8	61.2	38.8
40代	406	209	349	221	392	209
	66.0	34.0	61.2	38.8	65.2	34.8
50代	361	193	312	180	329	197
	65.2	34.8	63.4	36.6	62.6	37.4
60代以上	328	172	367	210	335	171
	65.6	34.4	63.6	36.4	66.2	33.8
計	1827	1140	1745	1184	1790	1079
	61.6	38.4	59.6	40.4	62.4	37.6

年代別旅行者割合をみると、対前年比では、20代、40代、50代が増加し、10代、30代、60代以上が減少した。

今回調査だけで年代別割合をみると、30代が25.2%と最も多く、次いで40代の21.0%、50代の18.3%となっている。

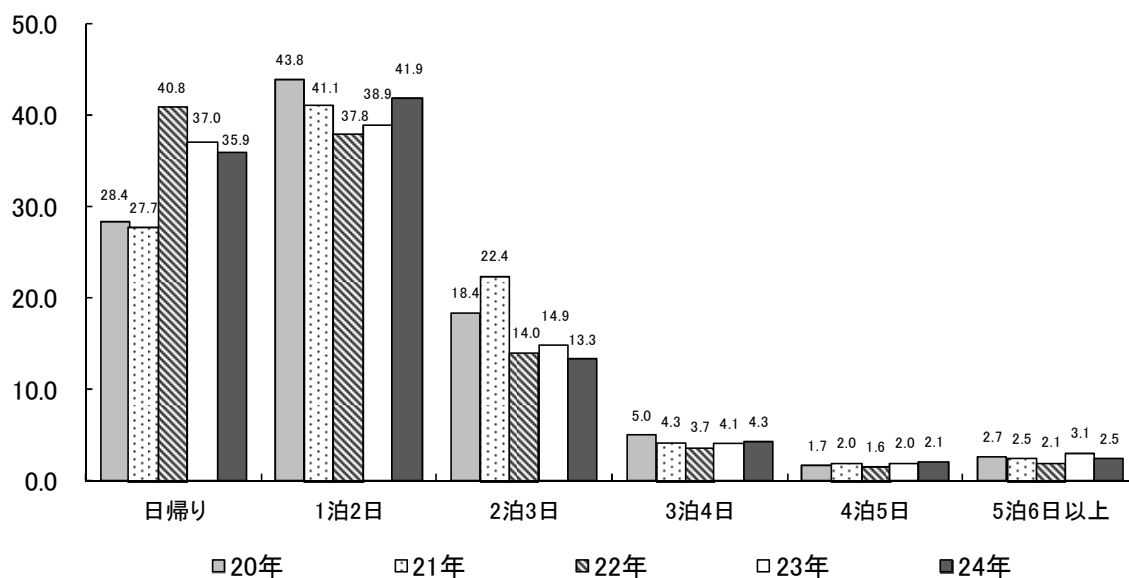
男女比は、男性が62.4%、女性が37.6%となっており、女性の割合が前年調査から2.8ポイント減少している。年代別でみた男性の割合は、60代以上の66.2%が最も多く、20代の56.5%が最も少なくなっている。

3 日帰り客と宿泊客

(表 3-1) 年次別日帰り客・宿泊客割合(上段:件 下段:%) [24 年、過去 4 年間]

年	旅行日数					
	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日以上
20年 (n=2352)	668	1029	432	118	41	64
	28.4	43.8	18.4	5.0	1.7	2.7
21年 (n=2362)	655	971	528	102	48	58
	27.7	41.1	22.4	4.3	2.0	2.5
22年 (n=2967)	1212	1123	415	109	47	61
	40.8	37.8	14.0	3.7	1.6	2.1
23年 (n=2929)	1084	1140	437	119	58	91
	37.0	38.9	14.9	4.1	2.0	3.1
24年 (n=2869)	1029	1201	381	125	61	72
	35.9	41.9	13.3	4.3	2.1	2.5

(図 3-2) 年次別日帰り客・宿泊客割合(%) [24 年、過去 4 年間]



(表 3-3) 四季別日帰り客・宿泊客割合(上段:件 下段:%) [24 年、23 年]

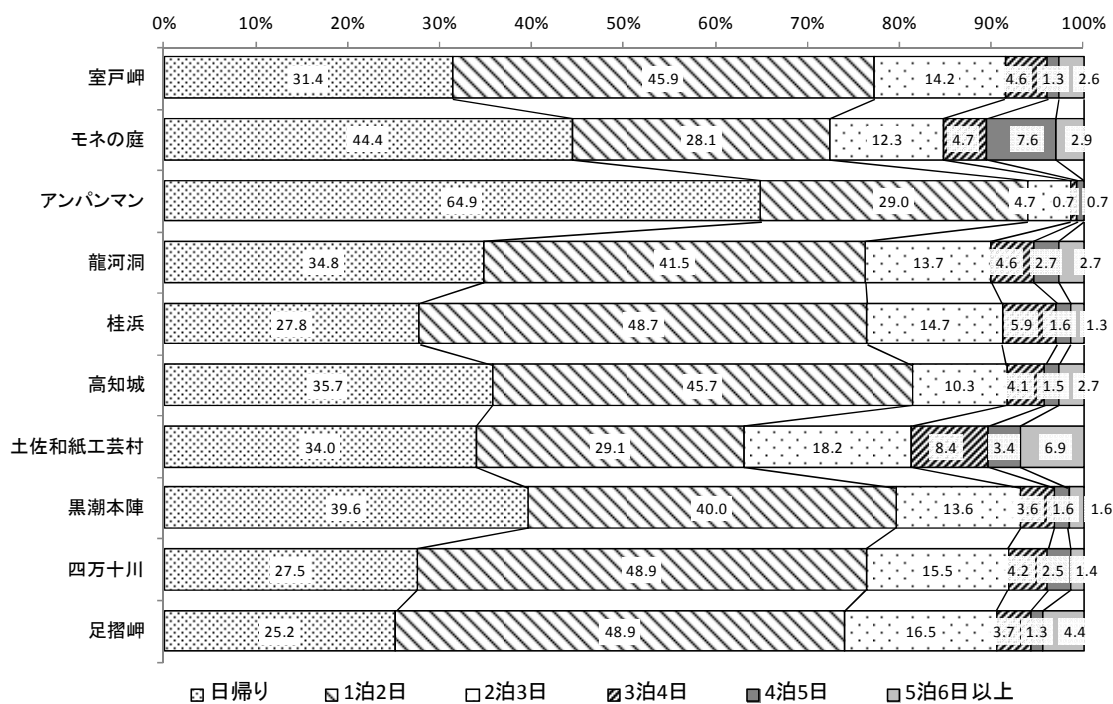
		日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日以上
冬	23年	289 41.5	245 35.2	90 12.9	33 4.8	13 1.9	26 3.7
	24年	217 37.4	242 41.6	64 11.0	30 5.2	14 2.4	14 2.4
春	23年	313 37.5	330 39.5	138 16.5	22 2.6	16 1.9	17 2.0
	24年	305 39.6	319 41.4	94 12.2	22 2.9	13 1.7	17 2.2
夏	23年	204 27.9	300 41.0	135 18.5	42 5.8	20 2.7	30 4.1
	24年	217 28.4	321 42.0	118 15.4	50 6.5	26 3.4	33 4.3
秋	23年	278 41.7	265 39.8	74 11.1	22 3.3	9 1.4	18 2.7
	24年	290 38.5	319 42.4	105 13.9	23 3.0	8 1.1	8 1.1

日帰り客と宿泊客の割合を平成 20 年度の調査から通してみると、「4泊5日」旅行の割合は過去最大となり、「2泊3日」旅行の割合は過去最低となっている。

前年との比較では、「日帰り」が 1.1 ポイント減、「1泊2日」が 3.0 ポイント増、「2泊3日」が 1.6 ポイント減、「3泊4日」が 0.2 ポイント増、「4泊5日」が 0.1 ポイント増などと『宿泊客割合の増加』傾向が強まっている。

日帰り客と宿泊客割合の四季別データを前年比較すると、冬期は「1泊2日」が前年より 6.4 ポイント増と目立って多くなっている。春期は「日帰り」が 2.1 ポイント増、宿泊客では「1泊2日」が 1.9 ポイント増、「2泊3日」が 4.3 ポイント減少している。夏期は「2泊3日」の割合が 3.1 ポイント減少している。秋期は「日帰り」が 3.2 ポイントの減少、宿泊客では「2泊3日」が 2.8 ポイント増という結果となっている。

(参考 2) 調査地別日帰り客・宿泊客割合(%) [24 年]



調査地別で日帰り客と宿泊客の割合（参考 2）をみると、アンパンマンミュージアムでは「日帰り」の割合が半数を超え、64.9%を占めている。一方で桂浜、四万十川、足摺岬では、「日帰り」が30%を下回っている。また、土佐和紙工芸村では、「2泊3日」以上の割合が、他の調査地点と比べて目立って多く、合わせて36.9%となっている。

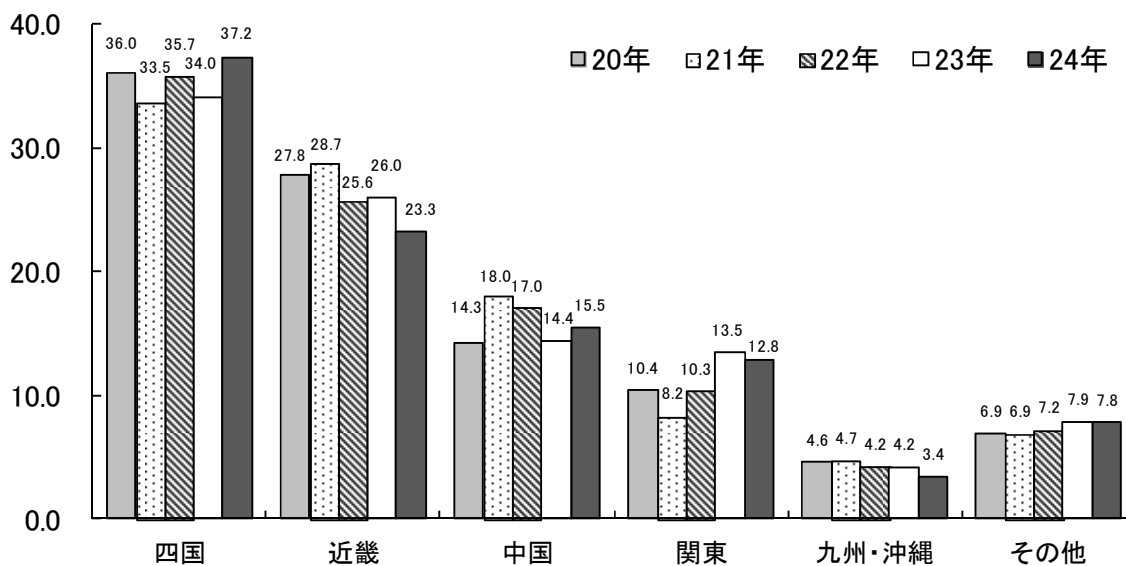
4 発地ブロック別入込

(表 4-1) 発地ブロック別入込割合(上段:件 下段:%) [24 年、過去 4 年間]

	四国	近畿	中国	関東	九州・沖縄	その他
20年	847	653	336	244	109	163
(n=2352)	36.0	27.8	14.3	10.4	4.6	6.9
21年	791	679	426	193	111	162
(n=2362)	33.5	28.7	18.0	8.2	4.7	6.9
22年	1059	759	505	306	124	214
(n=2967)	35.7	25.6	17.0	10.3	4.2	7.2
23年	995	762	423	395	124	230
(n=2929)	34.0	26.0	14.4	13.5	4.2	7.9
24年	1066	669	446	368	97	223
(n=2869)	37.2	23.3	15.5	12.8	3.4	7.8

※四国は高知県を除く(以下この項において同じ)。

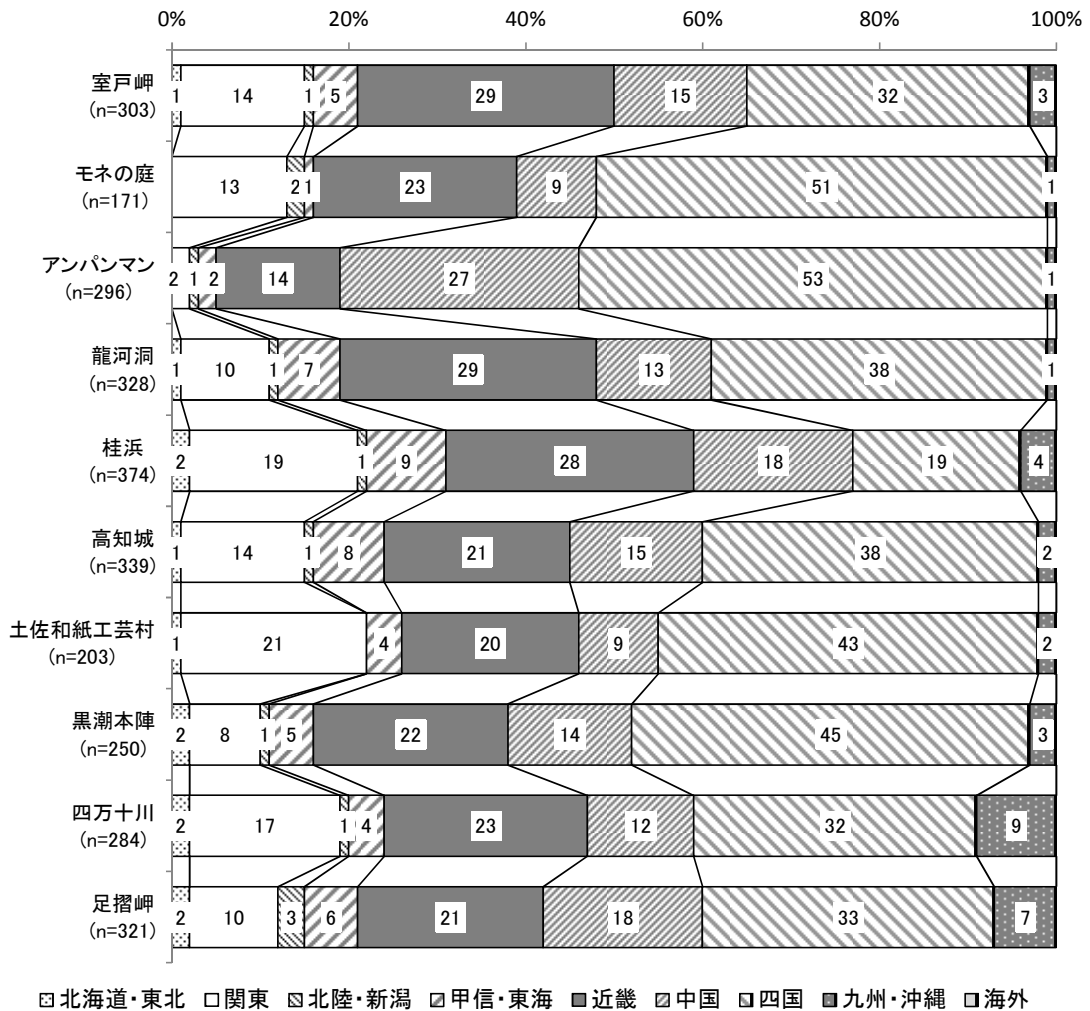
(図 4-2) 発地ブロック別入込割合(%) [24 年、過去 4 年間]



(参考 3) 発地ブロック別入込割合(上段:件 下段:%) [24 年、過去 4 年間 全地区データ]

	四国	近畿	中国	関東	九州・沖縄	甲信・東海	北陸・新潟	東北	北海道	海外
20年	847	653	336	244	109	123	18	13	9	0
(n=2352)	36.0	27.8	14.3	10.4	4.6	5.2	0.8	0.5	0.4	0.0
21年	791	679	426	193	111	117	20	20	5	0
(n=2362)	33.5	28.8	18.0	8.2	4.7	5.0	0.8	0.8	0.2	0.0
22年	1059	759	505	306	124	165	26	16	7	0
(n=2967)	35.7	25.6	17.0	10.3	4.2	5.6	0.9	0.5	0.2	0.0
23年	995	762	423	395	124	157	27	21	20	5
(n=2929)	34.0	26.0	14.4	13.5	4.2	5.4	0.9	0.7	0.7	0.2
24年	1066	669	446	368	97	154	32	20	17	0
(n=2869)	37.2	23.3	15.5	12.8	3.4	5.4	1.1	0.7	0.6	0.0

(参考 4) 調査地別発地ブロック別入込割合(%) [24 年]



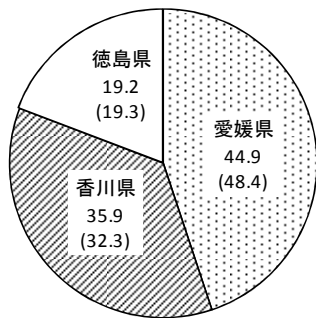
発地ブロック別入込割合をみると、減少傾向にあった中国地方からの旅行者の割合が3年ぶりに増加している。四国（高知県を除く：以下同様）からの旅行者は過去5年間の中でもっとも多くなっている。（参考3）

前年との比較では、四国が3.2ポイント増、中国が1.1ポイント増となり、近畿が2.7ポイント減、九州・沖縄が0.8ポイント減、関東が0.7ポイント減となっている。

調査地別での入込割合を発地ブロックで見ると（参考4）、四国からの入込がアンパンマンミュージアムでは53%、モネの庭で51%と半数を超えている。四国・中国・近畿の近隣3ブロック合計で占める割合をみると、アンパンマンミュージアム94%、モネの庭83%、黒潮本陣81%、龍河洞の80%などが多くなっている。人口の多い関東・近畿ブロック合計では、桂浜が47%と最も多く、室戸岬の43%、土佐和紙工芸村が41%、四万十川が40%と続いている。

なお、調査地別の入込割合では、四国が9地点、近畿が1地点で一位となっている。同二位は、近畿が7地点、関東が2地点中国と四国がそれぞれ1地点となっている。（桂浜は関東と四国が同率2位）

(図 4-3) ブロック別・四国(%)

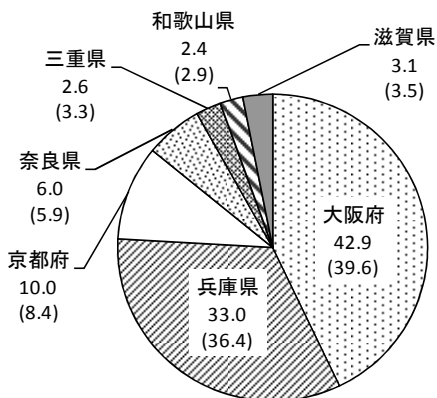


()内の数値は 23 年

前年と比べ、愛媛が 3.5 ポイント減、徳島が 0.1 ポイント減、香川が 3.6 ポイント増となった。

愛媛は全体の入込割合で一位、また 5 つの調査地において入込割合の一位となり、特に土佐和紙工芸村では 30% を占めた。香川は全体の二位、また 4 つの調査地において入込割合の一位となっている。徳島は全体の六位という結果となっている (参考 5)。

(図 4-4) ブロック別・近畿(%)

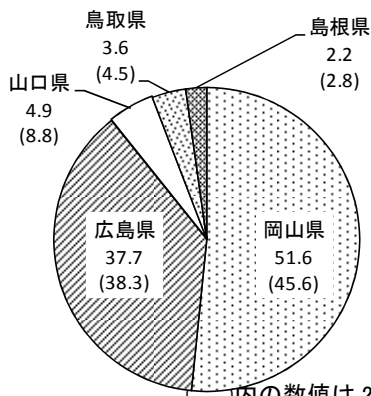


()内の数値は 23 年

前年と比べ、大阪が 3.3 ポイント増、京都が 1.6 ポイント増、奈良が 0.1 ポイント増となった。一方、兵庫が 3.4 ポイント減、三重が 0.7 ポイント減、和歌山が 0.5 ポイント減、滋賀は 0.4 ポイント減となった。大阪と兵庫の 2 府県で 75.9% と、近畿ブロックの四分之三を占めている。

大阪は全体の入込割合で三位、桂浜と室戸岬の一位、四万十川で二位となっている。兵庫は全体の五位、調査地別では龍河洞、桂浜、室戸岬などで多くなっている (参考 5)。

(図 4-5) ブロック別・中国(%)



()内の数値は 23 年

前年と比べ、岡山が 6.0 ポイント増。山口が 3.9 ポイント減、鳥取が 0.9 ポイント減、広島と島根が 0.6 ポイント減となっている。岡山が増加し、他 4 県はすべて減少となっている。岡山と広島の 2 県で 89.3% と、中国ブロックの大半を占めている。

岡山は全体の入込割合で四位、調査地別では桂浜で二位となっている。広島は全体の七位、調査地別では足摺岬、アンパンマンミュージアムなどで多いという結果となっている (参考 5)。

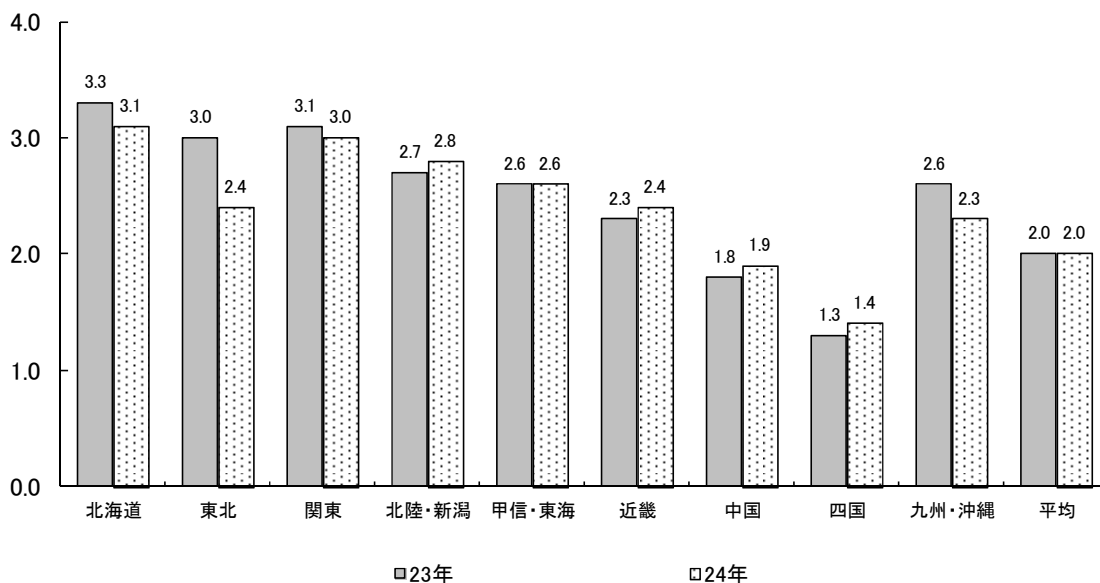
(参考5) 調査地別発地都道府県入込割合(件) [24年]

発地	調査地	調査地											全体	順位
		室戸岬	モネの庭	アンパンマン	龍河洞	桂浜	高知城	土佐和紙工芸村	黒潮本陣	四万十川	足摺岬			
県外合計		303	171	296	328	374	339	203	250	284	321	2869	-	
北海道・東北	北海道	0	0	0	3	1	3	0	2	5	3	17		
	青森県	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2		
	岩手県	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	4		
	宮城県	1	0	0	0	1	0	1	1	0	3	7		
	秋田県	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2		
	山形県	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
	福島県	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	4		
北海道・東北計		3	0	0	3	8	4	2	5	6	6	37	-	
関東	茨城県	2	0	0	0	5	2	0	0	3	2	14		
	栃木県	0	1	0	1	2	0	0	0	3	0	7		
	群馬県	0	0	0	1	2	3	1	0	2	0	9		
	埼玉県	7	7	1	3	11	5	6	0	8	4	52		
	千葉県	6	1	0	5	14	8	7	3	3	1	48		
	東京都	21	7	3	15	26	22	19	15	17	18	163	8位	
	神奈川県	6	7	3	9	11	7	10	2	13	7	75	10位	
関東計		42	23	7	34	71	47	43	20	49	32	368	-	
北陸・新潟	新潟県	0	0	0	1	2	0	0	0	1	1	5		
	富山県	0	1	0	2	1	1	0	1	0	1	7		
	石川県	1	0	1	1	1	2	0	0	0	7	13		
	福井県	0	2	1	0	0	0	0	1	1	2	7		
北陸・新潟計		1	3	2	4	4	3	0	2	2	11	32	-	
甲信・東海	山梨県	0	0	0	0	2	3	0	0	2	1	8		
	長野県	2	0	0	0	3	0	0	0	0	3	8		
	岐阜県	1	1	3	2	1	6	0	0	1	0	15		
	静岡県	2	0	0	2	4	3	3	3	3	2	22		
	愛知県	11	1	2	18	25	13	5	9	5	12	101	9位	
甲信・東海計		16	2	5	22	35	25	8	12	11	18	154	-	
近畿	三重県	1	0	1	1	3	4	1	1	3	2	17		
	滋賀県	3	0	0	3	3	3	1	6	0	2	21		
	京都府	6	4	5	10	11	7	8	2	5	9	67	11位	
	大阪府	42	23	12	37	51	27	20	19	28	28	287	3位	
	兵庫県	29	11	17	30	30	26	11	22	24	21	221	5位	
	奈良県	6	0	3	8	7	5	0	6	3	2	40		
	和歌山県	2	1	4	5	1	0	0	0	1	2	16		
近畿計		89	39	42	94	106	72	41	56	64	66	669	-	
中国	鳥取県	1	0	6	4	1	1	1	0	2	0	16		
	島根県	2	0	2	1	4	1	0	0	0	0	10		
	岡山県	26	9	42	20	37	24	6	23	14	29	230	4位	
	広島県	17	4	25	17	20	22	11	10	16	26	168	7位	
	山口県	0	3	4	1	4	3	0	1	3	3	22		
中国計		46	16	79	43	66	51	18	34	35	58	446	-	
四国	徳島県	39	25	26	24	14	33	5	13	11	15	205	6位	
	香川県	32	31	67	52	29	54	22	43	22	31	383	2位	
	愛媛県	26	31	64	48	28	43	61	57	58	62	478	1位	
四国計		97	87	157	124	71	130	88	113	91	108	1066	-	
九州・沖縄	福岡県	1	0	2	2	5	3	2	3	4	11	33		
	佐賀県	1	1	0	0	1	3	0	0	5	1	12		
	長崎県	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	4		
	熊本県	1	0	0	0	3	0	0	3	4	3	14		
	大分県	2	0	1	0	2	0	0	2	9	2	18		
	宮崎県	1	0	0	0	0	0	0	0	4	3	8		
	鹿児島県	3	0	1	0	0	1	1	0	0	1	7		
沖縄県	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1			
九州・沖縄計		9	1	4	4	13	7	3	8	26	22	97	-	
海外		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
高知県		97	229	104	72	26	61	197	153	116	76	1131	-	

5 旅行日数

5.1 発地ブロック別県内旅行日数

(図 5-1) 発地ブロック別県内旅行日数(日) [24 年、23 年]



24年の県内旅行日数の平均は、前年同様の2.0日となった。発地ブロック別にみると、北陸・新潟と近畿、中国、四国で増加、甲信・東海は横ばい、北海道と東北、関東、九州・沖縄で減少となっている。

入込上位11位までの都道府県別に県内旅行日数の割合をみると(参考6)、関東(東京・神奈川)は「1泊2日」と「2泊3日」で6割以上を占め、愛知と近畿(京都・大阪・兵庫、)中国(岡山・広島)は「1泊2日」が多くなり、四国は「日帰り」が大半を占めている。

都道府県別の旅行日数割合を前年と比較してみると(参考8)、京都府の「2泊3日」、兵庫県と徳島県の「1泊2日」は大きく増加し、逆に、愛知県の「2泊3日」、京都府の「1泊2日」、広島県と徳島県の「日帰り」などが大きく減少している。

(参考6) 発地別県内旅行日数割合(%) [24年 上位11位まで]

	東京都	神奈川県	愛知県	京都府	大阪府	兵庫県	岡山県	広島県	徳島県	香川県	愛媛県
日帰り	5.5	4.0	15.9	16.4	11.1	14.5	39.6	26.2	62.4	67.1	71.6
1泊2日	34.4	33.3	50.5	44.8	54.2	62.4	49.6	55.9	32.7	27.7	25.5
2泊3日	33.7	33.3	9.9	23.9	22.9	14.9	8.7	12.5	3.4	3.1	2.5
3泊4日	12.3	17.4	9.9	1.5	6.6	4.1	1.7	3.0	0.5	1.0	0.2
4泊5日	6.7	8.0	5.9	4.5	1.7	1.8	0.0	1.2	0.5	0.3	0.2
5泊6日以上	7.4	4.0	7.9	8.9	3.5	2.3	0.4	1.2	0.5	0.8	0.0

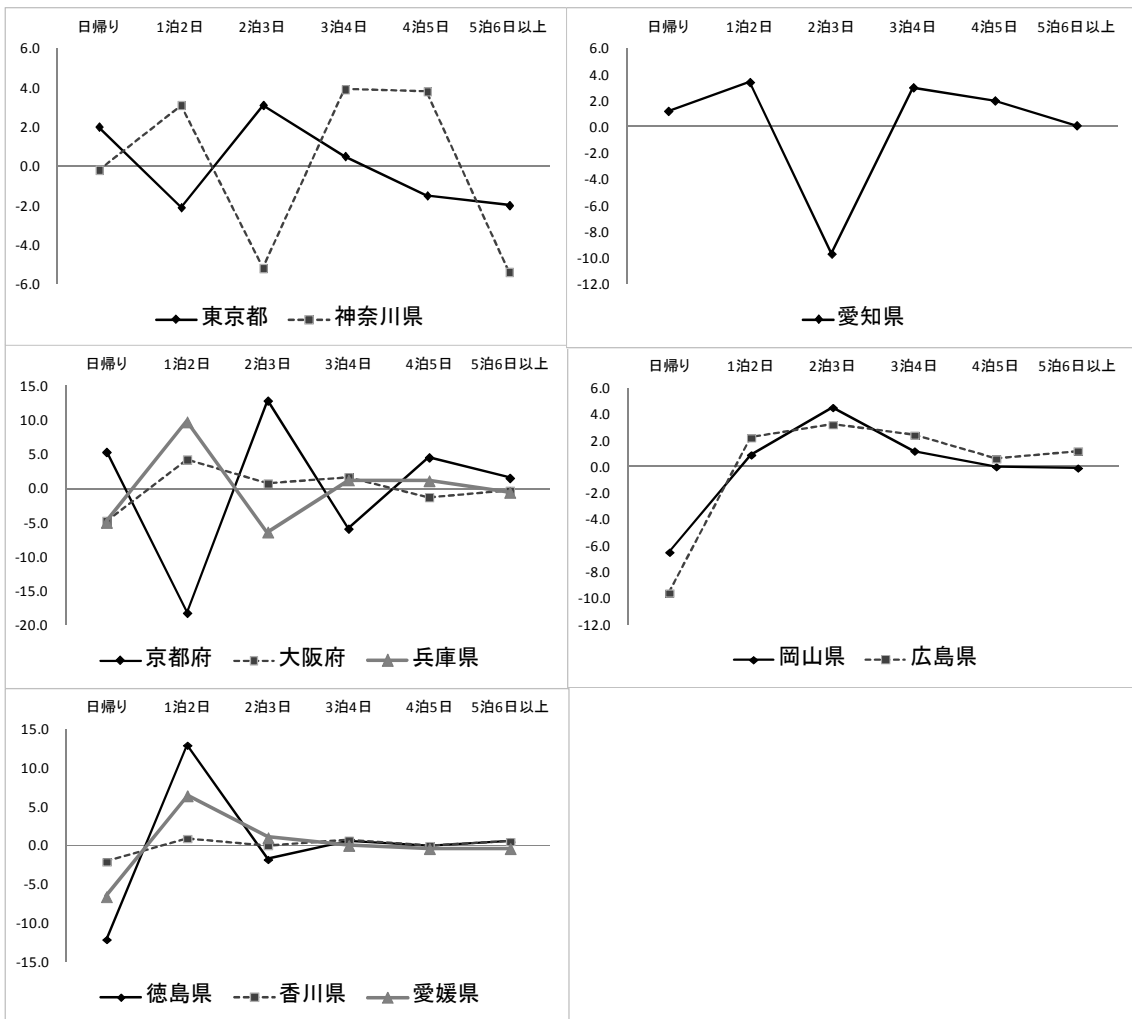
(参考 7) 発地別県内旅行日数割合(%) [23 年 上位 11 位まで]

	東京都	神奈川県	愛知県	京都府	大阪府	兵庫県	岡山県	広島県	徳島県	香川県	愛媛県
日帰り	3.5	4.2	14.7	11.1	15.9	19.5	46.1	35.8	74.5	69.2	78.2
1泊2日	36.5	30.2	47.1	63.0	50.0	52.7	48.7	53.7	19.8	26.8	19.1
2泊3日	30.6	38.5	19.6	11.1	22.2	21.3	4.2	9.3	5.2	3.1	1.5
3泊4日	11.8	13.5	6.9	7.4	5.0	2.9	0.5	0.6	0.0	0.3	0.2
4泊5日	8.2	4.2	3.9	0.0	3.0	0.7	0.0	0.6	0.5	0.3	0.6
5泊6日以上	9.4	9.4	7.8	7.4	3.9	2.9	0.5	0.0	0.0	0.3	0.4

(参考 8) 発地別県内旅行日数割合(%) [24 年と 23 年の差]

	東京都	神奈川県	愛知県	京都府	大阪府	兵庫県	岡山県	広島県	徳島県	香川県	愛媛県
日帰り	2.0	-0.2	1.2	5.3	-4.8	-5.0	-6.5	-9.6	-12.1	-2.1	-6.6
1泊2日	-2.1	3.1	3.4	-18.2	4.2	9.7	0.9	2.2	12.9	0.9	6.4
2泊3日	3.1	-5.2	-9.7	12.8	0.7	-6.4	4.5	3.2	-1.8	0.0	1.0
3泊4日	0.5	3.9	3.0	-5.9	1.6	1.2	1.2	2.4	0.5	0.7	0.0
4泊5日	-1.5	3.8	2.0	4.5	-1.3	1.1	0.0	0.6	0.0	0.0	-0.4
5泊6日以上	-2.0	-5.4	0.1	1.5	-0.4	-0.6	-0.1	1.2	0.5	0.5	-0.4

(参考 9) 発地別県内旅行日数割合(%) [24 年と 23 年の差]



5.2 年代別旅行日数

(表 5-2) 年代別県内旅行日数〔加重平均〕(日)〔24年、過去4年間〕

年代 \ 年	20年	21年	22年	23年	24年
10代	1.9	2.0	2.0	2.1	2.7
20代	2.1	2.1	1.9	2.1	2.0
30代	2.2	2.3	2.0	2.0	2.0
40代	2.4	2.3	2.0	2.1	2.1
50代	2.0	2.1	1.8	1.9	1.9
60代以上	2.1	2.1	1.9	2.1	2.0
全体	2.2	2.2	1.9	2.0	2.0

年代別の県内旅行日数は、10代が過去最高となっている。

前年との比較では、10代は0.6日増加し、20代と60代以上は0.1日の減少、その他の年代は、横ばいとなっている。

6 旅行形態別旅行目的

(表 6-1) 旅行形態別旅行目的割合(%) [24 年、過去 2 年間]

		自然見物 ・町歩き	名所旧跡 観光施設	休養・慰安	食べ物	神仏 霊場巡り	その他
1人	22年 (n=206)	15.5	25.3	2.9	1.0	7.3	48.0
	23年 (n=298)	24.8	14.1	1.7	2.7	12.8	43.9
	24年 (n=262)	14.9	21.4	3.4	1.9	4.6	53.8
家族	22年 (n=2206)	16.8	49.8	5.5	5.5	3.4	19.0
	23年 (n=2101)	28.3	34.6	4.4	7.0	3.4	22.3
	24年 (n=1842)	17.1	34.5	7.1	10.1	3.3	27.9
友人 知人	22年 (n=503)	17.1	38.3	3.2	8.1	0.8	32.5
	23年 (n=474)	27.8	26.4	4.0	10.8	1.3	29.7
	24年 (n=588)	18.9	22.6	9.4	11.2	1.5	36.4
団体	22年 (n=33)	3.0	60.6	15.2	0.0	0.0	21.2
	23年 (n=24)	8.3	50.0	4.2	4.2	8.3	25.0
	24年 (n=79)	8.9	25.3	15.2	5.1	0.0	45.5
その他	22年 (n=19)	15.8	42.0	0.0	5.3	5.3	31.6
	23年 (n=32)	9.4	21.9	0.0	0.0	9.4	59.3
	24年 (n=98)	18.4	19.4	6.1	17.4	1.0	37.7
全体	22年 (n=2967)	16.6	46.2	5.0	5.6	3.2	23.4
	23年 (n=2929)	27.5	31.1	4.0	7.1	4.1	26.2
	24年 (n=2869)	17.1	30.1	7.4	9.7	2.9	32.8

(参考 10) 旅行形態別旅行目的割合(%) [24 年、過去 2 年間 全項目]

		自然見物 ・町歩き	休養・慰安	イベント	アウトドア	スポーツ	食べ物	神仏 霊場巡り	買い物	名所旧跡 観光施設	なんとなく	帰省・仕事	その他
1人	22年	15.5	2.9	0.0	2.4	1.5	1.0	7.3	0.5	25.3	18.4	16.0	9.2
	23年	24.8	1.7	3.7	1.0	0.7	2.7	12.8	0.3	14.1	15.4	20.8	2.0
	24年	14.9	3.4	5.3	2.3	1.1	1.9	4.6	0.0	21.4	17.6	21.0	6.5
家族	22年	16.8	5.5	0.3	1.4	0.3	5.5	3.4	1.0	49.8	4.9	9.6	1.5
	23年	28.3	4.4	2.7	2.2	0.4	7.0	3.4	1.1	34.6	5.9	8.5	1.5
	24年	17.1	7.1	4.2	2.3	0.2	10.1	3.3	2.2	34.5	6.3	9.9	2.8
友人 知人	22年	17.1	3.2	0.4	3.6	0.6	8.1	0.8	0.8	38.3	19.5	5.4	2.2
	23年	27.8	4.0	4.6	3.0	0.4	10.8	1.3	0.6	26.4	14.4	6.3	0.4
	24年	18.9	9.4	5.9	3.1	1.4	11.2	1.5	1.0	22.6	15.1	5.3	4.6
団体	22年	3.0	15.2	0.0	3.0	6.1	0.0	0.0	0.0	60.6	0.0	9.1	3.0
	23年	8.3	4.2	0.0	4.2	4.2	4.2	8.3	0.0	50.0	0.0	16.6	0.0
	24年	8.9	15.2	1.3	1.3	2.5	5.1	0.0	1.2	25.3	12.7	20.2	6.3
その他	22年	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0	42.0	15.8	15.8	0.0
	23年	9.4	0.0	6.2	0.0	6.2	0.0	9.4	0.0	21.9	3.1	31.3	12.5
	24年	18.4	6.1	11.2	3.1	1.0	17.4	1.0	0.0	19.4	16.3	1.0	5.1
全体	22年	16.6	5.0	0.3	1.8	0.5	5.6	3.2	0.9	46.2	8.4	9.4	2.1
	23年	27.5	4.0	3.1	2.2	0.5	7.1	4.1	1.0	31.1	8.2	9.7	1.5
	24年	17.1	7.4	4.8	2.4	0.6	9.7	2.9	1.6	30.1	9.7	10.0	3.7

旅行目的の全体割合をみると、「名所旧跡」が前年から 1.0 ポイント減少したものの 30.1%と最も多く、次いで「自然見物」が 10.4 ポイント減で 17.1%、「帰省・仕事」が 0.3 ポイント増で 10.0%、「食べ物」が 2.6 ポイント増で 9.7%、「なんとなく（ドライブを含む）」が 1.5 ポイント増で 9.7%（参考 10）などとなっている。

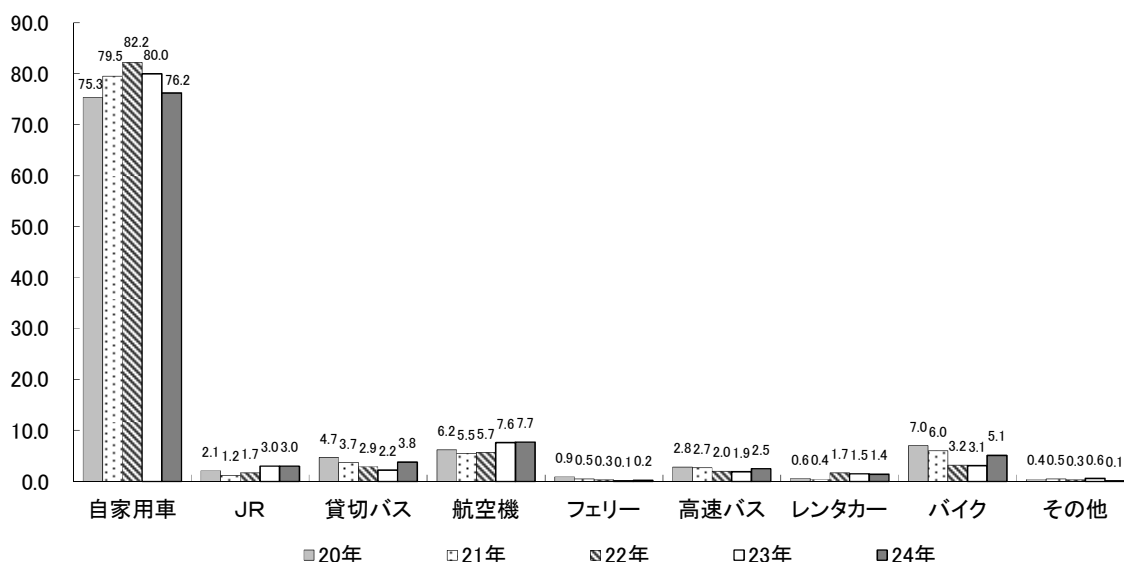
旅行形態別に旅行目的の前年比をみると、“一人旅”の「自然見物」が 9.9 ポイント減、「霊場巡り」が 8.2 ポイント減、「名所旧跡」が 7.3 ポイント増などとなっている。“家族旅行”では、「自然見物」が 11.2 ポイント減となり、“友人・知人との旅行”でも、「自然見物」が 8.9 ポイント減となっている。

7 入込利用交通機関

(表 7-1) 入込利用交通機関別割合(上段:件 下段:%) [24 年、過去 4 年間]

	自家用車	JR	貸切バス	航空機	フェリー	高速バス	レンタカー	バイク	その他
20年 (n=2352)	1771 75.3	50 2.1	110 4.7	146 6.2	21 0.9	65 2.8	14 0.6	164 7.0	11 0.4
21年 (n=2362)	1877 79.5	29 1.2	88 3.7	129 5.5	12 0.5	63 2.7	9 0.4	143 6.0	12 0.5
22年 (n=2967)	2439 82.2	51 1.7	87 2.9	168 5.7	8 0.3	60 2.0	49 1.7	95 3.2	10 0.3
23年 (n=2929)	2344 80.0	86 3.0	65 2.2	221 7.6	4 0.1	56 1.9	45 1.5	91 3.1	17 0.6
24年 (n=2869)	2186 76.2	86 3.0	108 3.8	222 7.7	5 0.2	70 2.5	41 1.4	147 5.1	4 0.1

(図 7-2) 入込利用交通機関別割合(%) [24 年、過去 4 年間]



主要観光地における入込利用交通機関は、今回の調査でも「自家用車」が76.2%と大半を占めたが、前年の80.0%からは3.8ポイント減少している。一方で、前年との比較で増加したのは、「バイク」が前年比2.0ポイント増の5.1%、「貸切バス」が1.6ポイント増の3.8%、「高速バス」が0.6ポイント増の2.5%、「航空機」が0.1ポイント増の7.7%となっている。

8 旅行形態

(表 8-1) 年代別旅行形態割合(%) [24 年、23 年]

		1人	家族	友人知人	団体	その他
10 代	23年 (n=44)	11.4	72.7	15.9	0.0	0.0
	24年 (n=38)	21.0	55.3	18.4	0.0	5.3
20 代	23年 (n=452)	13.5	38.3	47.4	0.4	0.4
	24年 (n=476)	8.8	34.4	44.8	3.4	8.6
30 代	23年 (n=794)	8.8	72.4	16.6	1.3	0.9
	24年 (n=722)	8.2	64.8	20.5	2.8	3.7
40 代	23年 (n=570)	9.5	82.6	6.7	0.5	0.7
	24年 (n=601)	12.3	70.9	11.5	3.3	2.0
50 代	23年 (n=492)	9.4	80.9	7.7	1.0	1.0
	24年 (n=526)	8.0	73.8	13.9	3.0	1.3
60代以上	23年 (n=577)	10.8	78.3	7.8	0.7	2.4
	24年 (n=506)	7.3	74.1	15.4	1.4	1.8
全 体	23年 (n=2929)	10.2	71.7	16.2	0.8	1.1
	24年 (n=2869)	9.1	64.2	20.5	2.8	3.4

(表 8-2) 年代別同行者数割合(%) [24 年、23 年]

		1人	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上
10 代	23年 (n=44)	11.4	36.4	34.1	15.9	2.2
	24年 (n=38)	21.0	47.4	26.3	5.3	0.0
20 代	23年 (n=452)	13.5	72.3	11.1	2.9	0.2
	24年 (n=476)	8.8	72.6	14.5	3.6	0.5
30 代	23年 (n=794)	8.8	60.4	24.1	5.9	0.8
	24年 (n=722)	8.2	60.4	24.6	6.4	0.4
40 代	23年 (n=570)	9.5	55.3	26.8	7.0	1.4
	24年 (n=601)	12.3	54.1	27.8	5.0	0.8
50 代	23年 (n=492)	9.4	71.3	14.2	3.7	1.4
	24年 (n=526)	8.0	66.5	18.3	5.7	1.5
60代以上	23年 (n=577)	10.8	65.8	14.4	6.8	2.2
	24年 (n=506)	7.3	66.0	16.4	8.5	1.8
全 体	23年 (n=2929)	10.2	63.8	19.2	5.6	1.2
	24年 (n=2869)	9.1	63.1	21.0	5.9	0.9

(参考 11) 年代別旅行形態・同行者数割合(件) [24 年]

	1人	家族				友人知人				団体				その他				
		2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	
10代	8	10	9	2		7								1	1			
20代	42	121	35	8		175	32	5	1	10	2	3	1	40			1	
30代	59	277	154	37		125	14	9		8	10		2	26			1	
40代	74	247	158	19	2	55	7	6	1	15	2	2	1	8			3	1
50代	42	298	70	18	2	42	22	7	2	9	2	3	2	1	2	2	2	2
60代以上	37	292	56	25	2	38	25	11	4	1	1	4	1	3	1	3	3	2

(参考 12) 年代別旅行形態・同行者数割合(%) [24 年と 23 年の差]

	1人	家族				友人知人				団体				その他				
		2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	
10代	9.7	-1.0	-10.4	-6.1		9.3		-4.5	-2.3					2.6	2.6			
20代	-4.7	-3.1	-0.2	-0.5		-6.4	3.2	0.6	-0.0	1.9	0.4	0.4	0.2	8.0			0.2	
30代	-0.6	-6.3	-1.5	0.2		2.5	0.7	0.7		0.7	1.4	-0.3	-0.4	3.1			-0.3	0.0
40代	2.8	-9.3	0.3	-3.0	0.2	4.4	0.3	0.3	-0.2	2.5	0.3	0.3	-0.4	1.2			0.3	-0.2
50代	-1.4	-9.4	1.5	0.6	0.2	3.1	2.1	0.7	0.2	1.7	0.4	0.6	-0.6	-0.2	-0.0	0.2	0.4	
60代以上	-3.4	-3.8	-0.7	0.1	0.2	3.4	3.0	0.8	0.4	0.2	0.2	0.6	-0.3	0.4	-0.5	0.2	-0.8	

※ 各年代ごとに合計 100%になるよう割合を算出し、24 年の割合から 23 年の割合を差し引いたもの。

旅行形態割合は、全体では「1人」が前年比 1.1 ポイント減の 9.1%、「家族」が 7.4 ポイント減の 64.3%、「友人知人」が 4.5 ポイント増の 20.7%、「団体」が 2.0 ポイント増の 2.8%となっている。「家族」はすべての年代で前年から減少している。

同行者数割合は、全体では「2~3人」が前年比 0.7 ポイント減の 63.1%、「4~5人」が 1.8 ポイント増の 21.0%、「6~10人」が 0.3 ポイント増の 5.9%、「11人以上」が 0.3 ポイント減の 0.9%となっている。

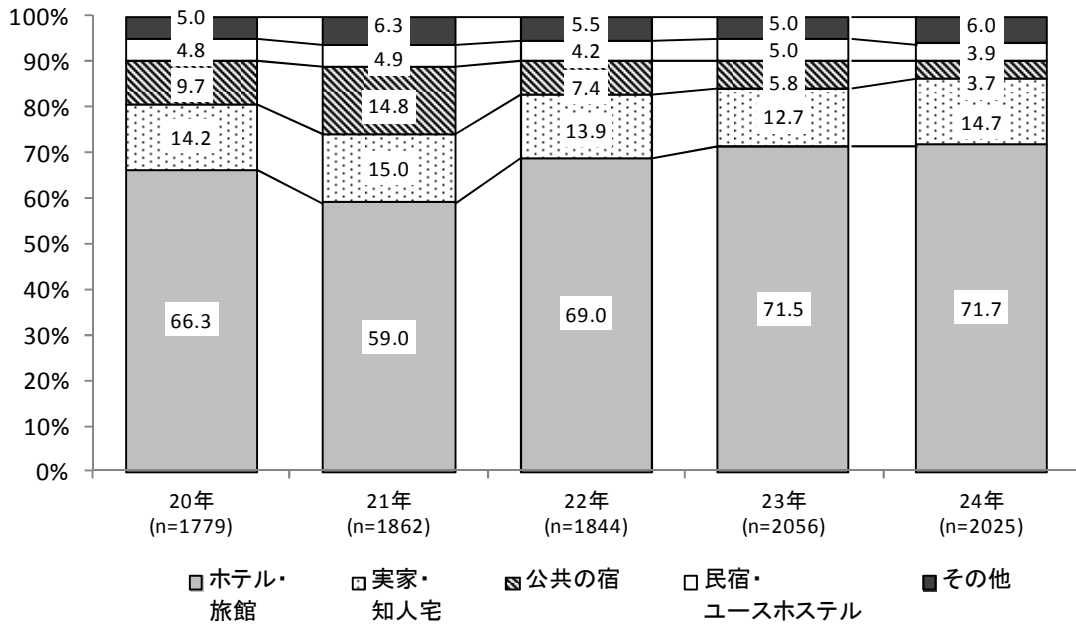
年代別に旅行形態と同行者数の関係を見ると(参考 11)、10代では「2~3人」、または「4~5人」の家族旅行で大半を占め、20代で多い組み合わせは「2~3人」の友人との旅行、または「2~3人」の家族旅行となっている。30代は「2~3人」の家族旅行が多く、次に「4~5人」の家族旅行、「2~3人」の友人との旅行と続いている。40代は「2~3人」、または「4~5人」の家族旅行が大半、50代と60代以上は「2~3人」の家族旅行が大半を占めている。

前年との比較では、10代の「4~5人」の家族旅行が 10.4 ポイント減少しており、次いで 50代の「2~3人」の家族旅行が 9.4 ポイント減、40代の「2~3人」の家族旅行が 9.3 ポイント減となっている。一方で、10代の「1人」が 9.7 ポイント増加しており、次いで 10代の「2~3人」の友人との旅行が 9.3 ポイント増などとなっている。

9 利用宿泊施設

9.1 年間

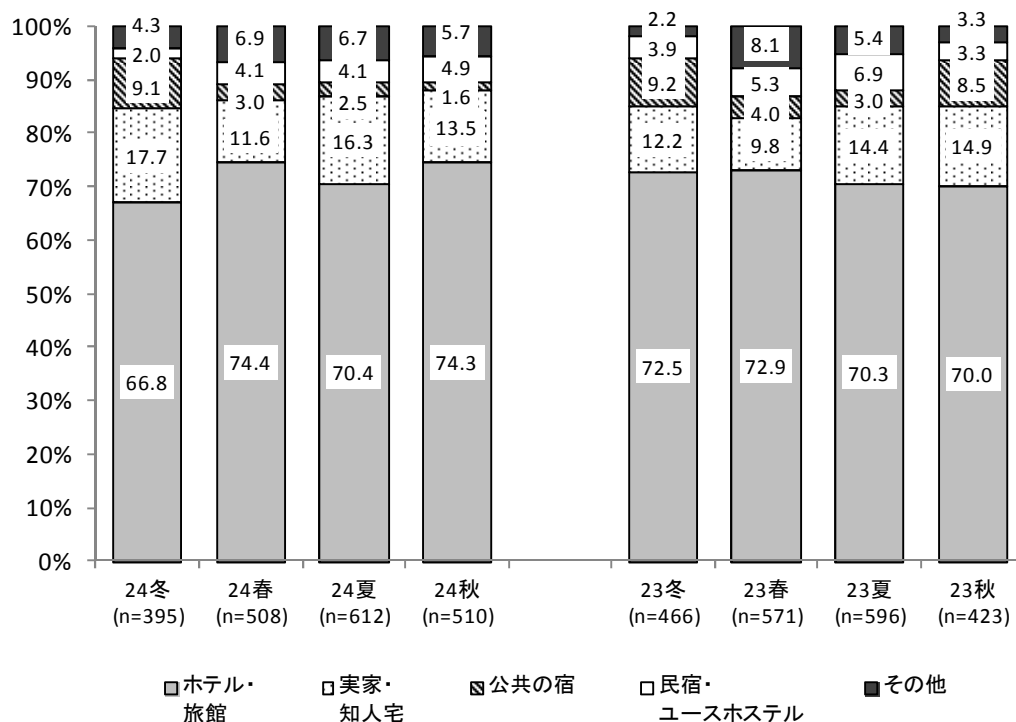
(図 9-1) 県内利用宿泊施設割合(%) [24 年、過去 4 年間]



県内で利用された宿泊施設の割合は、「ホテル・旅館」が過去最高の 71.7%で最も多くなった。次いで「実家・知人宅」が 14.7%、「民宿・ユースホステル」が 3.9%、「公共の宿」が 3.7%、「その他」が 6.0%となっている。

9.2 四季別

(図 9-2) 四季別県内利用宿泊施設割合(%) [24 年、23 年]



四季別県内利用宿泊施設の割合をみると、「ホテル・旅館」の占める割合が年間を通じて最も多くなっている。

前年と比較すると、冬期は「実家・知人宅」の割合が5.5ポイント増加している。また、「ホテル・旅館」が5.7ポイント、「民宿・ユースホステル」が1.9ポイント減少している。

春期は「実家・知人宅」が1.8ポイント、「ホテル・旅館」が1.5ポイント増加し、それ以外は減少している。

夏期は「実家・知人宅」が1.9ポイント、「その他」が1.3ポイント増加し、「民宿・ユースホステル」が2.8ポイント減少している。

秋期は「ホテル・旅館」が4.3ポイント、「その他」が2.4ポイント、「民宿・ユースホステル」が1.6ポイント増加している。また、「公共の宿」が6.9ポイント、「実家・知人宅」が1.4ポイント減少している。

9.3 年代別

(表 9-3) 年代別県内利用宿泊施設割合(%) [24 年、23 年]

		ホテル・旅館	実家・知人宅	公共の宿	民宿・ユースホステル	その他
10 代	23年 (n=29)	58.6	27.6	0.0	10.3	3.5
	24年 (n=28)	42.9	42.9	0.0	7.1	7.1
20 代	23年 (n=323)	66.9	16.4	3.1	6.5	7.1
	24年 (n=335)	69.3	15.2	2.7	3.6	9.2
30 代	23年 (n=547)	71.9	13.2	5.1	4.7	5.1
	24年 (n=490)	73.7	13.7	2.0	3.9	6.7
40 代	23年 (n=418)	73.9	11.7	4.8	4.1	5.5
	24年 (n=449)	71.3	17.4	4.0	3.3	4.0
50 代	23年 (n=335)	73.1	10.1	8.1	5.7	3.0
	24年 (n=374)	73.5	13.4	4.6	3.7	4.8
60代以上	23年 (n=404)	71.5	11.4	8.7	4.2	4.2
	24年 (n=349)	72.2	11.5	5.7	4.9	5.7

年代別利用宿泊施設割合を前年と比較すると、「ホテル・旅館」の割合は、“10代”と“40代”をのぞく年代で増加し、“10代”は15.7ポイント、“40代”は2.6ポイント減少している。「実家・知人宅」は、1.2ポイント減の“20代”をのぞくすべての年代で増加し、「公共の宿」は利用の無かった“10代”をのぞくすべての年代で減少している。

「民宿・ユースホステル」は、0.7ポイント増加の“60代以上”をのぞく年代で減少している。

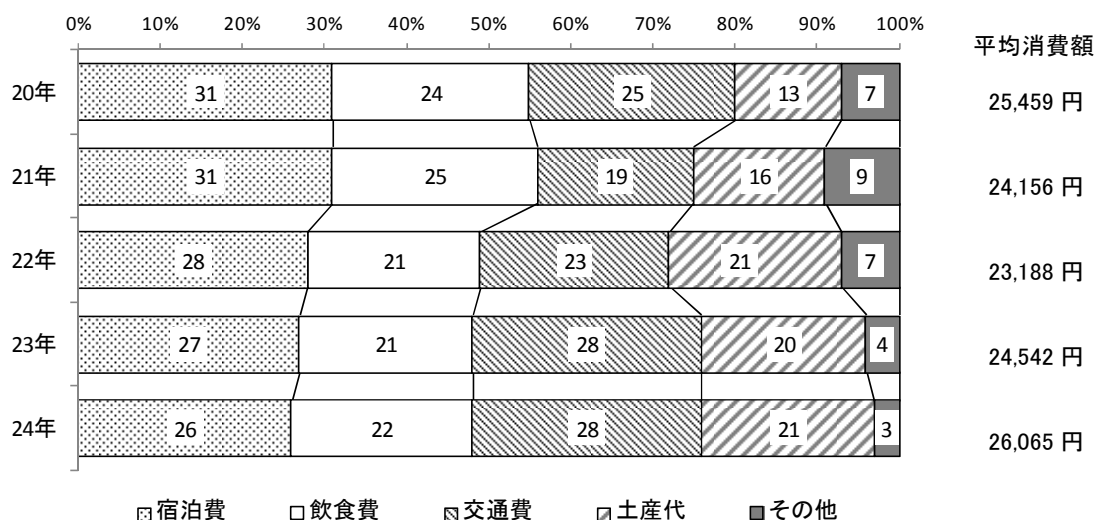
サンプル数の少ない“10代”をのぞく年代では、前年比で10ポイント以上の増減はなく、前年と同様の傾向となっている。

10 県内消費額

10.1 県内消費額費目別割合・平均消費額

10.1.1 年間

(図 10-1) 県内消費額費目別割合(%)、同平均消費額(円) [24 年、過去 4 年間]



(参考 13) 県内平均消費額費目別内訳(円) [24 年、過去 2 年間]

	宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他
22年	6,490	4,948	5,345	4,909	1,496
23年	6,540	5,064	6,990	4,911	1,037
24年	6,679	5,858	7,315	5,458	755

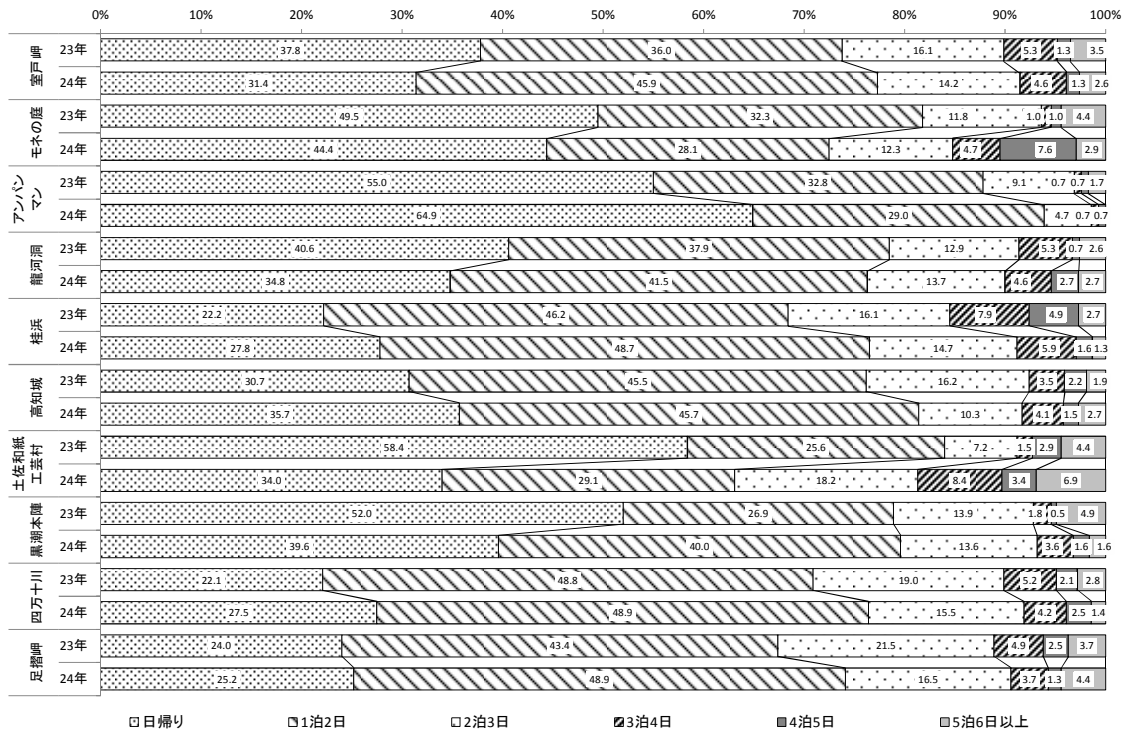
県内消費額の年間平均金額は、前年比 1,523 円の増加で 26,065 円と、平成 20 年度以降の 5 年間で最高となった。費目別の割合では、「宿泊費」が 5 年間で最低、「土産代」と「交通費」が最高となっている。しかし、前年と比較した場合、いずれの費目も 1 ポイント以内の増減であり、大きな変化はなかった。

費目別の平均消費額をみると(参考 13)、「宿泊費」が約 140 円増、「飲食費」が約 790 円増、「交通費」が約 330 円増、「土産代」が約 550 円増、「その他」が約 280 円減という結果となっている。

(参考 14) 調査地別県内平均消費額(円) [24 年、23 年]

調査地	室戸岬	モネの庭	アンパンマン	龍河洞	桂浜	高知城	土佐和紙工芸村	黒潮本陣	四万十川	足摺岬
23年	25,422	20,569	18,010	22,919	29,064	26,924	16,690	21,387	30,122	28,517
24年	28,127	24,571	17,381	27,321	28,903	26,150	29,094	24,671	25,213	28,674
前年との差	2,705	4,002	▲ 629	4,402	▲ 161	▲ 774	12,404	3,284	▲ 4,909	157

(参考 15) 調査地別日帰り客・宿泊客割合(%) [24 年、23 年]



調査地別の年間平均消費額は (参考 14)、「土佐和紙工芸村」が 29,094 円で最も高く、「アンパンマンミュージアム」が 17,381 円で最も低くなった。

前年と比較すると、「土佐和紙工芸村」は日帰り客の割合が減少し、宿泊客が増加している (参考 15)。それが、平均消費額を引き上げた要因になっていると思われる。

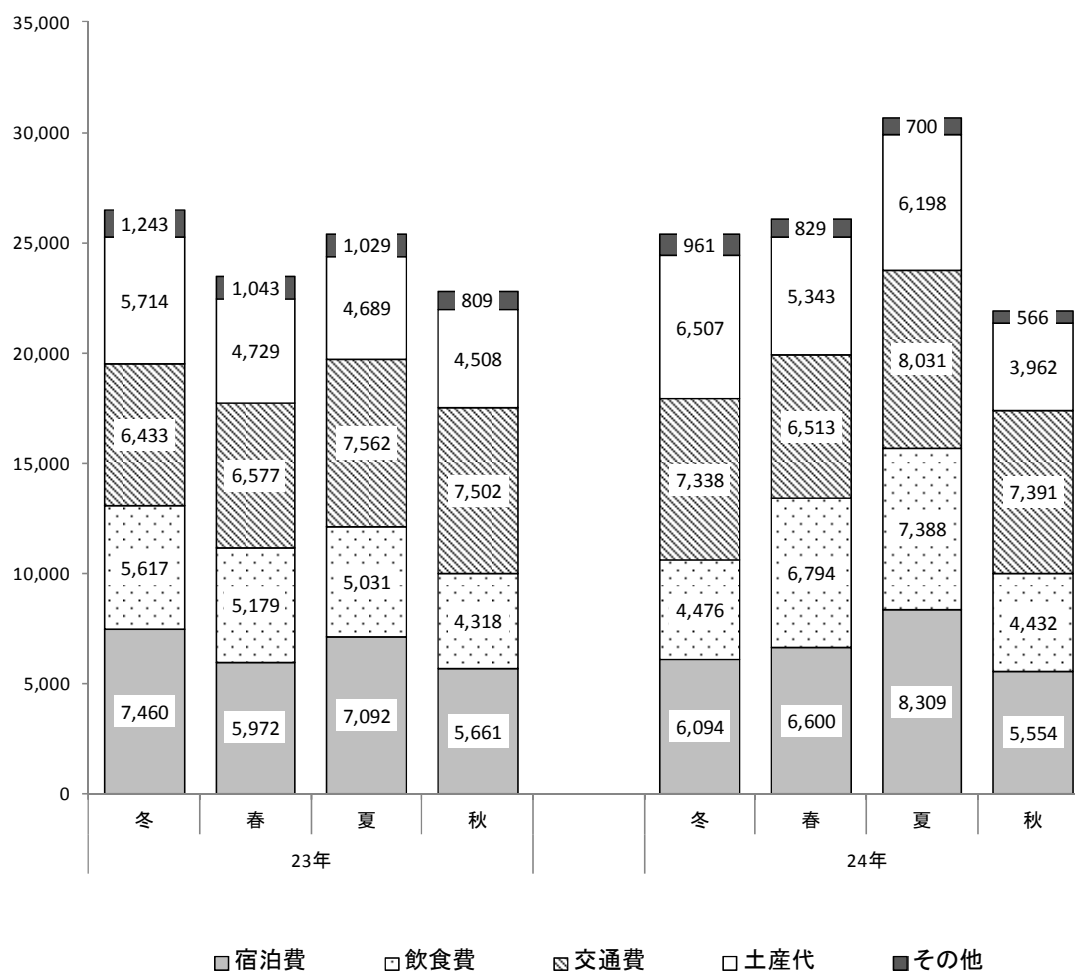
一方で日帰り客の割合が増加した「アンパンマンミュージアム」や「桂浜」、「高知城」、「四万十川」では平均消費額が昨年に比べ低くなっている。

10.1.2 四季別

(表 10-2) 四季別県内消費額費目別割合(%)、同平均消費額(円) [24 年、23 年]

		宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他	平均消費額	前年差
冬	23年	28	21	24	22	5	26,466	▲ 1,090円
	24年	24	18	29	25	4	25,376	
春	23年	25	22	28	20	5	23,500	2,579円
	24年	25	26	25	21	3	26,079	
夏	23年	28	20	30	19	4	25,403	5,223円
	24年	27	24	26	20	3	30,626	
秋	23年	25	19	33	20	3	22,797	▲ 892円
	24年	25	20	34	18	3	21,905	

(図 10-3) 四季別県内消費額費目別平均消費額(円) [24 年、23 年]



四季別の平均消費額を前年と比較すると、春期は2,579円、夏期は5,223円増加し、冬期は1,090円、秋期は892円減少している。

それぞれの費目で割合が最も多くなった時期は、「宿泊費」が夏期、「飲食費」が春期、「交通費」が秋期、「土産代」と「その他」が冬期となっており、前年と同じ傾向となっている。また、それぞれの費目の消費額が最も高くなった時期は、「宿泊費」「飲食費」「交通費」は夏期、「土産代」「その他」は冬期という結果となっている。

10.2 年代別費目割合・平均消費額

(表 10-4) 年代別県内消費額費目別割合(%)、同平均消費額(円) [24 年、23 年]

		宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他	平均金額	前年差
10 代	23年	17	22	32	21	8	18,763円	4,015円
	24年	26	24	30	17	3	22,778円	
20 代	23年	23	23	31	18	5	23,841円	▲ 1,426円
	24年	23	23	32	18	4	22,415円	
30 代	23年	26	21	28	20	5	23,281円	1,861円
	24年	25	24	28	20	3	25,142円	
40 代	23年	29	21	26	19	5	25,378円	3,341円
	24年	27	21	29	20	3	28,719円	
50 代	23年	26	21	28	21	4	24,153円	1,516円
	24年	26	22	26	24	2	25,669円	
60代以上	23年	31	20	24	21	4	26,890円	1,674円
	24年	27	23	26	22	2	28,564円	

年代別の平均消費額は、20代が1,426円減となった以外は、すべての年代で増加している。

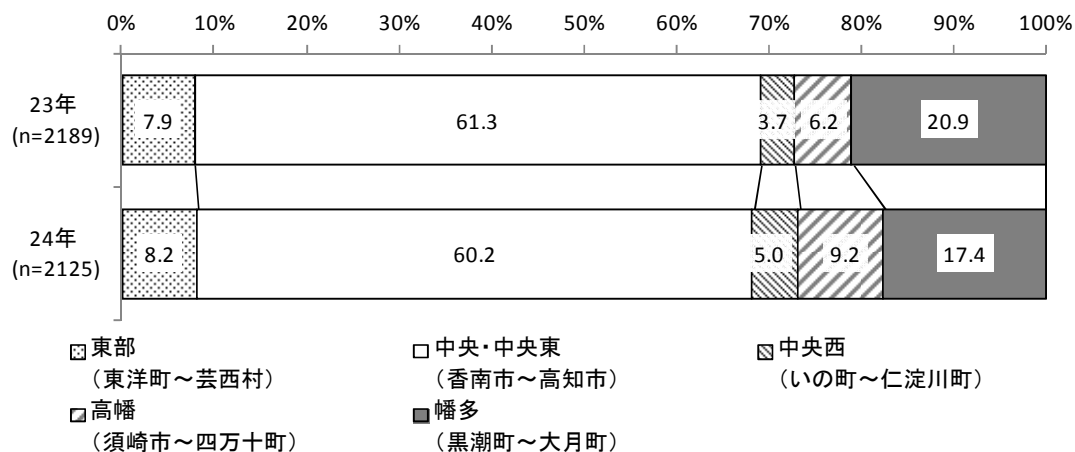
費目別の割合を前年と比較すると、「宿泊費」は20代と50代で横ばい、10代が増加、30代と40代、60代以上で減少している。「飲食費」は20代と40代で横ばい、その他のすべての年代で増加。「交通費」は30代が横ばい、20代と40代、60代以上で増加、10代と50代で減少している。「土産代」は20代と30代で横ばい、40代以上のすべての年代で増加、10代で減少している。「その他」は全ての年代で減少という結果となっている。

(参考)動態調査による県外観光客一人当たりの県内消費額及び経済波及効果

	H24	H23	H22	H21	(H21～23平均)
県外観光客総数(人)	3,839,714	3,882,268	4,359,415	3,155,791	3,799,158
県外観光客一人当たり消費額(円)	26,064	24,542	23,188	24,156	23,962
<内訳> 宿泊費	6,679	6,540	6,490	7,690	6,907
飲食費	5,858	5,064	4,948	6,020	5,344
交通費	7,315	6,990	5,345	4,485	5,607
土産	5,458	4,911	4,909	3,806	4,542
その他	754	1,037	1,496	2,155	1,563
県外観光客の総消費額(百万円)	100,078	95,278	101,086	76,231	90,865
生産誘発効果(百万円)	152,004	144,705	153,421	123,004	140,377
生産誘発倍率(倍)	1.52	1.52	1.52	1.61	1.55

11 宿泊地域

(図 11-1) 県内宿泊地域割合(%) [24 年、23 年]



県内での宿泊地域の割合は、「中央・中央東」が前年比 1.1 ポイント減となったが 60.2% で最も多くなっている。次いで「幡多」が同 3.5 ポイント減の 17.4%、「高幡」が同 3.0 ポイント増の 9.2%、「東部」が同 0.3 ポイント増の 8.2%、「中央西」が同 1.3 ポイント増の 9.2%となっている。

(表 11-2) 調査地別県内宿泊地域割合(%) [24 年]

	東部	中央・中央東	中央西	高幡	幡多
室戸岬	27.7	60.4	1.7	3.4	6.8
モネの庭	28.0	66.4	0.9	2.8	1.9
アンパンマン	5.6	92.6	0.9	0.0	0.9
龍河洞	8.4	76.6	5.0	5.8	4.2
桂浜	6.6	75.6	3.6	5.0	9.2
高知城	1.6	82.8	5.5	3.8	6.3
土佐和紙工芸村	1.9	57.3	27.5	6.1	7.2
黒潮本陣	2.3	45.6	3.5	31.8	16.8
四万十川	2.1	36.1	0.8	9.1	51.9
足摺岬	5.3	30.5	3.8	18.9	41.5
全体	8.2	60.2	5.0	9.2	17.4

※背景色＋太字は宿泊地域ごとの上位2位まで。

(表 11-3)調査地別県内利用宿泊施設割合(%) [24 年]

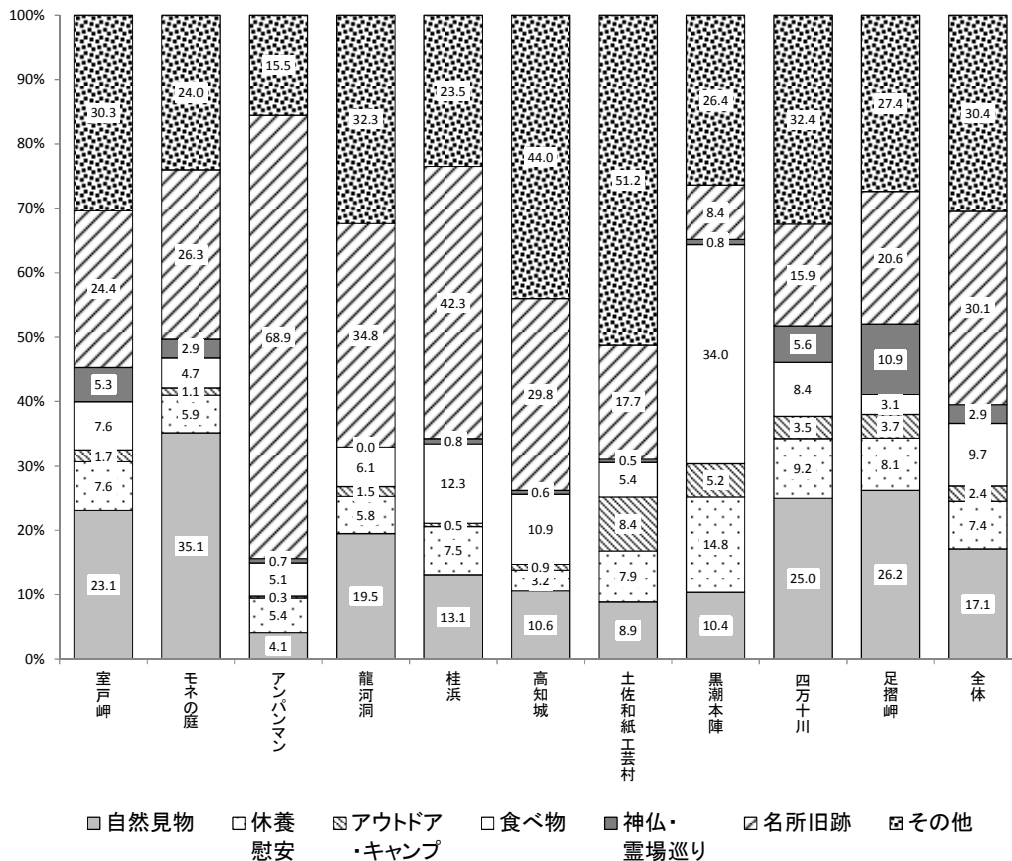
	ホテル・旅館	実家・知人宅	公共の宿	民宿・ ユースホステル	その他
室戸岬	76.9	13.4	1.8	2.8	5.1
モネの庭	59.6	33.3	1.8	3.5	1.8
アンパンマン	84.1	12.1	0.0	1.9	1.9
龍河洞	67.1	18.9	4.8	4.4	4.8
桂浜	79.5	10.8	3.1	1.7	4.9
高知城	77.6	12.1	4.3	1.7	4.3
土佐和紙工芸村	44.4	24.4	12.5	4.4	14.3
黒潮本陣	65.1	18.3	4.0	6.3	6.3
四万十川	77.9	10.8	0.9	4.3	6.1
足摺岬	73.3	7.3	3.3	7.3	8.8
全体	71.7	14.7	3.7	3.9	6.0

※背景色＋太字は宿泊施設ごとの上位2位まで。

12 調査地別分析

12.1 旅行目的割合

(図 12-1) 調査地別旅行目的割合(%) [24 年]



(表 12-2) 調査地別旅行目的割合(%) [24 年]

	自然見物	休養慰安	アウトドア・キャンプ	食べ物	神仏・霊場巡り	名所旧跡	その他
室戸岬	23.1	7.6	1.7	7.6	5.3	24.4	30.3
モネの庭	35.1	5.9	1.1	4.7	2.9	26.3	24.0
アンパンマン	4.1	5.4	0.3	5.1	0.7	68.9	15.5
龍河洞	19.5	5.8	1.5	6.1	0.0	34.8	32.3
桂浜	13.1	7.5	0.5	12.3	0.8	42.3	23.5
高知城	10.6	3.2	0.9	10.9	0.6	29.8	44.0
土佐和紙工芸村	8.9	7.9	8.4	5.4	0.5	17.7	51.2
黒潮本陣	10.4	14.8	5.2	34.0	0.8	8.4	26.4
四万十川	25.0	9.2	3.5	8.4	5.6	15.9	32.4
足摺岬	26.2	8.1	3.7	3.1	10.9	20.6	27.4
全体	17.1	7.4	2.4	9.7	2.9	30.1	30.4

※背景色+太字は旅行目的ごとの上位2位まで。

「モネの庭」は“自然見物”が最も多く、“その他（ドライブを含む）”や“名所旧跡”も多くなっている。前年同様、女性の旅行者を中心に、モネの庭を主な目的として訪問するケースが多かった。

「桂浜」は“名所旧跡”と“その他”が多くなっている。調査の際、「高知に来たら、とりあえず桂浜に行きます」といった声が多く聞かれたことから、前年同様、「桂浜」を旅行の起点として他のエリアへ向かう旅行者が多いことがわかる。また、「黒潮本陣」に次いで2番目に“食べ物”の割合が多くなっている。

「足摺岬」は“自然見物”と“その他”が多くなっている。また、金剛福寺が近くにあるため、八十八ヶ所の巡礼に合わせて観光する旅行者が多数見られ、他の調査地と比べ、“神仏・霊場巡り”の割合が多くなっている。

「高知城」は“その他”と“名所旧跡”で半数以上を占めており、前年同様、日曜市や桂浜周辺などの主要観光地と合わせて訪問する旅行者が多く見られた。

「アンパンマンミュージアム」は“名所旧跡”が68.9%を占めており、のいち動物公園や龍河洞など、周辺の観光施設と合わせて観光するケースも多く見られた。

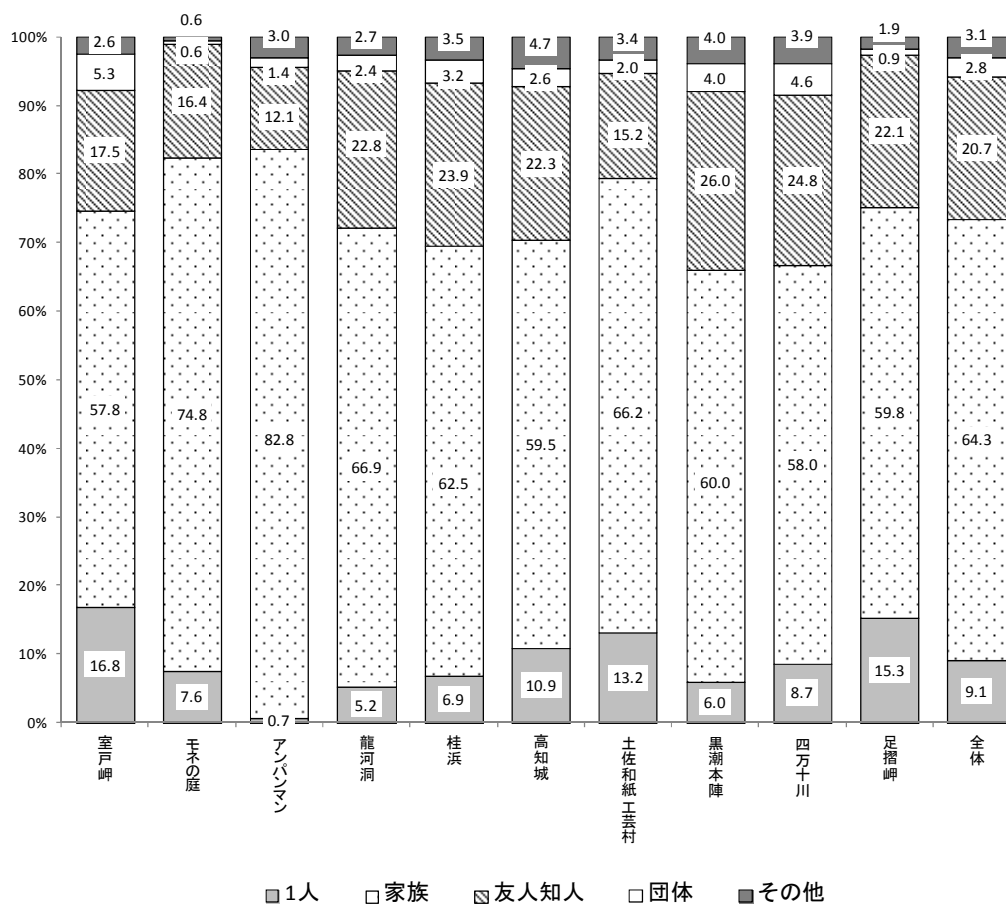
「土佐和紙工芸村」は“その他”が半数以上を占め、“名所旧跡”も多くなっている。また、“アウトドア・キャンプ”の割合が他の調査地点に比べて、最も多くなっている。

「黒潮本陣」は“食べ物”と“休養慰安”の割合が調査地別で最も多くなっている。久礼大正町市場での海産物などが目的の旅行者が多く、黒潮本陣での宿泊や温泉を主な目的に訪問した旅行者もいた。

「四万十川」は“自然見物”と“その他”が多く、「龍河洞」と「室戸岬」は“名所旧跡”と“その他”が多くなっている。

12.2 旅行形態割合

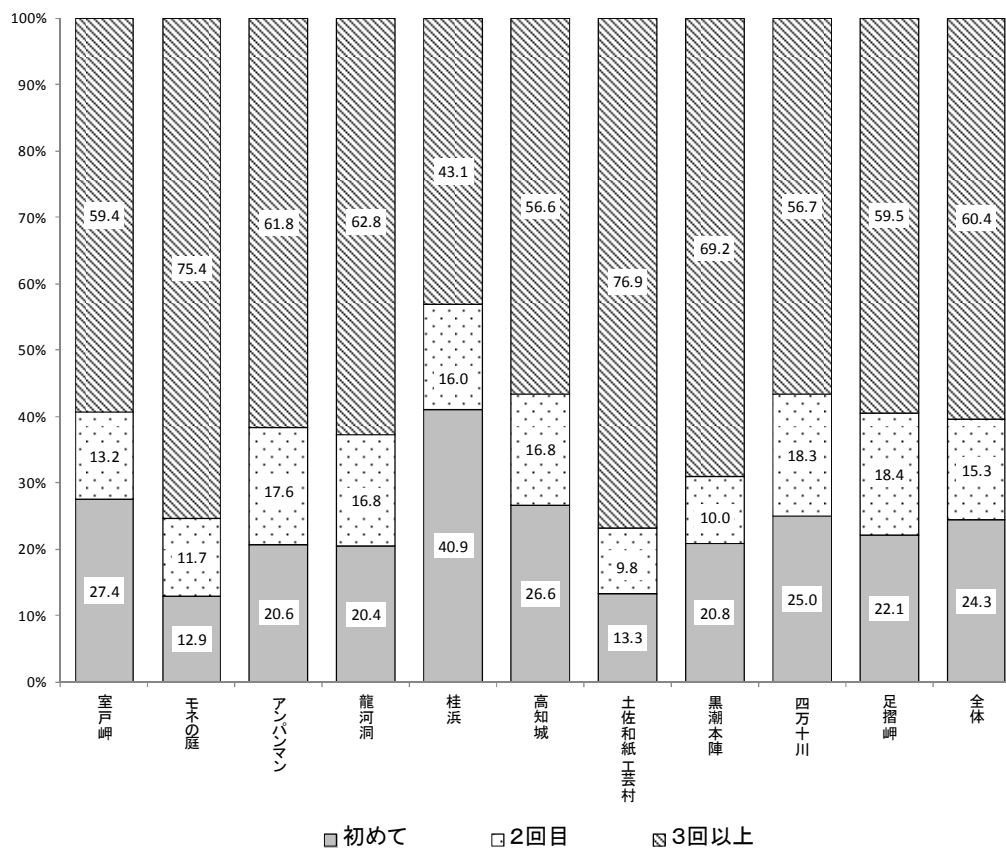
(図 12-3) 調査地別旅行形態割合(%) [24 年]



調査地別の旅行形態割合を項目別にみると、「1人」は室戸岬、足摺岬、土佐和紙工芸村、高知城で10%を超えており、「家族」はアンパンマンミュージアムが82.8%と群を抜いて多く、モネの庭、龍河洞と続いているが、すべての調査地で最も多い旅行形態となっている。「友人知人」は室戸岬、モネの庭、土佐和紙工芸村、アンパンマンミュージアムを除く調査地で20%を超えており、「団体」は室戸岬が最も多くなっている。

12.3 過去来県回数割合

(図 12-4) 調査地別過去来県回数割合(%) [24 年]



(参考 16) 過去来県回数割合(%) [24 年、過去 3 年間]

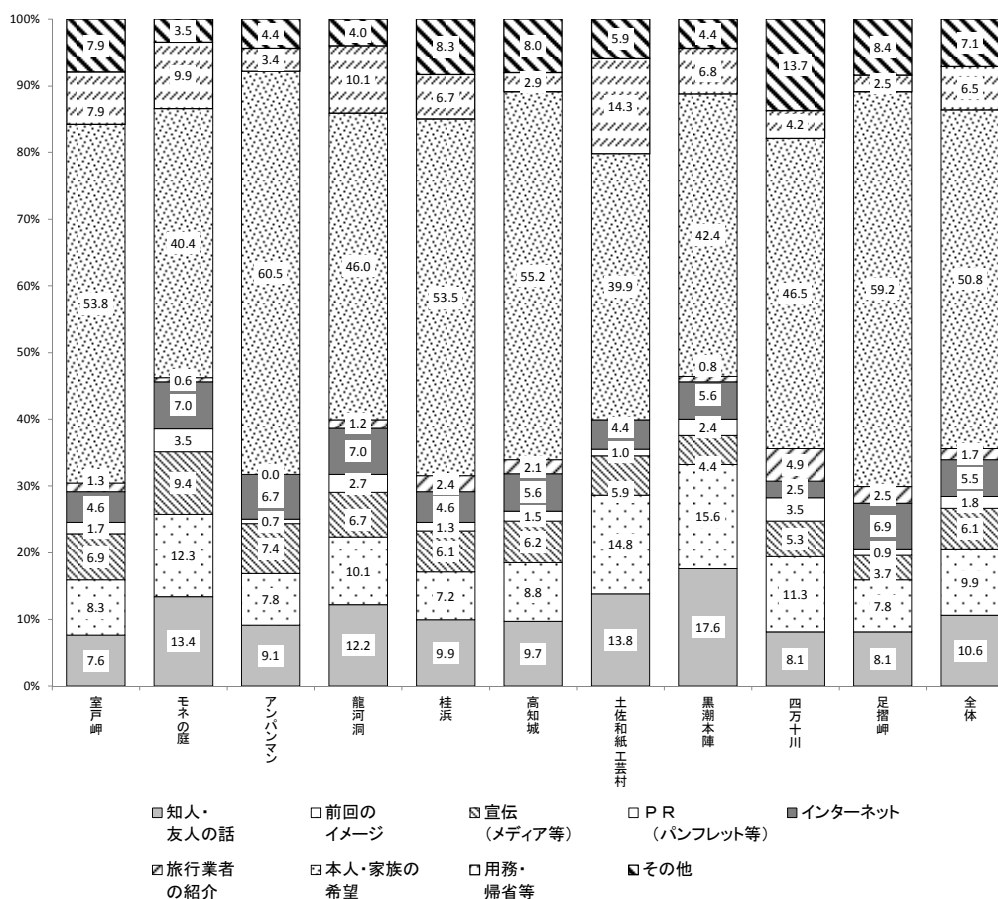
	初めて	2回目	3回以上
21年	22.4	21.6	56.0
22年	21.9	17.4	60.7
23年	24.8	15.1	60.1
24年	24.3	15.3	60.4

全体の過去来県回数は、「初めて」の旅行者が 24.3%、「2回目」が 15.3%、「3回以上」が 60.4%という結果となった。平成 21 年から通してみると（参考 16）、「初めて」の割合は過去 2 位となり、前年比で 0.5 ポイント減少している。「2回目」は前年比 0.2 ポイント増、「3回以上」は同 0.3 ポイント増となっている。

項目別で割合の多かった調査地は、「初めて」は桂浜と室戸岬、「2回目」は足摺岬と四万十川、「3回以上」は土佐和紙工芸村とモネの庭となっている。

12.4 動機割合

(図 12-5) 調査地別動機割合(%) [24 年]



(表 12-6) 調査地別動機割合(%) [24 年]

	知人・友人の話	前回のイメージ	宣伝(メディア等)	PR(パンフレット等)	インターネット	旅行業者の紹介	本人・家族の希望	用務・帰省等	その他
室戸岬	7.6	8.3	6.9	1.7	4.6	1.3	53.8	7.9	7.9
モネの庭	13.4	12.3	9.4	3.5	7.0	0.6	40.4	9.9	3.5
アンパンマン	9.1	7.8	7.4	0.7	6.7	0.0	60.5	3.4	4.4
龍河洞	12.2	10.1	6.7	2.7	7.0	1.2	46.0	10.1	4.0
桂浜	9.9	7.2	6.1	1.3	4.6	2.4	53.5	6.7	8.3
高知城	9.7	8.8	6.2	1.5	5.6	2.1	55.2	2.9	8.0
土佐和紙工芸村	13.8	14.8	5.9	1.0	4.4	0.0	39.9	14.3	5.9
黒潮本陣	17.6	15.6	4.4	2.4	5.6	0.8	42.4	6.8	4.4
四万十川	8.1	11.3	5.3	3.5	2.5	4.9	46.5	4.2	13.7
足摺岬	8.1	7.8	3.7	0.9	6.9	2.5	59.2	2.5	8.4
全体	10.6	9.9	6.1	1.8	5.5	1.7	50.8	6.5	7.1

※ 背景色+太字は動機ごとの上位2位まで。

全体の動機割合は、「本人・家族の希望」が 50.8%と約半数を占め、最も多くなっている。次いで「知人・友人の話」が 10.6%、「前回のイメージ」が 9.9%、「その他」が 7.1%、「用務・帰省等」が 6.5%などとなっている。

項目別で割合が多かった調査地をみると、「知人・友人の話」と「前回イメージ」は土佐和紙工芸村や黒潮本陣、「宣伝（メディア等）」はモネの庭やアンパンマンミュージアム、「PR（パンフレット等）」は四万十川やモネの庭、「インターネット」はモネの庭や龍河洞、「旅行業者の紹介」は四万十川や足摺岬、「本人・家族の希望」はアンパンマンミュージアムや足摺岬、「用務・帰省等」は土佐和紙工芸村や龍河洞などとなっている。

13 総括

調査で得られた旅行者の声などから、高知県観光がさらなる発展を遂げるためには、以下にあげる取り組みが必要と考えられる。

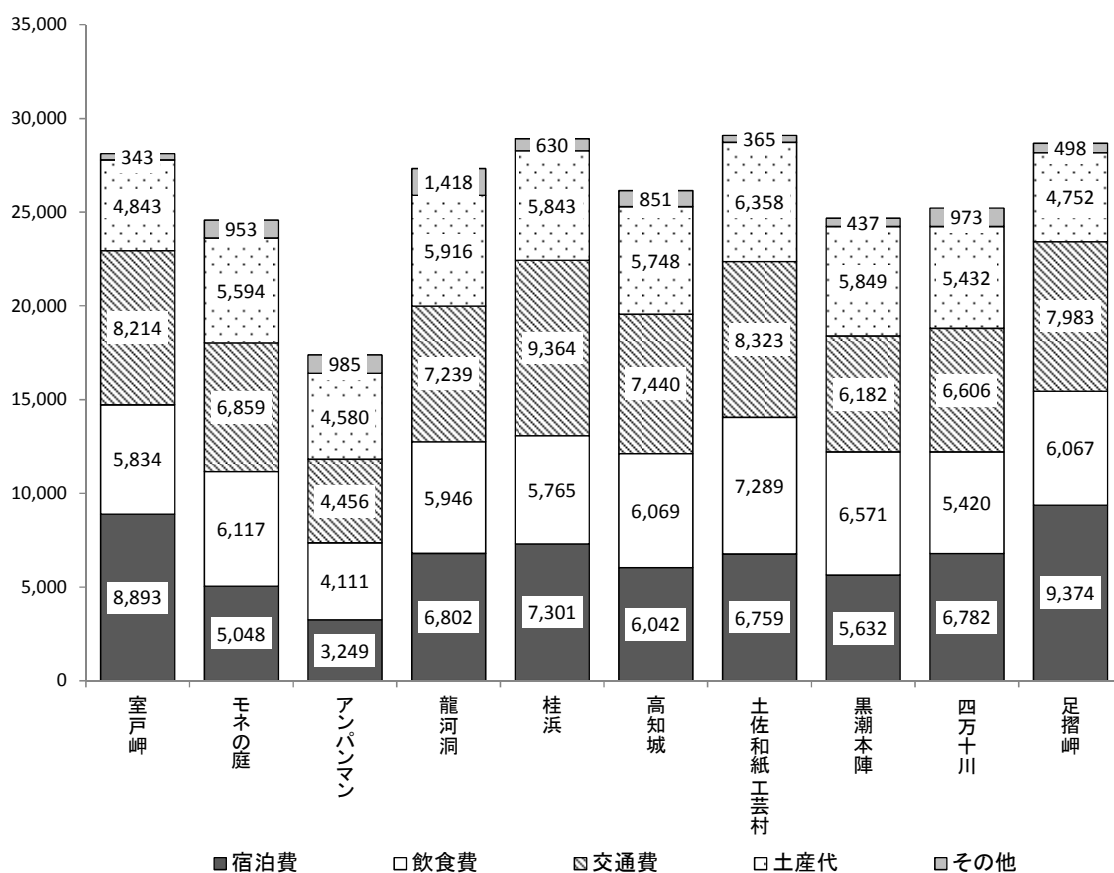
1. わざわざ宿泊したい高知県

県内旅行日数と平均消費額の関係は、ほぼ比例している。実際に、前年に比べて日帰り客が減少し、宿泊客が増加した、土佐和紙工芸村の平均消費額は12,403円の増加となっている。逆に、日帰り客が増加し、宿泊客が減少した、四万十川では4,909円減少している(参考14)。

したがって、周辺地域に同時に訪問したくなる観光スポットや施設、立寄り場所を増やすなど、高知県への長期滞在を促す工夫や宿泊したいと思わせる環境づくりが必要であると考えられる。

例えば、宿泊につながりやすい夜型イベントなどが、効果的ではないかと思われる。

(参考17) 調査地別県内平均消費額(円) [24年・費目別]



2. 旅行者の積極的な消費を促す環境の整備

調査の中で、『土産物が何でも揃う大型土産物店が少なく、買い物がしづらい』といった声が、旅行者から多く聞かれた。また、帰省客や高知県観光リピーターの方からは、『昼間に手軽に食べられる高知ならではのメニューのある店がない。いつも、来る途中で済ませてしまう』『目新しいお土産商品が無い』『インパクトのある新商品開発をして欲しい』といった、今後を期待する声も聞かれた。

旅行者の消費意欲を促すためにも、地域の特産品を活かした魅力ある土産物の商品開発、食事処の充実、インパクトある情報提供やPR環境の整備、工夫にさらに取り組んでいく必要があると考えられる。

3. 期待出来るイベント関連グッズ効果

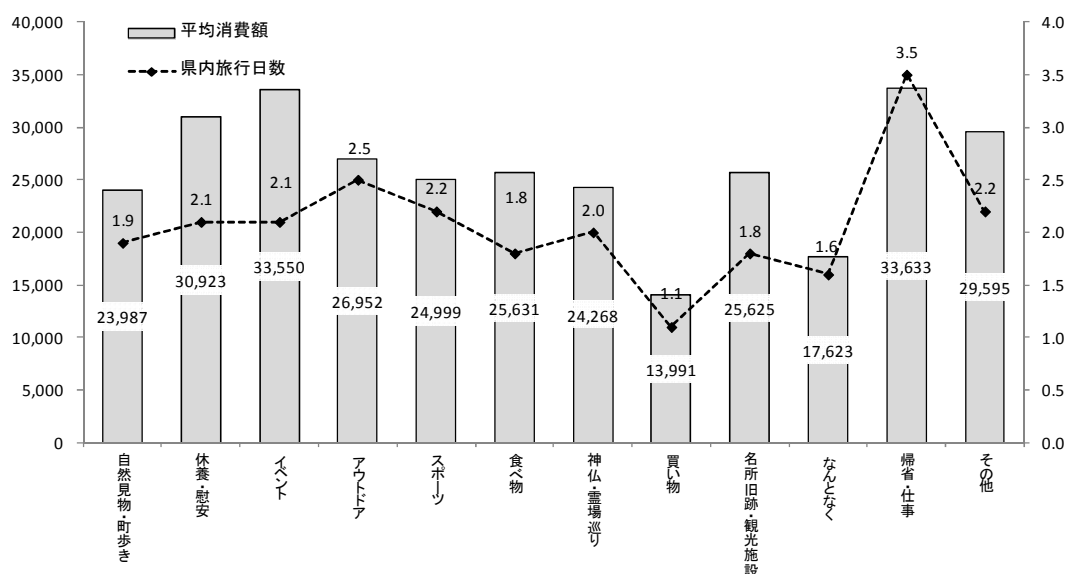
旅行目的別に平均消費額と県内旅行日数（参考 18）をみると、帰省・仕事を除く観光目的の場合、平均消費額は「イベント」の 33,550 円が際立って高くなっており、反対に「買い物」が平均消費額 13,991 円で最も低くなっている。

また少数ではあるが、興味深いものとして、リピート率の高かった“おもてなし勤王党”のファンの女性達の要望に、消費意欲をそそるグッズ販売や、サイン会、ファンの集いの企画などがあった。

県内旅行日数では、「アウトドア」や「スポーツ」が多くなっており、平均消費額と県内旅行日数の関係が、前述のとおりであることから、現状の消費額は少ないものの、今後が期待される場所である。

今後の県内消費額向上には、より多くの各種イベントを企画・開催し、それに伴う関連グッズを開発・販売することなどが、有力と考えられる。

〔参考 18〕 旅行目的別県内平均消費額(円)、県内旅行日数(日) [24 年]



高知県観光客アンケート調査票

Q1. あなたのお住まいはどこですか。国内にお住まいであれば都道府県名、海外であれば国名をご記入下さい。また、高知県内にお住まいの場合は市町村名をご記入下さい。

(都道府県名： _____)	海外の場合 (国名： _____)
↓ 高知県内の場合 → (市町村名 _____)	

Q2. あなたの性別、年齢を選んで下さい。※それぞれ1つだけ

性別	: 1. 男性	2. 女性			
年齢	: 1. 10歳未満	2. 10歳代	3. 20歳代	4. 30歳代	5. 40歳代
	6. 50歳代	7. 60歳代	8. 70歳代	9. 80歳以上	

Q3. 今回の旅行は日帰りですか、宿泊ですか。※1つだけ

宿泊であれば、何泊か、そのうち県内では何泊するか、いくつの施設に宿泊するかをご記入下さい。また、県内ではどの地域の、どのような施設に何泊するかをご記入下さい。※いくつでも

1. 日帰り	2. 宿泊		
	↓		
	→ 宿泊数 _____ 泊	→ そのうち県内 _____ 泊	⇒ 県内宿泊施設数 _____ 施設
			↑ 宿泊した施設の数 ↓

↓

<県内宿泊施設>

1. 実家や知人・親戚宅 () 泊	2. 旅館 () 泊
3. ホテル () 泊	4. ペンション・民宿 () 泊
5. 保養所・研修所 () 泊	6. キャンプ場 () 泊
7. (キャンプ場以外の) 車中泊・交通機関内での宿泊 () 泊	
8. 別荘・リゾートマンション () 泊	9. 会員制の宿泊施設 () 泊
10. ユースホステル・ライダーズイン () 泊	11. 公共の宿 () 泊
12. その他 () 泊	

<県内宿泊場所>

1. 東部地域 (東洋町～芸西村) () 泊	2. 中央東地域 (香南市～南国市) () 泊
3. 中央地域 (高知市) () 泊	4. 中央西地域 (いの町～仁淀川町) () 泊
5. 高幡地域 (須崎市～四万十町) () 泊	6. 幡多地域 (黒潮町～大月町) () 泊

Q4. 今回のご旅行の主要な目的は何ですか。※1つだけ

1. ビジネス	
2. 観光	
「2 観光」を選んだ場合、今回のご旅行の主な目的を1つ教えてください。	
01 自然見物・町歩き	02 休養・慰安
03 祭り・イベント	
04 登山・アウトドア・キャンプ	05 スポーツ (プロ野球キャンプ・観戦など)
06 食べ物 (味覚・酒)	07 神仏・霊場巡り
08 買い物	
09 名所旧跡・観光施設などの見学・行楽	10 なんとなく (ドライブ等含む)
11 その他 ()	
3. 帰省・知人訪問	
4. (1～3のどれでもない) その他	

Q5. 今回のご旅行のきっかけを教えてください。

1. 知人・友人の話	2. 前回のイメージ	3. 宣伝 (TV・ラジオ・雑誌等)
4. PR (パンフレット・キャンペーン等)	5. インターネット (携帯電話含む)	
6. 旅行業者の紹介・ツアー参加	7. 来たかった・家族の希望	
8. 帰省	9. その他	

Q6. 今回のご旅行の企画・手配について教えてください。

1. 自分で旅行プランを立てて、宿泊・交通機関なども自分で手配した
2. 旅行プランを決めて、宿泊や高知への往復には旅行代理店のフリープランを使っている
3. 旅行代理店でコースが決められている添乗員付きの旅行プランを使っている

Q7. あなたも含めて、何人での、どなたと一緒にの旅行ですか。※子供や乳幼児も含む

() 人
 2人以上の場合
 → 1. 家族 2. 友人 3. 職場・学校等の団体旅行 4. その他

Q8. ご一緒のみなさん全員の、今いる観光地の訪問が何回目かご存じですか。※回答の合計はQ7と一致

1. 知らない 2. 知っている → 1回目の人数 () 人、2回目の人数 () 人
 3回目の人数 () 人、4回目以上の人数 () 人

Q9. (県外にお住まいの方のみお答えください)

あなたは、高知県の訪問が何回目ですか。

1. はじめて 2. 2回目 3. 3回目以上

Q10. (県外にお住まいの方のみお答えください)

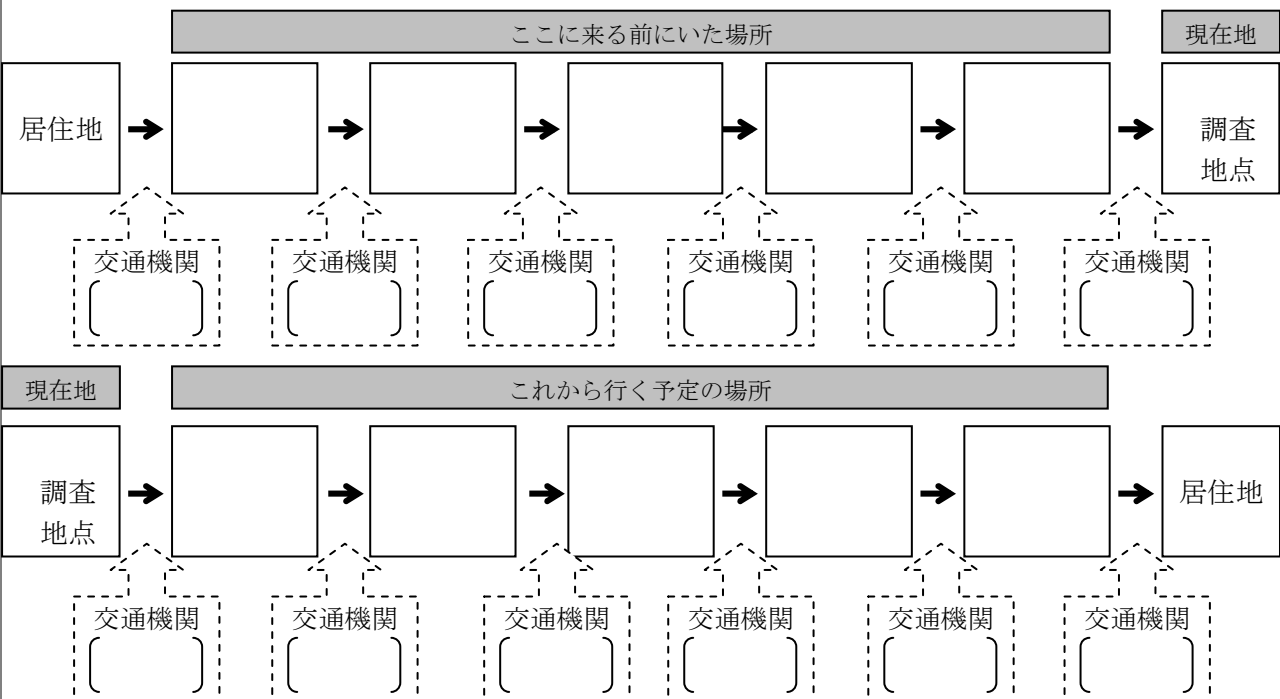
ご一緒のみなさん全員の、高知県の訪問が何回目かご存じですか。※回答の合計はQ7と一致

1. 知らない 2. 知っている → 1回目の人数 () 人、2回目の人数 () 人
 3回目の人数 () 人、4回目以上の人数 () 人

Q11. 今回の旅行で訪れた県内の観光地と移動に用いた交通機関をご記入下さい。これから訪問する観光地についても予定をご記入下さい。※観光地は一覧表より、交通機関は下表より番号をお選び下さい。

また、この県を訪れる前・後に立ち寄った(立ち寄る予定の)都道府県があれば記入下さい。

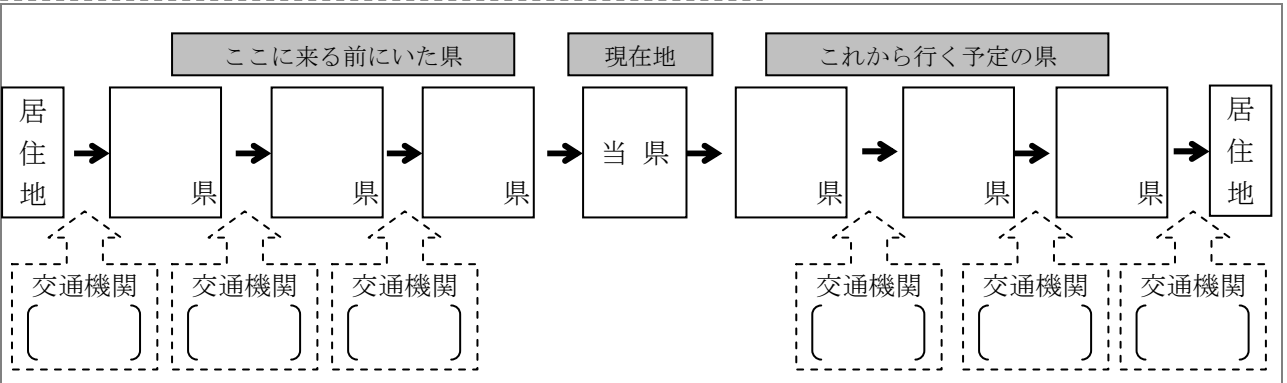
高知県までの主な交通機関 [] 高知県内での主な交通機関 []



【表】交通機関

- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|---------------|-----------|
| ① J R 新幹線 | ② J R 在来線 | ③ 私鉄・地下鉄 | ④ モノレール | ⑤ -1 貸切バス |
| ⑤ -2 観光バス (MY遊バス等含む) | ⑥ 高速バス | ⑦ 市内バス・路線バス | | |
| ⑧ 路面電車 | ⑨ タクシー・ハイヤー | ⑩ レンタカー | ⑪ 自家用車、社用・公用車 | |
| ⑫ 飛行機 | ⑬ フェリー | ⑭ バイク | ⑮ その他 | |

当県以外に立ち寄り都道府県がある場合はご記入ください



【表】交通機関

- ① J R 新幹線 ② J R 在来線 ③ 私鉄・地下鉄 ④ モノレール ⑤ -1 貸切バス
- ⑤ -2 観光バス (MY遊バス等含む) ⑥ 高速バス ⑦ 市内バス・路線バス
- ⑧ 路面電車 ⑨ タクシー・ハイヤー ⑩ レンタカー ⑪ 自家用車、社用・公用車
- ⑫ 飛行機 ⑬ フェリー ⑭ バイク ⑮ その他

Q12. 今回の旅行で、使う費用（これから使う予定も含めて）を教えてください

1人当たりの費用を、下欄の項目別にご記入下さい。

- ※ 交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、県外・県内分を分けて記入
- ※ 今回の旅行がパック旅行である場合、費用が県内のみか、県外分を含むかを選択
- ※ ←表内の回答がグループ合計の場合にはチェック

	使用費用		使用費用
①交通費	(県内分) 円	(県外分)	円
②宿泊費	(県内分) 円		
③土産代	(県内分) 円		
④飲食費	(県内分) 円		
⑤入場料	(県内分) 円		
⑥その他	(県内分) 円		
⑦パック料金			円
		<input type="checkbox"/> 県内分のみ もしくは <input type="checkbox"/> 県外分含む	

Q13. ご意見・ご感想（他県と比べて良い点、悪い点等もお聞かせください）

- ※ 冬期は特に、この季節に高知へ来られた理由、高知の魅力など（冬季対策の参考意見として）をお聞かせください

☆☆ 調査内容は以上です。ご協力、ありがとうございました。☆☆

※調査票コード	都道府県	調査地点ID	調査年月日	調査時刻	ID
1. 観_共通_日				:	

IV 高知県観光客満足度調査

1 概要

県内の観光地を訪れた観光客を対象に、四季別に年4回、各調査地とも1季節ごと50人に対し、直接聞き取り調査を実施した。

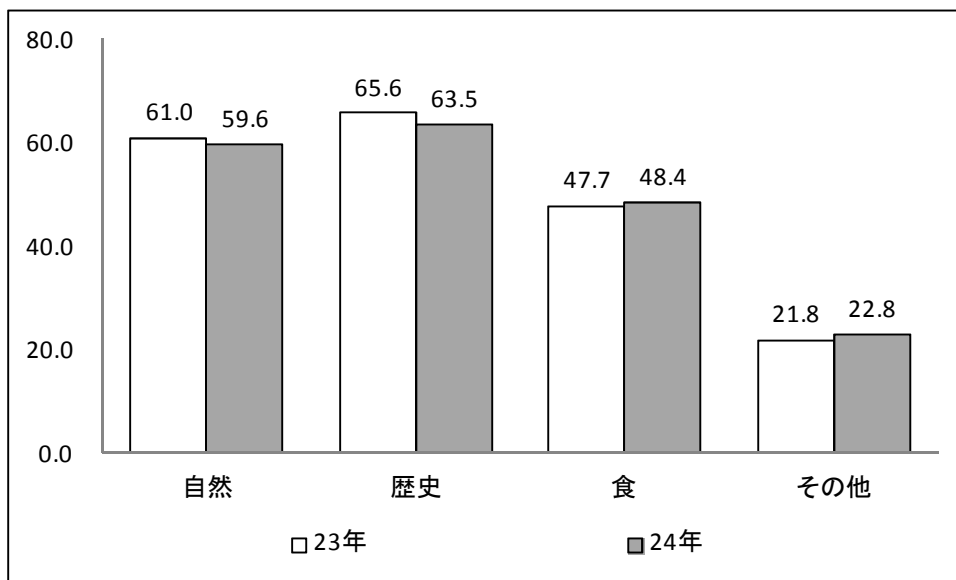
【調査地点】

- 中部（高知龍馬空港、高知駅・幕末志士社中、高知城）
- 東部（キラメッセ室戸）
- 西部（四万十川観光開発遊覧船乗場、足摺岬）

2 単純集計結果

2-1 高知県のイメージ

(図 2-1-1) 高知県のイメージ割合 (%) [分類別・24 年、23 年]



(注) あてはまるもの2つまで回答。

分類は以下の通り。

「自然」… 自然、太平洋、四万十川、四国カルスト、台風

「歴史」… 歴史、坂本龍馬、長宗我部元親、山内一豊、板垣退助

「食」… 食、かつおのタタキ、フルーツマト、酒、文旦

「その他」… 明るい、南国・暖かい、よさこい祭り、人情・温かさ、路面電車、その他

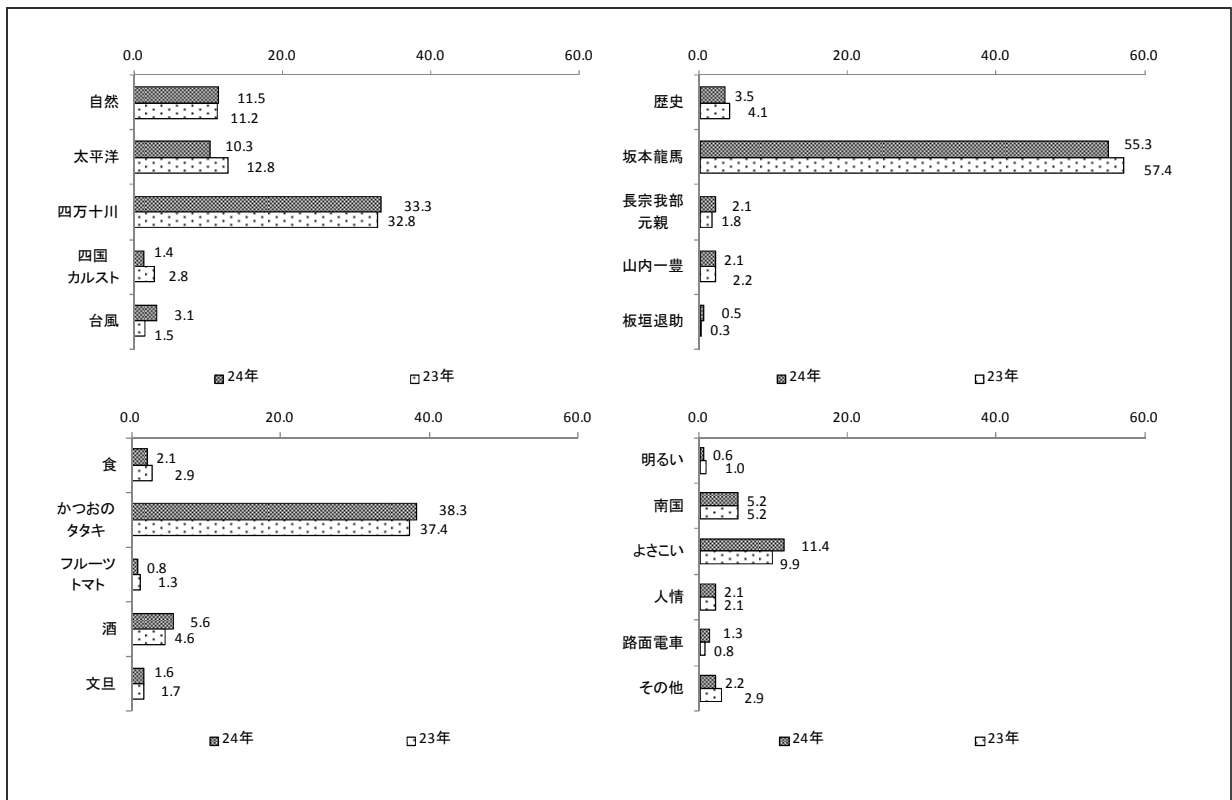
高知県にどのようなイメージを持っているかについて、分類別では「歴史」関連が63.5%、「自然」関連が59.6%、「食」関連が48.4%という割合になっている。前年に比べ「その他」が1.0ポイント、「食」が0.7ポイント増加し、「歴史」が2.1ポイント、「自然」が1.4ポイント減少している。「その他」の内容としては、“遍路”、“生姜”、“仁淀川”という意見が多くなっている。

(表 2-1-2) 高知県イメージ割合 (%) [項目別・24年、23年]

	自然に関するイメージ					歴史に関するイメージ				
	自然	太平洋	四万十川	四国カルスト	台風	歴史	坂本龍馬	長宗我部元親	山内一豊	板垣退助
24年	11.5	10.3	33.3	1.4	3.1	3.5	55.3	2.1	2.1	0.5
23年	11.2	12.8	32.8	2.8	1.5	4.1	57.4	1.8	2.2	0.3

	食に関するイメージ					その他のイメージ					
	食	かつおのタタキ	フルーツトマト	酒	文旦	明るい	南国	よさこい	人情	路面電車	その他
24年	2.1	38.3	0.8	5.6	1.6	0.6	5.2	11.4	2.1	1.3	2.2
23年	2.9	37.4	1.3	4.6	1.7	1.0	5.2	9.9	2.1	0.8	2.9

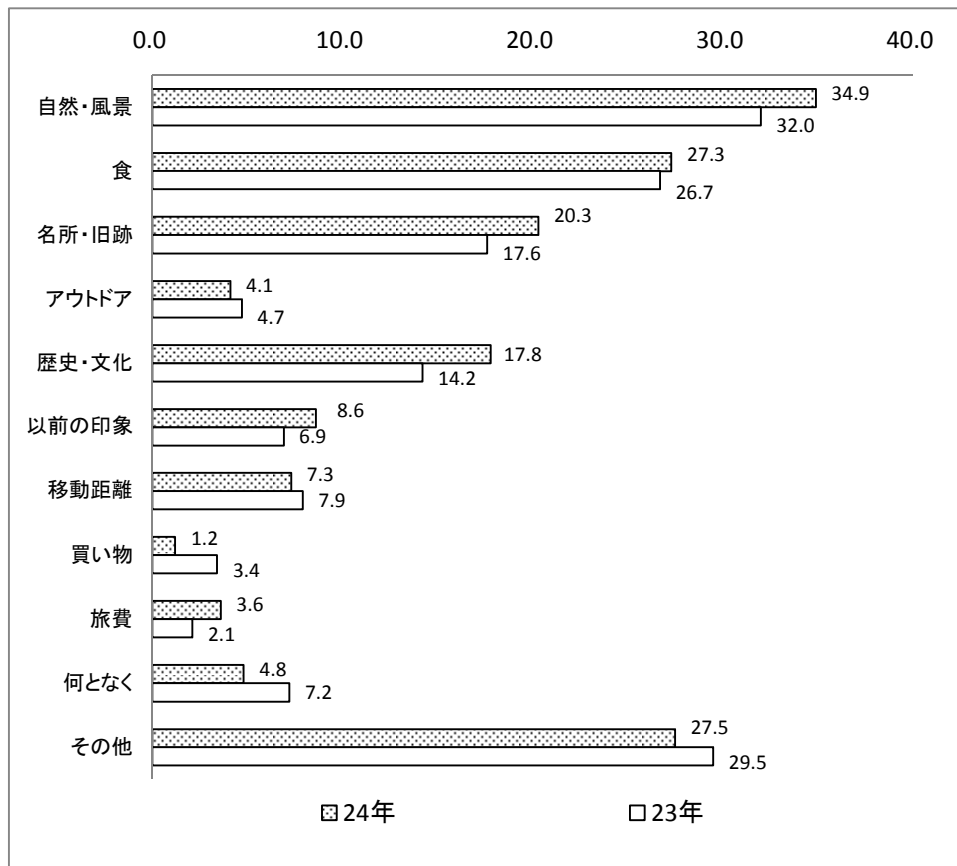
(図 2-1-3) 高知県イメージ割合 (%) [項目別・24年、23年]



(注) あてはまるもの2つまで回答。

項目別では「坂本龍馬」が最も多く、調査対象者の 55.3%が選択している。次いで、かつおのタタキ」の 38.3%、「四万十川」の 33.3%の順で多くなり、前年とよく似た傾向となっている。

2-2 来県理由



(図 2-2-1) 来

県理由割合 (%) [24 年、23 年]

(注) あてはまるもの2つまで回答。

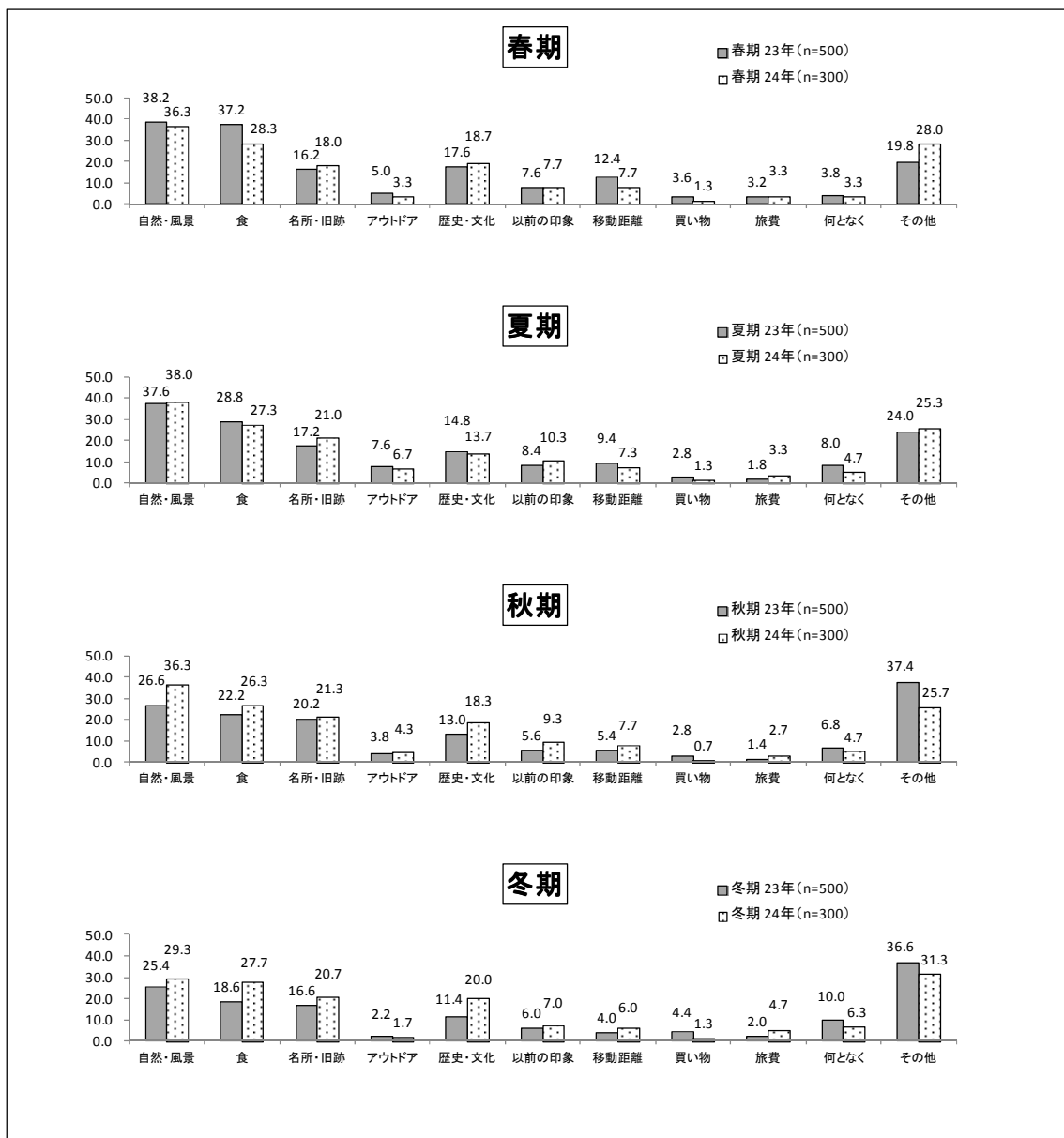
来県理由をみると、「自然・風景」が2.9ポイント増の34.9%で最も多く、次いで「食」が0.6ポイント増の27.3%、「名所・旧跡」が2.7ポイント増の20.3%、「歴史・文化」が3.6ポイント増の17.8%と続いている。「その他」の内容としては、“遍路”、“帰省”、“出張”などが多い結果となっている。

(注) “その他”の項目は様々な事項を含んでいるため、分析項目としては不相当と判断し除外している。

(表 2-2-2) 四季別来県理由割合 (%) [24 年、23 年]

		自然・風景	食	名所・旧跡	アウトドア	歴史・文化	以前の印象	移動距離	買い物	旅費	何となく	その他	合計
春期	24年 (n=300)	36.3	28.3	18.0	3.3	18.7	7.7	7.7	1.3	3.3	3.3	28.0	155.9
	23年 (n=500)	38.2	37.2	16.2	5.0	17.6	7.6	12.4	3.6	3.2	3.8	19.8	164.6
夏期	24年 (n=300)	38.0	27.3	21.0	6.7	13.7	10.3	7.3	1.3	3.3	4.7	25.3	158.9
	23年 (n=500)	37.6	28.8	17.2	7.6	14.8	8.4	9.4	2.8	1.8	8.0	24.0	160.4
秋期	24年 (n=300)	36.3	26.3	21.3	4.3	18.3	9.3	7.7	0.7	2.7	4.7	25.7	157.3
	23年 (n=500)	26.6	22.2	20.2	3.8	13.0	5.6	5.4	2.8	1.4	6.8	37.4	145.2
冬期	24年 (n=300)	29.3	27.7	20.7	1.7	20.0	7.0	6.0	1.3	4.7	6.3	31.3	156.0
	23年 (n=500)	25.4	18.6	16.6	2.2	11.4	6.0	4.0	4.4	2.0	10.0	36.6	137.2
全体	24年 (n=1200)	34.9	27.3	20.3	4.1	17.8	8.6	7.3	1.2	3.6	4.8	27.5	157.4
	23年 (n=2000)	32.0	26.7	17.6	4.7	14.2	6.9	7.9	3.4	2.1	7.2	29.5	152.2

(図 2-2-3) 四季別来県理由割合 (%) [24 年、23 年]



(注) あてはまるもの2つまで回答。

四季を通じて「自然・風景」の割合が最も多い結果となっている。

(注) “その他”の項目は様々な事項を含んでいるため、分析項目としては不適当と判断し除外している。

前年との差が大きい項目を四季別で見ると、春期は「食」の割合が8.9ポイント減、夏期は「名所・旧跡」が3.8ポイント増、秋期は「食」の割合が4.1ポイント増、「歴史・文化」が5.3ポイント増、「自然・風景」が9.7ポイント増、冬期は「食」の割合が9.1ポイント増、「歴史・文化」が8.6ポイント増、「名所・旧跡」が4.1ポイント増、「自然・風景」が3.9ポイント増となっている。

【来県理由の質問票の選択肢文章は以下のとおり】

- 自然風景 : 自然や風景に惹かれたから
- 食 : 食べたい(買いたい)ものがあるから
- 名所旧跡 : 名所・旧跡(博物館・資料館などを含む)を訪問したいから
- 自然体験 : アウトドア・キャンプなどの自然体験をしたいから
- 歴史文化 : 高知の歴史や文化を肌で感じたいから
- 前の印象 : 以前来たときの印象がよかったから
- 移動距離 : 移動距離も短く気軽に来られるから
- 買い物 : 買い物
- 旅費 : 旅費が手頃だったから
- 何となく : 何となく面白そうだから(イメージ)

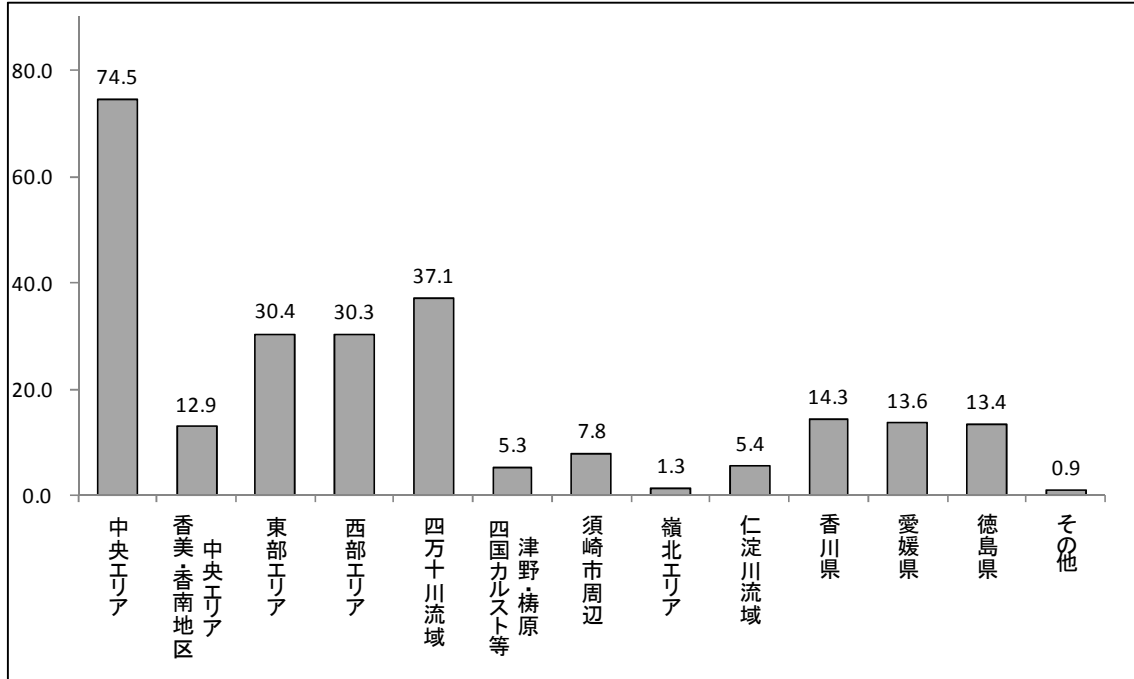
2-3 訪問した観光地

(表 2-3-1) 訪問した(する予定の)観光地エリア(件)

エリア	中央 エリア	香美 香南地区	東部 エリア	西部 エリア	四万十川 流域	津野 橋原等	須崎市 周辺	嶺北 エリア	仁淀川 流域	香川県	愛媛県	徳島県	その他	回答数
件数	894	155	365	364	445	64	93	16	65	172	163	161	11	2968

(注) 調査対象者は 1200 組であるが、複数回答があるため回答数は 2968 となっている。

(図 2-3-2) 訪問した観光地エリア(%)



訪問した(する予定)観光地がある地域を集計すると、全調査対象者 1200 組中、中央(高知城・桂浜・坂本龍馬関係・西島園芸団地等)が 74.5%を占めており、次いで四万十川流域(四万十市・四万十町)が 37.1%、東部(室戸岬・安芸・モネの庭・馬路・生見海岸等)が 30.4%、西部(足摺岬・竜串海岸・大堂海岸・咸陽島等)が 30.3%となっている。

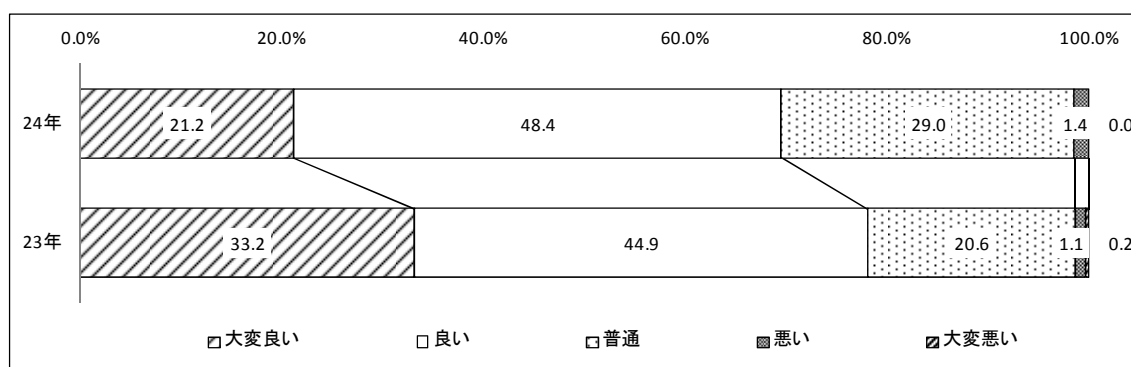
2-4 旅行の満足度

2-4-1 宿泊先

(表 2-4-1-1) 宿泊先満足割合 (件、%) [24 年、23 年]

	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	回答数
24年	156	355	213	10	0	734
	21.2	48.4	29.0	1.4	0.0	61.2
23年	290	392	180	9	2	873
	33.2	44.9	20.6	1.1	0.2	43.7

(図 2-4-1-2) 宿泊先満足割合 (%) [24 年、23 年]



全体の結果を前年と比べると、「大変良い」が前年比 12.0 ポイント減で 21.2%、「良い」が同 3.5 ポイント増で 48.4%、「普通」が同 8.4 ポイント増で 29.0%となった。「大変良い」と「良い」をあわせた割合は 69.6%となり、前年の 78.1%から 8.5 ポイント減少し、「大変悪い」と「悪い」をあわせた割合は、前年とほぼ横ばいの 1.4%となっている。

良い評価をした理由としては、“食事が美味しい”、“接客が丁寧”などがあった。

悪い評価をした理由や指摘としては、“施設が古い割に料金が高い”、“部屋の臭いが気になった”などがあった。

また、調査の際に“概ね価格との釣り合いがとれていた”、“ビジネスホテルはどこも同様、そこそこの感じ”などのご意見を多く聞いた。

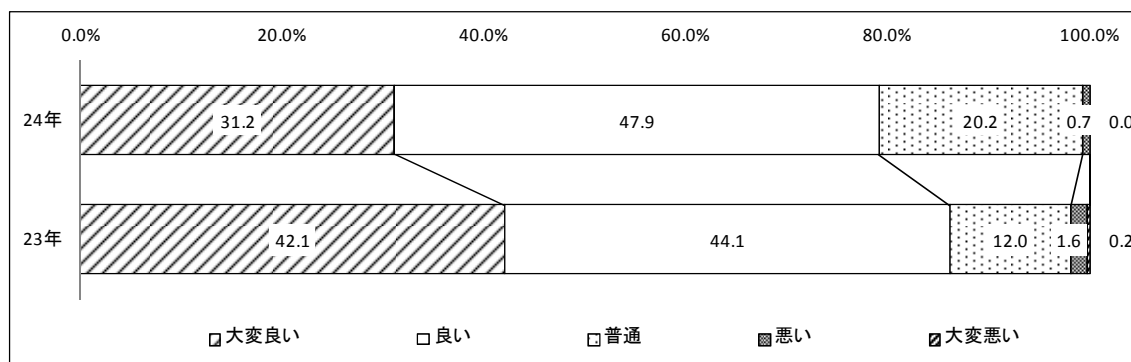
なお、宿泊先の満足度への回答率は 61.2% (前年 43.7%) となっている。

2-4-2 食事・料理店

(表 2-4-2-1) 食事・料理店満足割合 (件、%) [24 年、23 年]

	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	回答数
24年	289	443	187	6	0	925
	31.2	47.9	20.2	0.7	0.0	77.1
23年	384	402	109	15	2	912
	42.1	44.1	12.0	1.6	0.2	45.6

(図 2-4-2-2) 食事・料理店満足割合 (%) [24 年、23 年]



全体の結果を前年と比べると、「大変良い」が前年比 10.9 ポイント減で 31.2%、「良い」が同 3.8 ポイント増で 47.9%、「普通」が同 8.2 ポイント増で 20.2%となっている。「大変良い」と「良い」をあわせた割合は 79.1%と、前年の 86.2%から 7.1 ポイント減少し、「大変悪い」と「悪い」をあわせた割合は 0.7%と、前年の 1.8%から 1.1 ポイント減少した。

良い評価をした理由としては、“かつおのタタキが美味しかった” というものが大半となっている。その他では“高知ならではの料理が良かった”、“ボリュームがあり満足”、“店主が味のある接客をしてくれた”、“店に活気がある”などの声が聞かれた。

悪い評価をした理由や指摘としては、“料理が来るのが遅い”、“値段設定が高い”などとなっている。

また、良い評価をした理由の中には“味は美味しかったが、店が混んでいて注文がなかなか通らなかったのが残念”、“忙しいのは分かるが、もう少しお客様への気遣いが必要”といった声があり、「大変良い」の割合が減少する要因になっていると考えられる。

一方で、“高知で食べるかつおのタタキは別格に美味しい”、“高知のかつおは新鮮で生臭く無く、魚が苦手な人でもたくさん食べられる”といった旅行者の声を多く聞き、“かつおのタタキを食べたくて高知県に来た”という旅行者が少なくなかった。

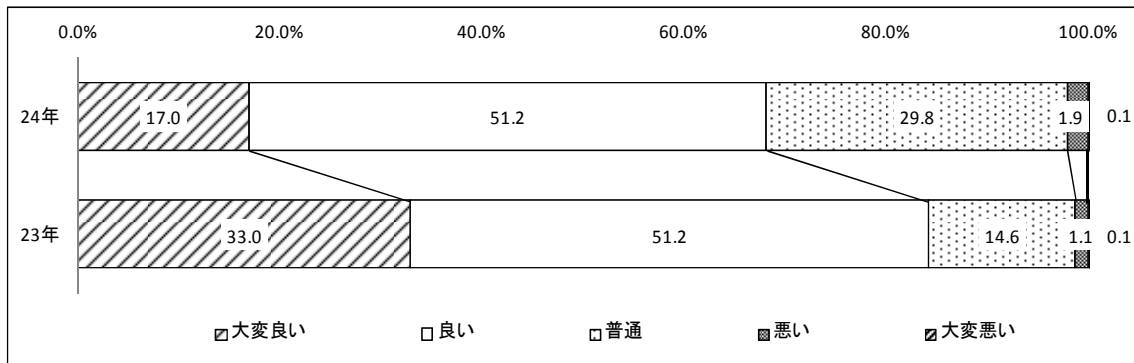
なお、食事・料理店の満足度への回答率は 77.1% (前年 45.6%) と前年よりも大きく増加している。

2-4-3 観光施設

(表 2-4-3-1) 観光施設満足割合 (件、%) [24 年、23 年]

	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	回答数
24年	185	556	323	21	1	1,086
	17.0	51.2	29.8	1.9	0.1	90.5
23年	485	751	214	16	1	1,467
	33.0	51.2	14.6	1.1	0.1	73.4

(図 2-4-3-2) 観光施設満足割合 (%) [24 年、23 年]



全体の結果を前年と比べると、「大変良い」が前年比 16.0 ポイント減で 17.0%、「良い」は前年と同様で 51.2%、「普通」が同 15.2 ポイント増で 29.8%となっている。「大変良い」と「良い」をあわせた割合は 68.2%と、前年の 84.2%から 16.0 ポイント減少し、「大変悪い」と「悪い」をあわせた割合は 2.0%と、前年の 1.2%から 0.8 ポイント増加している。

良い評価をした理由としては、“自然が美しい”というものが大半となっている。その他では“スタッフの対応が良い”、“名所が多く楽しめた”、“説明表記が分かりやすく勉強になった”などがあった。

悪い評価をした理由や指摘としては、“施設が古びている”、“バリアフリーなどが不完全”などがあった。

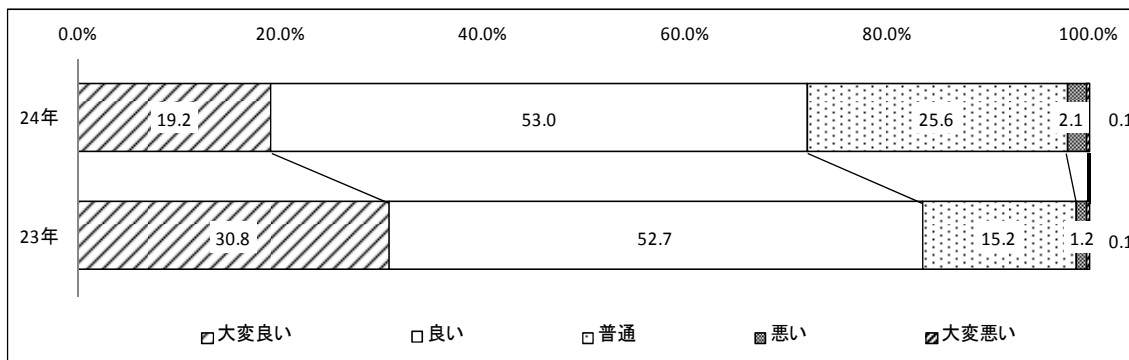
なお、観光施設の満足度への回答率は 90.5% (前年 73.4%) となっている。

2-4-4 観光地の美化

(表 2-4-4-1) 観光地の美化満足割合 (件、%) [24 年、23 年]

	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	回答数
24年	214	592	286	24	1	1,117
	19.2	53.0	25.6	2.1	0.1	93.1
23年	463	791	228	18	1	1,501
	30.8	52.7	15.2	1.2	0.1	75.1

(図 2-4-4-2) 観光地の美化満足割合 (%) [24 年、23 年]



全体の結果を前年と比べると、「大変良い」が前年比 11.6 ポイント減で 19.2%、「良い」が同 0.3 ポイント増の 53.0%、「普通」が同 10.4 ポイント増の 25.6%となっている。「大変良い」と「良い」をあわせた割合は 72.2%と、前年の 83.5%から 11.3 ポイント減少し、「大変悪い」と「悪い」をあわせた割合は 2.2%と、前年の 1.3%より 0.9 ポイント増加している。

良い評価をした理由としては、“清掃が行き届いている”、“ごみが落ちてない”という回答が大半であった。評価の対象は、高知城や桂浜、足摺岬、室戸岬といった高知県の代表的な観光地が多く選ばれている。

悪い評価をした理由や指摘としては、“雑草が茂っている”、“昔より汚くなった”などがあつた。

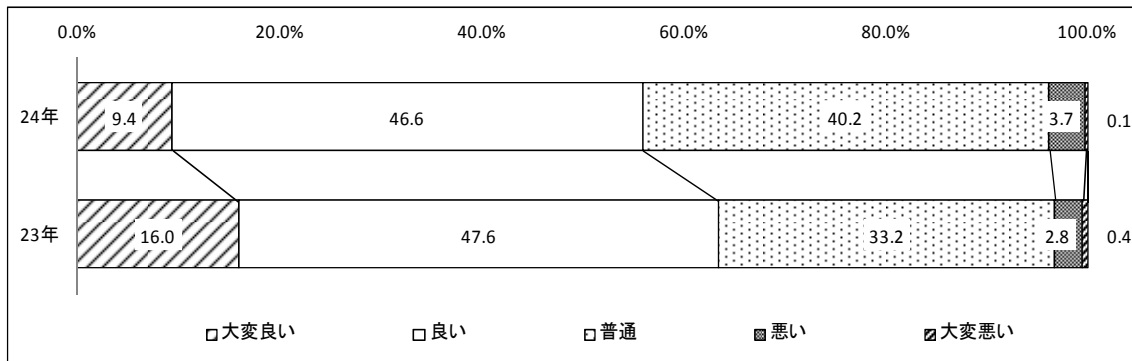
なお、観光地美化への満足度への回答率は 93.1% (前年 75.1%) となっている。

2-4-5 公共トイレ

(表 2-4-5-1) 公共トイレ満足割合 (件、%) [24 年、23 年]

	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	回答数
24年	101	499	431	40	1	1,072
	9.4	46.6	40.2	3.7	0.1	89.3
23年	269	800	558	46	7	1,680
	16.0	47.6	33.2	2.8	0.4	84.0

(図 2-4-5-2) 公共トイレ満足割合 (%) [24 年、23 年]



全体の結果を前年と比べると、「大変良い」が前年比 6.6 ポイント減で 9.4%、「良い」が同 1.0 ポイント減の 46.6%、「普通」が同 7.0 ポイント増の 40.2%となっている。「大変良い」と「良い」をあわせた割合は 56.0%と、前年の 63.6%から 7.6 ポイント減少、「大変悪い」と「悪い」をあわせた割合は 3.8%と、前年の 3.2%から 0.6 ポイント増加している。

良い評価をした理由としては、“中心地にはたくさんあって便利”、“とてもキレイだった”などがあつた。

悪い評価をした理由や指摘としては、“トイレトペーパーが無かったり、有ってもグチャグチャだった”、“臭かった”、“清掃の不足で汚い”などがあつた。

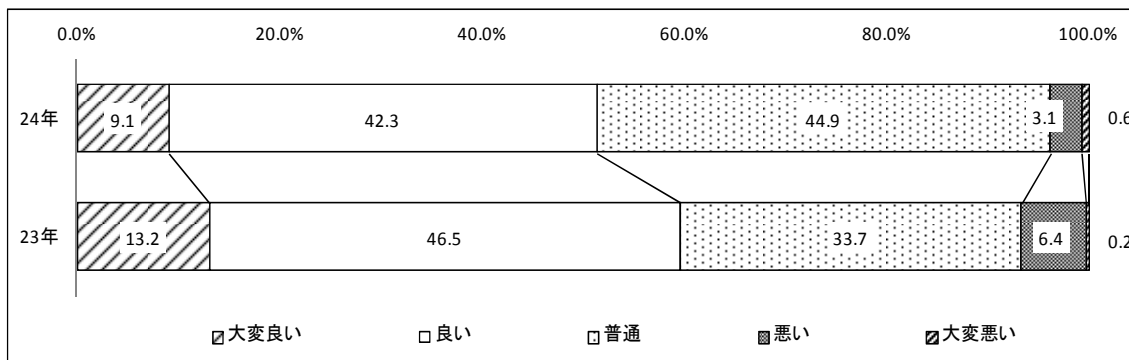
なお、公共トイレの満足度への回答率は 89.3% (前年 84.0%) となっている。

2-4-6 案内標識

(表 2-4-6-1) 案内標識満足割合 (件、%) [24 年、23 年]

	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	回答数
24年	102	474	504	35	7	1,122
	9.1	42.3	44.9	3.1	0.6	93.5
23年	241	853	618	117	4	1,833
	13.2	46.5	33.7	6.4	0.2	91.7

(図 2-4-6-2) 案内標識満足割合 (%) [24 年、23 年]



全体の結果を前年と比べると、「大変良い」が前年比 4.1 ポイント減で 9.1%、「良い」が同 4.2 ポイント減の 42.3%、「普通」が同 11.2 ポイント増の 44.9%となっている。「大変良い」と「良い」をあわせた割合は 51.4%と、前年の 59.7%から 8.3 ポイント減少、「大変悪い」と「悪い」をあわせた割合は 3.7%と、前年の 6.6%から 2.9 ポイント減少している。

良い評価をした理由としては、“分かりやすい”、“交差点のアルファベット表記 (ココ！マーク) が良い”などがあった。

悪い評価をした理由や指摘としては、“公共交通機関に関する案内が分かりにくい”、“外国人向けの英語表記を整備すべき”などがあった。

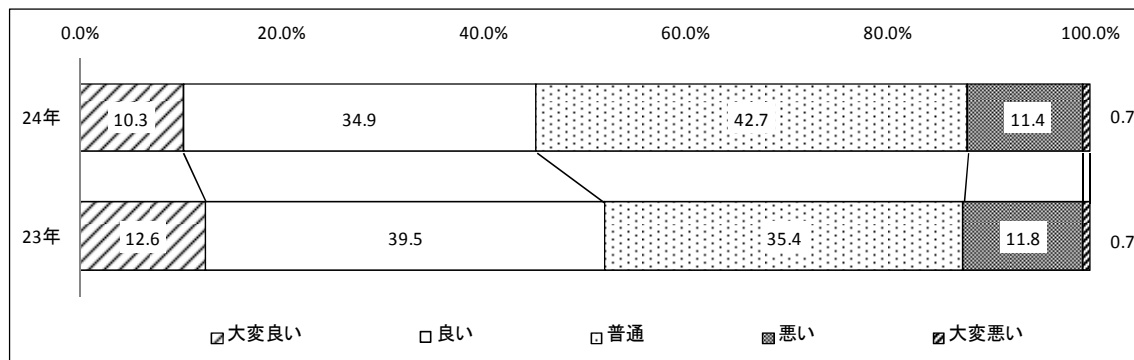
なお、案内標識の満足度への回答率は 93.5% (前年 91.7%) となっている。

2-4-7 道の走行しやすさ

(表 2-4-7-1) 道の走行しやすさ満足割合 (件、%) [24 年、23 年]

	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	回答数
24年	111	376	461	123	8	1,079
	10.3	34.9	42.7	11.4	0.7	89.9
23年	224	706	632	211	12	1,785
	12.6	39.5	35.4	11.8	0.7	89.3

(図 2-4-7-2) 道の走行しやすさ満足割合 (%) [24 年、23 年]



全体の結果を前年と比べると、「大変良い」が前年比 2.3 ポイント減で 10.3%、「良い」が同 4.6 ポイント減の 34.9%、「普通」が同 7.3 ポイント増の 42.7%となっている。「大変良い」と「良い」をあわせた割合は 45.2%と、前年の 52.1%から 6.9 ポイント減少、「大変悪い」と「悪い」をあわせた割合は 12.1%と、前年の 12.5%から 0.4 ポイント減少している。

良い評価をした理由としては、“街並みを見ながら走れるので気持ち良い”、“信号が少なくスムーズ”などがあった。

悪い評価をした理由や指摘としては、“片側 1 車線は怖い”、“路面電車との並走にとまどう”、“路面の状態が悪い”、“高速が中途半端”などがあった。

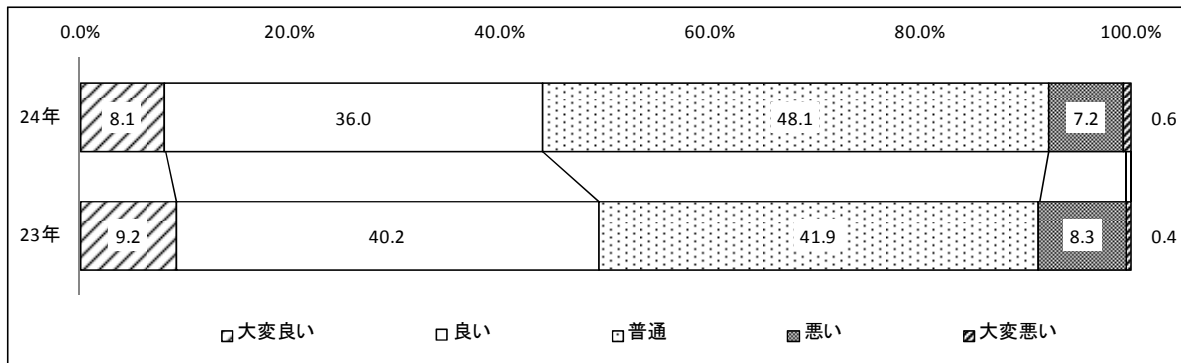
なお、道の走行しやすさの満足度への回答率は 89.9% (前年 89.3%) となっている。

2-4-8 交通マナー

(表 2-4-8-1) 交通マナー満足割合 (件、%) [24 年、23 年]

	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	回答数
24年	89	398	532	80	7	1,106
	8.1	36.0	48.1	7.2	0.6	92.2
23年	168	732	764	151	8	1,823
	9.2	40.2	41.9	8.3	0.4	91.2

(図 2-4-8-2) 交通マナー満足割合 (%) [24 年、23 年]



全体の結果を前年と比べると、「大変良い」が前年比 1.1 ポイント減で 8.1%、「良い」が同 4.2 ポイント減の 36.0%、「普通」が同 6.2 ポイント増の 48.1%となっている。「大変良い」と「良い」をあわせた割合は 44.1%と、前年の 49.4%から 5.3 ポイント減少し、「大変悪い」と「悪い」をあわせた割合は 7.8 ポイントと、前年の 8.7%から 0.9 ポイント減少している。

良い評価をした理由としては、“皆さん、のんびり走行している”が多かった。

悪い評価をした理由や指摘としては、“方向指示器を出さない”、“強引な割り込みが多い”、“運転が乱暴”、“速度を出し過ぎている”などがあつた。

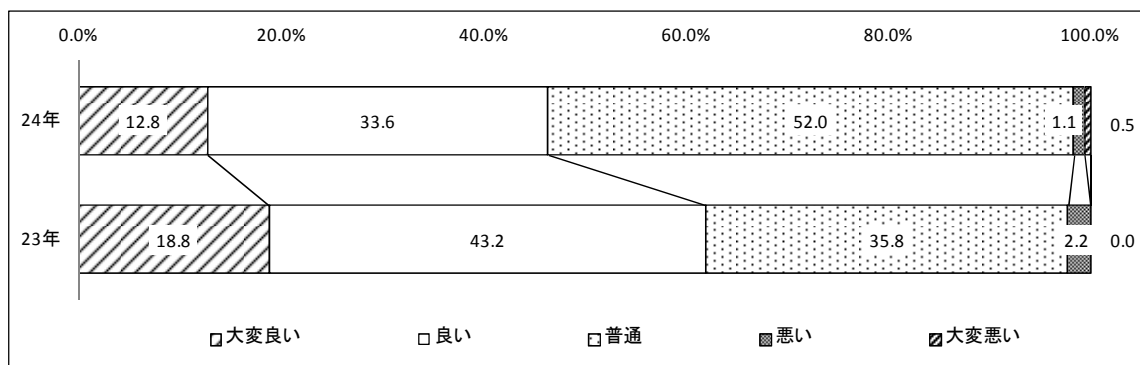
なお、交通マナーの満足度への回答率は 92.2% (前年 91.2%) となっている。

2-4-9 タクシーの接客マナー

(表 2-4-9-1) タクシーの接客マナー満足割合 (件、%) [24 年、23 年]

	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	回答数
24年	57	150	232	5	2	446
	12.8	33.6	52.0	1.1	0.5	37.2
23年	61	140	116	7	0	324
	18.8	43.2	35.8	2.2	0.0	16.2

(図 2-4-9-2) タクシーの接客マナー満足割合 (%) [24 年、23 年]



全体の結果を前年と比べると、「大変良い」が前年比 6.0 ポイント減で 12.8%、「良い」が同 9.6 ポイント減の 33.6%、「普通」が同 16.2 ポイント増の 52.0%となっている。「大変良い」と「良い」をあわせた割合は 46.4%と、前年の 62.0%から 15.6 ポイント減少している。

良い評価をした理由としては、“お話が上手で、乗車中ずっと楽しませてくれた”、“気さくで親切”、“細かい事まで丁寧に説明してくれた”などがあつた。

悪い評価をした理由や指摘としては、“特に夜、運転が荒っぽかった”、“近距離と分かった途端に、運転手の機嫌がありありと悪くなった”などがあつた。

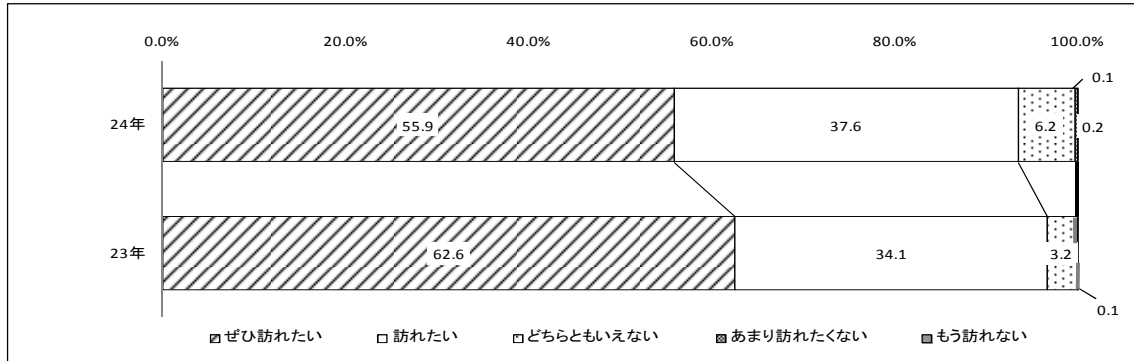
なお、タクシーの接客マナーの満足度への回答率は 37.2% (前年 16.2%) となっている。

2-5 高知県にもう一度来たいですか

(表 2-5-1) 高知県再訪希望割合 (件、%) [24 年、23 年]

	ぜひ訪れたい	訪れたい	どちらともいえない	あまり訪れたくない	もう訪れない	回答数
24年	669	450	74	1	2	1196
	55.9	37.6	6.2	0.1	0.2	99.7
23年	1248	680	64	3	0	1995
	62.6	34.1	3.2	0.1	0.0	99.8

(図 2-5-2) 高知県再訪希望割合 (%) [24 年、23 年]

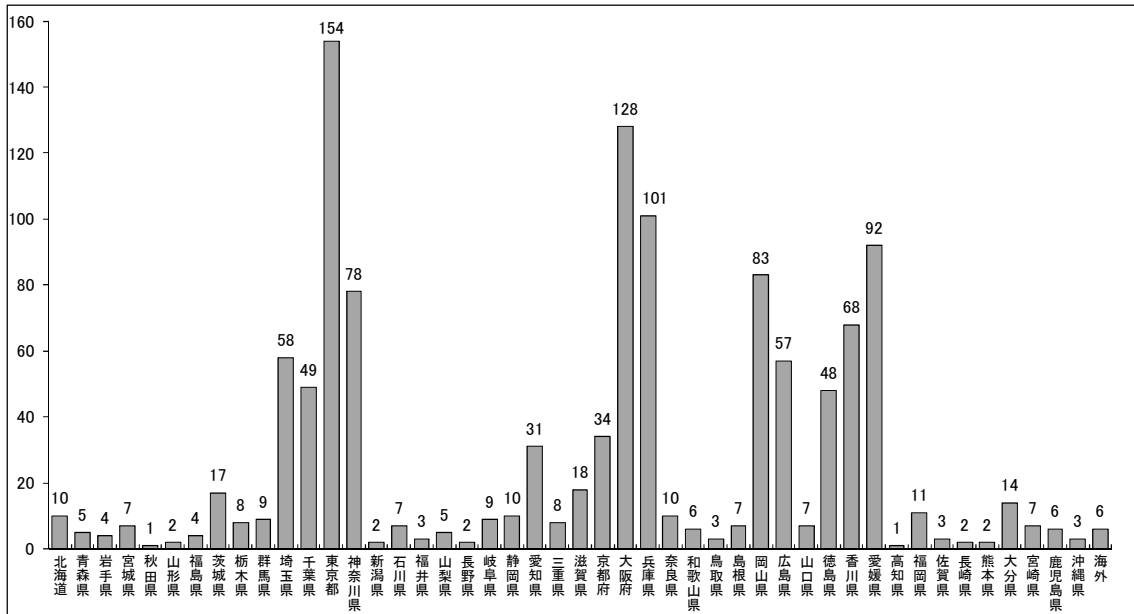


全体の結果を前年と比べると「ぜひ訪れたい」は前年比 6.7 ポイント減の 55.9%で、「ぜひ訪れたい」に「訪れたい」をあわせた割合は 93.5%と、前年の 96.7%から 3.2 ポイント減少している。

なお、質問への回答率は、99.7% (前年 99.8%) となっている。

2-6 発地（回答者の居住地）

（図 2-6-1）発地都道府県（件）



（海外）

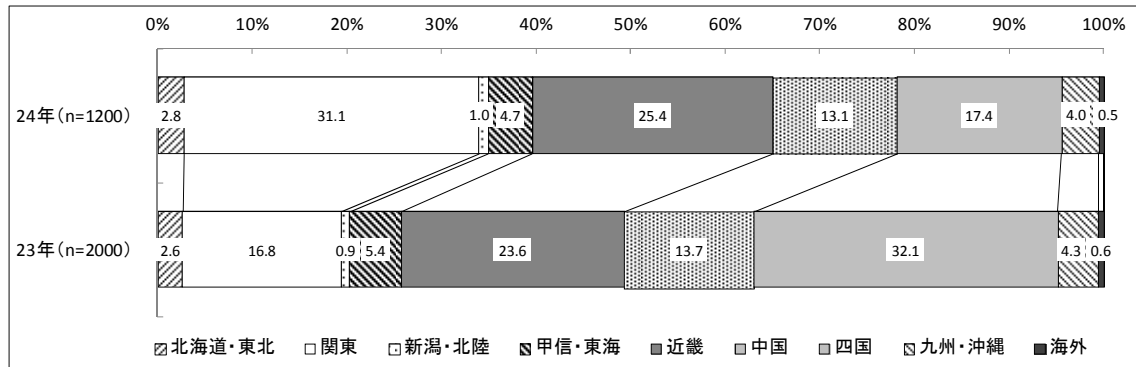
4件	中国
1件	スイス
1件	アメリカ

回答者の発地都道府県をみると、「東京」が12.8%で最も多くなっている。次いで「大阪」10.7%、「兵庫」8.4%、「愛媛」7.7%、「岡山」6.9%となっている。

(表 2-6-2) 発地ブロック割合 (件、%) [24 年、23 年]

	北海道・東北	関東	新潟・北陸	甲信・東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄	海外
24年(n=1200)	33	373	12	57	305	157	209	48	6
	2.8	31.1	1	4.7	25.4	13.1	17.4	4	0.5
23年(n=2000)	51	337	17	107	473	274	643	86	12
	2.6	16.8	0.9	5.4	23.6	13.7	32.1	4.3	0.6

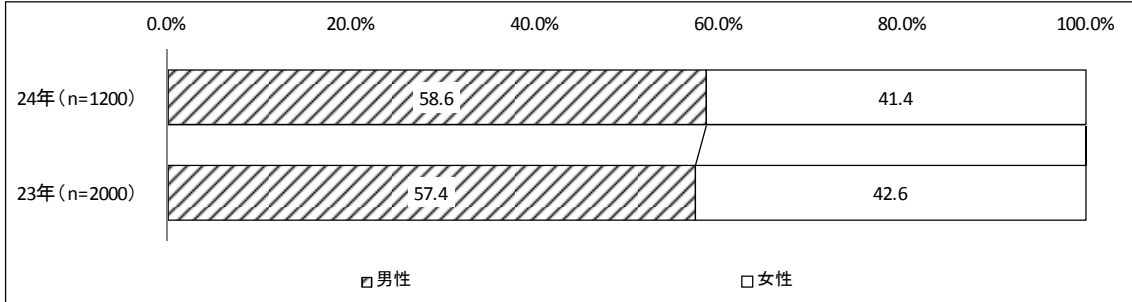
(図 2-6-3) 発地ブロック割合 (%) [24 年、23 年]



回答者の発地ブロック別の割合をみると、「関東」が31.1%で最も多く、次いで「近畿」25.4%、「四国」17.4%、「中国」13.1%の順で多くなっている。

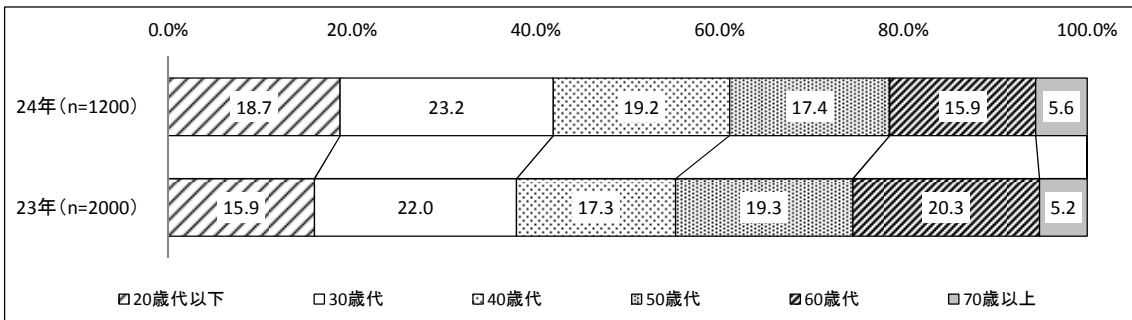
2-7 性別・年代

(図 2-7-1) 性別割合 (%) [24 年、23 年]



回答者の男女比は、前年とほぼ同じ割合でおよそ 6 : 4 となった。他の街頭調査同様、ご家族連れなどの場合、男性が率先して回答される傾向が出たと思われる。

(図 2-7-2) 年代割合 (%) [24 年、23 年]



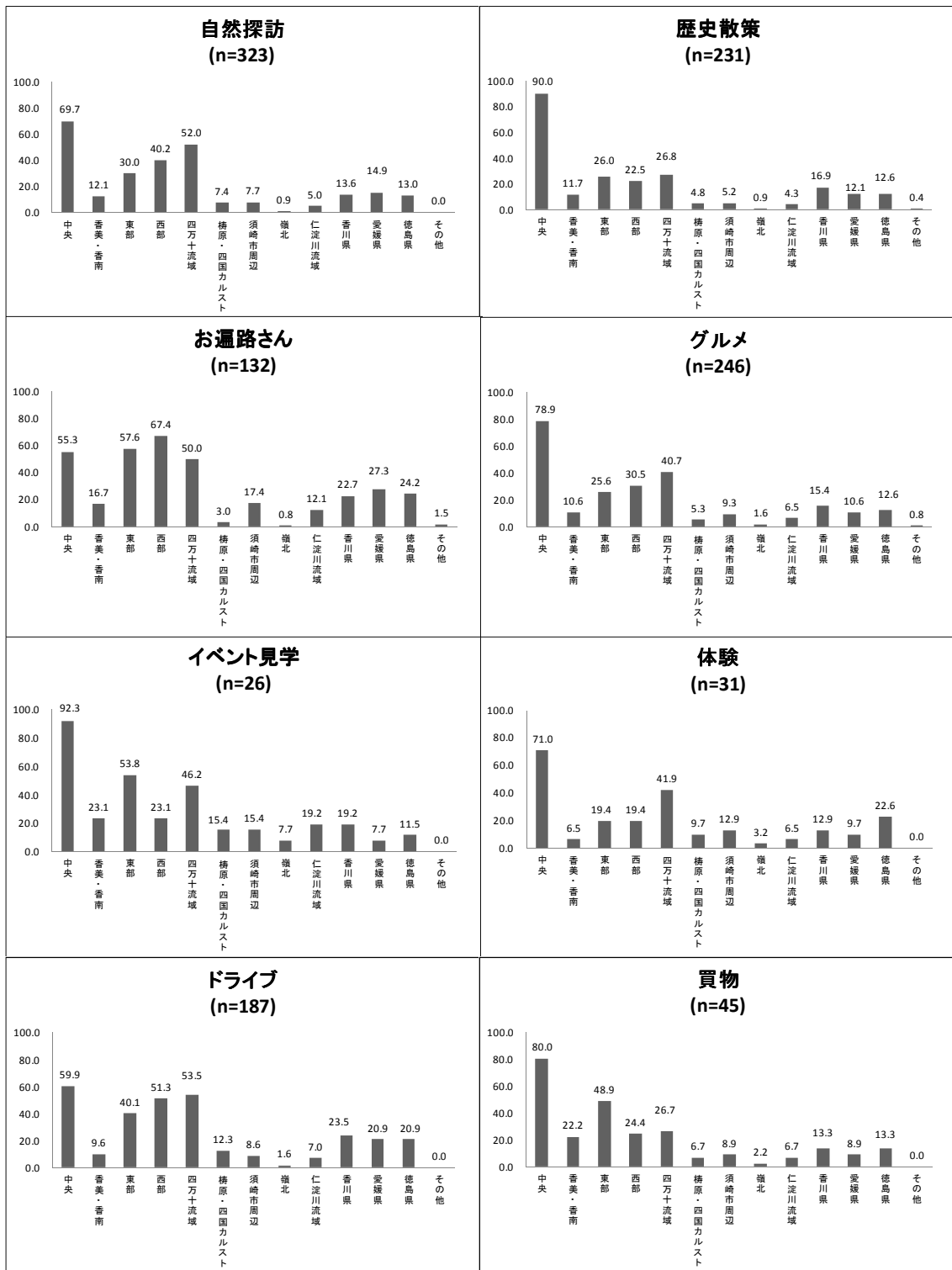
年代割合は、前年に比べて「20 歳以下」から「40 代」までで増加、「50 代」から「60 代」で減少、70 歳以上はほぼ横ばいとなっている。細かく見てみると、「30 歳代」が前年比 1.2 ポイント増の 23.2% で最も多く、次いで「40 歳代」が同 1.9 ポイント増で 19.2%、「20 歳以下」が同 2.8 ポイント増で 18.7%、「50 歳代」が同 1.9 ポイント減で 17.4%、「60 歳代」が同 4.4 ポイント減で 15.9%、「70 歳以上」が 0.4 ポイント増で 5.6% となっている。

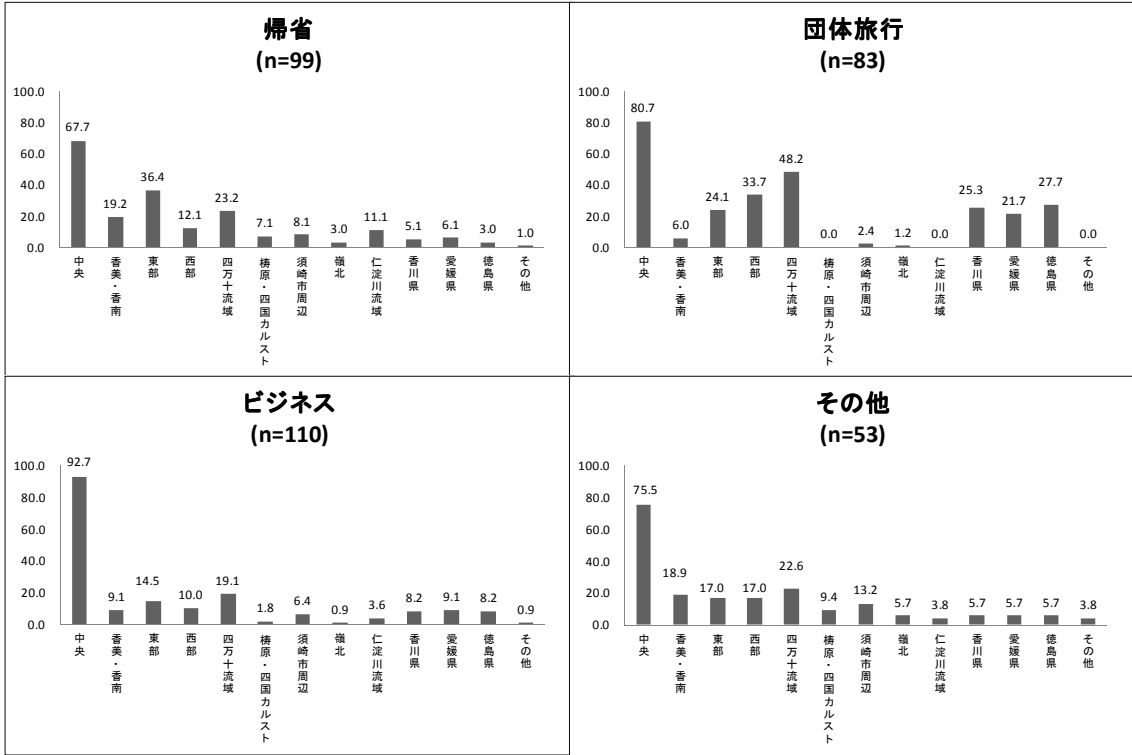
3 クロス集計結果

3-1 旅行目的別割合

3-1-1 旅行目的別訪問エリア割合

(図 3-1-1-1) 旅行目的別訪問エリア割合 (%)





(注) 複数回答あり。(回答数 1566・調査対象者 1200 組)
前年調査時と設問内容が異なるため、前年データはない。

(表 3-1-1-2) 旅行目的別訪問エリア割合 (件)

	中央	香美 香南	東部	西部	四万十 流域	津野 橋原	須崎市 周辺	嶺北	仁淀川 流域	香川県	愛媛県	徳島県	その他
自然探訪(n=323)	225	39	97	130	168	24	25	3	16	44	48	42	0
歴史散策(n=231)	208	27	60	52	62	11	12	2	10	39	28	29	1
お遍路さん(n=132)	73	22	76	89	66	4	23	1	16	30	36	32	2
グルメ(n=246)	194	26	63	75	100	13	23	4	16	38	26	31	2
イベント見学(n=26)	24	6	14	6	12	4	4	2	5	5	2	3	0
体験(n=31)	22	2	6	6	13	3	4	1	2	4	3	7	0
ドライブ(n=187)	112	18	75	96	100	23	16	3	13	44	39	39	0
買物(n=45)	36	10	22	11	12	3	4	1	3	6	4	6	0
帰省(n=99)	67	19	36	12	23	7	8	3	11	5	6	3	1
団体旅行(n=83)	67	5	20	28	40	0	2	1	0	21	18	23	0
ビジネス(n=110)	102	10	16	11	21	2	7	1	4	9	10	9	1
その他(n=53)	40	10	9	9	12	5	7	3	2	3	3	3	2

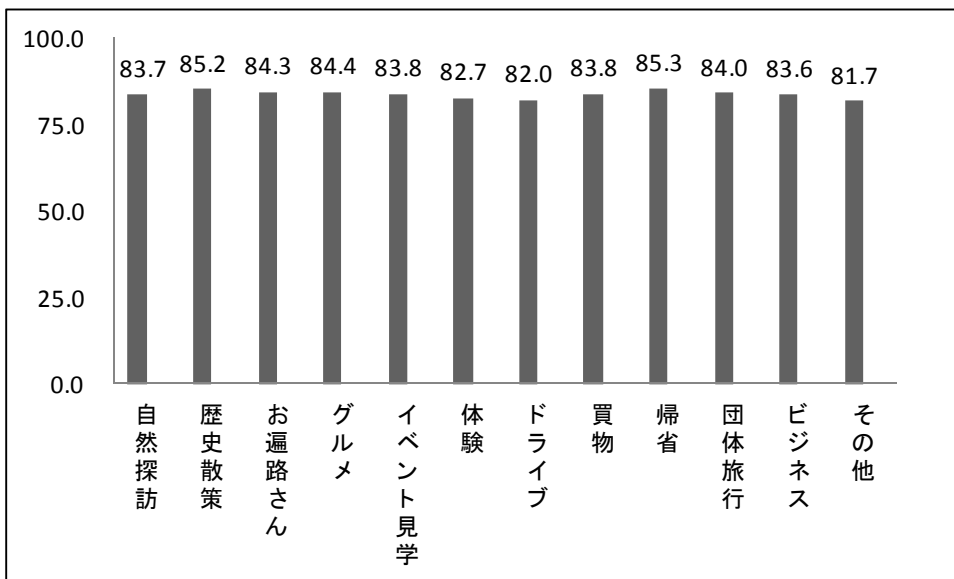
※ **太字** は年代で 1 位、**太字** は同 2 位

旅行目的別に 1 位となった訪問エリアをみると、「お遍路さん」のみが「西部」で、その他の項目は「中央」となっている。

次いで、2 位となった訪問エリアをみると、「お遍路さん」、「イベント見学」、「買物」、「帰省」の 4 項目が「東部」、「その他」が「香美・香南」、それらを除く項目が「四万十流域」になっている。なお、「買物」が「東部」に多いのは、調査地点「キラメッセ室戸」の影響が考えられる。

3-1-2 旅行目的別旅行満足度割合

(図 3-1-2-1) 旅行目的別旅行満足度割合 (平均点)



(注) あてはまるもの2つまで回答。(回答数 1566・調査対象者 1200 組)
前年調査時と設問内容が異なるため、前年データはない。

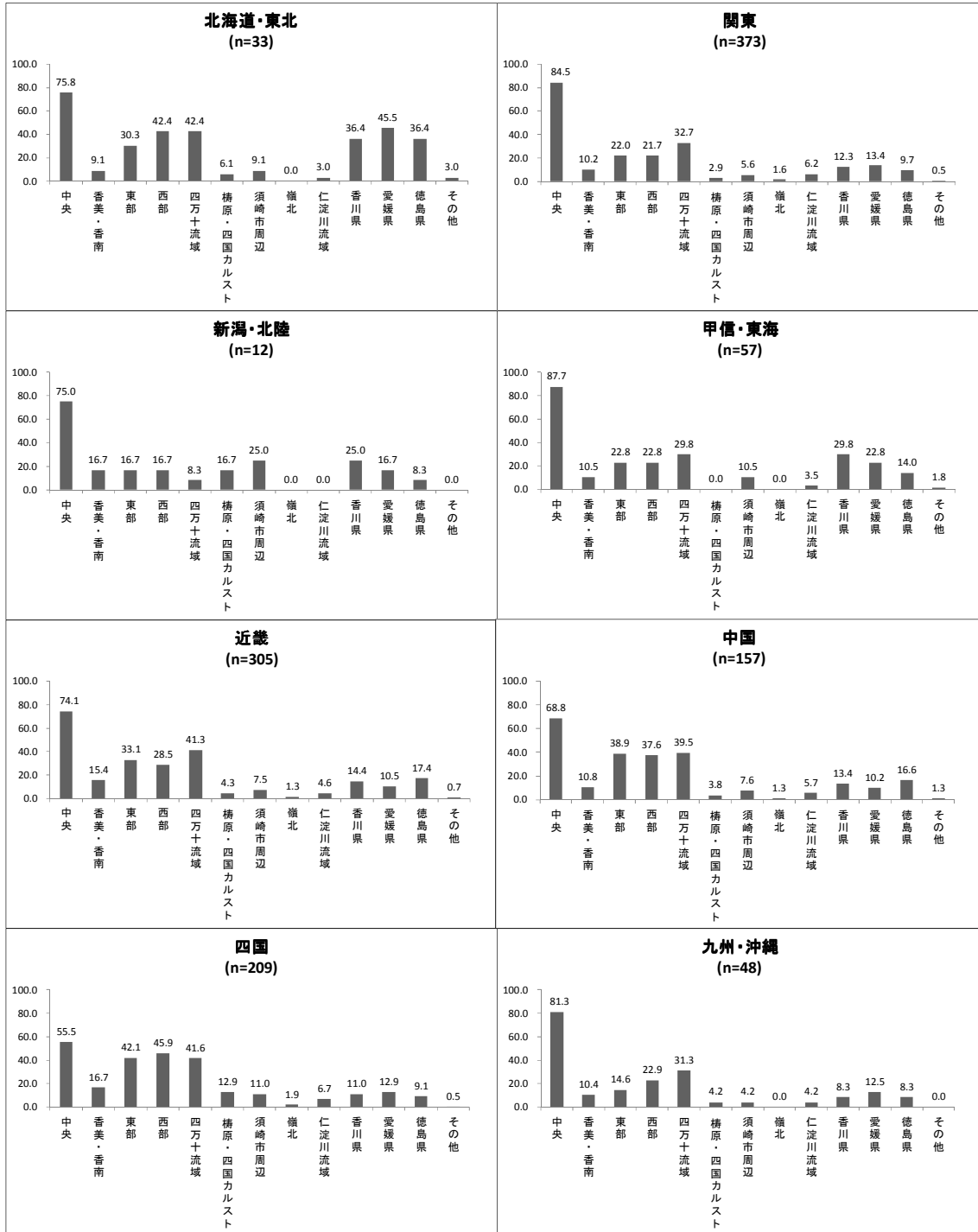
旅行目的別の旅行満足度の平均点は、全て 80 点以上となっている。1 位は「帰省」で 85.3 点、2 位は「歴史散策」で 85.2 点、3 位は「グルメ」で 84.4 点と続く。

もっとも平均点が低かったのは「その他」の 81.7 点であったが、「その他」を選んだ方は、「法事」、「墓参り」、「結婚式」、「親戚訪問」、「学会出席」などが旅行目的であり、「今回はゆっくり観光する時間が無かったので、満足とも不満足とも言い難い」といった声が多く聞かれた。

3-2 発地ブロック別割合

3-2-1 発地ブロック別訪問エリア割合

(図 3-2-1-1) 発地ブロック別訪問エリア割合 (%)



(注) 前年調査時と設問内容が異なるため、前年データはない。

(注) 調査対象者は 1200 組であるが、複数回答があるため回答数は 2968 となっている。

(注) 「海外」の項目は回答数が極めて少ないため、分析項目としては不適当と判断し除外している。

(表 3-2-1-2) 発地ブロック別訪問エリア割合 (件)

ブロック	中央	香美 香南	東部	西部	四万十 流域	橋原 四国カル スト	須崎市 周辺	嶺北	仁淀川 流域	香川県	愛媛県	徳島県	その他
北海道・東北(n=33)	25	3	10	14	14	2	3	0	1	12	15	12	1
関東(n=373)	315	38	82	81	122	11	21	6	23	46	50	36	2
新潟・北陸(n=12)	9	2	2	2	1	2	3	0	0	3	2	1	0
甲信・東海(n=57)	50	6	13	13	17	0	6	0	2	17	13	8	1
近畿(n=305)	226	47	101	87	126	13	23	4	14	44	32	53	2
中国(n=157)	108	17	61	59	62	6	12	2	9	21	16	26	2
四国(n=209)	116	35	88	96	87	27	23	4	14	23	27	19	1
九州・沖縄(n=48)	39	5	7	11	15	2	2	0	2	4	6	4	0
海外(n=6)	1	2	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0
総計	889	155	364	363	444	63	93	17	69	170	161	159	9

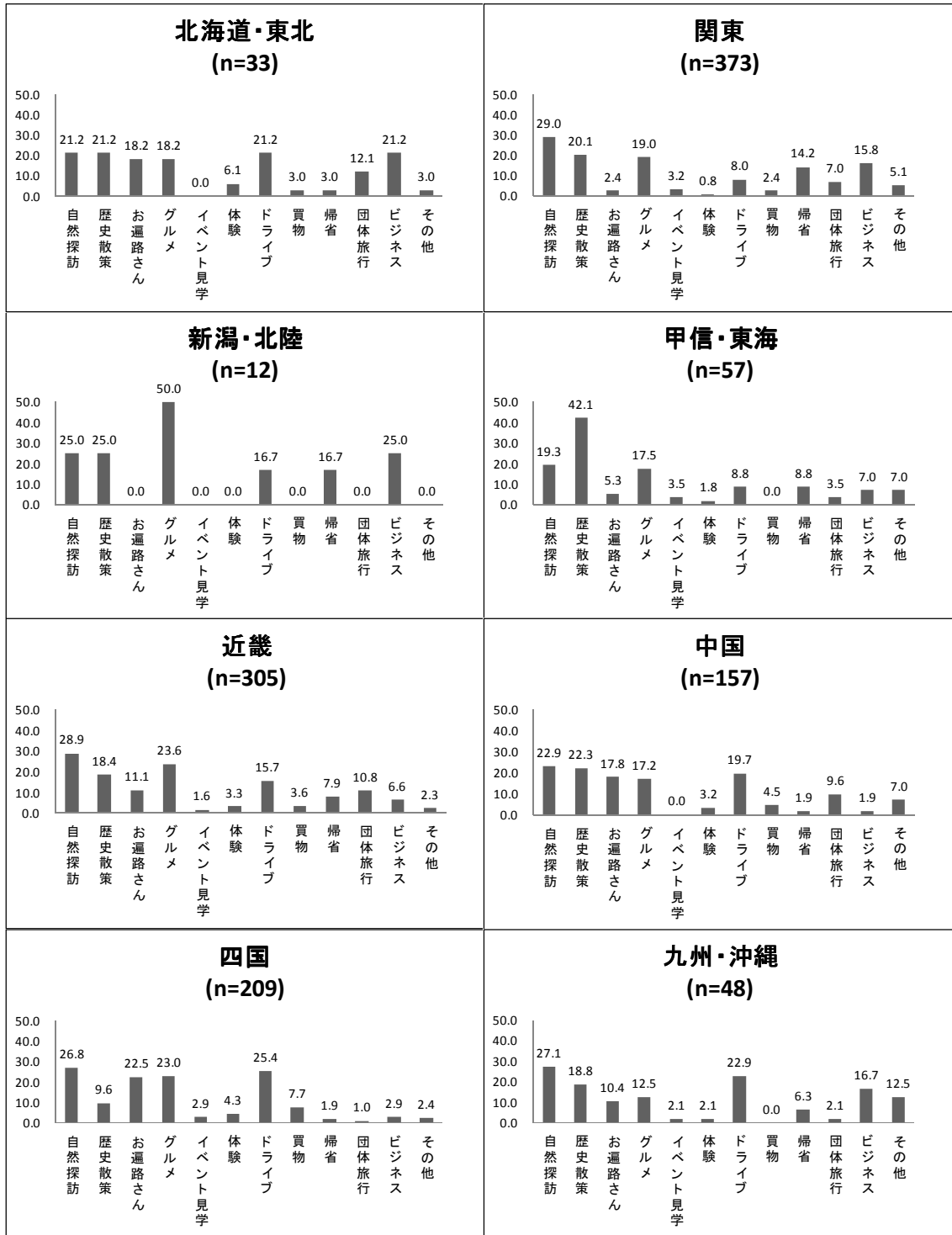
発地ブロック別に訪問エリアをみると、すべてのブロックで“中央”が1位となっている。

2位は「新潟・北陸」では”須崎市周辺”、「四国」では”西部”となり、その他のブロックは”四万十流域”であった。

また、「北海道・東北」は“愛媛県”を45.5%、“徳島県”と“香川県”を36.4%の方が訪問しており、高知県単独での旅行ではなく、四国内を他県を含めた広い範囲で周遊している傾向がみられた。

3-2-2 発地ブロック別旅行目的割合

(図 3-2-2-1) 発地ブロック別旅行目的割合 (%)



(注) 前年調査時と設問内容が異なるため、前年データはない。

(注) 調査対象者は 1200 組であるが、複数回答があるため回答数は 2968 となっている。

(注) 「海外」の項目は回答数が極めて少ないため、分析項目としては不適当と判断し除外している。

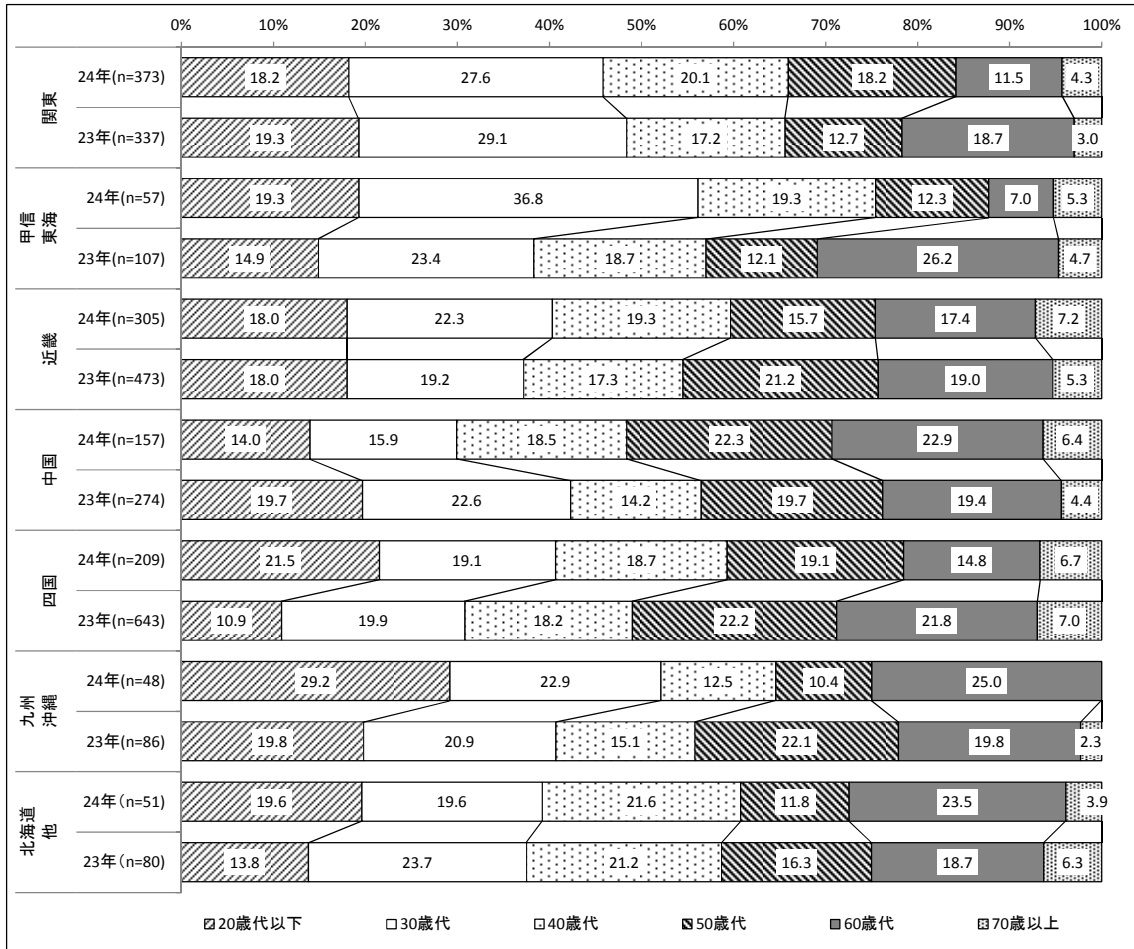
(表 3-2-2-2) 発地ブロック別旅行目的割合 (件)

ブロック	自然探訪	歴史散策	お遍路さん	グルメ	イベント見学	体験	ドライブ	買物	帰省	団体旅行	ビジネス	その他
北海道・東北(n=33)	7	7	6	6	0	2	7	1	1	4	7	1
関東(n=373)	108	75	9	71	12	3	30	9	53	26	59	19
新潟・北陸(n=12)	3	3	0	6	0	0	2	0	2	0	3	0
甲信・東海(n=57)	11	24	3	10	2	1	5	0	5	2	4	4
近畿(n=305)	88	56	34	72	5	10	48	11	24	33	20	7
中国(n=157)	36	35	28	27	0	5	31	7	3	15	3	11
四国(n=209)	56	20	47	48	6	9	53	16	4	2	6	5
九州・沖縄(n=48)	13	9	5	6	1	1	11	0	3	1	8	6
海外(n=6)	1	2	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0
総計	323	231	132	246	26	31	187	45	99	83	110	53

主な発地ブロックの旅行目的をみると、「関東」は“自然探訪”“歴史散策”が1位、2位を占めている。「近畿」は“自然探訪”“グルメ”が、「中国」は“自然探訪”“歴史散策”、「四国」は“自然探訪”“ドライブ”となっている。全エリアにおいて“自然探訪”が多くなっている。

3-2-3 発地ブロック別年代割合

(図 3-2-3-1) 発地ブロック別年代割合 (%) [24年、23年]



(表 3-2-3-2) 発地ブロック別年代割合 (件) [24年、23年]

発地ブロック	年	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
関東	24年(n=373)	68	103	75	68	43	16
	23年(n=337)	65	98	58	43	63	10
甲信東海	24年(n=57)	11	21	11	7	4	3
	23年(n=107)	16	25	20	13	28	5
近畿	24年(n=305)	55	68	59	48	53	22
	23年(n=473)	85	91	82	100	90	25
中国	24年(n=157)	22	25	29	35	36	10
	23年(n=274)	54	62	39	54	53	12
四国	24年(n=209)	45	40	39	40	31	14
	23年(n=643)	70	128	117	143	140	45
九州沖縄	24年(n=48)	14	11	6	5	12	0
	23年(n=86)	17	18	13	19	17	2
北海道他	24年(n=51)	10	10	11	6	12	2
	23年(n=80)	11	19	17	13	15	5

主な発地ブロックの旅行者の年代割合をみると、「関東」は40代以下の割合が65.9%と多くなっている。前年と比べると60代が減少し、40代と50代の割合が増加している。「近畿」は40代以下の割合が59.6%、対前年では30代と40代の割合が増加し、50代が減少している。「四国」は40代以下の割合が59.3%となり、対前年では20代が増加し、50代と60代が減少している。40代以下が半数を下回ったのは「中国」のみであるが、対前年でも40代から60代が増加し、20代以下が減少している。

その他で目立った変化は、「甲信・東海」の30歳代で、前年に比べて13.4ポイントの増加となっている。反対に、同ブロックの60歳代は、19.2ポイントの減少となっている。

3-3 性別割合

3-3-1 性別満足度割合

(表 3-3-1-1) 性別満足度割合 (平均点)

	平均点	回答数
男性	83.3	703
女性	84.1	497

(表 3-3-1-2) 性別満足度割合 (件、%)

	100点	90点台	80点台	70点台	60点台	50点台	49点以下	無回答
男性	103	196	272	90	23	10	4	5
	14.6	27.9	38.7	12.8	3.3	1.4	0.6	0.7
女性	97	140	177	54	14	8	0	7
	19.5	28.2	35.6	10.9	2.8	1.6	0	1.4

性別で満足度の平均点をみると、男性が83.3点、女性が84.1点と、男女共に80点以上の評価となっている。

最も多かった点数は、男女共に80点台で、男性が272件(38.7%)、女性が177件(35.6%)となっている。2位は男女共に90点台で、男性196件(27.9%)、女性140件(28.2%)と続いた。3位は男女共に100点で、男性103件(14.6%)、女性97件(19.5%)となっている。

70点以上の割合の合計が、男性94.0%、女性94.2%と9割以上を占めている。また、69点以下の割合の合計が、男性5.3%、女性4.4%と非常に少なくなっていることから、旅行者のほとんどの方が、満足していることがうかがえる。

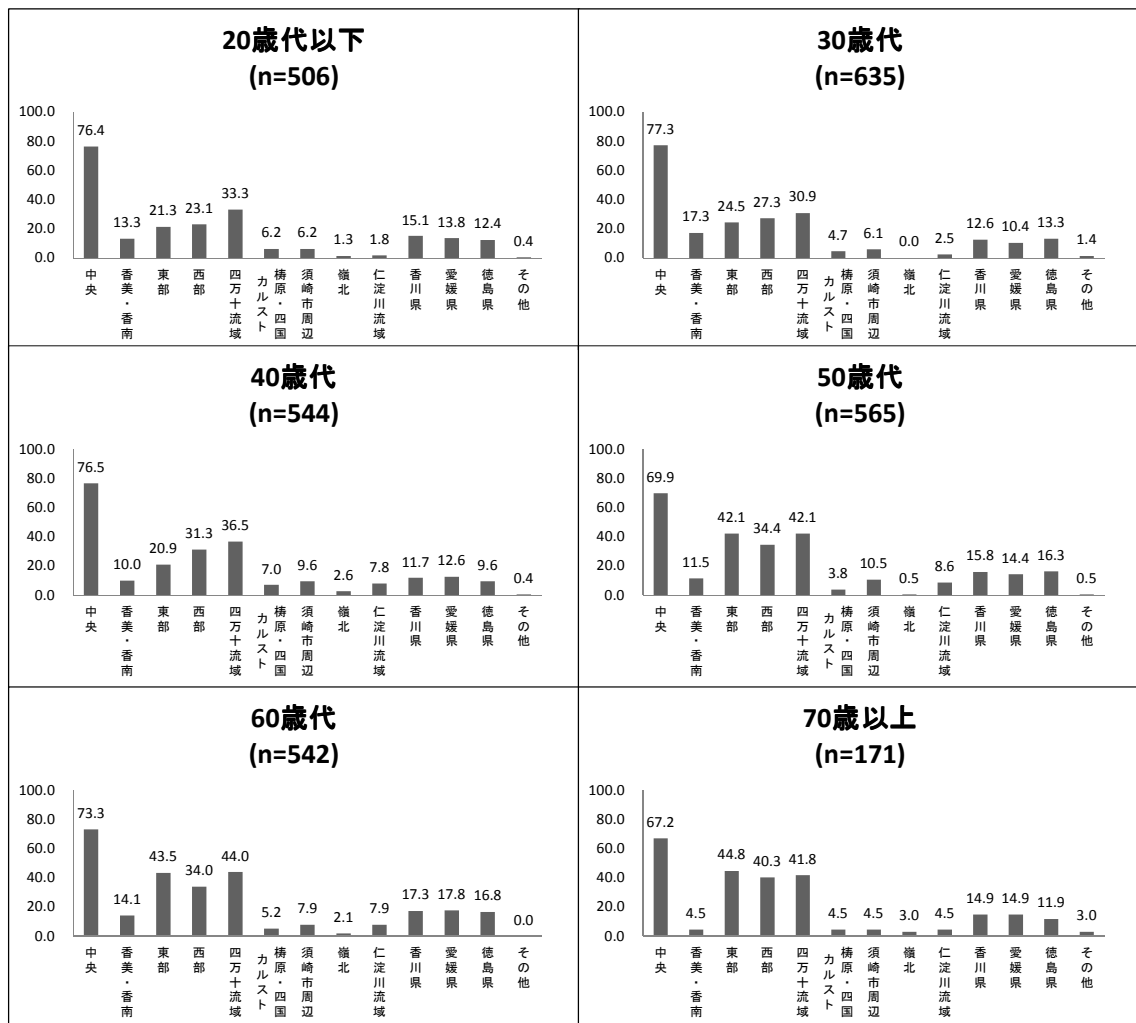
3-4 年代別割合

3-4-1 年代別訪問エリア割合

(表 3-4-1-1) 年代別訪問エリア割合 (件)

	中央	香美・香南	東部	西部	四万十流域	津野・橋原・四国カルスト	須崎市周辺	嶺北	仁淀川流域	香川県	愛媛県	徳島県	その他
20歳以下	172	30	48	52	75	14	14	3	4	34	31	28	1
30歳代	215	48	68	76	86	13	17	0	7	35	29	37	4
40歳代	176	23	48	72	84	16	22	6	18	27	29	22	1
50歳代	146	24	88	72	88	8	22	1	18	33	30	34	1
60歳代	140	27	83	65	84	10	15	4	15	33	34	32	0
70歳以上	42	3	30	27	28	3	3	2	3	10	10	8	2
総計	891	155	365	364	445	64	93	16	65	172	163	161	9

(図 3-4-1-2) 年代別訪問エリア割合 (%)



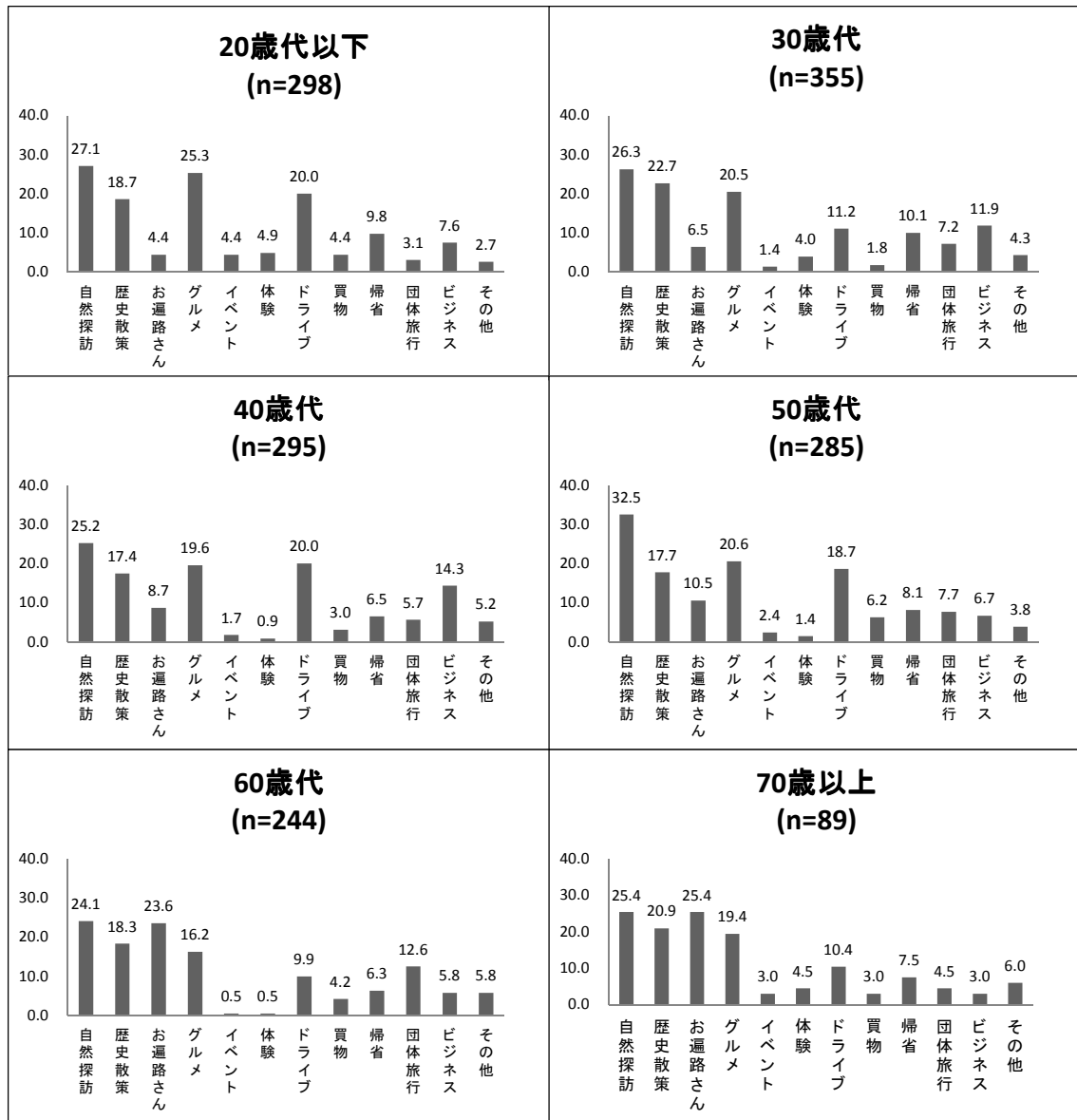
(注) 複数回答あり。(回答数 2966・調査対象者 1200 組)

(注) 前年調査時と設問内容が異なるため、前年データはない。

年代別訪問エリア割合をみると、すべての年代で“中央”が1位となっている。また、2位は「70歳以上」で「東部」、それ以外の年代では“四万十流域”となっている。

3-4-2 年代別旅行目的割合

(図 3-4-2-1) 年代別旅行目的割合 (%)



(注) 前年調査時と設問内容が異なるため、前年データはありません。

(注) 調査対象者は 1200 組であるが、複数回答があるため回答数は 2968 となっている。

年代別に旅行目的割合をみると、すべての年代で“自然探訪”が1位となっている。2位以下をみると、「20代以下」は“グルメ”が2位、“ドライブ”が3位、「30歳代」は“歴史散策”が2位、“グルメ”が3位、「40歳代」は“ドライブ”が2位、“グルメ”が3位、「50歳代」は“グルメ”が2位、“ドライブ”が3位となり、「50歳代」以下では食への関心が高いことが分かる。また、「60歳代」と「70歳以上」では、“お遍路さん”が2位、“歴史散策”が3位となっている。

なお、“お遍路さん”は、年代が上がるほど、割合が増加している。

3-4-3 年代別旅行満足度割合

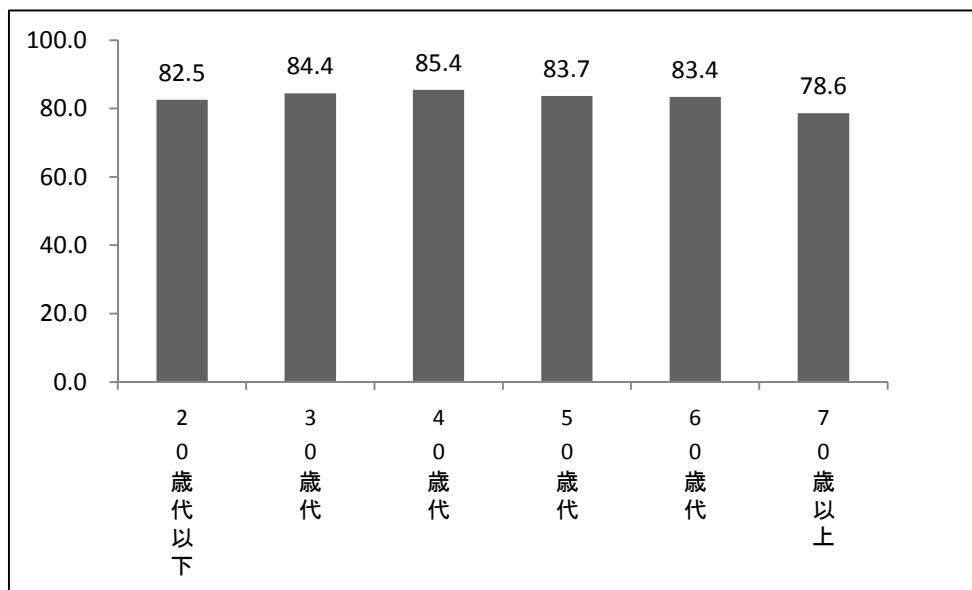
(表 3-4-3-1) 年代別旅行満足度割合 (平均点)

	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
人数	225	278	230	209	191	63
平均点	82.5	84.4	85.4	83.7	83.4	78.6

(注) 前年調査時と設問内容が異なるため、前年データはありません。

(回答数 1200・調査対象者 1200 組)

(図 3-4-3-2) 年代別旅行満足度割合 (平均点)



年代別旅行満足度の平均点は、「70歳以上」が78.6点である以外はすべて80点以上で、最高は「40歳代」の85.4点となっている。

4 総括

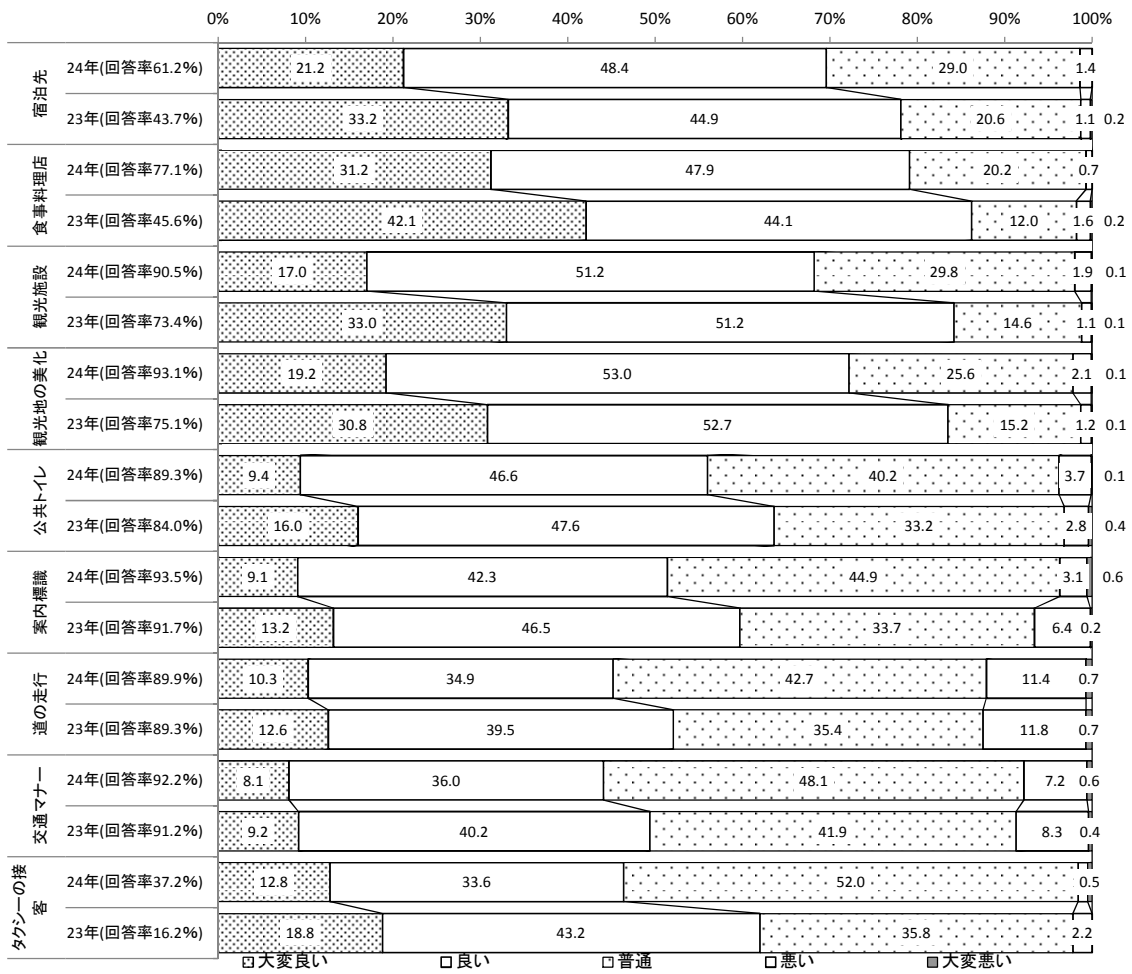
今回の調査では、旅行中の満足度を問うほとんどの設問において、前年に比べて「大変良い」の割合が減少し、「普通」の割合が増加しているため、平均点が僅かではあるが、下がっている（表 4-1・図 4-2）。

（表 4-1）旅行の満足度割合（％）・同平均点 [24 年・23 年]

		大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	平均点
宿泊先	24年(回答率61.2%)	21.2	48.4	29.0	1.4	0.0	3.9
	23年(回答率43.7%)	33.2	44.9	20.6	1.1	0.2	4.1
食事料理店	24年(回答率77.1%)	31.2	47.9	20.2	0.7	0.0	4.1
	23年(回答率45.6%)	42.1	44.1	12.0	1.6	0.2	4.3
観光施設	24年(回答率90.5%)	17.0	51.2	29.8	1.9	0.1	3.8
	23年(回答率73.4%)	33.0	51.2	14.6	1.1	0.1	4.2
観光地の美化	24年(回答率93.1%)	19.2	53.0	25.6	2.1	0.1	4.1
	23年(回答率75.1%)	30.8	52.7	15.2	1.2	0.1	4.1
公共トイレ	24年(回答率89.3%)	9.4	46.6	40.2	3.7	0.1	3.6
	23年(回答率84.0%)	16.0	47.6	33.2	2.8	0.4	3.8
案内標識	24年(回答率93.5%)	9.1	42.3	44.9	3.1	0.6	3.6
	23年(回答率91.7%)	13.2	46.5	33.7	6.4	0.2	3.7
道の走行	24年(回答率89.9%)	10.3	34.9	42.7	11.4	0.7	3.4
	23年(回答率89.3%)	12.6	39.5	35.4	11.8	0.7	3.5
交通マナー	24年(回答率92.2%)	8.1	36.0	48.1	7.2	0.6	3.4
	23年(回答率91.2%)	9.2	40.2	41.9	8.3	0.4	3.5
タクシーの接客	24年(回答率37.2%)	12.8	33.6	52.0	1.1	0.5	3.6
	23年(回答率16.2%)	18.8	43.2	35.8	2.2	0.0	3.8

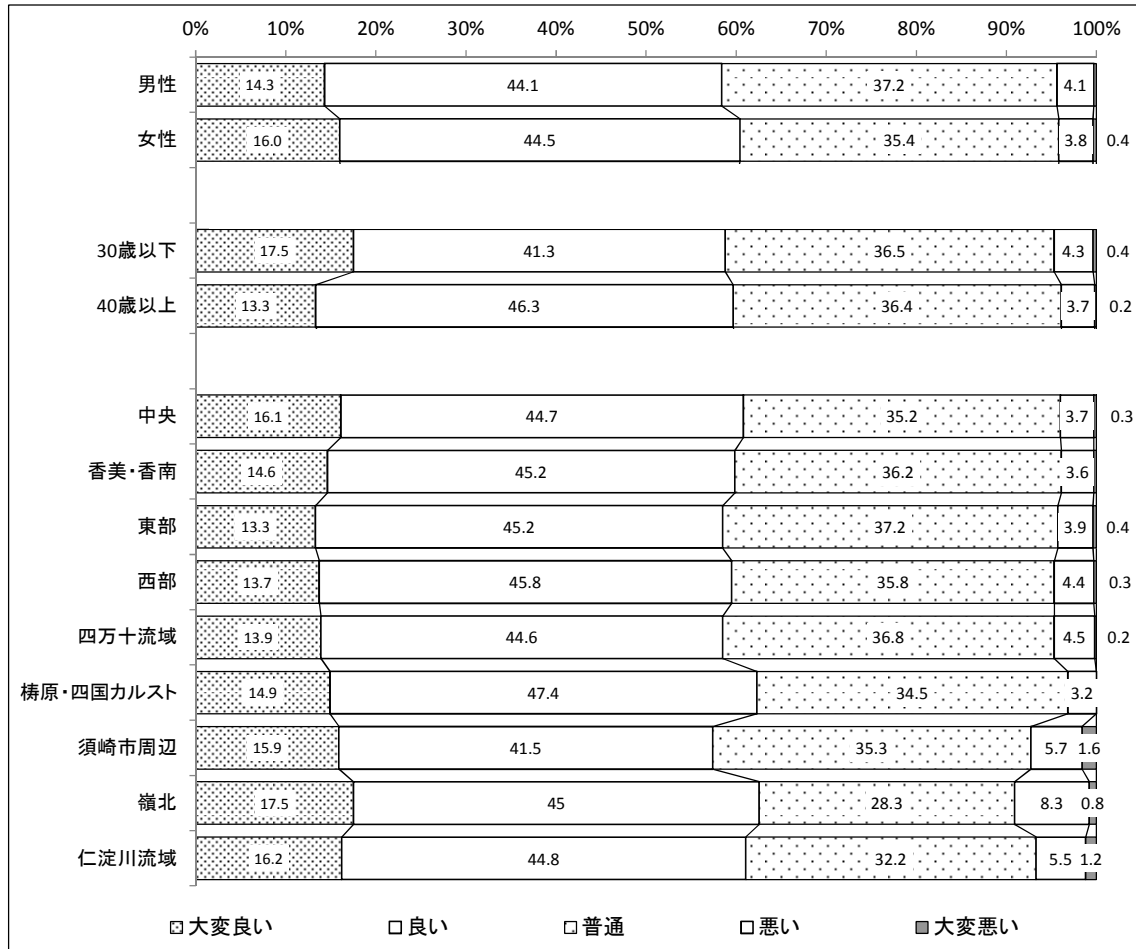
（注）平均点は、大変良い=5、良い=4、普通=3、悪い=2、大変悪い=1として算出した合計を、各設問の有効回答数で除したものです。

(図 4-2) 旅行の満足度割合 (%) [24 年・23 年]



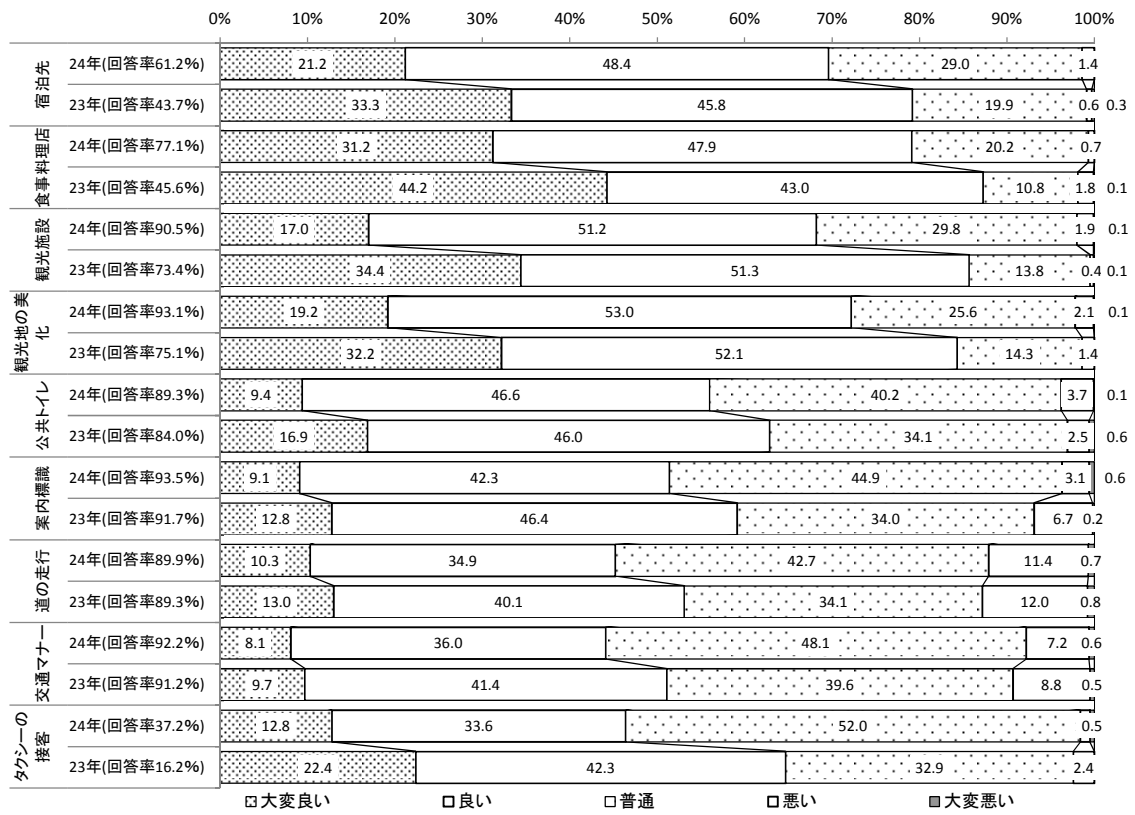
続いて、旅行者の属性（性別、年代別）と訪問した観光地のエリア別に、満足度を問う設問での各回答の割合を比較した(図 4-3)。旅行者の属性や設問エリアによる評価に際立った差は見られず、前年との差が生まれている要因となるものは特に見当らなかった。

(図 4-3) 旅行の満足度割合 (%)



次に、今年度より調査地点を6ヶ所に変更したため、前年の満足度調査の結果を今年度と同様の6ヶ所においてのみ集計し、その割合を比較したが(図 4-4)、先述の結果(図 4-2)との大きな差は見られなかった。

(図 4-4) 旅行の満足度割合 (%) [24 年、23 年 (6 地点のみ)]



以上の結果から、満足度の平均点が前年から低下していることは、旅行者の属性や訪問したエリア、また調査地点の変更による影響ではないことが分かる。

これらの本調査で得られた結果と観光客からの意見や指摘を踏まえ、高知県観光の満足度をさらに向上させるために、以下のような取り組みが望まれる。

1. 来るたびに新しい高知県

道の駅スタンプラリーや龍馬パスポートなどに、スタンプが1つ1つ集まっていくことが楽しみで、何度も高知県を訪れているといった旅行者の声が多くあった。今後は、好評な企画の期間延長や、新しいスタンプラリーの企画、更に活気あるイベントへの展開などが考えられる。

また、高知の大自然に加えて、新しい観光スポットの紹介や各種イベントの開催など、来るたびに違った高知県を楽しんでもらうことが、旅行者の満足度向上につながると思われる。

2. 期待される各施設の取り組み強化

満足度の平均点（表 3-3-1-1）では、男女共に 80 点台と高くなっているにも関わらず、旅行の満足度割合においては、宿泊先、観光施設、観光地の美化などの項目で、前年と比べて“大変良い”の割合が減少し、また、高知県再訪希望割合（図 2-5-2）においても、“ぜひ訪れたい”の割合が減少している。旅行者の方々に再び訪れたいと思っていただくためには、各施設での現状維持に甘んじることのない、おもてなしの向上への自主的な取り組みが求められる。

なお、具体的な改善点について、旅行者からの次のようなご意見が寄せられている。

- 「スタッフに活気が無い」
- 「質問に対する返答があいまい」
- 「駐車場の誘導が下手」
- 「食事提供の段取りが悪い」
- 「宿泊した部屋が臭った」
- 「欲しくなるようなお土産がおいて無い」

以上のご指摘については、各施設の従業員が自覚を持って接客に取り組む必要がある。

一方で

- 「急な要望にも親切丁寧に対応してくれて有難かった」
- 「施設周辺がキレイに清掃されていて気持ちが良い」
- 「高知ならではの食を満喫させてもらった」

などの好意的なご意見もいただいている。

これらのご意見をくださった旅行者が再び来県した際に、前回よりも良くなったと感じていただけるよう取り組んでいく必要がある

3. 情報提供の充実化

旅行者寄せられた要望や苦情には“食べたいと思った時にすぐ、食事処の情報が得られなかった”、“施設の営業状況やイベントの詳細など、情報提供が遅すぎる”、“必要な情報がバラバラにしか得られなくて面倒”といった、観光情報の発信力に関するものが少なくなかった。

これらのニーズに応えるためには、旅行者が高知県を訪れる前の段階で、最新の情報を入手出来るようにする必要があると考えられる。例えば、県外の道の駅や各サービスエリアなどにガイドブックやパンフレットを置き、さらに、県内に入った段階でより詳しい情報を入手してもらえるように、地域のエントランスになる各拠点で、観光情報を提供することなどが、有効であると思われる。

また、インターネットによる情報発信は、どこへ行こうかと迷っている旅行者が目を止めずにはいられないインパクトのある情報、人についつい話したくなるようなお得感のある情報、地元の人にしか知られていないような道路の案内・誘導情報などを、ワクワクしながら検索・発見出来るような方法が望まれる。

これらの取り組みによって、旅行者の興味をかきたてるとともに、訪れた場所で“おもてなし”を心ゆくまで感じていただき、高知県に来て良かったと感得いただくことが観光客の満足度向上に繋がっていくと考えられる。

高知県観光客満足度調査票

Q1. あなたは、高知県にどのようなイメージをもっていますか。※2つまで選択

1. 自然	2. 太平洋	3. 四万十川	4. 四国カルスト	5. 台風
6. 歴史	7. 坂本龍馬	8. 長宗我部元親	9. 山内一豊	10. 板垣退助
11. 食	12. かつおのタタキ	13. フルーツトマト	14. 酒	15. 文旦
16. 明るい	17. 南国・暖かい	18. よさこい祭り	19. 人情・温かさ	20. 路面電車
21. その他 ()				

Q2. 他の都道府県と比較した結果、高知県を訪れようと思った理由は何ですか。※2つまで選択

1. 自然や風景に惹かれたから	2. 食べたい(買いたい)ものがあるから
3. 名所・旧跡(博物館・資料館などを含む)を訪問したいから	
4. アウトドア・キャンプなどの自然体験をしたいから	
5. 高知の歴史や文化を肌で感じたいから	6. 以前来たときの印象がよかったから
7. 移動距離も短く気軽に来られるから	8. 買い物
9. 旅費が手頃だったから	10. 何となく面白そうだから(イメージ)
11. その他 ()	

Q3. ご旅行中の満足度についてお聞きます。

○宿泊先について				
1. 大変良い	2. 良い	3. 普通	4. 悪い	5. 大変悪い
施設名等 []		理由 []		
○食事・料理店について				
1. 大変良い	2. 良い	3. 普通	4. 悪い	5. 大変悪い
施設名等 []		理由 []		
○観光施設について				
1. 大変良い	2. 良い	3. 普通	4. 悪い	5. 大変悪い
施設名等 []		理由 []		
○観光地の美化について				
1. 大変良い	2. 良い	3. 普通	4. 悪い	5. 大変悪い
施設名等 []		理由 []		
○公共トイレの快適性について				
1. 大変良い	2. 良い	3. 普通	4. 悪い	5. 大変悪い
施設名等 []		理由 []		
○案内標識について				
1. 大変良い	2. 良い	3. 普通	4. 悪い	5. 大変悪い
施設名等 []		理由 []		
○高知の道は走行しやすいですか?				
1. 大変良い	2. 良い	3. 普通	4. 悪い	5. 大変悪い
施設名等 []		理由 []		

V お客様の声アンケート

● 概 要

スタッフが 139 の観光施設等を訪問し、「お客様の声アンケートはがき」の配布・設置のお願いをした。

この報告書は平成 24 年 3 月から平成 25 年 2 月の間に返信された観光客からの声を集計したものである。

返信総数 1,137 件（春 322 件、夏 317 件、秋 324 件、冬 174 件）

図中の構成比は、未回答を除いた有効回答数を母数として算出し、小数点 2 位を四捨五入しているため、択一設問の構成比の合計が 100%にならない場合がある。

また、複数回答の設問は構成比を合計すると 100%以上になる。

1. 「お客様の声」 回答者

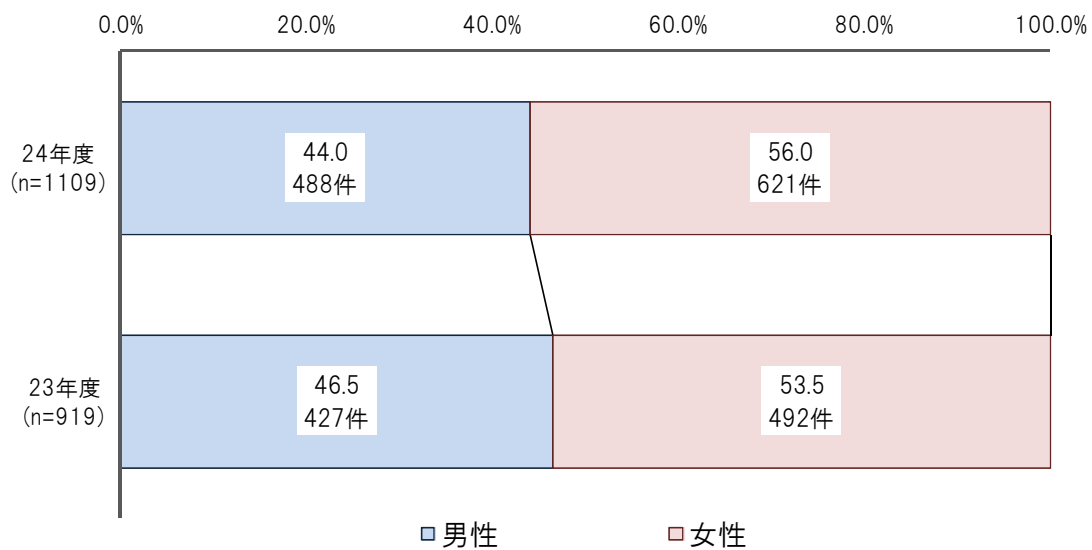
1-1. 男女別

返信総数

24年度 1,137件 (内訳：春 322件、夏 317件、秋 324件、冬 174件)

23年度 939件

回答者男女別割合



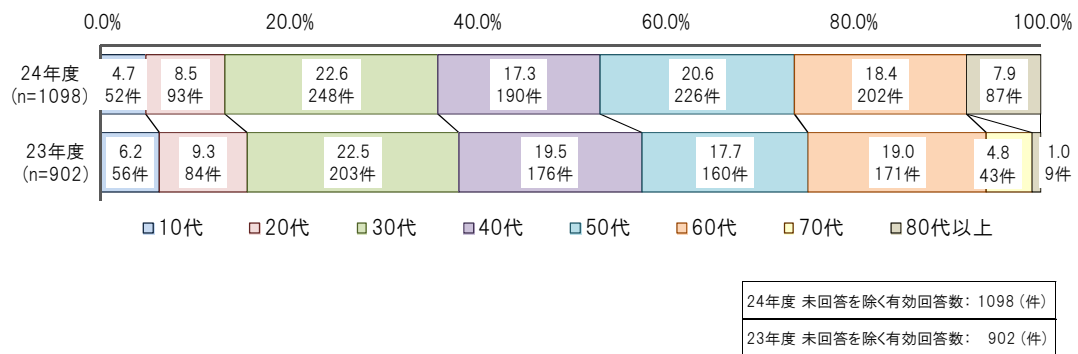
24年度 未回答を除く有効回答数： 1109 (件)

23年度 未回答を除く有効回答数： 919 (件)

アンケートハガキの回答者は、男女別では男性 44.0% (前年度 46.5%)、女性 56.0% (前年度 53.5%) と、女性の割合が多くなっている。

1-2. 年代別

回答者年代別割合

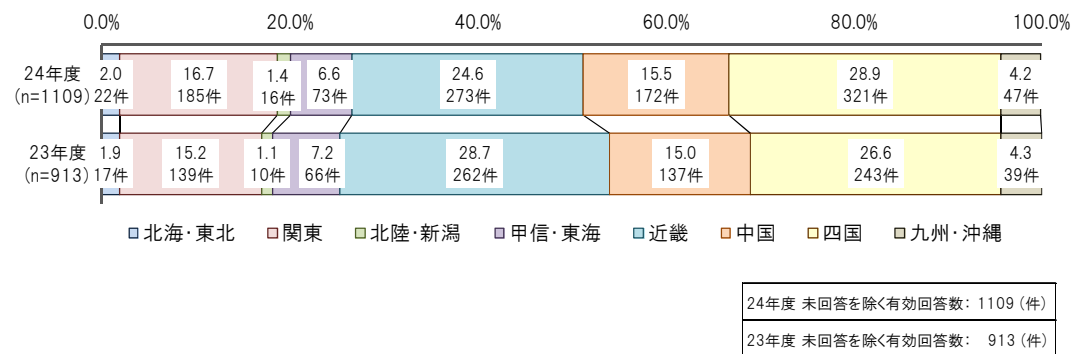


年代別割合では30代が22.6%と最も多く、次いで50代が20.6%、60代が18.4%、40代が17.3%、それ以外は10%以下となっている。

前年度と比べると、50代と80代の割合が増加し、70代が4.8ポイント、40代が2.2ポイントの減少となっている。

1-3. 出発地

出発地ブロック別割合

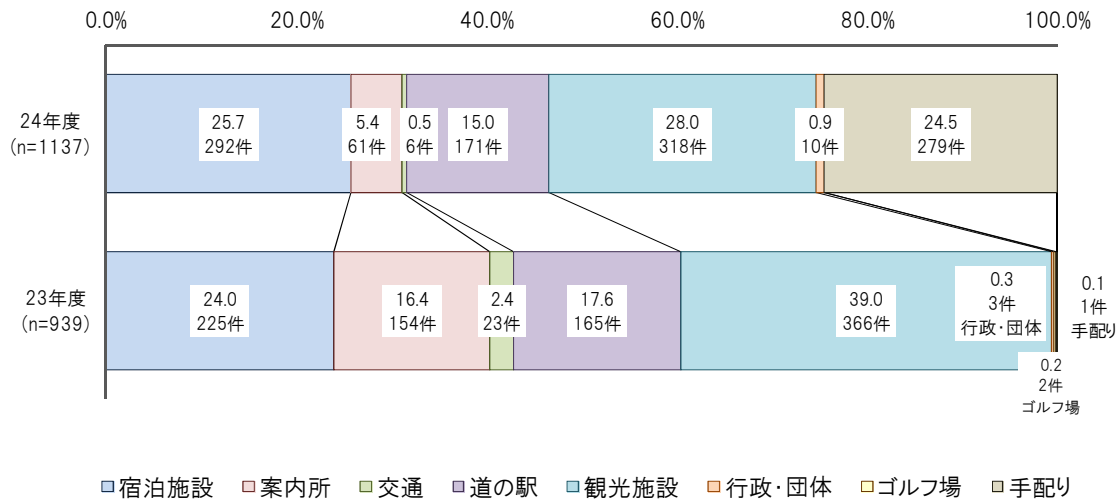


出発地ブロック割合は、四国が28.9%と最も多く、次いで近畿が24.6%、関東が16.7%、中国が15.5%、甲信・東海が6.6%、九州・沖縄が4.2%と続いている。北陸・新潟や北海道・東北の割合は少数となっている。

前年比では、近畿から4.1ポイント減少し、四国から2.3ポイント増加となっている。

1-4. 回答のあったはがきの設置箇所

はがきの設置箇所別返信割合



24年度 未回答を除く有効回答数： 1137 (件)
23年度 未回答を除く有効回答数： 939 (件)

返信されたはがきの設置箇所は、観光施設が 318 件と最も多く、次いで宿泊施設が 292 件、手配りが 279 件、道の駅が 171 件、案内所が 61 件、行政・団体が 10 件、交通が 6 件で、ゴルフ場からの返信は無かった。なお、今年度より高知県観光動向調査（観光統計調査・満足度調査）の際、調査員が粗品と共に調査はがき「お客様の声」の配布を行う「手配り」を実施している。

観光施設、宿泊施設からは年間を通して返信があったが、ゴルフ場や行政・団体、案内所については、より多くの返信を得られるような工夫も必要と思われる。

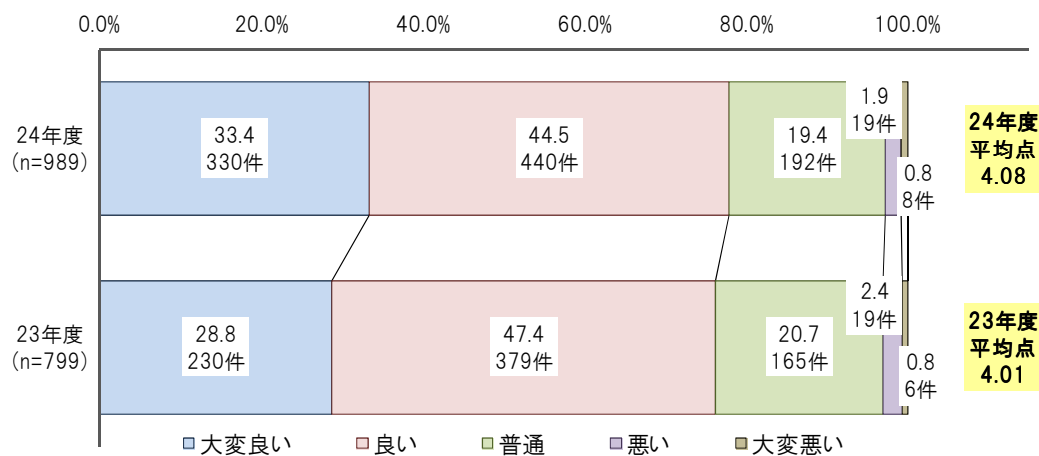
2. 「お客様の声」 満足度

* 平均点数について

5=大変満足、4=満足、3=やや満足、2=やや不満、1=不満 として算出している。

5点満点で点数が高いほど、満足度が高くなっている。(グラフには未回答は含まない)

2-1. 宿泊先の満足度



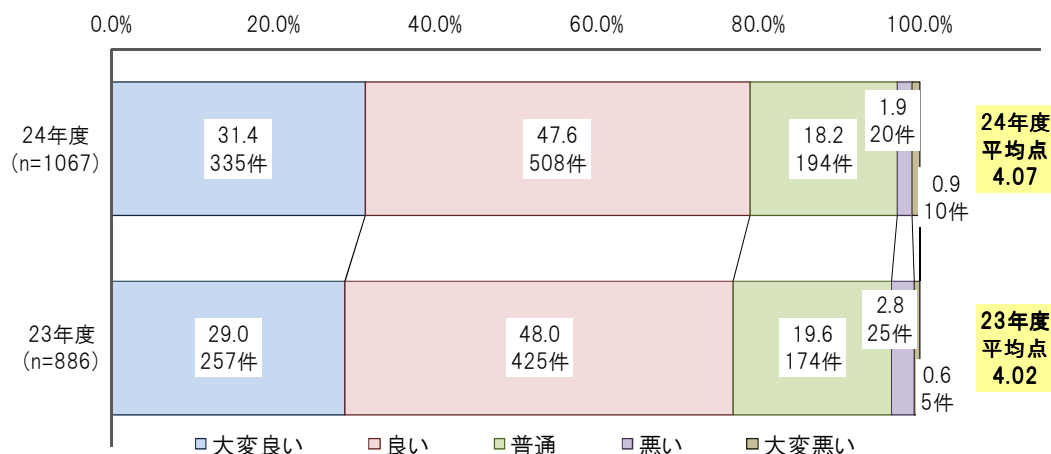
24年度 未回答を除く有効回答数: 989 (件)

23年度 未回答を除く有効回答数: 799 (件)

宿泊先の満足度は、“大変良い”と“良い”の回答が合計 770 件 (77.9%)、普通の回答が 192 件 (19.4%)、“悪い”と“大変悪い”の回答が合計 27 件 (2.7%) となっている。平均点は前年度と比べ 0.07 ポイント増となっている。

“大変良い”や“良い”と回答されたお客様は、「ロケーション抜群で、部屋が清潔」「全てが行き届いていた」「木材を沢山用いているのがおしゃれで、買い物もでき、接客も素晴らしい」などの理由を挙げており、“悪い”や“大変悪い”と回答されたお客様は、「改装しているが、作りが古い」「団体客と結婚式利用客がいたせいか、個人客への案内が不足していた」「室内浴室の臭いが少し気になった」などの理由をあげている。

2-2. 食事処・料理店の満足度



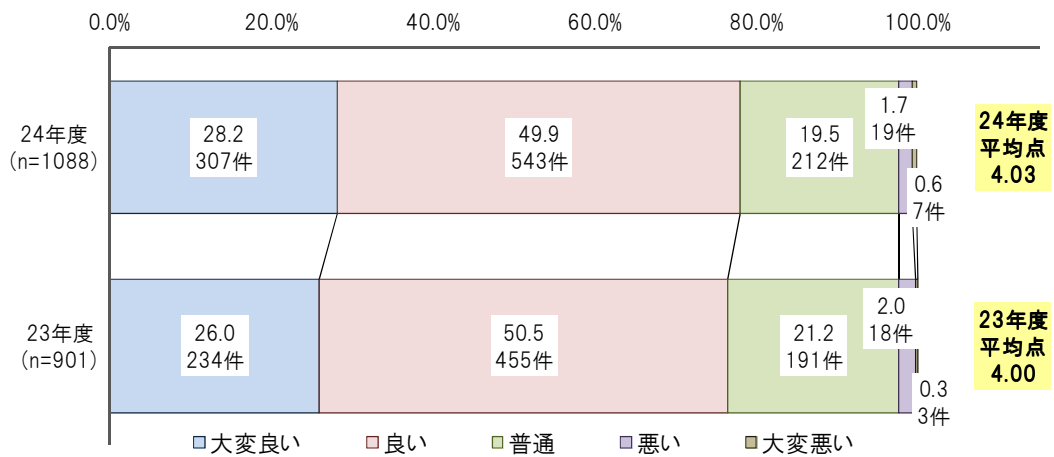
24年度 未回答を除く有効回答数: 1067 (件)

23年度 未回答を除く有効回答数: 886 (件)

食事処・料理店の満足度は、“大変良い”と“良い”の回答が合計 843 件 (79.0%)、普通の回答が 194 件 (18.2%)、“悪い”と“大変悪い”の回答が合計 30 件 (2.8%) となっている。平均点は前年度と比べ 0.05 ポイント増となっている。

“大変良い”や“良い”と回答されたお客様は、「見て楽しく、食べて美味しい」「カツオの塩タタキが美味しい。ポウシパン、トマトカレー、フルーツトマトも美味」「ボリューム感、早い、旨い、安い」「新鮮な活魚料理」「活気がある。地元の美味しいものがある」などの理由を挙げており、“悪い”や“大変悪い”と回答したお客様からは、「言葉がきつく、冷たい感じで料理も美味しくない」「食材に偏りがあった」「待たされた上に、食器が汚れた状態で料理を出された」「接客がものすごく悪い」などの理由を挙げている。

2-3. 観光施設の満足度

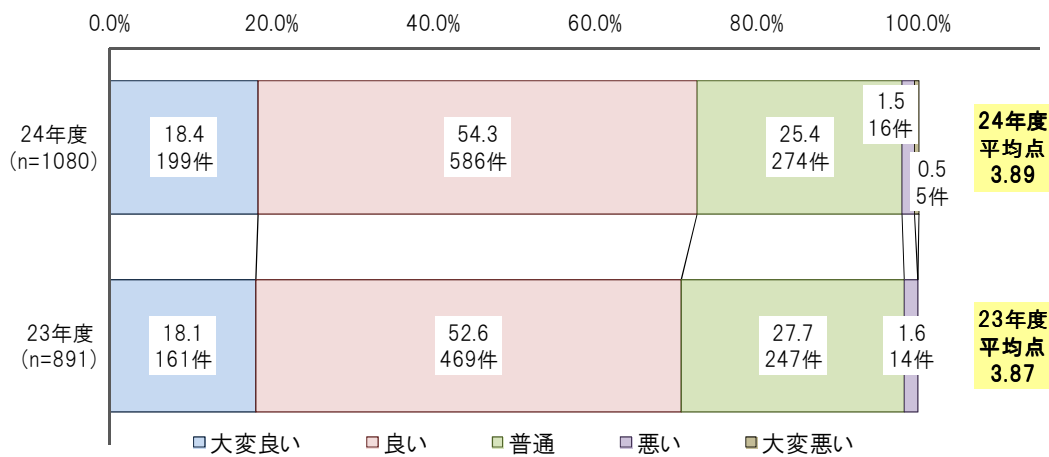


24年度 未回答を除く有効回答数: 1088 (件)
23年度 未回答を除く有効回答数: 901 (件)

観光施設の満足度は、“大変良い”と“良い”の回答が合計 850 件 (78.1%)、普通の回答が 212 件 (19.5%)、“悪い”と“大変悪い”の回答が合計 26 件 (2.3%) となっている。平均点は前年度と比べ 0.03 ポイント増となっている。

“大変良い”や“良い”と回答したお客様は、「展示内容が良く、資料も豊富」「思ったより見所があり楽しめた」「遠いけど、行っただけの価値あり」「ボランティアの案内が親切」「キレイで、案内板の説明が分かり易かった」などの理由を挙げており、“悪い”や“大変悪い”と回答したお客様は、「接客態度が最低で、もてなしの心のかけらも感じられない」「駐車場が少なく、交通の便が悪い」などの理由が挙げられている。

2-4. 観光施設の美化の満足度



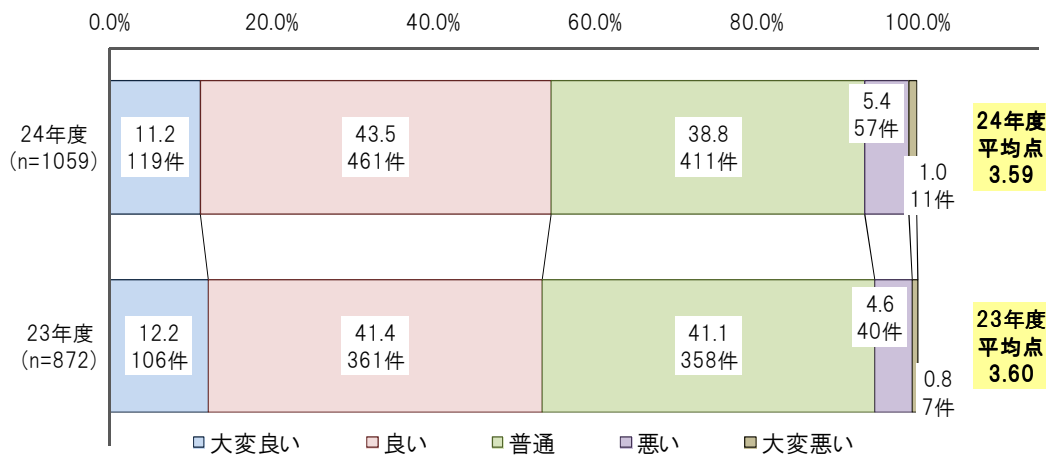
24年度 未回答を除く有効回答数：1080 (件)

23年度 未回答を除く有効回答数： 891 (件)

観光施設の美化の満足度は、“大変良い”と“良い”の回答が合計 785 件 (72.7%)、普通の回答が 274 件 (25.4%)、“悪い”と“大変悪い”の回答が合計 21 件 (2.0%)となっている。平均点は前年度と比べ 0.02 ポイント増となっている。

“大変良い”や“良い”と回答したお客様は、「掃除、手入れが行き届いている」「遊歩道が程良く整備されている」「分かり易い所にゴミ捨て場があり、投棄もあまりなかった」などの理由を挙げており、“悪い”や“大変悪い”と回答したお客様は、「3年前は道路沿い、川岸、公園ももっとキレイだった。ゴミを地元の人が平気で捨てている」「漂流物とかゴミが海岸に多くあった」などの理由が挙げられている。

2-5. 公共トイレの快適性についての満足度

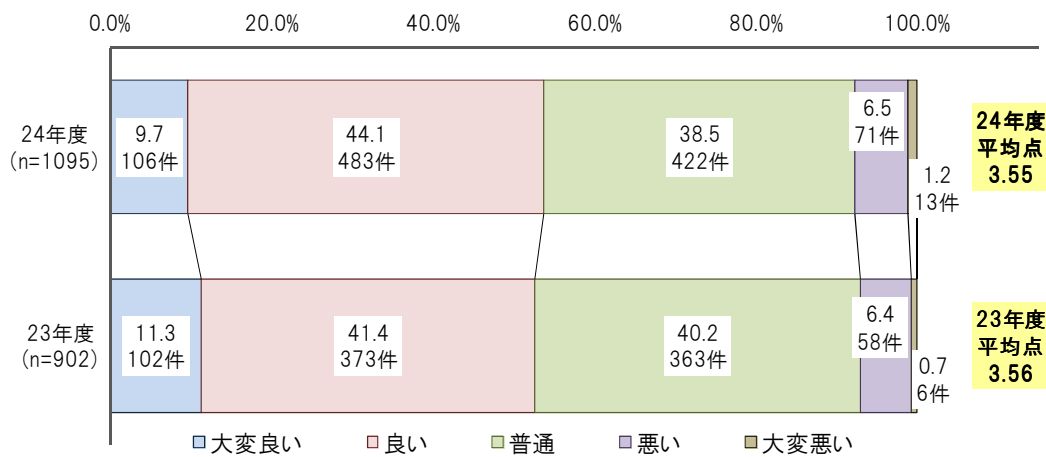


24年度 未回答を除く有効回答数: 1059 (件)
23年度 未回答を除く有効回答数: 872 (件)

公共トイレの快適性についての満足度は、“大変良い”と“良い”の回答が合計 580 件 (54.7%)、普通の回答が 411 件 (38.8%)、“悪い”と“大変悪い”の回答が合計 68 件 (6.4%) となっている。平均点は前年度と比べ 0.01 ポイント減となっている。

“大変良い”や“良い”と回答したお客様は、「適度な間隔で配置出来ていて、どこもキレイに磨いていた」「花が生けてあり、とても良い」「丁寧に清掃されている印象を受けた」などの理由を挙げており、“悪い”や“大変悪い”と回答したお客様は「トイレが臭い、洋式が無い」「備え付けの紙無し、害虫、美化不足」「薄暗い、汚れている」「和式が多い。苦手」「洋式を増やして欲しい」「ウォシュレットが欲しい」などの理由が挙げられている。

2-6. 案内標識の満足度

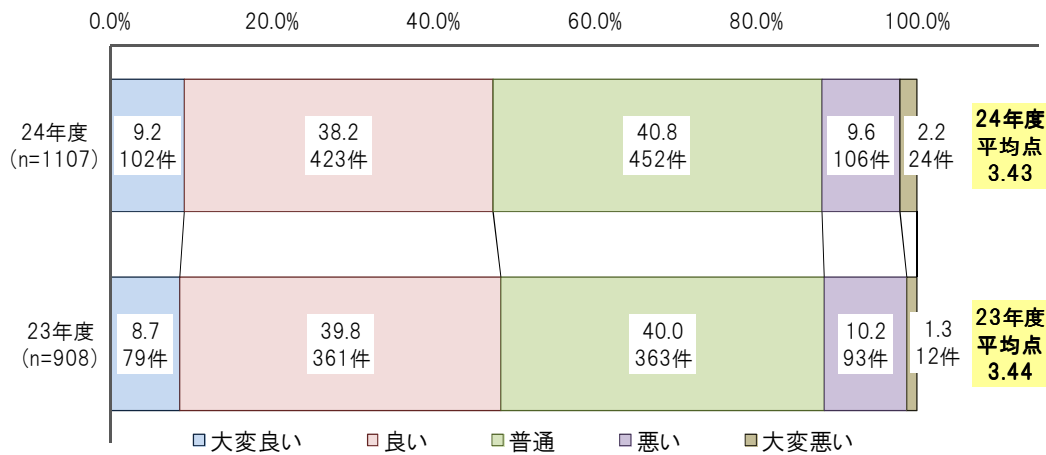


24年度 未回答を除く有効回答数: 1095 (件)
23年度 未回答を除く有効回答数: 902 (件)

案内標識の満足度は“大変良い”と“良い”の回答が合計 589 件 (53.8%)、普通の回答が 422 件 (38.5%)、“悪い”と“大変悪い”の回答が合計 84 件 (7.7%) となっている。平均点は前年度と比べ、ほぼ横ばいとなっている。

“大変良い”や“良い”と回答したお客様は、「標識が木などに隠れる事も無く、分かり易い」「ナビ無しでも結構迷わずに目的地まで行ける」「ガイドなど、まとめて書いたものがあり分かり易かった」「交差点のアルファベットが分かりやすい」「交差点の記号が良かった」「交差点が英字で面白かった」などといった理由を挙げており、“悪い”や“大変悪い”と回答したお客様からは、「もっと目立つ標識が、良いタイミングであると良い。駐車場の有無の標示も欲しい」「市内に入ると目的地までの距離が、全く分からない」「交差点の表示は地名の方が分かり易いし、全国一般的」「外国語表示が少ない」「通り名を書いて欲しい」などの理由が挙げられている。

2-7. 高知の道の満足度

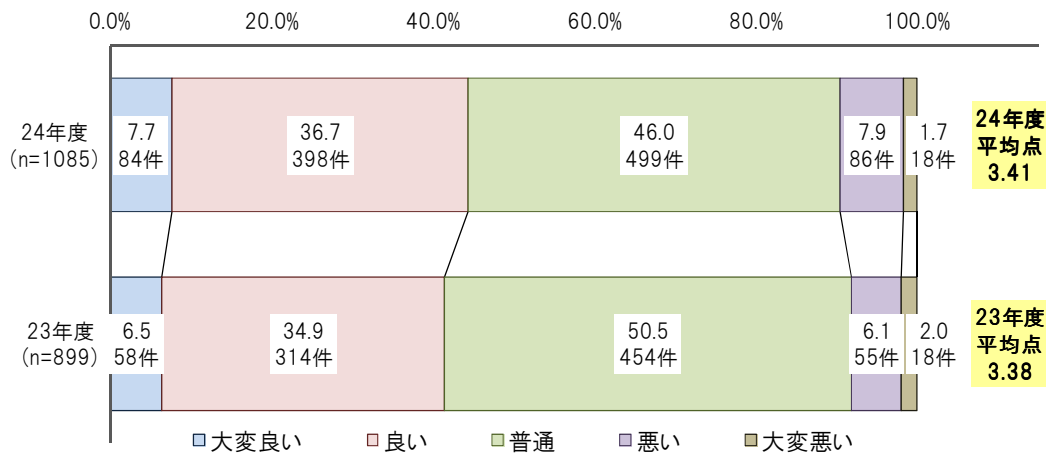


24年度 未回答を除く有効回答数: 1107 (件)
23年度 未回答を除く有効回答数: 908 (件)

高知の道の満足度は、“大変良い”と“良い”の回答が合計 525 件 (47.4%)、普通の回答が 452 件 (40.8%)、“悪い”と“大変悪い”の回答が合計 130 件 (11.8%) となっている。平均点は前年度と比べ、ほぼ横ばいとなっている。

“大変良い”や“良い”と回答したお客様は、「道路が広く、運転しやすい」「車が少なく走り易いし、見晴らしが良い」「毎年、良い道が出来ている」などの理由を挙げており、“悪い”や“大変悪い”と回答したお客様は、「道が細すぎて心臓に悪かった」「大型バスが通れない」「主要道路でも、狭くてカーブが急な箇所がある」「自転車で走行しづらいから」「良いのは車道だけ。歩きにくい」「歩道のアスファルトの悪さ。雑草等」などの理由が挙げられている。

2-8. 交通マナーの満足度

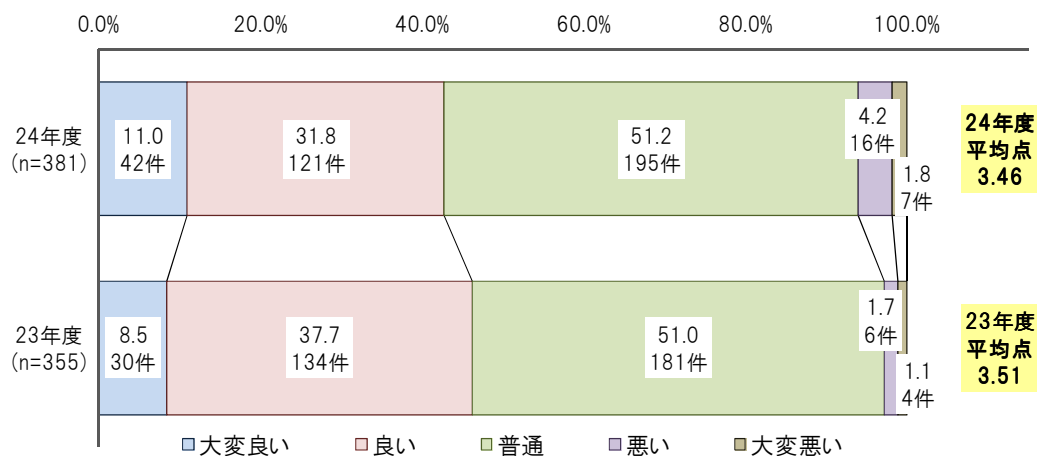


24年度 未回答を除く有効回答数: 1085 (件)
23年度 未回答を除く有効回答数: 899 (件)

交通マナーの満足度は、“大変良い”と“良い”の回答が合計 482 件 (44.4%)、普通の回答が 499 件 (46.0%)、“悪い”と“大変悪い”の回答が合計 104 件 (9.6%) となっている。平均点は前年度と比べ 0.03 ポイント増となっている。

“大変良い”や“良い”と回答したお客様は、「スピードは出すが、歩く人優先の姿勢に好感がもてた」「譲り合う県だと思った」「バスの運転手さんが親切だった」などの理由を挙げており、“悪い”や“大変悪い”と回答したお客様は、「トンネル内の無灯火」「無理な追い越し」「スピード違反」「指示器無しの無理な割り込み」「高齢者の運転が他県より雑で危ない」「高齢者の自動車のマナーが悪い。後ろの車の事も考えて下さい」などの理由が挙げられている。

2-9. タクシーの接客マナーの満足度



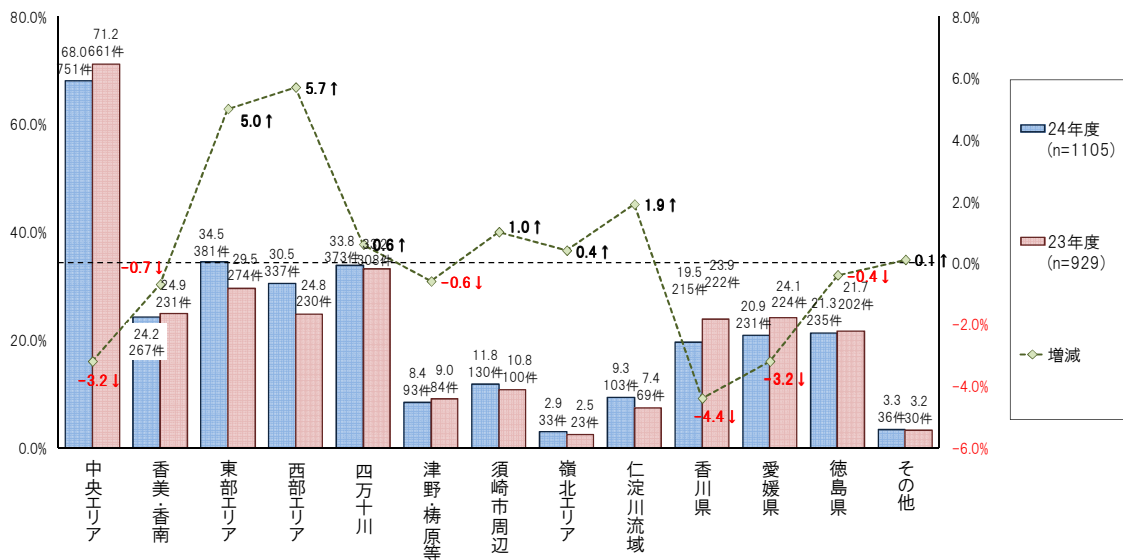
24年度 未回答を除く有効回答数: 381 (件)
23年度 未回答を除く有効回答数: 355 (件)

タクシーの接客マナーは、“大変良い”と“良い”の回答が合計 163 件 (42.8%)、普通の回答が 195 件 (51.2%)、“悪い”と“大変悪い”の回答が合計 23 件 (6.0%) となっている。平均点は前年と比べ 0.05 ポイント減となっている。

“大変良い”や“良い”と回答したお客様は「観光ポイントや、歴史の話が面白かった」「接客態度が抜群」「色々教えてもらえて楽しかった」などの理由を挙げており、“悪い”や“大変悪い”と回答したお客様は、「近くまでだと分かると、明らかに不機嫌になった」「領収書を持っていなかった」「口数少なく、愛想も悪い」などの理由が挙げられている。

3-1. お客様が訪れた地域

(複数回答あり)



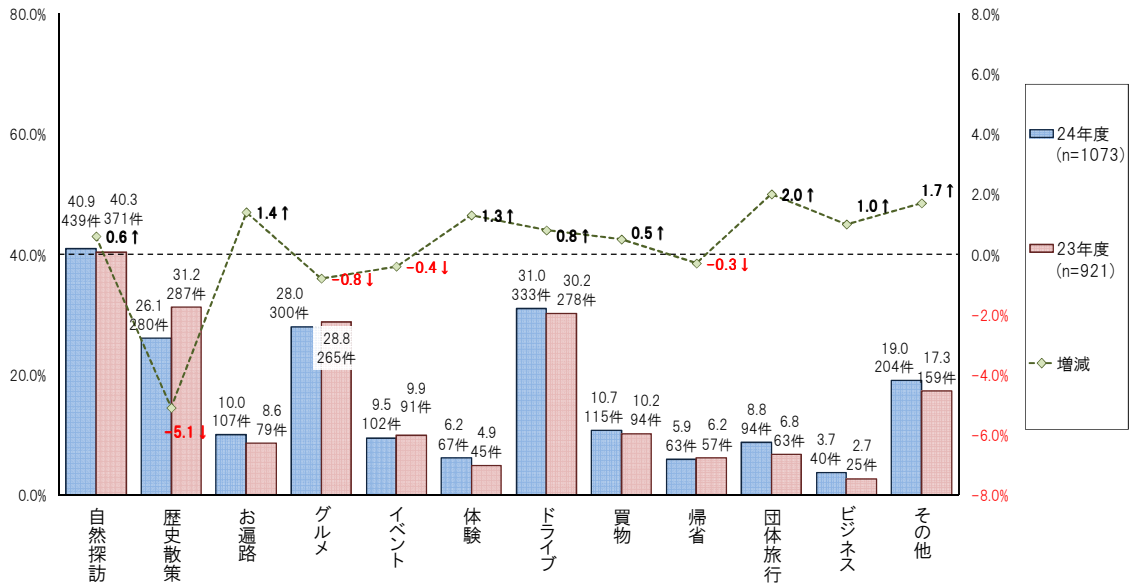
お客様が訪れた地域は「中央エリア」が751件（68.0%）と最も多く、次いで、「東部エリア」「四万十川」「西部エリア」「香美・香南」となっている。

前年度と比べ、「西部エリア」（前年比5.7ポイント増）と「東部エリア」（同5.0ポイント増）が目立って増加している。

高知県以外の四国他3県は徳島県が235件（同0.4ポイント減）、愛媛県が231件（同3.2ポイント減）、香川県が215件（同4.4ポイント減）という結果となっている。四国他3県が減少していることから、四国内を周遊する観光が減少していることが推測される。

3-2. 旅行の目的

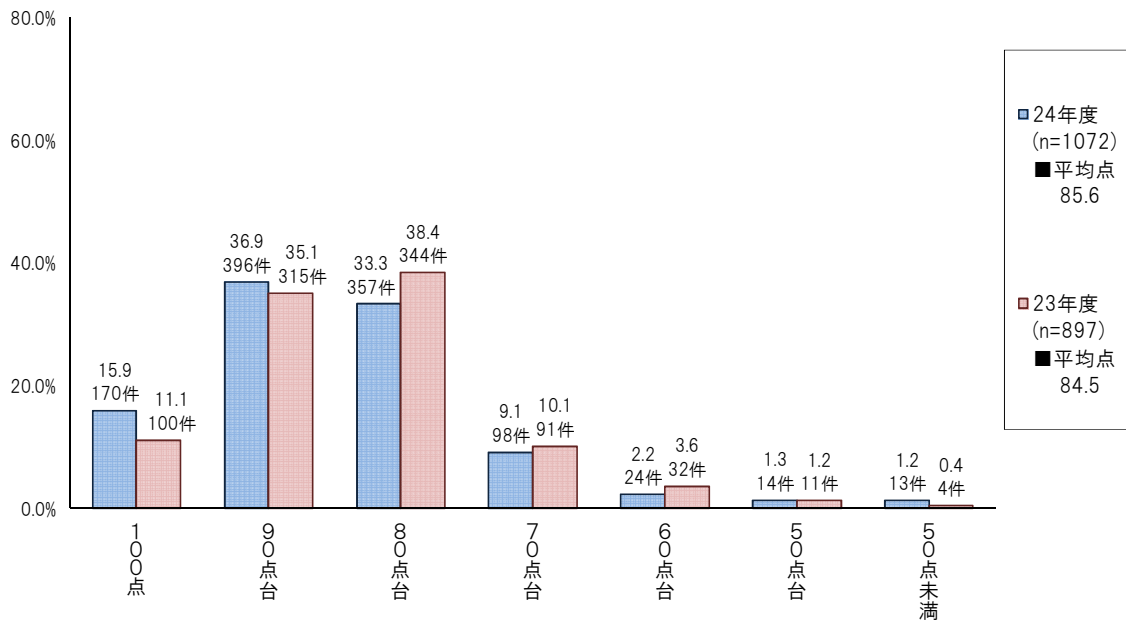
(複数回答あり)



旅行の目的は、「自然探訪」が439件（40.9%）と最も多く、次いで「ドライブ」が333件（31.0%）、グルメが300件（28.0%）、「歴史散策」が280件（26.1%）となっている。

前年と比べ、「歴史散策」が5.1ポイントと大幅な減少となり、「団体旅行」、「お遍路」、「体験」などが若干増加している。

3-3. 旅行の満足度点数



24年度 未回答を除く有効回答数： 1072 (件)
 23年度 未回答を除く有効回答数： 897 (件)

旅行の満足度の点数を 100 点満点で採点いただいた結果は、90 点台が 396 件 (36.9%) と最も多く、次いで 80 点台が 357 件 (33.3%)、100 点が 170 件 (15.9%)、70 点台が 98 件 (9.1%) と続いている。

前年と比べ、80 点台が 5.1 ポイント減少したものの、100 点が 4.8 ポイント増加、90 点台が 1.8 ポイント増加しており、平均点は前年度と比べ 1.1 ポイント増の 85.6 点となっている。

高得点の評価をしたお客様は、人情や食に関して評価する意見が多く、再訪や移住したいといった好意的な意見が多くあった。

50 点未満の低得点の評価をされたお客様は前年度より 0.8 ポイント増加しており、宿泊施設や飲食店に対する不満が挙げられている。

お客様の声満足度の各項目に挙がっているように、宿泊施設での対応向上、観光施設の設備充実なども満足度を高めるための対策として重要と思われる。

<観光施設>

- ひょうたん桜は満開で見事でした。中越家の桜はもう少しで満開かなという感じでした。毎年訪れていますが春を感じさせるドライブです。
- 桂浜に着いたら雨降りなので、桂浜水族館へ入りましたが大満足。種類も多く内容が良いので、設備に公費で援助して下さいね。
- のいち動物公園では、リスの目線やキリンの目線などが、とても楽しめました。
- 仁淀川領域の新緑がきれいでした。木の香温泉でゆっくりできました。
- 室戸ジオパークは遊歩道があり、野外の熱帯植物園にでもいるようで良かった。説明板もガイドさんも分かり易く、とても貴重な素晴らしい場所だと再確認しました。また弘法大師の洞窟も興味深かった。
- 桂浜の海岸散策は、道路も歩き易く気持良かった。牧野植物園庭園ガーデンは素晴らしい。
- 長者の菖蒲の棚田、越知の日の浦の紫陽花は素晴らしかったが、道が悪く恐怖体験でした。
- 四万十川でのカヌーが目的で高知を訪れましたが、カヌーは勿論、高知市での観光、また赤岡での絵金蔵も全部すばらしかったです。高知の方はあったかいです。
- 天狗高原はまた行きたいです。満天の星が見たいと思いました。ユースホテルも、とても過ごし易かった。
- 馬路森林鉄道インクラインは、職員も熱意を持ち好感度大であった。
- 足摺岬は見どころが沢山あり、弘法の7不思議や、椿のトンネルが楽しかった。又竜串の奇岩は独特で素晴らしかった。
- 土佐おもてなし勤王党さんのファンで、関東から高知までステージを見に来ました。勤王党の皆さんや、とさてらすや志士社中のスタッフさんに本当に親切にもてなして頂けて大満足でした。勤王党さん、来年度も続投希望です。
- 馬路村へ行って裸足で役場に入ったのは良かった。ごっくん馬路村御馳走になり最高。美味しかったので土産に買って帰りました。
- △ 88ヶ所寺のトイレは古く汚く、数も少ない。もう少しなんとかならないものですか。
- △ 日曜日に高知城に行きました。高知城を見た後に日曜市で買物をする予定でしたが、駐車場探しに時間をとられ、買物は断念しました。
- △ 桂浜の活気が無い。闘犬も迫力無し。闘牛、闘鶏、ドッグレース等出来る事あると思う。
- △ 各観光地にベンチや休憩する所を多くして、路上喫煙は出来ないようにして欲しい。
- △ ひろめ市場は人が多すぎて。他に美味しく頂ける所を、探して行けば良かったです。
- △ 龍馬パスポートの印を集め楽しかった。それぞれの施設で、もっと特典を多くしてお得感を感じさせて欲しいです。
- △ 室戸岬灯台は期待していましたが、ただ外からチョロッと見るだけで、期待外れでした。もっとゆっくり出来るように公園のようになっていたら良いのと思いました。室戸ジオパークはトイレの数も少なく、観光バスが重なると列ができて待つ時間が大変でした。
- △ よさこい祭りのトイレ事情改善。

- △ 龍河洞あたりの食事処の充実をお願いしたい。
- △ 以前と比べると、高知市中心部の道路整備が進んでいる。その一方で駐車料金が高く、それが中心商店街の衰退にも影響しているように思えた。
- △ 帰りに土産を淡路のSAで買おうとしましたが、高知県だけコーナーがありませんでした。
- △ モネの庭に行ったのですが、前回行った時と同じ土産物だったので、地元の野菜、手作りの物も売って欲しい。
- △ 四万十流域でカヌー体験や沈下橋を見たりしましたが、交通機関が1日3本程度で、ほとんどタクシー利用となってしまい不自由しました。観光スポットを回るようなバスが、あるといいのではと思いました。
- △ 四国はバイクで行くのにとてもいい地方です。もっと専用飲食店、駐車場、雨宿り場所などの環境整備を進めて下さい。特に道の駅で、大型2輪を止めるスペースが欲しい。
- △ キャンプ場、コテージなど、アウトドアな施設が若干不足している気がします。
- △ 長宗我部氏についての資料館のような物があればいいなと思いました。
- △ パンフレット等に載せている、営業時間や定休日を見て、行動プランを考えても、営業時間内でも、閉めている所や休みの所が有り、時間を無駄にしてしまう事が多々あります。
- △ 道の駅さめうらのシャワールームは使用時間があいまい。24時間使用できたら良い。
- △ 年末年始の休みを利用して観光旅行に出かける方も多いと思います。公共施設が休みの為入館できない所も有り、残念に思いました。
- △ ひろめ市場は、思ったより食事スペースが狭くて席の確保に苦労したし、分煙もしっかりして欲しい。食事マナーが悪い人が多く、印象が悪かった。もっといろいろと土産物店が入っていると思ったのですが、残念。
- △ 道の駅について、キャンピングカー旅行者のために、ゴミの有料受け入れやRVパーク（有料電源付き駐車場）などのインフラ整備を望みます。

<交通>

- 交通マナーが良くて大変運転しやすかった。おもてなしの心がいっぱいです。
- 高知県の移動には、車が無いと不便だが、電車とバスが連動していて良かった。
- 観光に路面電車が大変便利でした。
- △ 高速道路の延長を希望（室戸、足摺の方へ）。
- △ 自然や観光施設はとても良かったです。道路の狭さや舗装を改善されれば、さらにリピーターが増えると思います。
- △ 路面電車に慣れていないと、運転をしていてとまどうことが多い。
- △ 施設は大変良く満足です。各施設間のアクセスが悪く、電車が少なかった。
- △ 越知町日の浦に行く際、この道でいいのか、後どのくらいとかの案内看板欲しいです。
- △ 名古屋方面の早朝新幹線（6時台）と南風の接続が良くありません。小牧空港と高知空港の便が無いのも不便です。

- △ 高知の観光は、車でないと不便ですね。効率よく回れる高速鉄道などがあれば助かる。
- △ 四万十川流域の用井～中村間の道路整備をして下さい。観光施設は充実しているが、この区間の道路幅狭い。
- △ 高知市内の渋滞や車ノロノロ運転が腹立しい。追い越し車線の距離が短く、かえって事故につながる気がします。
- △ 観光に行っても迂回路の不便さを感じます。
- △ 高知空港から高知駅に行きJR特急を、乗ろうと思っても乗れそうにない時がある。その時できれば、路線バスで後免駅に行けたらいいのに。
- △ 道路標識を、詳しく早急にお願いします。人に聞いても分からなかった。高速で取り締まりをお願いします。後ろから煽ってくる。
- △ 国道 55 号線安芸付近で車が渋滞に。新設自動車専用道路への案内標識無し。
- △ 室戸方面にもフェリーがあればと思います。
- △ 高知市外での観光では、周遊バスの運行などを充実させて欲しいです（特に中村）。
- △ 高知道の新宮から大豊間のトンネル内舗装が波打ちしていて走りにくい。
- △ 四国の高速道路は少しの雪でも通行止めになり、解除にも時間が掛かりすぎる。雪が降る所もあるので、もう少し早い対応をしないと冬は四国への旅を控えたい。
- ◇ 甲浦から室戸までバスに乗りました。乗客は私一人でしたが貴重な足です。残して下さい。
- ◇ 龍河洞やモネの庭など公共交通機関で行き易くなると、観光客が来やすくなると思います。
- ◇ 自然が沢山あり、空気も美味しく、魚も美味しいのですが、高速が繋がるか、新幹線が高知まで来れば、観光客が増えると思います。

<食>

- 鍋焼きラーメンは手頃な料金で美味しく、竹輪が入っているのが珍しかったです。
- カツオ薫焼きたたき、カツオ味噌茶漬は絶品でした。ダシがきいて美味しいです。
- 初めて高知に行きました。息子に海を見せてあげるのが当初の目的でしたが、地産にこだわる食事に感激しました。
- カツオのたたき、関東で薬味はスリますが、高知ではスライスで、しかも塩で食べるのを見て、私も食べましたがとても美味しかったです。
- 大好きなぼうしパンを、色々買う事が出来て大満足です。有楽町にあるアンテナショップで、カツオのゆるキャラを見て、人気がある事を初めて知りました。
- 年に4～5回カツオのたたきを食へに行きます。私の家では、スーパーでたたきを買わなくなりました。お店の方の適切なアドバイスもあり感心しています。
- 安芸のちりめん丼、うるめ、アイスクリンが美味しかった。
- △ GWだからか、お食事処がどこも予約でいっぱいだった。やっと入れた居酒屋では、クジラの刺身は凍っているし、青さのりの天ぷらは古くて苦い。その割には金額が高かった。

- △ 四万十川の鰻が本物か確かめられる様にしてほしい。本物なら基本時価で良いと思う。
- △ B級グルメももっと頑張っ欲しい。カツオは高いので、安い物もあるといい。
- △ 高知のお土産にして喜ばれるお菓子は何かでしょうか。これだというのが無い。
- △ 高知のジビエ料理（鹿、猪）は初めて聞きました。普通のお店とかで、食べられたらいいなあと思いました。
- ◇ 高知には美味しい物が沢山あります。大阪で高知県産の物はネギ、生姜、ニラ、ゆず、ピーマン等しかありません。もっと宣伝してほしいです。いつまでもあったかい人情でがんばってほしいです。
- ◇ 高知で食べると何でも美味しい。一人でも来てもらう努力は必要かと（県のために）。

<情報・PR>

- 案内標識等に神経を、使っている事に感心しました。室戸岬を寺巡りの合間に見て廻って、繰り返し押し寄せる波に感動しました。岬巡りの船で海上から陸をながめるのも良いと思いました。
- NHKで「仁淀川」の特集を見てから、ぜひ行きたいと思っていた。海と魚が好きなので、今度は大月町にも行こうと思っている。高知の大自然「海、川、山」が好き。
- 観光案内所でもらう、パンフの写真がキレイで、地図も分かりやすく良かった。
- レンタサイクルを使って海沿いを走るのは、爽快で良い。PRして下さい。
- △ 通り名称を各交差点に書いて下さい。
- △ 登山道の表示板やベンチ等が古くてボロボロの箇所がある。
- △ 首都圏に住んでいるが、あまり高知観光のパンフレットやPRは聞かない。すばらしい自然があるので、もっと首都圏でもPRすれば良いと思います。
- △ 竜串など観光的に、見るべき場所が沢山あるのに、あまり観光客が来ていない場所が多く残念。もっと他県の人々に、宣伝すべき必要があると思います。
- △ 橋原へ40年ぶりの訪問。道路も町も観光も整備され、特産品も沢山あり、接客レベルも高く、観光地として発展していると実感しました。関東にもアピールして下さい。お土産に椎茸、お茶、小夏を職場で配りましたが、大好評の小夏を、知っている人は1割未満です。勿体ないです。
- △ 龍馬パスポートを途中から利用したが、もっと早くに存在を知る事が出来ると良かったと思う。旅行申込みの際や高知空港などでアピールしてもらいたい。
- △ 龍馬歴史館が休館中だと、現地に行って知った。せめて道路の案内板の下にでも「注」として書いてあると、時間を浪費せずに済みました。
- △ 施設等大げさに紹介しすぎて、楽しみにしていた施設も、行ってみるとしょうもない。
- △ 市街地の駐車場情報、桂浜の混み具合など、リアルタイムで知る事が出来ると便利。
- △ 高知の地酒を購入できるお店の場所、営業時間、休日情報があると良かったです。
- △ 遍路道の標示が不徹底。貼り方が不統一。

- △ とさてらずでMY遊バスチケットを購入しましたが、バス乗り場などの情報もその場で欲しかったです。
- △ 道路の案内標識を、早い時点からこまめに設置して下さい。気付かず行き過ぎてしまう。
- △ 入浴施設、コインランドリーなどのマップや、まっぷるなどに取りあげられている名所、道路などの案内看板があったほうが良い。時間が掛かり、行けなくなった所があった。
- △ 今回は雨の為、ホエールウォッチング等が出来ませんでした。雨の時にオススメのスポット等をまとめて下さると嬉しいです。
- △ 剣山、祖谷溪に行く予定が、通行止めになっていた。もっと早く標示があれば、別のルートを探せたのに残念。
- △ 吉田東洋さんのお墓参りに行きたかったのですが、案内表示が無く分かりませんでした。
- △ 食べ物やお酒は香川、愛媛などより良かったが、PRは香川、愛媛の方が良かった。
- △ 宿泊先を探すのに、土日高知は空いてない印象がある。(大手検索サイトじゃらん使用) 地元に行くと、宿が他に有るのがわかるが、写真付きで紹介するサイトあればいい。
- △ 各観光地付近に他にどんな観光地が有るのか、サインボードが有ると良いと思う。
- △ 逆打ちの場合の遍路道の標識を、もっと分かり易く出して欲しかったです。
- △ 急な雨の時、各施設に貸し傘があると良いと思う。はりまや橋周辺のバス、市電の行き先がわかりづらい。
- △ 温泉の何をアピールしたいのかが、わかりにくい。
- △ 交差点にあるアルファベットの意味が、他府県には無いので分からない。
- △ 高知市内の路面電車、車の走り方は慣れていないので疲れた。標識の改善やHPに交通マナーとかを載せておいて欲しい。
- △ パスポート参加施設のマップがあれば、限られた時間で回る計画が立てやすいと思う。
- △ 高知から室戸岬を通り徳島へ出ようとしたが、バスの運賃が高いので断念した。公共交通機関の金額を改善して欲しい。
- △ 雨や雪での通行止め等の道路情報が聞ける所が欲しい。ITは苦手です。
- △ 桂浜の駐車場が何故有料なのか。龍馬パスポートも何処にあるのか分からなかった。
- △ 年末年始に高知県へ毎年行っていますが、その時期の観光への取り組みが弱いと感じます。お客さんの多い時なのに、観光施設や飲食店等休みの所が多いのは何故。高知は温暖な気候なので、そこをアピールしてみてもは。
- △ 道の駅の身障トイレの標示が分かりにくかった。
- △ 四万十川でどこを舟が行くのか書いたパンフが無い。沈下橋を見たかった。
- ◇ どの施設もキレイで、ゴミが無くて良かった。永年大阪に住んでいましたが、高知が好きになり引っ越してきました。坂本龍馬ばかり目立ちますが、他の著名人のPRも宜しく。
- ◇ 観光の名所、自然など沢山の目玉がありつつ、PRが小さくて勿体ない。看板や商業化の工夫でもっと良くなる。物価は安いし、人は良いし、県庁おもてなし課は珍しい。有川浩も押してみてもは。

- ◇ ドラマの舞台になったり、本で紹介されたりで、行きたくなりました。民宿とか料金が安く、料理が美味しい宿がもっと紹介されると良いと思います。
- ◇ やすの可動橋が下がるちょっと前に偶然通りかかったので、降りて待ってみました。珍しいのでCMした方が良いのでは。

<おもてなし>

- 東部エリアでは初めての見学地が多かったが、案内板もきちんとしてあり行きやすかった。ボランティアガイドさんがみなさん熱心で感動。
- 高知の人はおもてなしの心が根付いていて、とても親切だと思いました。とてもサービス精神が旺盛で話しやすかったです。また訪れたいです。
- 龍馬パスポートは、とてもいい仕組みだと思いまし。これからもこのような企画があるといいなと思います。
- 安芸のホテルに宿泊しましたが、田舎の割に非常に良かったです。真心のこもった接客でした。決して上手くは無いのですが、顧客目線で人間味があり、これは当地方の売りになるのではないのでしょうか。
- 立寄ったレストラン。犬連れだったので、急遽テラス席にブラインドを降ろし準備して頂きました。ありがたかったです。
- 幕末志士社中、龍馬の生まれた町記念館、高知城の観光ボランティアの方々、室戸ジオパークのガイドさん達が素晴らしく、丁寧な案内で大変興味深く廻れました。ガイドさんの有無でこんなに違うとは、思いませんでした。
- 高知県観光コンベンション協会から、送って下さった資料が大変役に立ちました。またロイヤルホテルから施設無料券も送って下さり嬉しかったです。土佐闘犬センターの観光案内所の方もとても親切でした。
- 土電の運転手の接客マナーが大変良かった。酒飲みの独特の文化、べく杯が体験できて面白かった。商店街の心意気。
- 四国の人々は、遍路に対して親切で心温かい対応をして下さり、安心して楽しく巡礼が出来ました。高知市のある宿は、遍路割引をして下さり、格安料金で利用させて頂きました。感謝しております。
- 幕末志士社中で龍馬さん、中岡さんに会いましたが、とてもフレンドリーでホスピタリティーにあふれていました。
- ホテルのフロントで、翌日の宿の予約の事で大変お世話になりました。親切な市民に出会う事が多く嬉しい旅でした。
- MY遊バスが便利で、市内の電車が無料になるのも良かったです。黒パスポートで半額でまわりました。
- △ 対応があか抜けない。接客の勉強をするべきです。
- △ 高知のバス旅行で各所共、事務的な挨拶。受け答えはきちんとしてくれるのですが、何処の場所でもお土産を買っても食事をしても笑顔での接客が一つも有りませんでした。残念です。

- △ 龍馬パスポートは、制度が複雑な割には特典貧弱、内容がせこい。ほとんどの観光客は青パスポートを入手する頃には高知を離れてしまうのではないか。ガイドブックやインターネットの割引の方が魅力的。
- △ 施設のアンケートBOXで入れたアンケートが誰にでも、見えるようになっているものがあった。個人情報があるので見られない、取れないように工夫してほしい。
- △ 龍馬パスポートを提示しても、特典の内容を知らないなので、教えるのに疲れた。かえって不愉快にさせられ残念だった。
- △ 自然に出会えて、のんびりと楽しい旅で大月町に宿泊し、とてもキレイで気持ちよくすごさせて頂きましたが、帰る時フロントの方の「有難うございました」の言葉が無く、楽しかった旅が台無しになりました。
- △ 高知はサービス精神に欠ける。いい場所、自然の良い所が沢山あるのに、活かしきれていないし気配りにかける。もっと外を見て自分達のあり方を見直して欲しいと思います。
- △ 龍馬パスポートをJTBで三人で申請したが、一冊落としてしまい、高知城で冊子を見せ説明したが、たった80円なのに二人分しか割引してくれなかった。湯のみの在庫も無かったしやる気無いつて感じです。二度と高知には来ません。
- △ 人の温かみを感じる事は一度も無かった。数軒のお店で食事をしたが、気分良く食事が出来た店は一軒も無かった。もう高知を訪れる事は無いと思う。
- ◇ 高知は、昔から来てみたくても、遠くてなかなか来れない所だった。龍馬パスポートに2年の期限があるのが悲しい。

<マナー>

- △ 朝市の時、自転車の通行を止めて欲しい。子供にぶつかる恐れがあるため。
- △ 歩きタバコをしている人が非常に多いです。
- △ 高知のマナーにちょっとガッカリしました。路面電車に白い杖の方が乗ってきても知らん顔、誰も席を譲ろうとしません。お店の人の愛想があまり良くない所が多かった。
- △ 男性トイレに入って女性が出て来る事が多かったです。分からない訳ではありませんが、反対は絶対に成り立ちません。
- △ 女性の交通違反車が多く、高齢者の運転のマナーが悪い。後ろの車の事も考えて下さい。
- △ 車の窓から平気でタバコ等を捨てる。街に落ちているゴミの多さにびっくりした。
- △ 中高生ぐらいの自転車マナーが全然なっていない。

<その他>

- 高知県の竜馬の人気は物凄いですね。平成の時代にも彼の手腕は必要だと思います。平成の竜馬の出現がほしいと痛感しました。
- 親切な人達ばかりで楽しかった。方言は大切にしたい。

- 大阪では見られない、キレイな海、山、川、満天の星空に親子で感動しました。また必ず行きます。
 - 自然を満喫し、歴史を感じ、お参りができ、美味しい物を食べ、大変満足しています。日本のよき自然がここにあり嬉しかったし、これからも大切にしていきたいです。本当に素晴らしい所ばかりで、感動いたしました。ゴミもなく美しい街で、住人の方々のマナーの良さ、やさしさを感じた。
 - 夜に道を間違えた時、若い女性2人が調べてくれた。城から寺田邸がわからずにいたら、中年男性がバイクで案内してくれた。総じて人情豊かな土地であると好感を持った。
 - 四万十川上流道路で、レンタカーがパンクした時、対向車の方がタイヤ交換を手伝ってくれて助かりました。人情味を実感しました。
 - 中岡慎太郎館で、バスがなく困っていたところ、学芸員さんに駅まで送って頂いて助かりました。ありがとうございます。電車など、車以外の観光地へのアクセスももっと良くなれば良いと思いました。
 - 人情あふれた街並みでした。久礼大正市場では、商店街散策を楽しめました。黒潮本陣の塩たききは絶品でした。また行きたいです。
 - 夫の仕事に同行した初めての高知ですが、第二のふるさととも云える旅になりました。新鮮な魚料理は最高。屋台のギョーザ、ラーメンも美味しかったです。龍馬パスポートも楽しみ、高知県民の人柄に癒された旅でした。
 - 8月末に行きました。台風接近のため、海は波が高かったですが、逆に普段見られない、風景を見られたのも良かったし、やっぱり海を見ながらのドライブは最高。高知最高、子供も大喜びでした。
 - グルメ満喫出来ました。又、高知の人の人情はいつも豊かで素晴らしいと思います。
 - お遍路で高知へ。何処へ行っても、お店の方やホテルの方に優しくして頂き好感を持ちます。小中学生の子供達が、皆元気に気持ち良く挨拶してくれて本当に嬉しかった。
 - 皆さんが本当に優しく、笑顔で接してくれたので、初めての一人旅でしたが、安心して楽しい時間を過ごすことができました。又高知に来たいです、と言うより住みたいです。
 - 観光ガイドの仕事をしていますが、関東関西のお客様皆さん、大変喜んでお帰りの様子に嬉しくなります。混沌たる日本に、是非土佐のエネルギーを撒き散らさたいです。
 - 行きの車で子供が吐いてしまって、立川パーキングに駆け込むと、トイレの清掃係の女性がとても親切にしてくれました。十分に御礼も言えませんでした。感謝しています。本人に伝えてくれるとありがたいのですが。
 - オリックスキャンプを見学しました。近くで選手が見られて良かったです。来年は頑張ってください。
 - 同行の娘が急病になり、四万十の宿で救急車をお願いし病院へ行きました。皆さん親切にして下さり、とても感謝しております。
 - 9年間、毎年1月に高知に行きます。年に一度の心の洗濯。楽しい思い出が沢山です。
 - 20年くらい前に主人が競輪で落車。本当に高知県民多くの方々にお世話になりました。有難うございました。
- △ 天候が悪くて、あまり出かけられなかった。酔っ払いが多くてビックリした。駅にも、お

酒を持って一杯やっているおっちゃんが結構いる。

- △ 人間味のある方が多く、それ以降毎年訪ねております。市内シャッター街は残念です。
- △ 他県からの旅行や、ドライブ時の高速道路や宿泊施設等の利用による、サービスかプレゼント（割引券やスタンプカード、ポイント等）があると楽しみが増えると思います。
- △ 高知市内は観光に不便は感じないが、他は食事や給油等にやや不便を感じます。道の駅の充実を（コンビニ、ファミレス、給油スタンドなど）。
- △ イベントをもう少し増やして欲しい。キレイなホテルも増やして欲しい。
- △ 駐車場情報が、市役所のHPなどに、詳しく掲載されていると便利だと思いました。また駐車料金が割高に感じました。温泉施設の日帰り入浴時間を長くして頂ければ、利用者も増えると思います。
- △ ゴミ箱の少なさとゴミを散らかすマナーの悪さ。歩行者に水をぶっかける、スピード狂のドライバーが多い。不景気の為では無いと思うが、短気なすぐキレる若者や中年が多い。
- △ 高知県は、もっと勉強する必要があると思う。他の県に高知県関係者としてでは無く、一般客で行けば、観光の本当の事が分かる。龍馬ばかり飽きた。
- △ 街中に緑が少ないと思った。街歩き中に休むベンチ等を設置してもらえると有難い。
- △ 国道 55 号線の津波浸水予測区間は、注意標識は沢山あるが、本当に地域のお年寄りが、安全に逃げられるのか疑問を感じる。
- △ 高知は季節の良い時やよさこい等の行事がある時は、宿泊しづらいです。幾度か断念した。
- △ 駅から桂浜までのバスの本数が少なく、乗り換えの案内も見つけられずにタクシーを使いました。生姜の県なので、しょうがパウダーの大袋が欲しかったのですが、小袋しかありませんでした。
- △ 高知の団体旅行は少ないので残念です。海や山を見ながらゆったりと過ごせました。
- ◇ 質問です。いつも高知-大阪も高速バスを利用させていただいているのですが、車内にコンセントが付いているバスは事前にこちらから見分けられませんか。
- ◇ 高知は良い所すぎです。地元の郷土料理をもっと楽しみたかったです。B-1 グランプリ的なのをやって欲しい。それとカツオ人間最高。
- ◇ 名称についてですが、「高知」を使用するより「土佐」で統一した方が、歴史を感じある意味ブランド力を感じる。
- ◇ 高知高速道延伸、室戸や足摺はやはり遠いです。ただ高速道路が不備な分だけ、沢山の出会いや思い出が残っています。魚類は美味しいですね。
- ◇ 高知城も昔のままで、時の流れを感じられて良かった。自然が素晴らしく、心が洗われました。大河ドラマで、ジョン万さんをぜひやって欲しい。
- ◇ 交通マナーが悪い。ウインカー出さずに入るし、飛び出しは多い。あと、高知の店は閉まるのが早い。ひろめ市場は、素人にはやりにくく、席を取る事も、買う事も出来なかった。
- ◇ 絵のような美しさの沈下橋に、しばし見とれていました。絵ハガキを道の駅やお土産店に置いて下さい。

VI おもてなしの宿アンケート

● 概 要

スタッフが45の宿泊施設を訪問し「おもてなしの宿アンケートはがき」の配布・設置をお願いした。

この報告書は平成24年3月から平成25年2月に返信された観光客からの声を集計したものである。

返信総数 311件（春87件、夏90件、秋68件、冬66件）

図中の構成比は、未回答を除いた有効回答数を母数として算出し、小数点2位を四捨五入しているため、択一設問の合計が100%にならない場合がある。

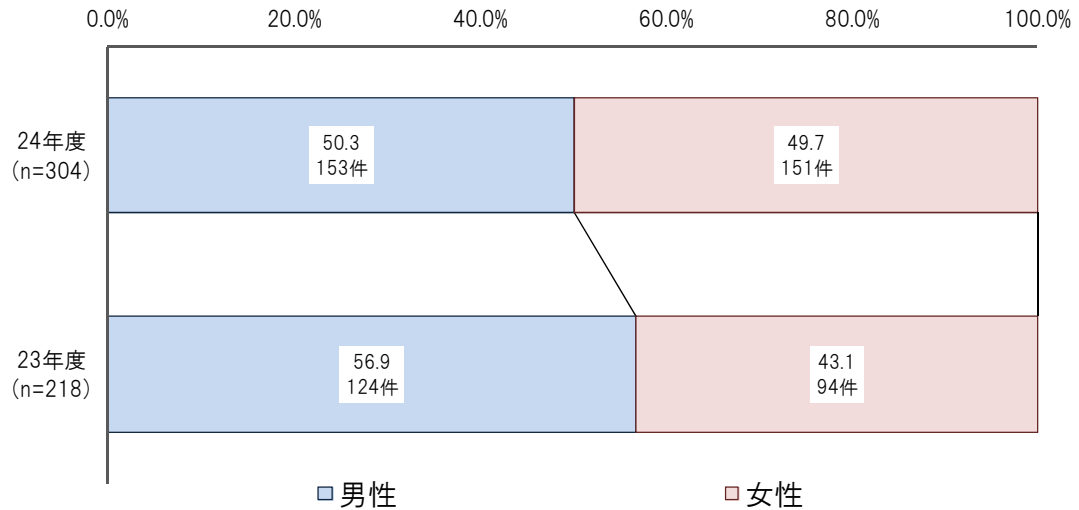
また、複数回答の設問は構成比を合計すると100%以上になる。

1. 「おもてなしの宿」回答者

1-1. 男女別

回答者男女別割合

(注：以下・未回答の数は主にグラフには含んでいません)



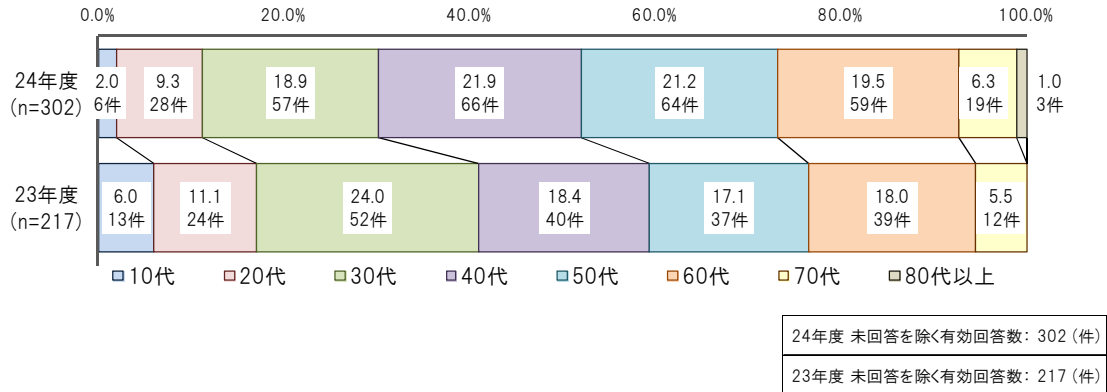
24年度 未回答を除く有効回答数：304 (件)

23年度 未回答を除く有効回答数：218 (件)

回答者の男女別割合は、男性からの返信が50.3%、女性からの返信が49.7%で、ほぼ均衡している。

1-2. 年代別

回答者年代別割合

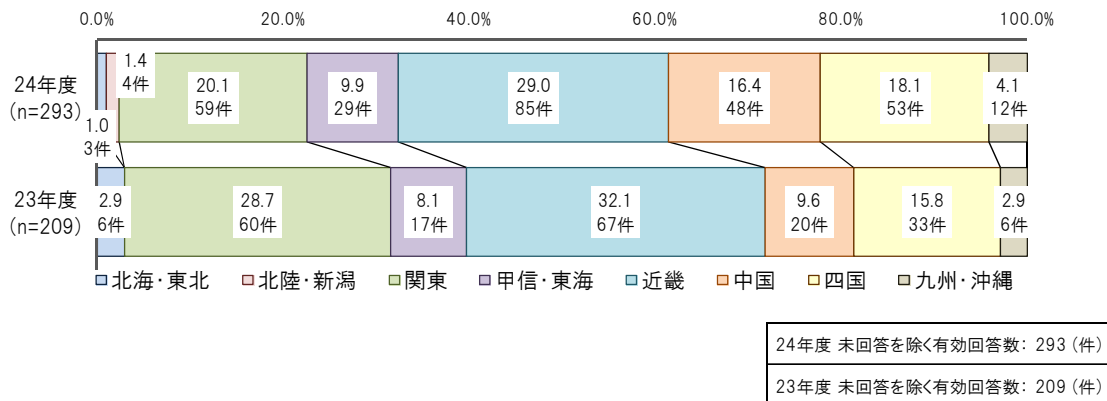


年代別割合は、40代が21.9%で最も多く、次いで50代が21.2%、60代が19.5%、30代が18.9%、それ以外は10%以下となっている。

前年度と比べ、40代～80代の割合が増加し、10代が4.0ポイント、20代が1.8ポイントの減少となっている。

1-3. 出発地

出発地ブロック別割合

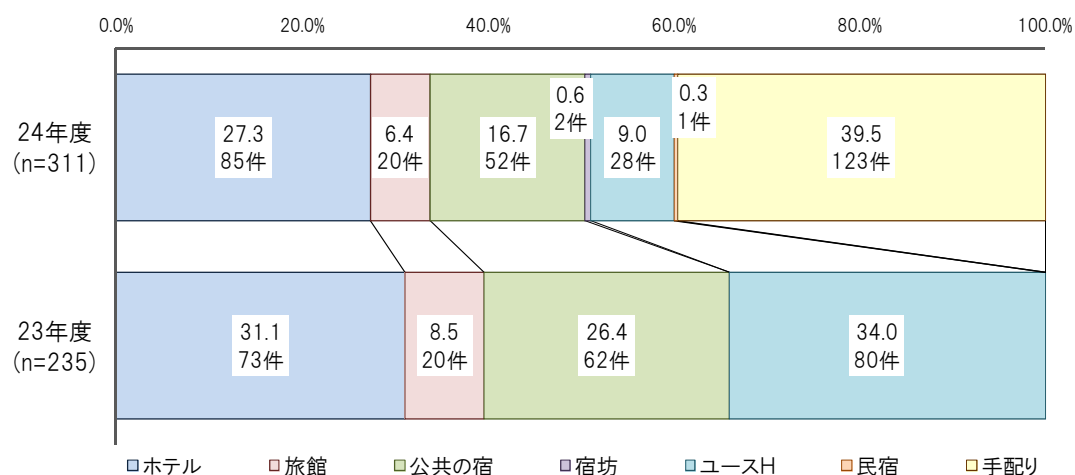


出発地ブロックは近畿が29.0%で最も多く、次いで関東が20.1%、四国が18.1%、中国が16.4%、それ以外は10%以下となっている。

前年度と比べ、北陸・新潟、甲信・東海、中国、四国、九州・沖縄の回答者数が増加し、関東、近畿、北陸・東北が減少している。

中国、四国は日帰り圏内ということもあり、「おもてなしの宿」の回答率は来県者の割合から考えると少なくなっている。

1-4. 回答のあったはがきの設置箇所



24年度 未回答を除く有効回答数: 311 (件)
23年度 未回答を除く有効回答数: 235 (件)

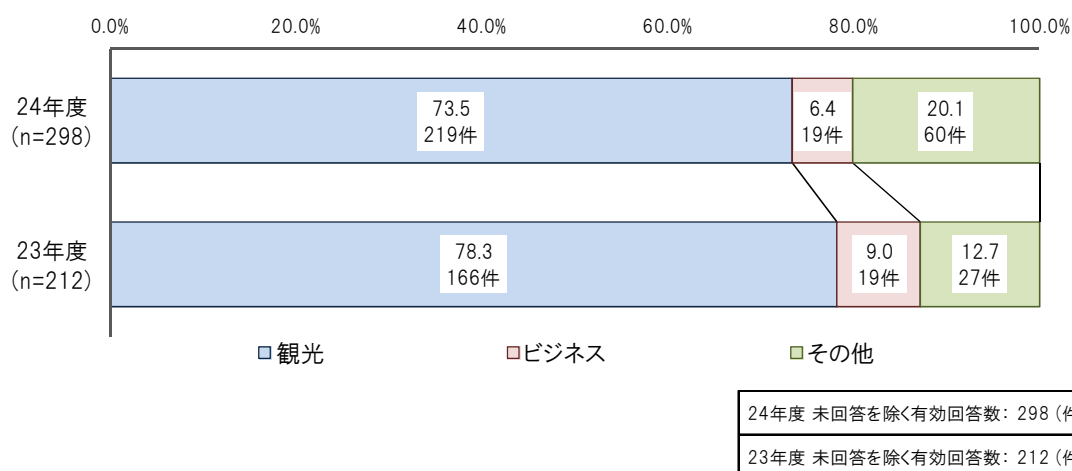
返信されたはがきの設置箇所としては、手配りが 39.5%、ホテルが 27.3%、公共の宿が 16.7%でそれ以外は 10%以下となっている。

なお、今年度より高知県観光動向調査（観光統計調査・満足度調査）の際、調査員が粗品と共に調査はがきの配布を行う「手配り」を実施している。

手配り以外を前年度と比べると、宿坊が 0.6 ポイント、民宿 0.3 ポイントと若干の増加がみられ、ユースホステルが 25.0 ポイント、公共の宿が 9.7 ポイント、ホテルが 3.8 ポイント、旅館が 2.1 ポイントの減少となっている。

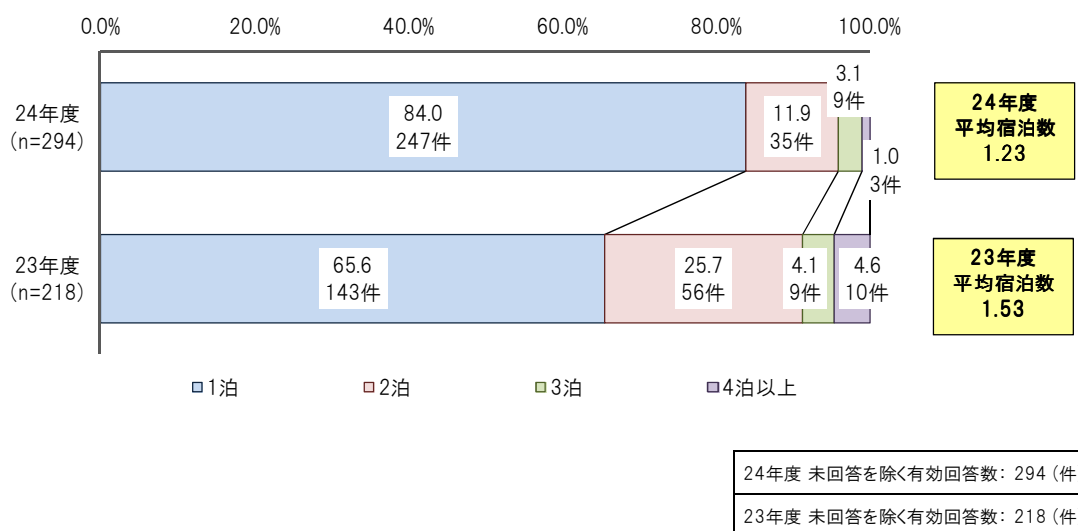
ユースホステルからの回答数が大幅に減少している原因としては、アンケートの設置を依頼している施設の休業が原因と考えられる。

1-5. 旅行の目的



旅行の目的としては、観光が73.5%と最も多く、その他が20.1%、ビジネスが6.4%となっている。その他の内容としては「遍路」や「カヌー」、「帰省」、「スポーツ観戦」などがあった。前年度と比べ、その他が7.4ポイントの増加となり、観光が4.8ポイント、ビジネスが2.6ポイント減少となっている。

1-6. 宿泊日数



宿泊日数は、1泊が大半を占め84.0%、次いで2泊が11.9%、3泊や4泊以上は5%以下となっている。

前年度と比べ、1泊が18.4ポイント増加、2泊が13.8ポイント、3泊が1.0ポイント、4泊以上が3.6ポイントの減少となり、本年度の平均宿泊数は1.23泊で、前年度の1.53より0.3泊減少している。

2. 「おもてなしの宿」 満足度

* 平均点数について

5=大変満足、4=満足、3=やや満足、2=やや不満、1=不満 として算出しています。

5点満点で点数が高いほど、満足度が高くなっています。(グラフには未回答は含みません。)

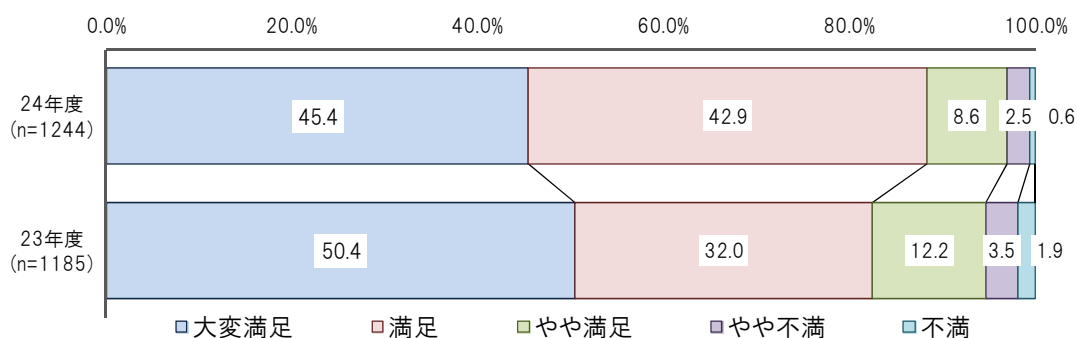
2-1. 予約係・フロント系のサービスについて

	大変満足	満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	合計	平均点数	全体平均
対応	139	131	24	9	3	5	311	4.29	24年度 4.30
挨拶	141	130	26	9	2	3	311	4.30	
言葉づかい	141	132	30	5	0	3	311	4.33	23年度 4.25
身だしなみ	137	135	26	8	2	3	311	4.29	

予約係・フロント系のサービスについては、全ての設問で平均が4点台と、満足度が高い結果となっている。

良いご意見としては、「全てのスタッフの感じが良かった。久しぶりに、感じのいいホテルに行ったような気がする」「観光の相談にのってもらいましたが、とても丁寧、親切に対応してくれました」「子供がいたのですが、細やかな気配りをして頂き、とても親切でした」などのご意見があり、どの設問も“大変満足”“満足”の割合が高くなっている。

反面、不満の声としては「夜間のフロント係は年配の殿方が二人で、いずれも明るさ、快活さに欠け他のホテルと比べてイメージが悪い」「フロントの方が、挨拶ができていなかった」「親切さが無い」などの意見があった。



(注: 各評価の回答数を設問全てで合計し、割合を算出したグラフ)

前年度と比べ、“大変満足”の割合が減少しているものの、“満足”が増加して全体平均は4.30点と前年度(4.25点)より高くなっている。

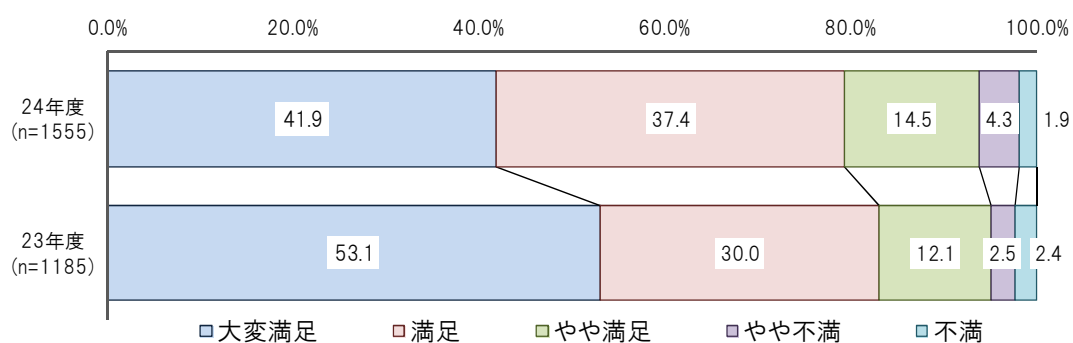
2-2. 客室係のサービスについて

	大変満足	満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	合計	平均点数	全体平均
館内説明	86	98	46	17	9	55	311	3.92	24年度 4.13
挨拶	117	93	36	10	3	52	311	4.20	
言葉づかい	112	99	34	10	2	54	311	4.20	23年度 4.29
身だしなみ	114	99	35	8	2	53	311	4.22	
気配り	112	94	36	10	8	51	311	4.12	

客室係のサービスについては、他の設問より未回答が多くなり、館内説明も3点台と低い評価となっている。原因としては、ビジネスホテルなど客室係がない施設があり、館内説明がフロントで行われ、客室係としての評価がつけられなかったためと思われる。

客室係のいる施設では、「落ち着いた方に説明されると、何か安心感があります」「ウエルカムフルーツやお茶などを出して頂き、とても親切に接して下さいました」「予約時も分かりやすく、部屋に案内していただくエレベーター内でも、楽しく会話してくれてよかったです」「きめ細かい気配りを頂きました」などのご意見があり、サービスが行き届いているとのご意見が寄せられている。

館内説明と気配りの設問では、他の設問と比べて“不満”の回答が多く、「客室係員の笑顔は良かったが、非常口の説明が無かった」「若い、経験がない、客を大切にしようとする気持ちが無い」「女性の方ですが、笑顔は無かったように思います。少々上から目線のような感じ」などのご意見があり、丁寧な接客に向けた従業員の教育が求められる。



(注：各評価の回答数を設問全てで合計し、割合を算出したグラフ)

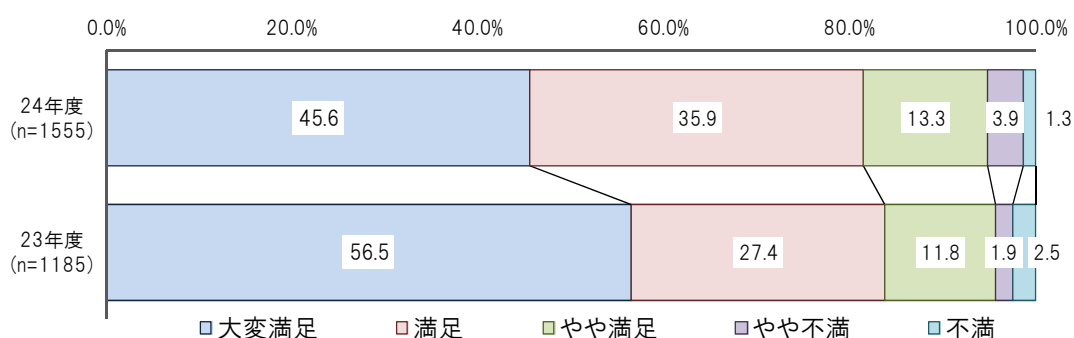
前年度と比べ、“大変満足”が減少し、全体平均も4.13点と、前年度(4.29点)より0.16ポイント下がっている。

2-3. レストラン・食堂系のサービスについて

	大変満足	満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	合計	平均点数	全体平均
対応	126	99	34	11	6	35	311	4.19	24年度 4.21
挨拶	128	99	35	10	3	36	311	4.23	
言葉づかい	125	101	38	9	2	36	311	4.23	23年度 4.34
身だしなみ	124	103	39	8	1	36	311	4.24	
気配り	125	92	37	15	6	36	311	4.15	

レストラン・食堂系のサービスについては「地元の食材をふんだんに使い、工夫した料理である事がよくわかった。目も舌も満足できました」「懐石料理でしたが、食べる速さに合わせて料理を運んで下さり、素晴らしいと思いました」「感じよく食事の説明をして下さり、一層美味しくいただきました」などのご意見があり、満足度が高くなっている。

反面、「部屋食だったのですが、料理が早くでてしまい、ゆっくり食べたかったが、料理が冷めてしまい、美味しく食べる事が出来なかった」「料理の説明を詳しくして欲しい。後で質問しました」「新人のスタッフさんが、奥で叱られているのが聞こえてきて、少し切なくなりました」などの意見が寄せられている。



(注：各評価の回答数を設問全てで合計し、割合を算出したグラフ)

前年度と比べ、“大変満足”が10.9ポイントと大きく減少し、平均点も4.21点と前年(4.34点)より0.13ポイント下がっている。

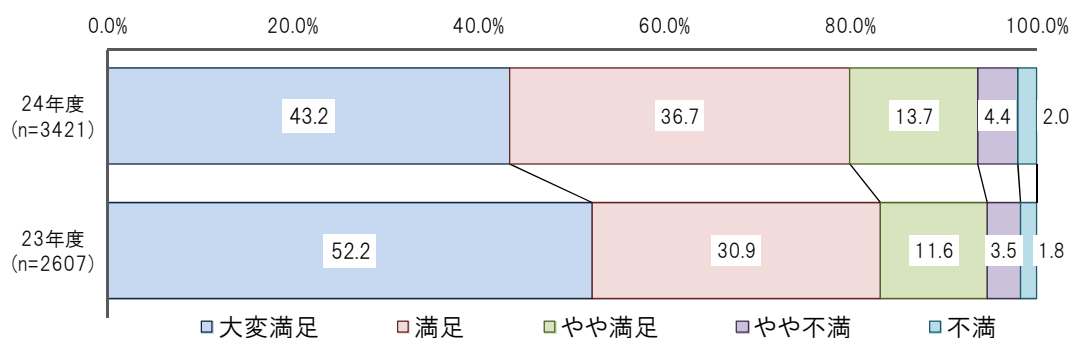
2-4. 施設について

	大変満足	満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	合計	平均点数	全体平均
雰囲気	119	127	45	13	2	5	311	4.14	24年度 4.15
館内表示	98	136	53	14	5	5	311	4.01	
分煙	122	112	42	15	8	12	311	4.09	
客室の清掃	144	105	36	12	8	6	311	4.20	
食堂の清掃	132	111	31	4	1	32	311	4.32	
サービス	145	99	39	9	7	12	311	4.22	23年度 4.25
食事の量	133	97	37	10	2	32	311	4.25	
食事のお味	128	99	35	10	4	35	311	4.22	
料理の説明	91	78	50	25	14	53	311	3.80	
休息	156	109	32	7	2	5	311	4.34	
音・臭い	122	108	42	22	11	6	311	4.01	

施設については、「料理の説明」以外はすべて平均点が4点台と満足度の高い結果となり、「アットホームな感じがあり、大変くつろぐことが出来ました」「清潔で親切な対応、美味しいごはんに癒されました」「接客、お風呂、館内、お食事と全て満足しました」等、全体的に好意的なご意見が寄せられている。

最も平均点の低かった、「料理の説明」では「皿鉢の食べ方は、説明したが良いと思う」「ご飯、パン、コーヒーなどのお替りが可能なのか説明不足でした」といった意見が寄せられている。また未回答が53件もあるが、未回答の理由として外食で素泊まりの利用などが考えられる。

その他評価の低かったご意見としては「清掃モレがあって前のお客様の飲み残しペットボトルやアイスの紙が陰にかくれていた」「部屋の清掃が不十分、髪の毛があちこちに残っていて残念」といった清掃面へのご意見や、「室外機の音がうるさい」「浴室の排水の臭いが気になった」など音・臭いへのご意見が寄せられている。



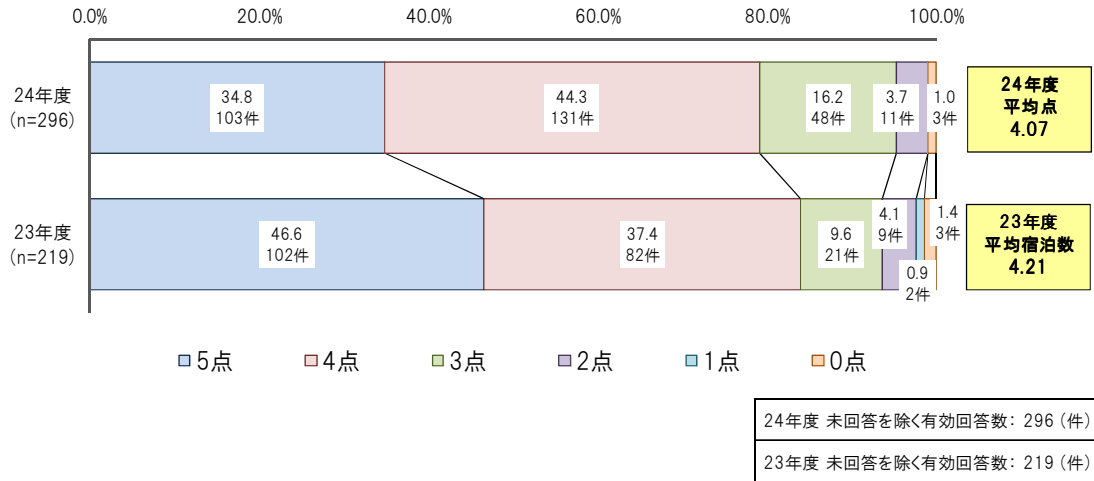
(注：各評価の回答数を設問全てで合計し、割合を算出したグラフ)

全体平均は4.15点となり、前年度(4.25点)より0.1ポイント下がっており、「不満」や「やや不満」のご意見・ご要望を参考にした改善が求められる。

2-5. その他

その他 1. 当該施設を 5 点満点で評価していただくとすれば何点いただけますか

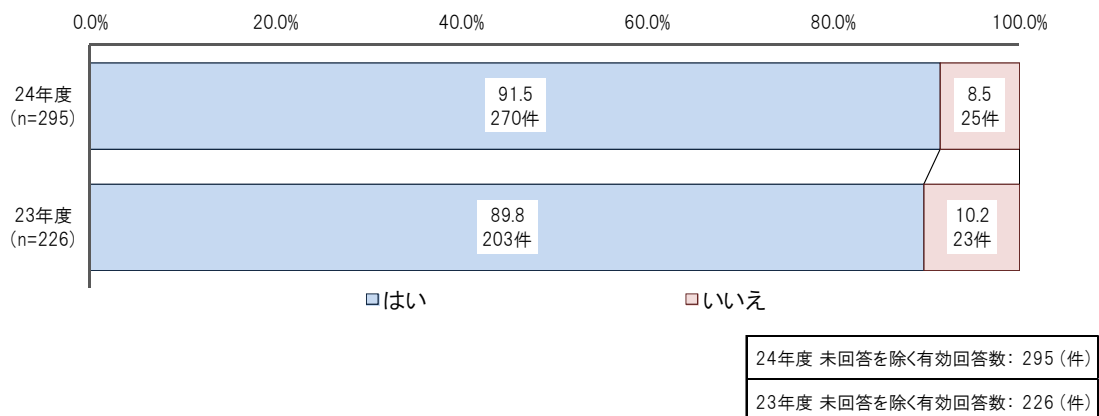
(4.5 点などの整数ではない評価は 4 点台に加えている)



施設の評価の平均は 4.07 点となっており“5点”と“4点”の評価の合計は 79.1%と、いずれも前年度より下がっている。

満足度の設問（参考：2-1～2-4）では、予約係・フロント系のサービスの項目以外で前年比より満足度が下がっている。

その他 2. 機会があれば当宿泊施設を再度ご利用いただけますか？

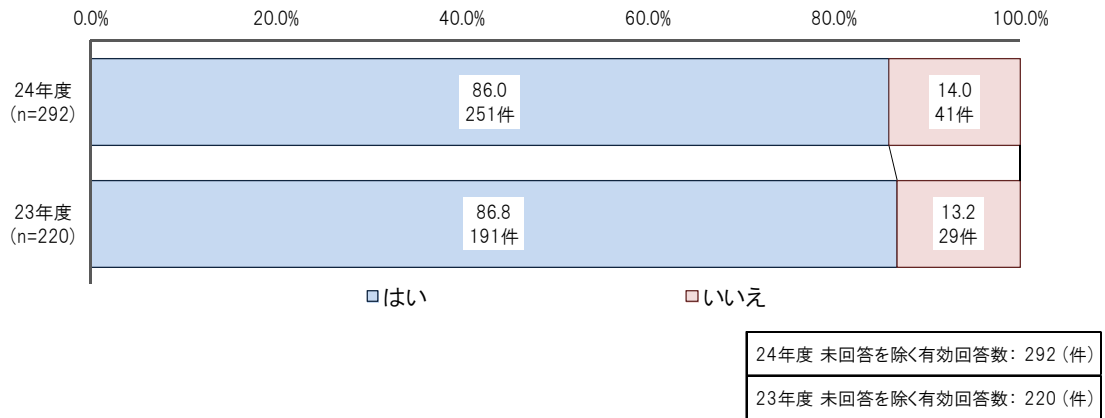


再度ご利用して頂けるお客様が全体中、91.5%を占めている。

“いいえ”を選んだお客様からは「今まで泊まった全国のホテルの中で最低ランク。すべてにおいて0点。まずは設備投資して下さい」「女湯の真ん前の部屋で、ビックリしました。お風呂にすぐ行けるのは良かったです、うるさかったです。事前の打診や割引の対象ではないでしょうか」などのご意見があった。

前年度比より、“はい”の割合が1.7ポイント増加している。

その他 3. 当宿泊施設をお知り合いにご紹介していただけますか？



お知り合いにご紹介して頂けるお客様が 86.0%を占めている。なお、「再度ご利用」の項目で“いいえ”を選んだお客様は、この項目でも”いいえ”を選択している。

前年度と比べて、“いいえ”の割合が0.8ポイント増加している。又、再度利用はするが、紹介はしないと回答されたお客様からは、「古い宿だったので」「浴場の天井のカビが相当気になった」「何の臭いなのか、嫌な臭いが全体にしていました」といった施設面に関する意見が寄せられている。

一人ひとりのお客様に満足してもらい、おもてなしの宿として評価して頂く為には、お客様の意見として挙げた、問題点をお客様の目線、立場で対応し一つひとつ解決してゆくことが求められる。

<接客・対応>

- 小さい子供連れで泊まりました。細かいところまで心遣い頂いて本当に有難かったです。高知には良く来るので、またぜひ泊まりたいです。
- ホテルでのサービス形態は、シンプルになる傾向だと思っているが、ほっとした気持ちになれて感謝。
- 妻の誕生日祝いで足摺岬方面へ一泊旅行。宿泊の足摺テルメでは、レストランの夕食時にお祝いもしてもらいました。心遣いに嬉しく思ったものです。
- フロントの対応に満足。車椅子利用者なのですが、入口の幅が広くて入りやすかった。次は、ハンディキャップルームに泊まりたい。
- 帰省の途中で急遽宿泊した御宿でした。とても雰囲気良く築年数の割にとってもきれいな宿でした。オフシーズンの平日だった事もあり、とても静かに休息できました。
- ホテル付近の、撮影箇所の所在も教えてくれ、四万十川の舟についても、先方に問合わせる等、細かい配慮をしてくれた。満足のゆくホテルの対応だった。
- 今回は娘、孫との2泊でしたが、2泊目の夜に孫が高熱を出し、その対応、夜間救急病院への連絡を取って頂いたり、本館雲の上のホテルの副支配人さんからも翌日心配の気遣いを、フロントの方から伝えて頂きました。有難うございました。
- 雰囲気が良くて毎年利用しています。以前はレストランの外にも、テーブルとイスがセットされていて良かったのですが、最近はそれが無くてちょっと残念。でも、お願いしたら出して来てくれて良かったです。
- 大女将が、食事中や帰る際に子供にやさしく声掛してくださり、また帰る時は、車が見えなくなるまで、手を振り続けて下さいました。とても嬉しかったです。
- とてもアットホームで落ち着ける空間でした。マスターもマスターの奥さんも優しい方で、急な来訪にもかかわらず、とても温かく受け入れてもらいうれしかったです。今回は日程が急でしたが、是非もう一度ゆっくり来て、ゆっくり過ごしたいと思います。
- 夜、時間外にソフトクリームを注文しましたが、笑顔で応じて頂きありがとうございました。
- 出張の際利用させて頂きましたが、フロントの方にあたたかい対応をして頂き、疲れが吹き飛びました。料理もとても美味しかったです。
- フロントに行く前に一番初めに会う人、気さくで明るく親しみやすい。フロントの人より、かしこまっていないからとても良い。毎年行くから、顔を覚えていてくれるので嬉しかった。
- ステイ中の早戻り時に部屋の掃除を迅速にして頂いた点、受験生の為にライトを用意してくれた点に深く感謝します
- △ クレームをフロントの人に伝えたが対応なく、お名前立派なホテルだけにガッカリです。対応の悪さはパック旅行だからでしょうか。
- △ 食事中に布団が敷かれてあった。他の宿では、「どのようにしましょうか」と相談された。事前にたずねて欲しかった。自分で敷きなました。浴衣のもう少し大きい物を借りたかった。
- △ おもてなしの宿としては程遠いです。夜は（8時）係の人は早く終わりたいという思いを全面的に出していて、客が無視される事が多かった。しかも布団ひかず…。仕事がサービス業なら最低限仕事をして、プラスおもてなしを。ガッカリ宿でした。
- △ 殿さま商売とはこの事で、もっと腰を低くして、どのような方にも同じ接客が必要だと私は思う。宮崎県を見習ったらいい。
- △ チェックアウト後、駐車場に行くまでに、掃除中の二人の方に会いましたが、私語をされており、帰って行く客への挨拶もなく知らんふりで、私達は仕事をしているのよという空気感を出しておられていました。残念です。

- △ 5グループくらいの団体さんがいて個人旅行は私達だけ、はっきり言って落ち着きませんでした。朝8時の朝食に向かっていると、従業員から有難うございましたと声を掛けられ、早く帰ってと言われてるように感じました。料金は満足でした。
- ◇ やはりホテルのフロントには、細やかな情報収集を求めたいです。朝早く着いたのですが、「市内で朝食の取れる所は」と聞いても分からない。桂浜に行く為のバスの説明も分かりにくい。2人で予約していましたが、会計は別々にカードでとお願いしても対応が遅い。でも何となく、のんびりとした空気はお土地柄かと、腹は立たず逆に微笑ましかったです。東京とは正反対ですね。忘れ物を送って下さいまして有難うございました。
- ◇ レストランの方と色々お話したが、ぽろっと土佐弁が出て、生で土佐弁が聞けて新鮮だった。

<食事>

- 施設、サービス、対応全て良かったです。特に食事の豪華さ、美味しさには大満足です。
- ご飯はとても美味しかったです。洋食のスープが、少し冷めていたのが残念でした。カツオのたたきは、抜群に美味しかったです。サワラの天ぷらも、初めて食べました。
- 以前に主人が泊まり、とても良かったので二人で来ました。お料理はこれでもかと言うぐらい出され、美味しく頂きました。また、高知の美味しいものが沢山あり満足しました。
- ランチのブッフェも、季節ごとに思考を凝らしてあり大変良かった。このまま頑張ってください。
- 従業員の心遣いが出来ていて、印象が良かったです。又、料理がとても美味しく満足でした。特に朝食にも心配りがあり、沢山のメニューを有難く頂きました。
- 薬膳料理には感動しました。野菜が豊富に使われて、珍しい鹿肉や鮎もでて、美味しかったです。
- △ 宿としては満足でしたが、夕食時の料理が、出て来るのが遅かったためイメージが悪い。食事ってやっぱり大事だと思います。
- △ 食材についての、お品書きがあると良かった。
- △ 高知の宿泊5泊6日でしたが、朝食時納豆が出ませんでした。魚と豆腐と卵、海苔は出しましたが、納豆が無くてやや不満でした。今後検討してみてください。
- ◇ 昼に適した食べ物が少ない、皿鉢料理は夜だしね。
- ◇ ハーブ園のことを、もっと前面に出して、お料理にも使っているのを、アピールしたらいいと思った。洋食ディナーで出たパンの中には、ローズマリーが入っていて、凄く美味しかったので、もっとレストランの食事にも使っていることを、お客さんに出したらいいと思いました。

<施設>

- 建物の雰囲気、施設、ホストペアレンツどれも満足。
- エアコン、ウォシュレット等、設備の充実には驚きました。ユースホテルでは無いみたいでした。
- お部屋が可愛い。浴室、洗面台、客室、色々な所に気配りが感じられて癒されました。
- 大浴場はジャグジーも、露天風呂も非常に良かった。
- 部屋はゆったりしていて、キレイでした。安価なので満足です。フロントのフロアにPCスペースがあるのも有難かったです。PC備え付けの部屋があれば尚良いのですが。
- △ 車椅子使用者です。ハンディキャップルームがないのか。お風呂場も手すりが無かったので入浴できませんでした。四万十川以外の県内観光案内所が欲しかった。

- △ 貸出物の中に空気清浄機があるといいです。冬なのに、ずっと窓を開けっ放しにしていました。禁煙ルームがあったのかもしれませんが、それにしてもすごい匂いでした。
- △ 入室後、フロントに用がありました。呼び出し番号が分からなく諦めました。トイレのレバーが大小反対で困りました。洗面の湯、牛のヨダレ位しか出ない。
- △ 畳が擦り切れているので、第一印象が悪かった。海の波の音が高く眠れなかった。二重ガラスにすると良いと思います。料理についての説明が無く残念でした
- △ エアコンの温度調節ができない。
- △ エレベーターで降りた時、何階の目印が目の前にあれば尚良い。ロビーのテーブル席を、ソファにしたら尚良し。コインランドリーを、一体型に改良して欲しい。
- △ 建物が古いのは仕方ないとして、廊下のカーペットは色褪せ、表面が剥がれたままになっているのは、いかがなものか。夜間のフロント係は、これまで投宿したどのホテルよりも暗くイメージが悪かった。
- △ 足の不自由な高齢者には段差があるので負担が掛かる。トイレに車イスが入らない。
- △ 初日のミネラルウォーターのサービスが忘れられていた。室内電話のモーニングコールがバスルームでしか鳴らなかった。給湯でお風呂に入れる温度まで達していない時があった。

<清掃>

- △ 禁煙ルームがあったのかもしれないですが、とにかくフロア全体がタバコ臭かった。部屋もすごい匂いで、せめて消臭剤くらい置いて欲しいと思った。
- △ JTBのパンフレットから選んだので大丈夫だろうと思っていたが、あまり良くなかった。他県から泊まりに来る客に配慮した心配りをすべき。客の立場に立って清掃を心がけてほしい。
- △ 施設、部屋の壁にヒビがあり、耐震性が心配。窓ガラス汚くクモの死骸もあった。掃除が行き届いてない。
- △ 浴室の黒カビが気になり、大浴場があったので部屋では入らなかった。

<その他>

- アットホームな感じがあり、大変くつろぐことが出来ました。周りにも自然があふれていた。ので、ゆっくり眠れました。
- 料理も美味しい食材を使ってきて、味も良く、又子供向けの館内イベント（夜市でヨーヨー、射的、お菓子釣り等）も豊富でとても喜んでます。
- 懐かしい感じの小さなホテルで過ごしやすかった。中庭の控えめなイルミネーションも良く、何と言っても料金が安くて驚いた。南向きの海や芝生など、全体的に静かで、夏にもう一度訪れたいと思った。
- 以前、別の宿に利用した際、入れ墨をした暴力団風の男達が入浴、宴会をしており、イメージを悪くした事があったが、高知にもこんな良い宿がある事を、今回知りました。
- レンタサイクル無料サービスはとても素晴らしいです。高知は初めてでしたが、人も親切で地の物もたくさんあり、又来たいと思いました。正直ホテルのコスパにはビックリしていません。ナイスホスピタリティ。
- △ 小学生ぐらいの子供用アメニティがあれば嬉しいです。
- △ お水とお湯の調整が面倒すぎる。トイレに灰皿が無い。
- △ お部屋から見える景色に眼科さんの看板が大きく見えて少し残念でした。サービスは全体的に丁寧でありがたかったです。

- △ ホテルの風呂が外来でも入れるということで、サーファーも入ってきたのだが、駐車場からバスタオル1枚で、ホテルのフロントを通過して風呂場に向かって歩いているのが不快に感じた。ホテルの従業員の人も注意して欲しかった。
- △ 施設が古い、風呂が遠い。仲居さんの教育も必要だと思う。もっと楽しませるポイントを工夫して下さい。
- △ お客様が少なかったのか、大浴場が使用出来ず、大浴場付きホテルという事が、このホテルを選んだ理由の一つなので非常に残念。
- △ HPがもっと見やすいと有難い。
- △ 入口というか、玄関横に灰皿はあるものの、皆が通る玄関が臭いのはどうかと思う。カルストの山を散歩し、ひいひい言ってやっと帰ると、タバコの煙を沢山吸ってしまい、気分が悪くなります。
- △ 唯一大浴場の入浴時間が24時間だといいです。特に朝の時間帯については、9時の時点で従業員の方が入って来て、追い出すような印象を受けました。せめて後30分延長できないでしょうか。
- △ 子供（5歳と3歳）達の食事料金が高かったです。3歳の子供は、ほとんど食べないので、親の分を分ける位で丁度良いと思うのですが、朝食代を高く取られたので、もう二度と来たくありません。
- △ 入浴後に販売機でお水を買おうとしたら、売り切れでした。他の階で買う事ができましたが、飲料水やお水を多く用意された方が良いのではと思います。
- △ ホテルの広告にレストランのシェフが大きく出ているので、とても期待して来ましたが、味はともかく、サービスのレベルが低い為、全体評価は大変不満足なものでした。
- △ ホテルへ行くまで一方通行等が多々あり、分かりづらかった。道案内が欲しかった。
- △ JAFの割引利用が出来るのを後で知り、残念。
- ◇ これからも益々観光立県・産業発展目指して頑張ってください。ただし、いつまでも坂本龍馬等の遺産では、先が見えています。空気・水・治安がキーワードです。フロリダのマイアミ市の日本版になれる気がします。役人の知恵を引き出して、脳みそに汗をもっとかいていけば、自然とフロリダに近づきます。
- ◇ 旅は個人の好み色々で、何もかも決められていない形態が、伸びてゆくと思います。
- ◇ 高知市へは、ライブハウスバックビーツのライブを聴きに年2回は行っていますが、今回は閉店ということで残念です。お酒も好きで、必ず栗焼酎を買って帰りますが、人気のダバダがなかなか手に入らないので残念です。次に行く時は、ホエールウォッチング目的で行きたいです。
- ◇ 国民宿舎は全国的に、立地条件の良い所にあると思います。環境の良い場所は、何にも変えがたい価値のある事だと思います。今後も利用者に寄り添ったサービスを期待致します。我がままですが、年金者でも利用しやすい料金設定を、心がけて下さいます様お願い致します。
- ◇ 食事などに使える手形の説明で時間が掛かりました。周辺の食事処や観光場所がもっと分かり易いといいなと思いました。両親との旅行だと歩きもままならない事もあり、年配旅行は何処が良いとかHPにプランの情報が欲しいです。
- ◇ お部屋に生花でも一輪活けてあったら、ホッとするんですが。
- ◇ コストパフォーマンスの高いホテルだと思いました。チェックアウト時間を、10時から11時までにしてもらえると、もう少しゆっくりできるので助かります。
- ◇ (宿には関係ない意見ですが)有料道路を使い龍馬歴史館まで行ったが、なんと工事休館中。大事な時間を無駄に使用した。宿の観光パンフから取り除くお願いをした。今後、このような事の無いように、県の担当部署に注意して頂きたい。

VII プロスポーツキャンプ等調査

1. 調査の概要

1-1 はじめに

平成 24 年秋期から平成 25 年春期にかけて、県内各所で行われたプロスポーツチームの公式戦、キャンプ、プレシーズンマッチ、プロゴルフのツアートーナメントに訪れた観戦客の動向を調査し、その結果を集計、分析した。

調査精度の均一化を図るため、調査員（2～4名）による対面聞き取り方式でアンケート調査を実施。あわせて1グループにつき、調査対象者を1名（1回答）とするよう徹底した。

1-2 調査スケジュール

季節	スポーツ種別	調査区分	調査日	回答数
秋 期	ラグビー	神戸製鋼 vs NEC	10/27	66
	野球	阪神タイガース秋季キャンプ	11/18	100
	野球	オリックスバファローズ秋季キャンプ	11/18	100
	男子ゴルフ	カシオワールドオープン	11/24	200
春 期	サッカー	徳島ヴォルティス春季キャンプ	1/26・1/27	50
	サッカー	アルビレックス新潟春季キャンプ	2/9	50
	サッカー	東京ヴェルディ春季キャンプ	2/11・2/17	50
	サッカー	プレシーズンマッチ	2/16	200
	野球	埼玉西武ライオンズ春季キャンプ	2/3・2/10	200
	野球	阪神タイガース春季キャンプ	2/2・2/23	200
	野球	プレシーズンマッチ	3/2・3/3	400
	女子ゴルフ	ヨコハマタイヤレディス	3/16	200
			合計	1,816

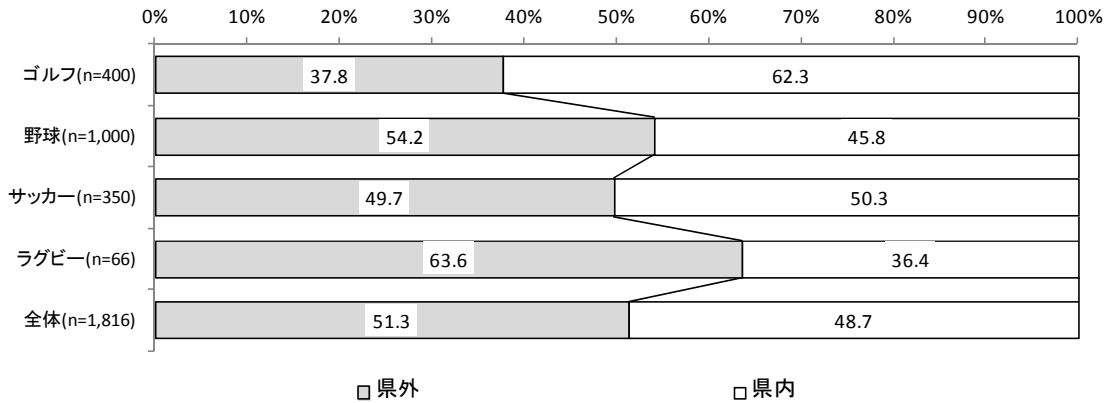
1-3 調査結果の見方

- (1) 図表に記入している構成比は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。また、複数回答の設問は構成比を合計すると 100%以上になる。
- (2) 図表中、及び本文中の調査区分は以下の通り、簡素化して表記している場合がある。
- | | |
|---------------------|--------------|
| ① 神戸製鋼 vs NEC | : ラグビー |
| ② 阪神タイガース秋季キャンプ | : タイガース秋季 |
| ③ オリックスバファローズ秋季キャンプ | : オリックス秋季 |
| ④ カシオワールドオープン | : カシオ |
| ⑤ 徳島ヴォルティス春季キャンプ | : ヴォルティス |
| ⑥ アルビレックス新潟春季キャンプ | : アルビレックス |
| ⑦ 東京ヴェルディ春季キャンプ | : ヴェルディ |
| ⑧ サッカープレシーズンマッチ | : サッカープレシーズン |
| ⑨ 埼玉西武ライオンズ春季キャンプ | : ライオンズ春季 |
| ⑩ 阪神タイガース春季キャンプ | : タイガース春季 |
| ⑪ プロ野球プレシーズンマッチ | : 野球プレシーズン |
| ⑫ ヨコハマタイヤレディス | : ヨコハマタイヤ |
- (3) 集計の対象者には県内からの観戦者を含んでいるが、集計項目により特定の調査対象者だけを集計している場合がある。この場合は、図表名に除外した調査対象者を記載している。

1-4 アンケート結果の特徴

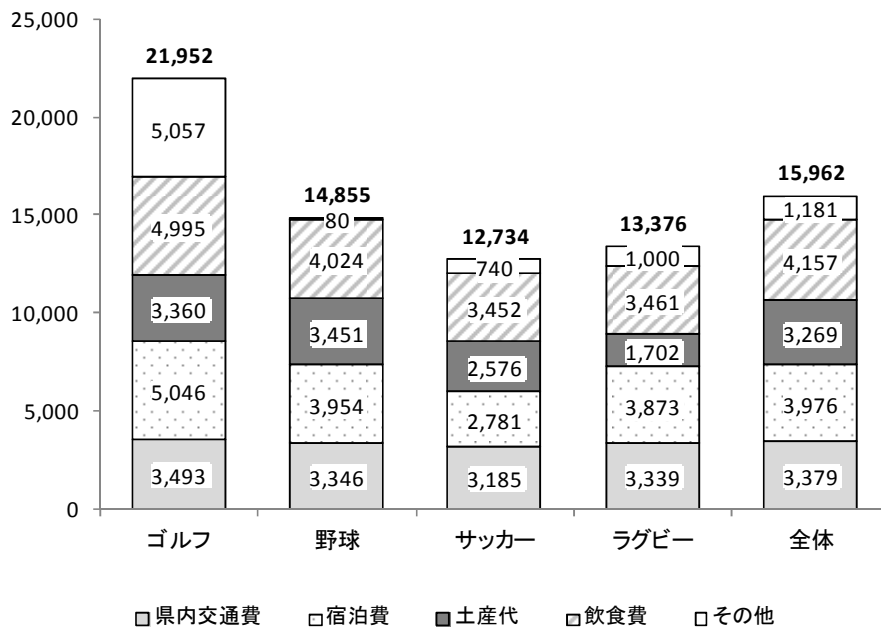
● 県外客割合と県内消費額

(参考1)スポーツ種別県外客・県内客割合(%)



県外客・県内客の割合をスポーツ種別にみると、野球観戦とJリーグサッカー観戦では、県外客と県内客の割合に目立った差は無いが、ゴルフ観戦は県外客 37.8% : 県内客 62.3% と、県外客が少なくなっている(参考1)。

(参考2)スポーツ種別県内平均消費額(円) ※県内客、及び県外パック利用客を除く

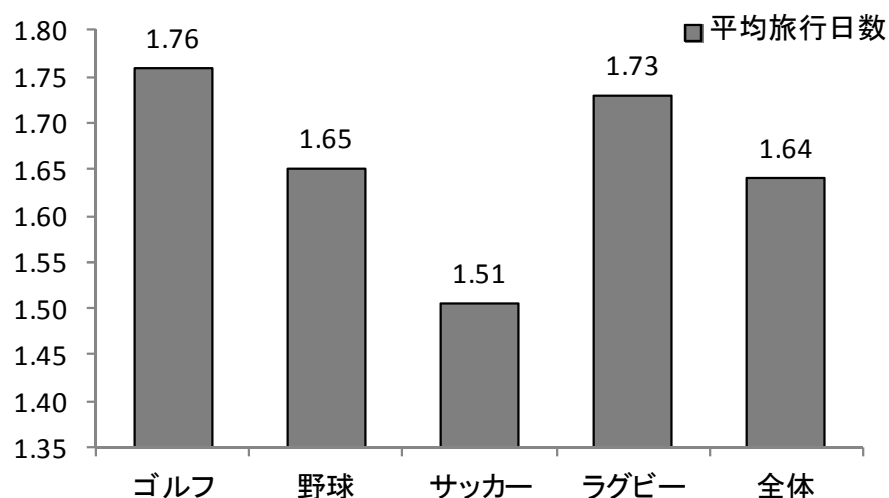


県内平均消費額をスポーツ種別にみると、ゴルフが21,952円と最も高くなっている。ゴルフ観戦客の消費額の23.0%を占めている「その他」費目に含まれている、チケット代を消費額合計から除外してほかのスポーツ種別と比較しても、依然、消費金額の高さは群を抜いている（参考2）。

ゴルフ観戦客は県内平均消費額が高いものの県外客の割合は他のスポーツ種別と比べ低く、野球やサッカー観戦客は県外客の割合が高いものの、消費額は低くなっている。

● 平均旅行日数と立寄観光スポット

（参考3）スポーツ種別平均旅行日数（日） ※県内客を除く



スポーツ種別に県外客の平均旅行日数をみると、ゴルフ観戦が1.76日で最も多く、次いでラグビーが1.73日、野球が1.65日、サッカーが1.51日となっている。つまり、最も旅行日数が多いゴルフ観戦客でも、平均1泊未満の日程で来県している。（参考3）。

(参考 4) 立寄観光スポット割合(立寄なし) ※県内容を除く

	件数	割合
県外客 (n=909)	568	62.5
全体 (n=1,816)	1,442	79.4

また、県外客の 62.5%が、来県している間に観光スポットへの立寄をしていない(予定していない)と回答している(参考 4)。

この2つの結果から、県外からのスポーツ観戦客の大半は、スポーツ観戦を終えるとそのまま日帰りで帰っていることが分かる。

● スポーツ観戦客への取り組み

以上の結果から、スポーツ観戦客への次のような取り組みが考えられる。

ゴルフ観戦客は県外客の割合が低いことから、さらに県外客を増加させるためのPR・広報活動等の取り組みが必要と考えられる。なお、県外からのゴルフ観戦客は、近畿・中国・四国からの入込が大半を占めている(図 4-2)ことから、これらの地域でPRが効果的であると考えられる。

ゴルフ以外のスポーツ種別では、県内消費額の拡大に向けた取り組みが必要と考えられる。例えば、調査時に観戦客からは

- 「近くに高知の地元食材やお土産が買える店がなくて、帰りに買うことが出来ず残念」
- 「売店の食べ物の種類をもっと増やして欲しい。グッズとかも売ったら良いのに」

などの意見が寄せられており、観戦客のニーズや購買意欲があるにも関わらず、キャンプ等の開催地でそれに応えるものが販売されていない、販売されている場所が分からないといった状況があることがわかる。

このため、開催地でのご当地グルメが楽しめる店舗等の出店や、土産物やスポーツグッズの販売、近隣で立ち寄ることのできる土産物や飲食店のPRの実施などに取り組む必要があると考えられる。

また、日帰り旅行と比べ宿泊旅行のほうが、県内消費額が高くなることから、特に旅行日数を増やす取り組みは重要だと考えられるが、平均旅行日数と立寄観光スポットの調査結果に表れているように、大半の県外客が観光スポットに立ち寄ることのない日帰り旅行で来県しており、スポーツ観戦後に観光に訪れる機会を増やす取り組みが必要と。

例えば、調査時に観戦者からは

- 「観戦後に気軽に立寄れる、周辺の観光スポットの情報がほしい」
- 「観光地のパンフレットを配ってくれたら、帰りに寄ろうかなという気になる」

といった意見が寄せられており、併せて観光していくといったニーズがあるにもかかわらず、情報が不足していることから周遊に消極的になっている観戦客も少なくないと推察される。そこで、開催地において観光案内ブースを設置し、魅力的な観光スポットのPRするなどの取り組みが観戦客のニーズに応えることになり効果的と考えられる。

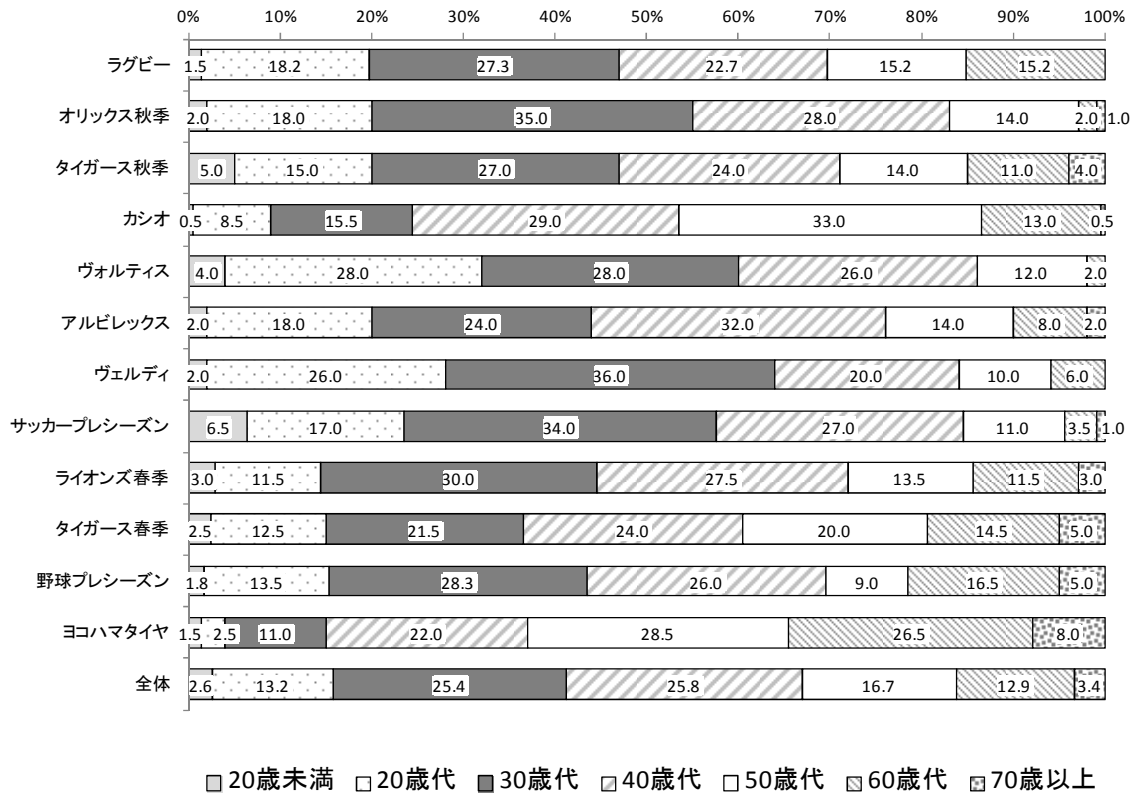
2. 観戦者年代

2-1 年代割合

(表 2-1) 観戦者年代割合 (上段 : 件 下段 : %)

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
ラグビー	1	12	18	15	10	10	0	66
	1.5	18.2	27.3	22.7	15.2	15.2	0.0	100.0
オリックス秋季	2	18	35	28	14	2	1	100
	2.0	18.0	35.0	28.0	14.0	2.0	1.0	100.0
タイガース秋季	5	15	27	24	14	11	4	100
	5.0	15.0	27.0	24.0	14.0	11.0	4.0	100.0
カシオ	1	17	31	58	66	26	1	200
	0.5	8.5	15.5	29.0	33.0	13.0	0.5	100.0
ヴォルティス	2	14	14	13	6	1	0	50
	4.0	28.0	28.0	26.0	12.0	2.0	0.0	100.0
アルビレックス	1	9	12	16	7	4	1	50
	2.0	18.0	24.0	32.0	14.0	8.0	2.0	100.0
ヴェルディ	1	13	18	10	5	3	0	50
	2.0	26.0	36.0	20.0	10.0	6.0	0.0	100.0
サッカープレシーズン	13	34	68	54	22	7	2	200
	6.5	17.0	34.0	27.0	11.0	3.5	1.0	100.0
ライオンズ春季	6	23	60	55	27	23	6	200
	3.0	11.5	30.0	27.5	13.5	11.5	3.0	100.0
タイガース春季	5	25	43	48	40	29	10	200
	2.5	12.5	21.5	24.0	20.0	14.5	5.0	100.0
野球プレシーズン	7	54	113	104	36	66	20	400
	1.8	13.5	28.3	26.0	9.0	16.5	5.0	100.0
ヨコハマタイヤ	3	5	22	44	57	53	16	200
	1.5	2.5	11.0	22.0	28.5	26.5	8.0	100.0
全体	47	239	461	469	304	235	61	1,816
	2.6	13.2	25.4	25.8	16.7	12.9	3.4	100.0

(図 2-2) 観戦者年代割合 (%)



全体の年代割合は、「40歳代」が25.8%で最も高く、「30歳代」が25.4%、「50歳代」が16.7%、「20歳代」が13.2%と続いている。

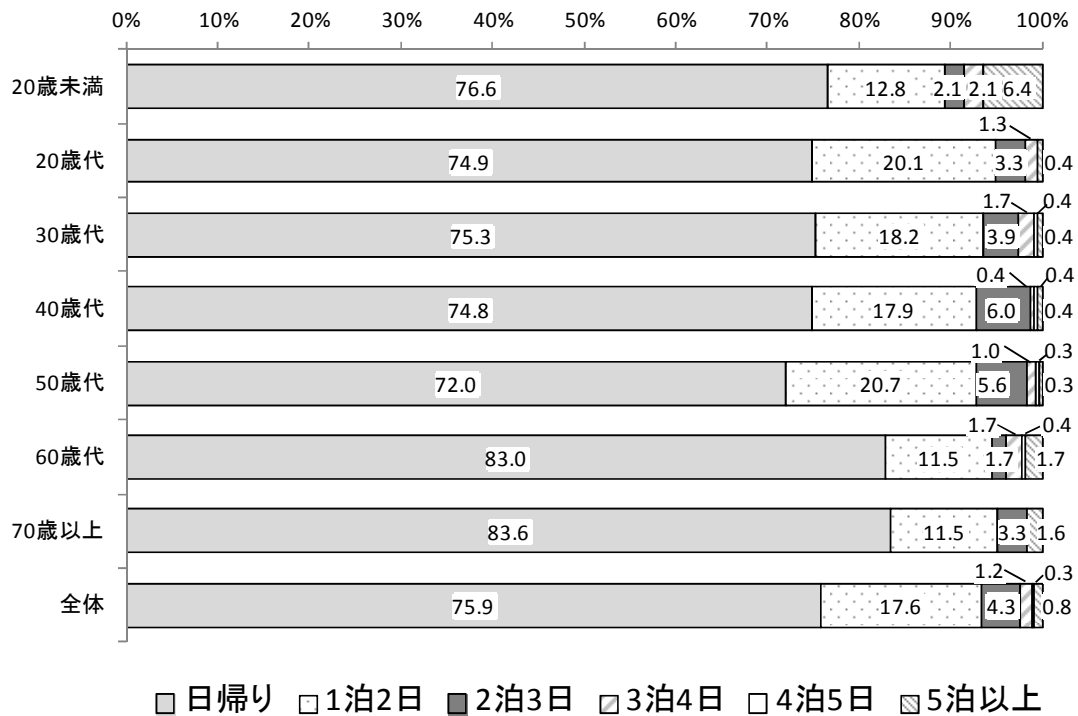
目立った傾向として、ゴルフは40歳代以下の年代が多く、カシオワールドオープンが40歳代以上で75.5%を占め、ヨコハマタイヤレディースは85.0%を占めた。また、サッカーは30歳代以下の年代が多くなっている。

2-2 年代別旅行日数

(表 2-3)年代別旅行日数割合 (上段 : 件 下段 : %)

	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊以上	合計
20歳未満	36	6	1	1	0	3	47
	76.6	12.8	2.1	2.1	0.0	6.4	100.0
20歳代	179	48	8	3	0	1	239
	74.9	20.1	3.3	1.3	0.0	0.4	100.0
30歳代	347	84	18	8	2	2	461
	75.3	18.2	3.9	1.7	0.4	0.4	100.0
40歳代	351	84	28	2	2	2	469
	74.8	17.9	6.0	0.4	0.4	0.4	100.0
50歳代	219	63	17	3	1	1	304
	72.0	20.7	5.6	1.0	0.3	0.3	100.0
60歳代	195	27	4	4	1	4	235
	83.0	11.5	1.7	1.7	0.4	1.7	100.0
70歳以上	51	7	2	0	0	1	61
	83.6	11.5	3.3	0.0	0.0	1.6	100.0
全体	1378	319	78	21	6	14	1,816
	75.9	17.6	4.3	1.2	0.3	0.8	100.0

(図 2-4) 年代別旅行日数割合(%)



全体の旅行日数割合は、日帰りが 75.9%で最も高く、次いで 1泊2日 が 17.6%、2泊3日 が 4.3%などとなっている。

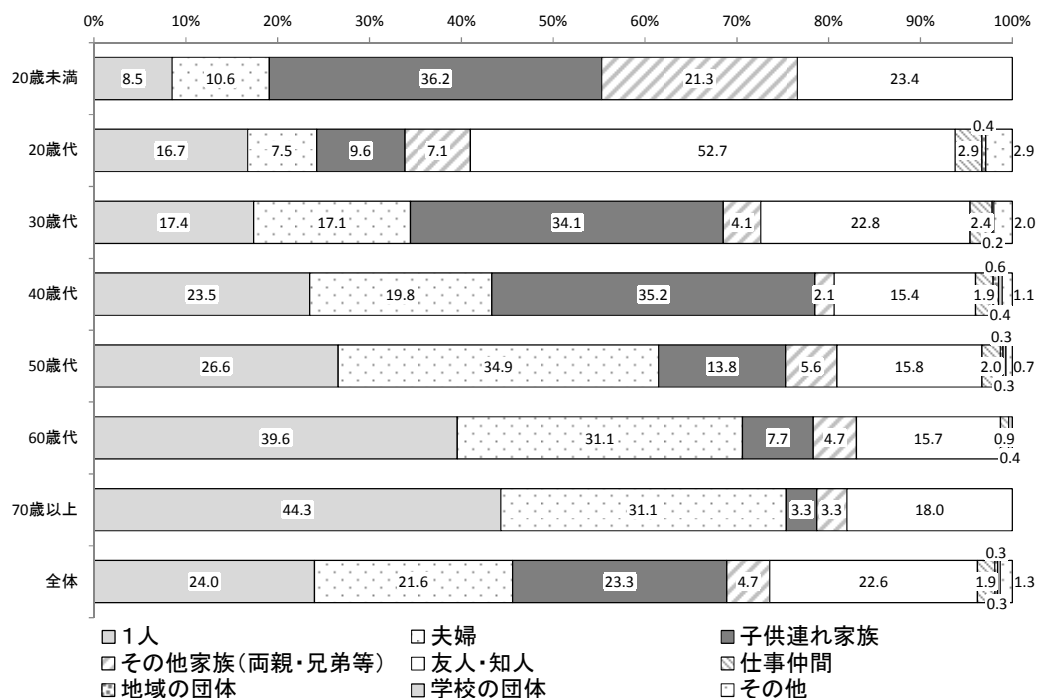
年代別にみると、60歳代と70歳以上で日帰りの割合が80%を超え、他の年代に比べて宿泊旅行の割合が低くなっている。

2-3 年代別旅行形態割合

(表 2-5) 年代別旅行形態割合 (上段：件 下段：%)

	1人	夫婦	子供連れ 家族	その他家族	友人・知人	仕事仲間	地域の団体	学校の団体	その他	合計
20歳未満	4	5	17	10	11	0	0	0	0	47
	8.5	10.6	36.2	21.3	23.4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20歳代	40	18	23	17	126	7	1	0	7	239
	16.7	7.5	9.6	7.1	52.7	2.9	0.4	0.0	2.9	100.0
30歳代	80	79	157	19	105	11	0	1	9	461
	17.4	17.1	34.1	4.1	22.8	2.4	0.0	0.2	2.0	100.0
40歳代	110	93	165	10	72	9	3	2	5	469
	23.5	19.8	35.2	2.1	15.4	1.9	0.6	0.4	1.1	100.0
50歳代	81	106	42	17	48	6	1	1	2	304
	26.6	34.9	13.8	5.6	15.8	2.0	0.3	0.3	0.7	100.0
60歳代	93	73	18	11	37	2	0	1	0	235
	39.6	31.1	7.7	4.7	15.7	0.9	0.0	0.4	0.0	100.0
70歳以上	27	19	2	2	11	0	0	0	0	61
	44.3	31.1	3.3	3.3	18.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全体	435	393	424	86	410	35	5	5	23	1,816
	24.0	21.6	23.3	4.7	22.6	1.9	0.3	0.3	1.3	100.0

(図 2-6) 年代別旅行形態割合 (%)



全体の旅行形態割合は、1人が24.0%で最も高く、子供連れ家族が23.3%、友人・知人が22.6%、夫婦が21.6%などと続いている。

年代別にみると、20歳未満は子供連れ家族と友人・知人、その他家族が多く、20歳代は友人・知人が半数を超えている。30歳代は子供連れ家族が3分の1を占め、友人・知人も多く、40歳代は子供連れ家族、1人、夫婦の順で多くなっている。50歳代は夫婦が3分の

1 を占め、1 人も多い。60 歳代と 70 歳以上は 1 人が最も多く、次いで夫婦となった。

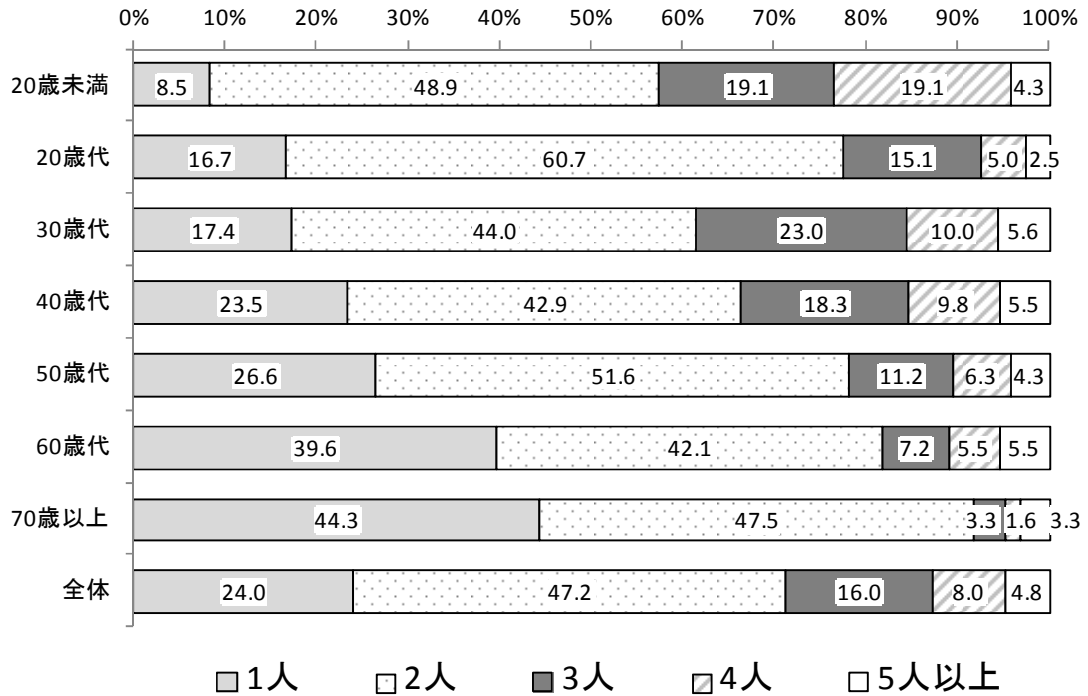
1 人は年代が上がるにつれて割合が高くなり、子供連れ家族は 20 歳未満、30 歳代と 40 歳代で高くなっている。友人・知人は 20 歳代が最も高く、次いで 20 歳未満となっている。夫婦は 50 歳代から 70 歳以上で 30% を超え、最も低いのは 20 歳代となっている。

2-4 年代別同行者数割合

(表 2-6) 年代別同行者数割合 (上段 : 件 下段 : %)

	1人	2人	3人	4人	5人以上	合計	平均人数
20歳未満	4	23	9	9	2	47	2.4
	8.5	48.9	19.1	19.1	4.3	100.0	
20歳代	40	145	36	12	6	239	2.2
	16.7	60.7	15.1	5.0	2.5	100.0	
30歳代	80	203	106	46	26	461	2.7
	17.4	44.0	23.0	10.0	5.6	100.0	
40歳代	110	201	86	46	26	469	2.5
	23.5	42.9	18.3	9.8	5.5	100.0	
50歳代	81	157	34	19	13	304	2.3
	26.6	51.6	11.2	6.3	4.3	100.0	
60歳代	93	99	17	13	13	235	2.2
	39.6	42.1	7.2	5.5	5.5	100.0	
70歳以上	27	29	2	1	2	61	1.8
	44.3	47.5	3.3	1.6	3.3	100.0	
全体	435	857	290	146	88	1,816	2.4
	24.0	47.2	16.0	8.0	4.8	100.0	

(図 2-7)年代別同行者数割合(%)



全体の同行者数（調査対象者を含む）の割合は、2人が47.2%で最も高く、次いで1人が24.0%、3人が16.0%、4人が8.0%、5人以上が4.8%となっている。

年代別にみると、20歳未満は2人が約半数を占め、3人、4人と続いている。20歳代は2人が60%を超え、1人、3人と続き、30歳代は2人が最も高く、3人、1人と続いている。40歳代は2人が最も高く、1人、3人と続き、50歳代は2人が半数を超え、1人、3人と続いている。60歳代と70歳以上は2人が最も高く、1人が続いている。

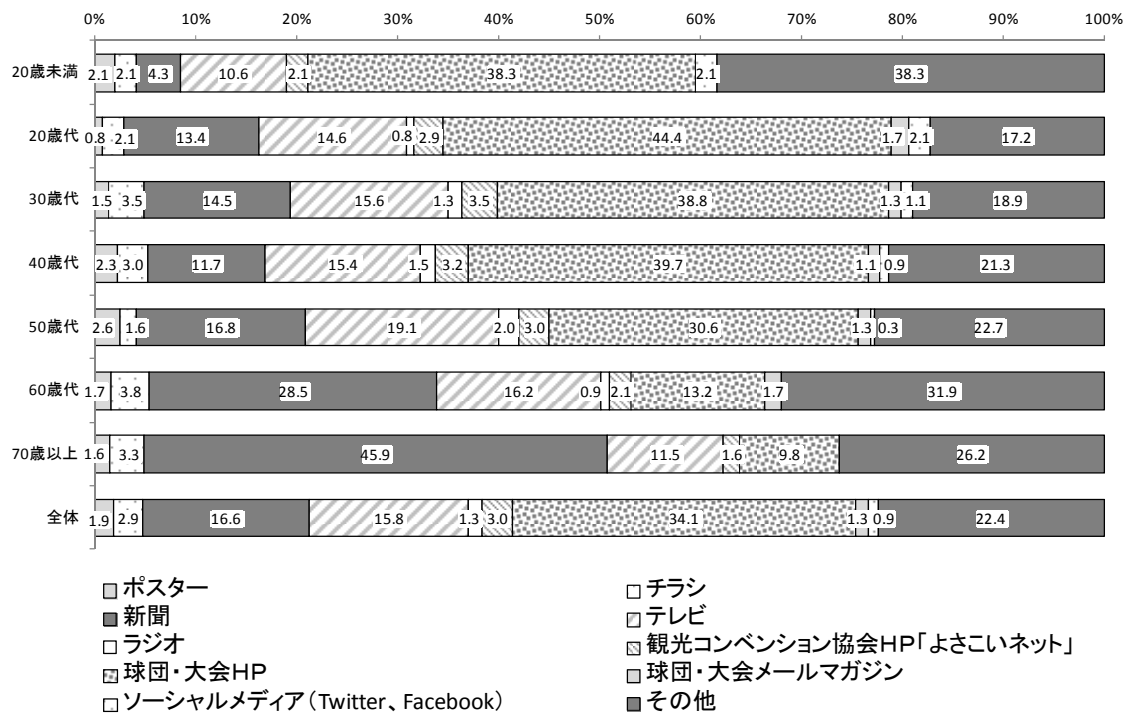
同行者の平均人数は全体で2.4人となっている。年代別では、30歳代が2.7人で最も多く、次いで40歳代が2.5人、20歳未満が2.4人と続き、70歳以上が1.8人で最も少なくなっている。

2-5 年代別情報源割合

(表 2-8) 年代別情報源割合 (上段：件 下段：%)

	ポスター	チラシ	新聞	テレビ	ラジオ	よさこい ネット	球団・ 大会HP	球団・大会 メール マガジン	ソーシャル メディア (Twitter、 Facebook)	その他	合計
20歳未満	1	1	2	5	0	1	18	0	1	18	47
	2.1	2.1	4.3	10.6	0.0	2.1	38.3	0.0	2.1	38.3	100.0
20歳代	2	5	32	35	2	7	106	4	5	41	239
	0.8	2.1	13.4	14.6	0.8	2.9	44.4	1.7	2.1	17.2	100.0
30歳代	7	16	67	72	6	16	179	6	5	87	461
	1.5	3.5	14.5	15.6	1.3	3.5	38.8	1.3	1.1	18.9	100.0
40歳代	11	14	55	72	7	15	186	5	4	100	469
	2.3	3.0	11.7	15.4	1.5	3.2	39.7	1.1	0.9	21.3	100.0
50歳代	8	5	51	58	6	9	93	4	1	69	304
	2.6	1.6	16.8	19.1	2.0	3.0	30.6	1.3	0.3	22.7	100.0
60歳代	4	9	67	38	2	5	31	4	0	75	235
	1.7	3.8	28.5	16.2	0.9	2.1	13.2	1.7	0.0	31.9	100.0
70歳代	1	2	28	7	0	1	6	0	0	16	61
	1.6	3.3	45.9	11.5	0.0	1.6	9.8	0.0	0.0	26.2	100.0
全体	34	52	302	287	23	54	619	23	16	406	1,816
	1.9	2.9	16.6	15.8	1.3	3.0	34.1	1.3	0.9	22.4	100.0

(図 2-9) 年代別情報源割合 (%)



全体の情報源割合は、球団・大会HPが 34.1%で最も高く、その他が 22.4%、新聞が 16.6%、テレビが 15.8%などと続いている。

年代別にみると、20歳未満から50歳代は球団・大会HPが占める割合が最も高く、その他、テレビ、新聞などの割合も高くなっている。60歳代はその他の割合が最も高くなり、新聞、テレビの割合も高くなっている。70歳以上は新聞の割合が半数近くを占め、年代別で最も高くなっている。

また、よさこいネットと球団・大会メールマガジン、ソーシャルメディア（Twitter、Facebook）、球団・大会HPを合わせた割合が20歳未満で 42.5%、20歳代で 51.1%、30歳代で 44.7%、40歳代で 44.9%と、若い年代でインターネットの利用が目立った。

その他の情報源として挙げられた回答としては、「毎年恒例の事なので知っている」、「友人から誘われた」、「チケットを知人にもらった」、「会社の優待券をくれた」や、「所属のアマチュアチームのメンバーから聞いた」、「スポーツ施設でポスターを見た」などが多かった。

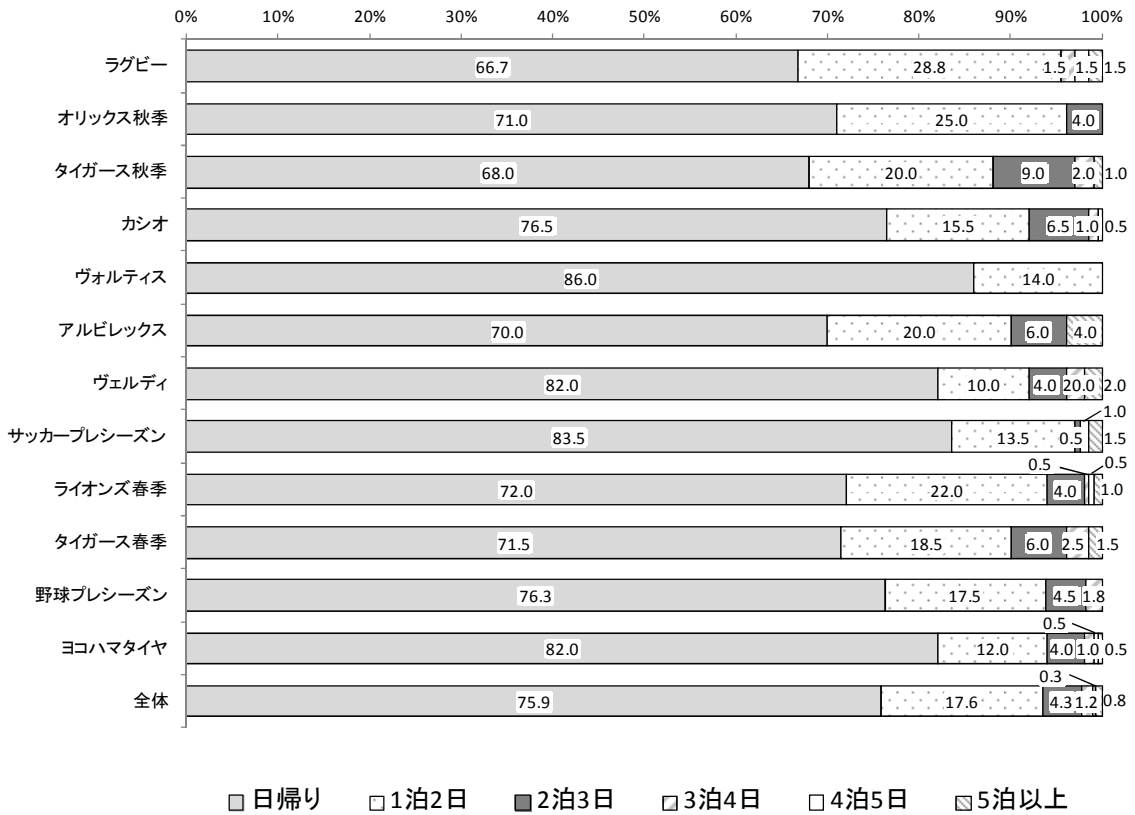
3. 日帰り客と宿泊客

3-1 日帰り客と宿泊客の割合

(表 3-1) 日帰り客と宿泊客の割合 (上段：件 下段：%)

	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊以上	合計
ラグビー	44	19	0	1	1	1	66
	66.7	28.8	0.0	1.5	1.5	1.5	100.0
オリックス秋季	71	25	4	0	0	0	100
	71.0	25.0	4.0	0.0	0.0	0.0	100.0
タイガース秋季	68	20	9	2	0	1	100
	68.0	20.0	9.0	2.0	0.0	1.0	100.0
カシオ	153	31	13	2	1	0	200
	76.5	15.5	6.5	1.0	0.5	0.0	100.0
ヴォルティス	43	7	0	0	0	0	50
	86.0	14.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
アルビレックス	35	10	3	0	0	2	50
	70.0	20.0	6.0	0.0	0.0	4.0	100.0
ヴェルディ	41	5	2	1	0	1	50
	82.0	10.0	4.0	2.0	0.0	2.0	100.0
サッカープレシーズン	167	27	1	0	2	3	200
	83.5	13.5	0.5	0.0	1.0	1.5	100.0
ライオンズ春季	144	44	8	1	1	2	200
	72.0	22.0	4.0	0.5	0.5	1.0	100.0
タイガース春季	143	37	12	5	0	3	200
	71.5	18.5	6.0	2.5	0.0	1.5	100.0
野球プレシーズン	305	70	18	7	0	0	400
	76.3	17.5	4.5	1.8	0.0	0.0	100.0
ヨコハマタイヤ	164	24	8	2	1	1	200
	82.0	12.0	4.0	1.0	0.5	0.5	100.0
全体	1378	319	78	21	6	14	1,816
	75.9	17.6	4.3	1.2	0.3	0.8	100.0

(図 3-2) 日帰り客と宿泊客の割合 (%)



全体の日帰り客と宿泊客の割合は、日帰り客が 75.9%、宿泊客が 24.1%となっている。

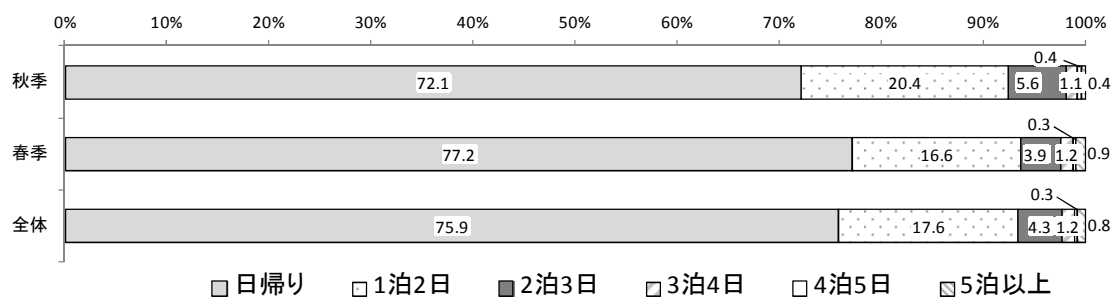
目立った傾向のあった調査区分をみると、宿泊客の割合は、神戸製鋼 vs NEC が 33.3%で調査区分別で最も高く、徳島ヴォルティス春季キャンプが 14.0%で最も低くなっている。なお、2泊3日以上割合は、阪神タイガース秋季キャンプ、同春季キャンプ、新潟アルビレックス春季キャンプなどが高くなっている。

3-2 季節別日帰り客と宿泊客の割合

(表 3-3) 季節別日帰り客と宿泊客の割合 (上段 : 件 下段 : %)

	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊以上	合計
秋季	336	95	26	5	2	2	466
	72.1	20.4	5.6	1.1	0.4	0.4	100.0
春季	1042	224	52	16	4	12	1,350
	77.2	16.6	3.9	1.2	0.3	0.9	100.0
全体	1378	319	78	21	6	14	1,816
	75.9	17.6	4.3	1.2	0.3	0.8	100.0

(図 3-4) 季節別日帰り客と宿泊客の割合 (%)



季節別に日帰り客と宿泊客の割合をみると、秋季は日帰り客が72.1%、宿泊客が27.9%となり、春季は日帰り客が77.2%、宿泊客が22.8%と、秋季のほうが宿泊客の割合が高くなっている。

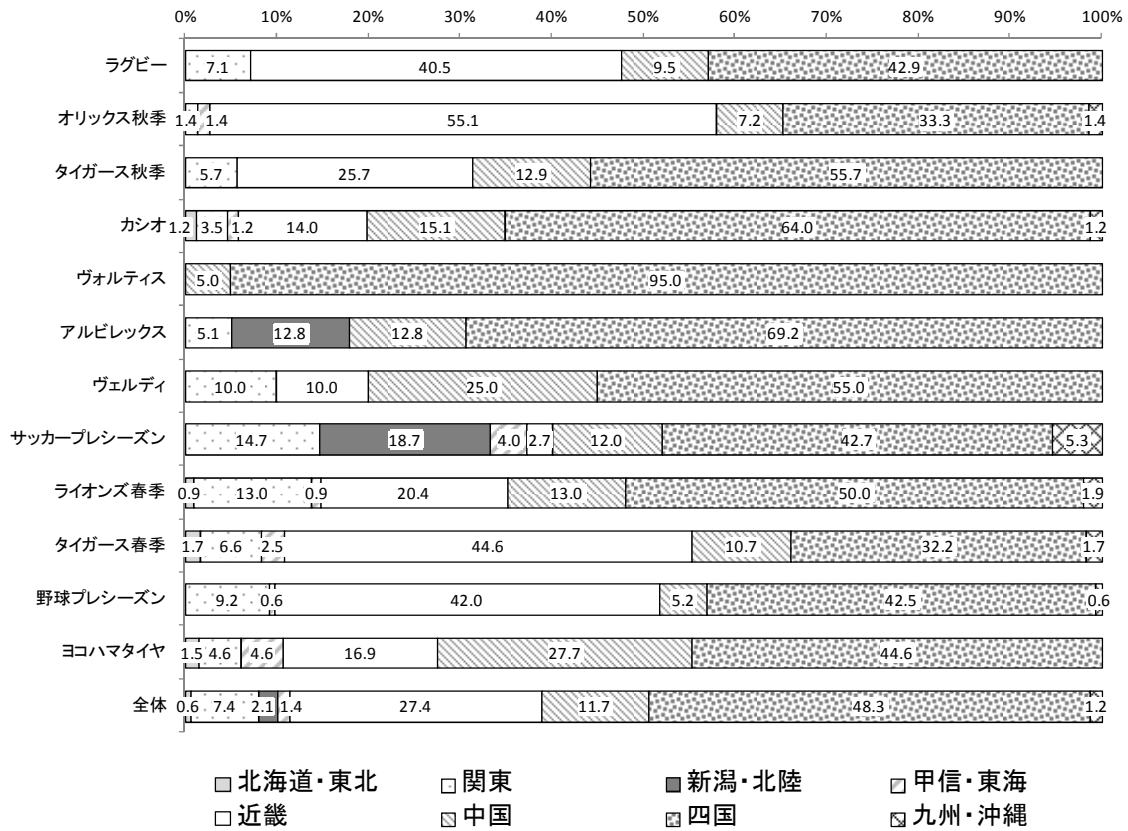
4. 出発地

4-1 出発地ブロック割合

(表 4-1) 出発地ブロック割合 (上段 : 件 下段 : %) ※県内客を除く

	北海道・東北	関東	新潟・北陸	甲信・東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄	合計
ラグビー	0	3	0	0	17	4	18	0	42
	0.0	7.1	0.0	0.0	40.5	9.5	42.9	0.0	100.0
オリックス秋季	0	1	0	1	38	5	23	1	69
	0.0	1.4	0.0	1.4	55.1	7.2	33.3	1.4	100.0
タイガース秋季	0	4	0	0	18	9	39	0	70
	0.0	5.7	0.0	0.0	25.7	12.9	55.7	0.0	100.0
カシオ	1	3	0	1	12	13	55	1	86
	1.2	3.5	0.0	1.2	14.0	15.1	64.0	1.2	100.0
ヴォルティス	0	0	0	0	0	2	38	0	40
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	95.0	0.0	100.0
アルビレックス	0	2	5	0	0	5	27	0	39
	0.0	5.1	12.8	0.0	0.0	12.8	69.2	0.0	100.0
ヴェルディ	0	2	0	0	2	5	11	0	20
	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	25.0	55.0	0.0	100.0
サッカープレシーズン	0	11	14	3	2	9	32	4	75
	0.0	14.7	18.7	4.0	2.7	12.0	42.7	5.3	100.0
ライオンズ春季	1	14	0	1	22	14	54	2	108
	0.9	13.0	0.0	0.9	20.4	13.0	50.0	1.9	100.0
タイガース春季	2	8	0	3	54	13	39	2	121
	1.7	6.6	0.0	2.5	44.6	10.7	32.2	1.7	100.0
野球プレシーズン	0	16	0	1	73	9	74	1	174
	0.0	9.2	0.0	0.6	42.0	5.2	42.5	0.6	100.0
ヨコハマタイヤ	1	3	0	3	11	18	29	0	65
	1.5	4.6	0.0	4.6	16.9	27.7	44.6	0.0	100.0
全体	5	67	19	13	249	106	439	11	909
	0.6	7.4	2.1	1.4	27.4	11.7	48.3	1.2	100.0

(図 4-2) 出発地ブロック割合 (上段 : 件 下段 : %) ※県内容を除く



県内容を除いた全体の発地ブロック割合は、四国が48.3%で最も高く、近畿が27.4%、中国が11.7%、関東が7.4%などと続いている。

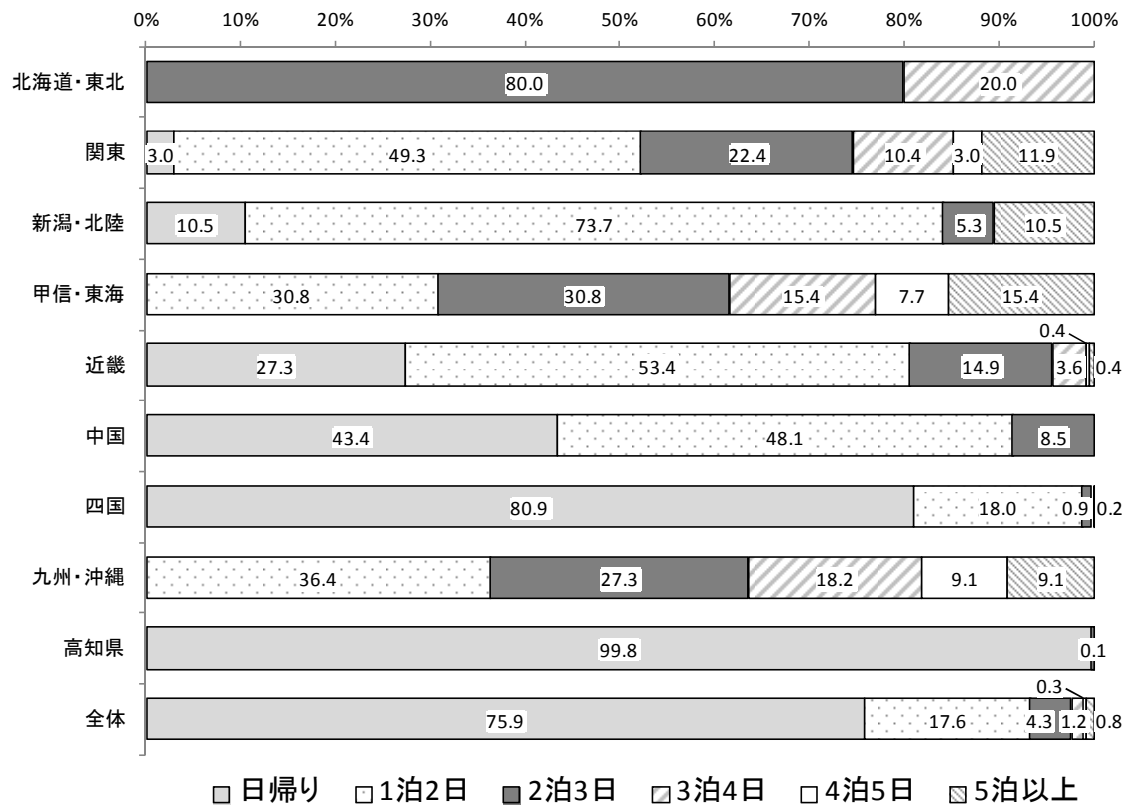
発地別の主な傾向をみると、四国の割合は、徳島ヴォルティス春季キャンプが95.0%で最も高く、そのほか、アルビレックス新潟春季キャンプ、カシオワールドオープンなどが高くなっている。近畿の割合は、オリックスバファローズ秋季キャンプが55.1%で最も高く、そのほか、阪神タイガース春季キャンプ、プロ野球プレシーズンマッチなどが高くなっている。中国の割合は、ヨコハマタイヤレディースが27.7%で最も高く、東京ヴェルディ春季キャンプ、カシオワールドオープン、埼玉西武ライオンズ春季キャンプなども高くなっている。

4-2 出発地ブロック別県内旅行日数割合

(表 4-3) 出発地ブロック別県内旅行日数割合 (上段 : 件 下段 : %)

	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊以上	合計
北海道・東北	0	0	4	1	0	0	5
	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0	100.0
関東	2	33	15	7	2	8	67
	3.0	49.3	22.4	10.4	3.0	11.9	100.0
新潟・北陸	2	14	1	0	0	2	19
	10.5	73.7	5.3	0.0	0.0	10.5	100.0
甲信・東海	0	4	4	2	1	2	13
	0.0	30.8	30.8	15.4	7.7	15.4	100.0
近畿	68	133	37	9	1	1	249
	27.3	53.4	14.9	3.6	0.4	0.4	100.0
中国	46	51	9	0	0	0	106
	43.4	48.1	8.5	0.0	0.0	0.0	100.0
四国	355	79	4	0	1	0	439
	80.9	18.0	0.9	0.0	0.2	0.0	100.0
九州・沖縄	0	4	3	2	1	1	11
	0.0	36.4	27.3	18.2	9.1	9.1	100.0
高知県	905	1	1	0	0	0	907
	99.8	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	100.0
全体	1378	319	78	21	6	14	1,816
	75.9	17.6	4.3	1.2	0.3	0.8	100.0

(図 4-4) 出発地ブロック別県内旅行日数割合 (%)



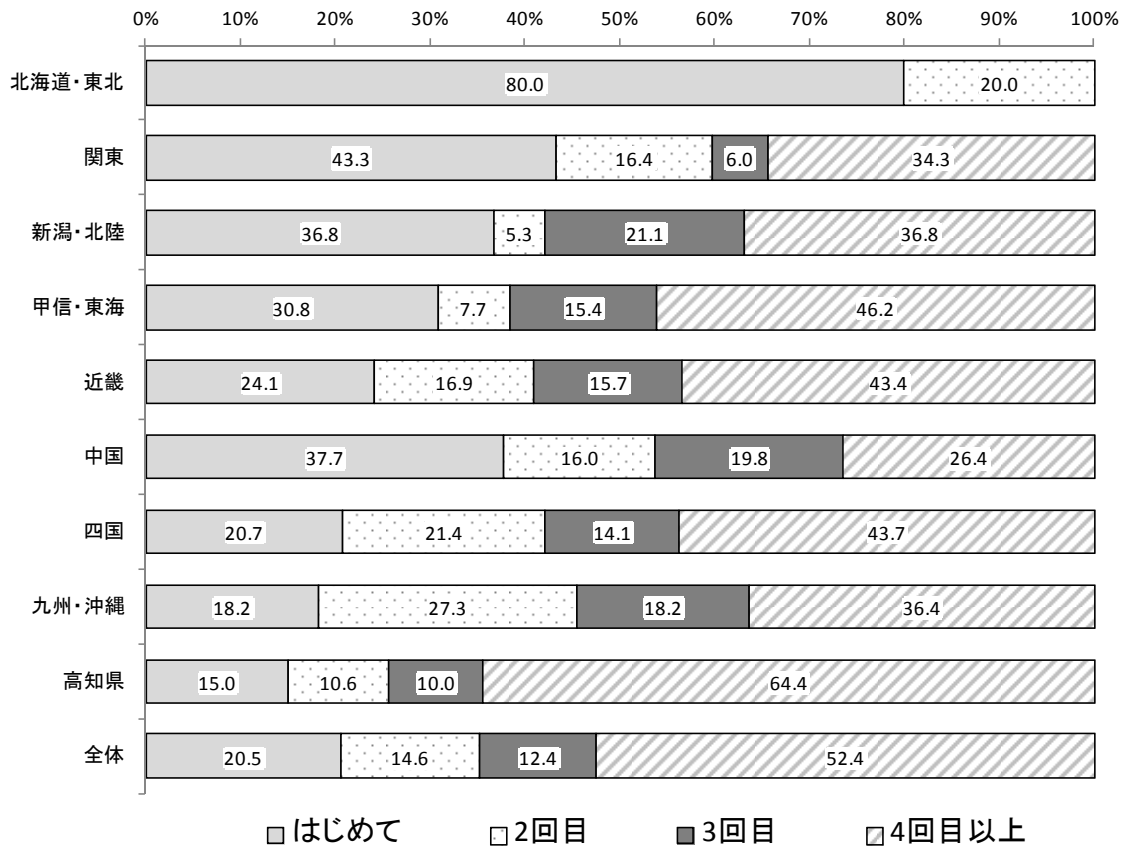
出発地別に県内旅行日数の割合をみると、四国は日帰りが 80.9%と大半を占めており、1泊2日が18.0%、2泊3日が0.9%と続いている。近畿は1泊2日が53.4%と半数を超え、日帰りが27.3%、2泊3日が14.9%などの順で続く。中国は1泊2日が48.1%で最も高く、次いで日帰りが43.4%、2泊3日が8.5%となった。関東は1泊2日が49.3%で最も多く、次いで2泊3日が22.4%、5泊以上が11.9%になっている。

4-3 出発地ブロック別観戦回数割合

(表 4-5) 出発地ブロック別観戦回数割合 (上段 : 件 下段 : %)

	はじめて	2回目	3回目	4回目以上	合計
北海道・東北	4	1	0	0	5
	80.0	20.0	0.0	0.0	100.0
関東	29	11	4	23	67
	43.3	16.4	6.0	34.3	100.0
新潟・北陸	7	1	4	7	19
	36.8	5.3	21.1	36.8	100.0
甲信・東海	4	1	2	6	13
	30.8	7.7	15.4	46.2	100.0
近畿	60	42	39	108	249
	24.1	16.9	15.7	43.4	100.0
中国	40	17	21	28	106
	37.7	16.0	19.8	26.4	100.0
四国	91	94	62	192	439
	20.7	21.4	14.1	43.7	100.0
九州・沖縄	2	3	2	4	11
	18.2	27.3	18.2	36.4	100.0
高知県	136	96	91	584	907
	15.0	10.6	10.0	64.4	100.0
全体	373	266	225	952	1,816
	20.5	14.6	12.4	52.4	100.0

(図 4-6) 出発地ブロック別観戦回数割合 (%)



全体の観戦回数割合をみると、4 回目以上が 52.4%で半数を超えており、次いではじめてが 20.5%、2 回目が 14.6%、3 回目が 12.4%となっている。

主な出発地別に観戦回数の割合をみると、四国は 4 回目以上が 43.7%で最も高く、2 回目が 21.4%、はじめてが 20.7%と続いている。近畿は 4 回目以上が 43.4%で最も高く、はじめてが 24.1%、2 回目が 16.9%と続く。中国ははじめてが 37.7%で最も高く、次いで 4 回目以上が 26.4%、3 回目が 19.8%となった。関東ははじめてが 43.3%で最も高く、次いで 4 回目以上が 34.3%、2 回目が 16.4%となっている。

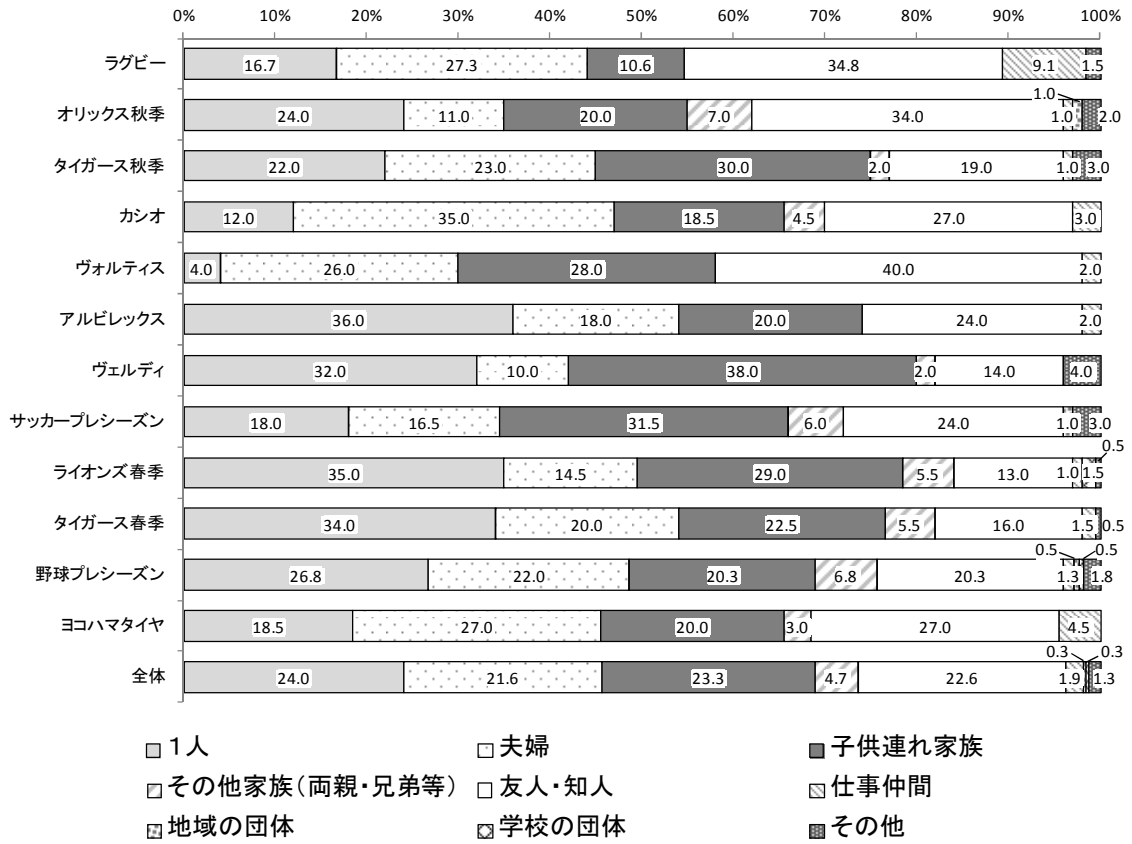
5. 旅行形態

5-1 旅行形態割合

(表 5-1) 旅行形態割合 (上段: 件 下段: %)

	1人	夫婦	子供連れ 家族	その他家族	友人・知人	仕事仲間	地域の団体	学校の団体	その他	合計
ラグビー	11	18	7	0	23	6	0	0	1	66
	16.7	27.3	10.6	0.0	34.8	9.1	0.0	0.0	1.5	100.0
オリックス秋季	24	11	20	7	34	1	1	0	2	100
	24.0	11.0	20.0	7.0	34.0	1.0	1.0	0.0	2.0	100.0
タイガース秋季	22	23	30	2	19	1	0	0	3	100
	22.0	23.0	30.0	2.0	19.0	1.0	0.0	0.0	3.0	100.0
カンオ	24	70	37	9	54	6	0	0	0	200
	12.0	35.0	18.5	4.5	27.0	3.0	0.0	0.0	0.0	100.0
ヴォルティス	2	13	14	0	20	1	0	0	0	50
	4.0	26.0	28.0	0.0	40.0	2.0	0.0	0.0	0.0	100.0
アルビレックス	18	9	10	0	12	1	0	0	0	50
	36.0	18.0	20.0	0.0	24.0	2.0	0.0	0.0	0.0	100.0
ヴェルディ	16	5	19	1	7	0	0	0	2	50
	32.0	10.0	38.0	2.0	14.0	0.0	0.0	0.0	4.0	100.0
サッカープレシーズン	36	33	63	12	48	0	2	0	6	200
	18.0	16.5	31.5	6.0	24.0	0.0	1.0	0.0	3.0	100.0
ライオンズ春季	70	29	58	11	26	2	0	3	1	200
	35.0	14.5	29.0	5.5	13.0	1.0	0.0	1.5	0.5	100.0
タイガース春季	68	40	45	11	32	3	0	0	1	200
	34.0	20.0	22.5	5.5	16.0	1.5	0.0	0.0	0.5	100.0
野球プレシーズン	107	88	81	27	81	5	2	2	7	400
	26.8	22.0	20.3	6.8	20.3	1.3	0.5	0.5	1.8	100.0
ヨコハマタイヤ	37	54	40	6	54	9	0	0	0	200
	18.5	27.0	20.0	3.0	27.0	4.5	0.0	0.0	0.0	100.0
全体	435	393	424	86	410	35	5	5	23	1,816
	24.0	21.6	23.3	4.7	22.6	1.9	0.3	0.3	1.3	100.0

(図 5-2) 旅行形態割合 (%)



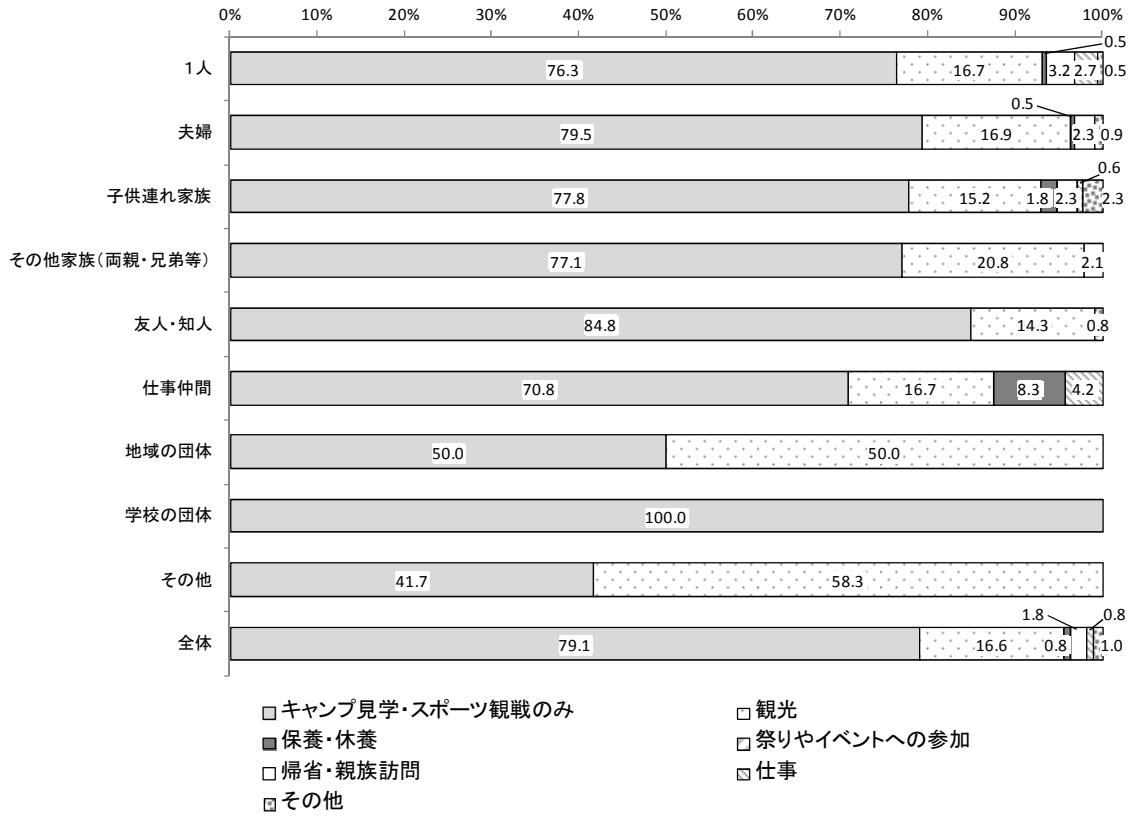
項目ごとに最も高い割合となった調査区分をみると、1人はアルビレックス新潟春季キャンプ、夫婦はカシオワールドオープン、子供連れ家族は東京ヴェルディ春季キャンプ、その他家族はオリックスバファローズ秋季キャンプ、友人・知人は徳島ヴォルティス春季キャンプとなっている。

5-2 旅行形態別来県目的割合

(表 5-3) 旅行形態別来県目的割合 (上段: 件 下段: %) ※県内容を除く

	スポーツ 観戦のみ	観光	保養・休養	祭りや イベント	帰省・ 親族訪問	仕事	その他	合計
1人	142	31	1	0	6	5	1	186
	76.3	16.7	0.5	0.0	3.2	2.7	0.5	100.0
夫婦	174	37	1	0	5	0	2	219
	79.5	16.9	0.5	0.0	2.3	0.0	0.9	100.0
子供連れ家族	133	26	3	0	4	1	4	171
	77.8	15.2	1.8	0.0	2.3	0.6	2.3	100.0
その他家族	37	10	0	0	1	0	0	48
	77.1	20.8	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	100.0
友人・知人	207	35	0	0	0	0	2	244
	84.8	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	100.0
仕事仲間	17	4	2	0	0	1	0	24
	70.8	16.7	8.3	0.0	0.0	4.2	0.0	100.0
地域の団体	1	1	0	0	0	0	0	2
	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
学校の団体	3	0	0	0	0	0	0	3
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
その他	5	7	0	0	0	0	0	12
	41.7	58.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全体	719	151	7	0	16	7	9	909
	79.1	16.6	0.8	0.0	1.8	0.8	1.0	100.0

(図 5-4) 旅行形態別来県目的割合 (%) ※県内容を除く



全体の来県目的割合は、スポーツ観戦のみが 79.1%で大半を占めており、次いで観光が 16.6%、他の項目は少数となっている。

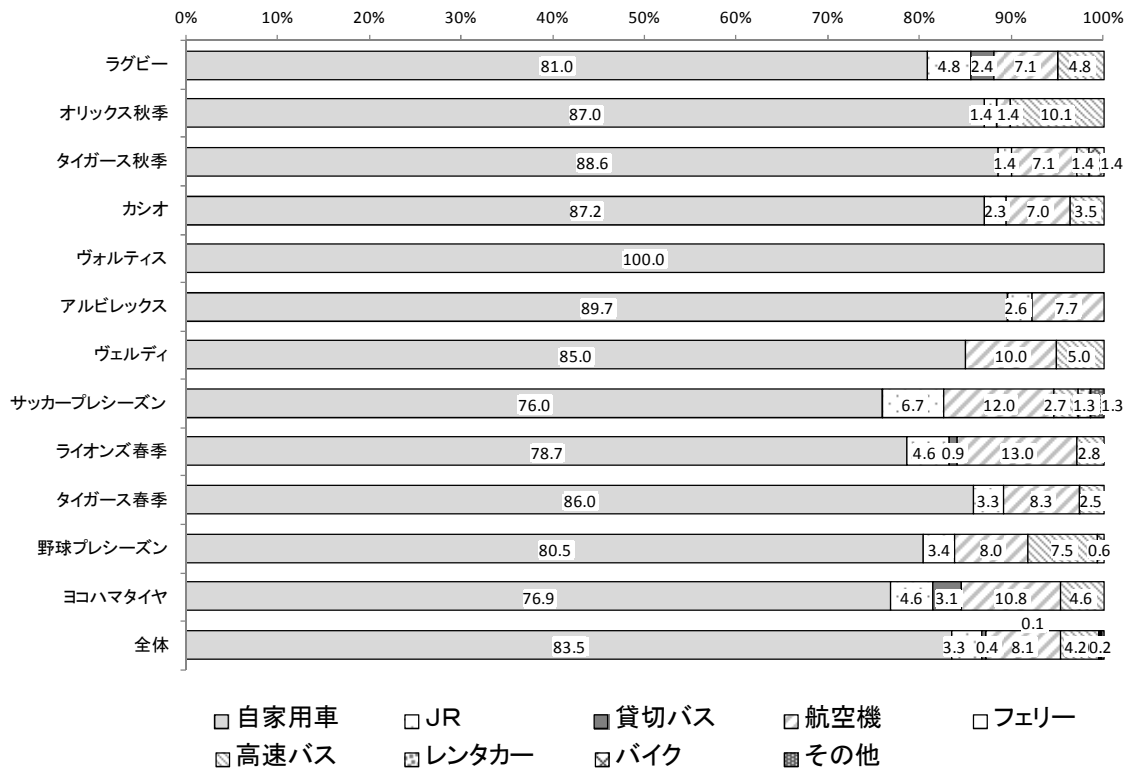
6. 入込利用交通機関

6-1 入込利用交通機関割合

(表 6-1) 入込利用交通機関割合 (上段 : 件 下段 : %) ※県内容を除く

	自家用車	JR	貸切バス	航空機	フェリー	高速バス	レンタカー	バイク	その他	合計
ラグビー	34	2	1	3	0	2	0	0	0	42
	81.0	4.8	2.4	7.1	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	100.0
オリックス秋季	60	1	0	1	0	7	0	0	0	69
	87.0	1.4	0.0	1.4	0.0	10.1	0.0	0.0	0.0	100.0
タイガース秋季	62	1	0	5	0	1	0	1	0	70
	88.6	1.4	0.0	7.1	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0	100.0
カシオ	75	2	0	6	0	3	0	0	0	86
	87.2	2.3	0.0	7.0	0.0	3.5	0.0	0.0	0.0	100.0
ヴォルティス	40	0	0	0	0	0	0	0	0	40
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
アルビレックス	35	1	0	3	0	0	0	0	0	39
	89.7	2.6	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
ヴェルディ	17	0	0	2	0	1	0	0	0	20
	85.0	0.0	0.0	10.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	100.0
サッカープレシーズン	57	5	0	9	0	2	1	0	1	75
	76.0	6.7	0.0	12.0	0.0	2.7	1.3	0.0	1.3	100.0
ライオンズ春季	85	5	1	14	0	3	0	0	0	108
	78.7	4.6	0.9	13.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	100.0
タイガース春季	104	4	0	10	0	3	0	0	0	121
	86.0	3.3	0.0	8.3	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	100.0
野球プレシーズン	140	6	0	14	0	13	0	1	0	174
	80.5	3.4	0.0	8.0	0.0	7.5	0.0	0.6	0.0	100.0
ヨコハマタイヤ	50	3	2	7	0	3	0	0	0	65
	76.9	4.6	3.1	10.8	0.0	4.6	0.0	0.0	0.0	100.0
全体	759	30	4	74	0	38	1	2	1	909
	83.5	3.3	0.4	8.1	0.0	4.2	0.1	0.2	0.1	100.0

(表 6-2) 入込利用交通機関割合 (上段 : 件 下段 : %) ※県内容を除く



全体の入込利用交通機関の割合をみると、自家用車が 83.5%で大半を占めており、航空機が 8.1%、高速バスが 4.2%、JRが 3.3%などと続いている。

7. 県内消費額

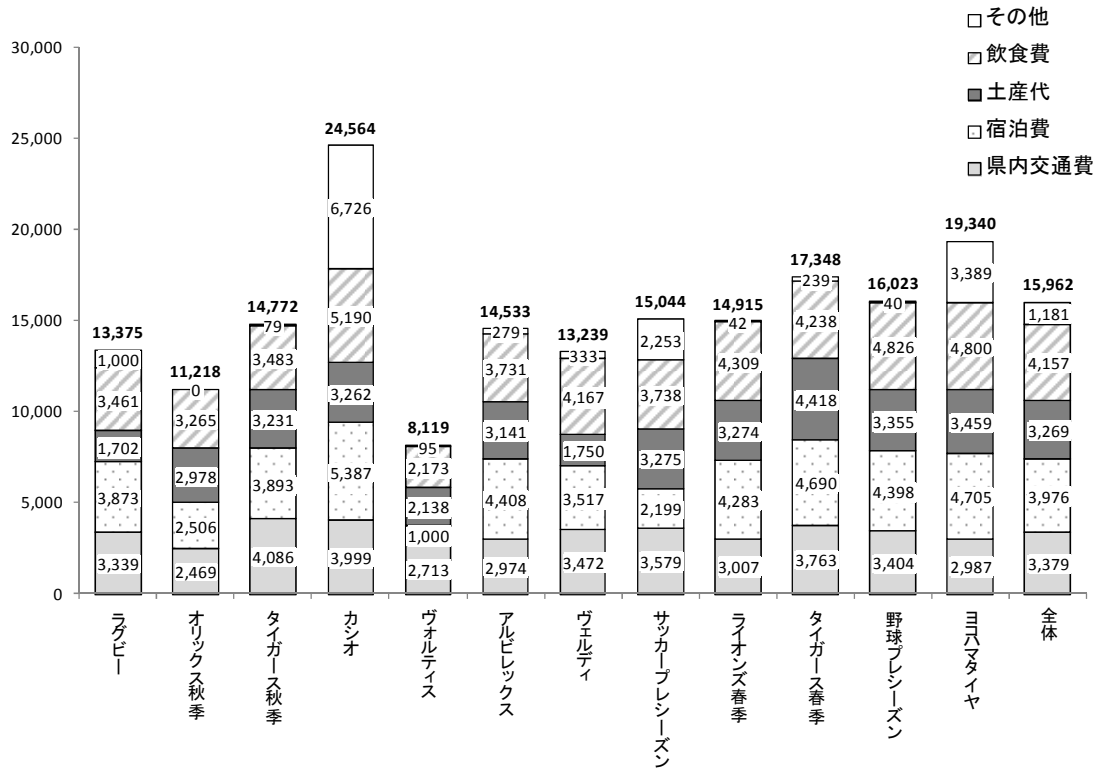
7-1 県内消費額

(表 7-1) 県内平均消費額・同割合（上段：円 下段：％）

※県内客、及び県外パック利用客を除く

	県内交通費	宿泊費	土産代	飲食費	その他	合計
ラグビー	3,339	3,873	1,702	3,461	1,000	13,375
	25.0	29.0	12.7	25.9	7.5	100.0
オリックス秋季	2,469	2,506	2,978	3,265	0	11,218
	22.0	22.3	26.5	29.1	0.0	100.0
タイガース秋季	4,086	3,893	3,231	3,483	79	14,772
	27.7	26.4	21.9	23.6	0.5	100.0
カンオ	3,999	5,387	3,262	5,190	6,726	24,564
	16.3	21.9	13.3	21.1	27.4	100.0
ヴォルティス	2,713	1,000	2,138	2,173	95	8,119
	33.4	12.3	26.3	26.8	1.2	100.0
アルビレックス	2,974	4,408	3,141	3,731	279	14,533
	20.5	30.3	21.6	25.7	1.9	100.0
ヴェルディ	3,472	3,517	1,750	4,167	333	13,239
	26.2	26.6	13.2	31.5	2.5	100.0
サッカープレシーズン	3,579	2,199	3,275	3,738	2,253	15,044
	23.8	14.6	21.8	24.8	15.0	100.0
ライオンズ春季	3,007	4,283	3,274	4,309	42	14,915
	20.2	28.7	22.0	28.9	0.3	100.0
タイガース春季	3,763	4,690	4,418	4,238	239	17,348
	21.7	27.0	25.5	24.4	1.4	100.0
野球プレシーズン	3,404	4,398	3,355	4,826	40	16,023
	21.2	27.4	20.9	30.1	0.2	100.0
ヨコハマタイヤ	2,987	4,705	3,459	4,800	3,389	19,340
	15.4	24.3	17.9	24.8	17.5	100.0
全体	3,379	3,976	3,269	4,157	1,181	15,962
	21.2	24.9	20.5	26.0	7.4	100.0

(図 7-2) 県内平均消費額 (円) ※県内容、及び県外パック利用客を除く



全体の県内平均消費額は 15,962 円となり、費目別では県内交通費 3,379 円 (21.2%)、宿泊費 3,976 円 (24.9%)、土産代 3,269 円 (20.5%)、飲食費 4,157 円 (26.0%)、その他 1,181 円 (7.4%) となっている。

調査項目別にみた県内平均消費額は、カシオワールドオープンが 24,564 円で最も高く、次いでヨコハマタイヤレディスが 19,340 円、阪神タイガース春季キャンプが 17,348 円と続いた。なお、徳島ヴォルティスが 8,119 円で最も低くなっている。

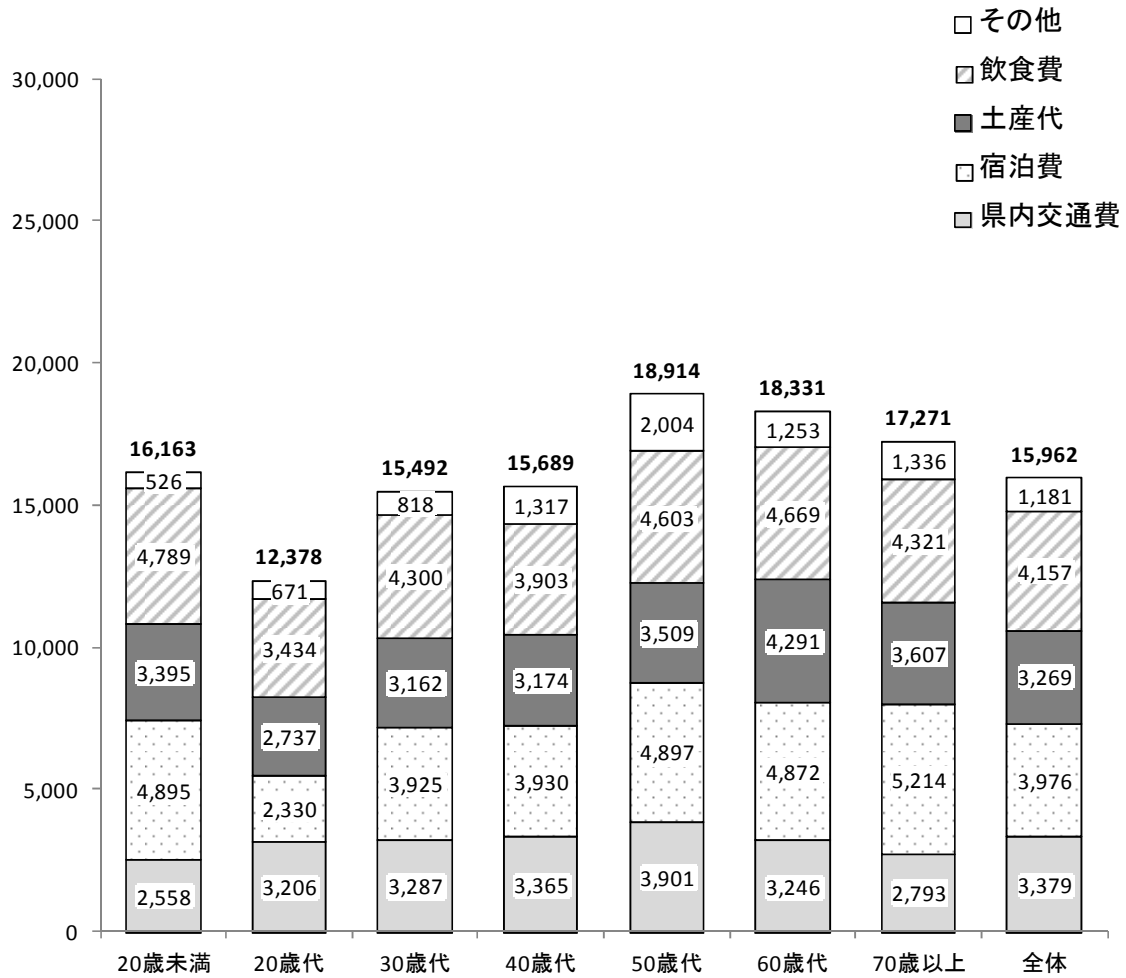
7-2 年代別県内消費額

(表 7-3) 年代別県内平均消費額・同割合 (上段：円 下段：%)

※県内客、及び県外パック利用客を除く

	県内交通費	宿泊費	土産代	飲食費	その他	合計
20歳未満	2,558	4,895	3,395	4,789	526	16,163
	15.8	30.3	21.0	29.6	3.3	100.0
20歳代	3,206	2,330	2,737	3,434	671	12,378
	25.9	18.8	22.1	27.7	5.4	100.0
30歳代	3,287	3,925	3,162	4,300	818	15,492
	21.2	25.3	20.4	27.8	5.3	100.0
40歳代	3,365	3,930	3,174	3,903	1,317	15,689
	21.4	25.0	20.2	24.9	8.4	100.0
50歳代	3,901	4,897	3,509	4,603	2,004	18,914
	20.6	25.9	18.6	24.3	10.6	100.0
60歳代	3,246	4,872	4,291	4,669	1,253	18,331
	17.7	26.6	23.4	25.5	6.8	100.0
70歳以上	2,793	5,214	3,607	4,321	1,336	17,271
	16.2	30.2	20.9	25.0	7.7	100.0
全体	3,379	3,976	3,269	4,157	1,181	15,962
	21.2	24.9	20.5	26.0	7.4	100.0

(図 7-4) 年代別県内平均消費額・同割合 (円) ※県内容、及び県外パック利用客を除く

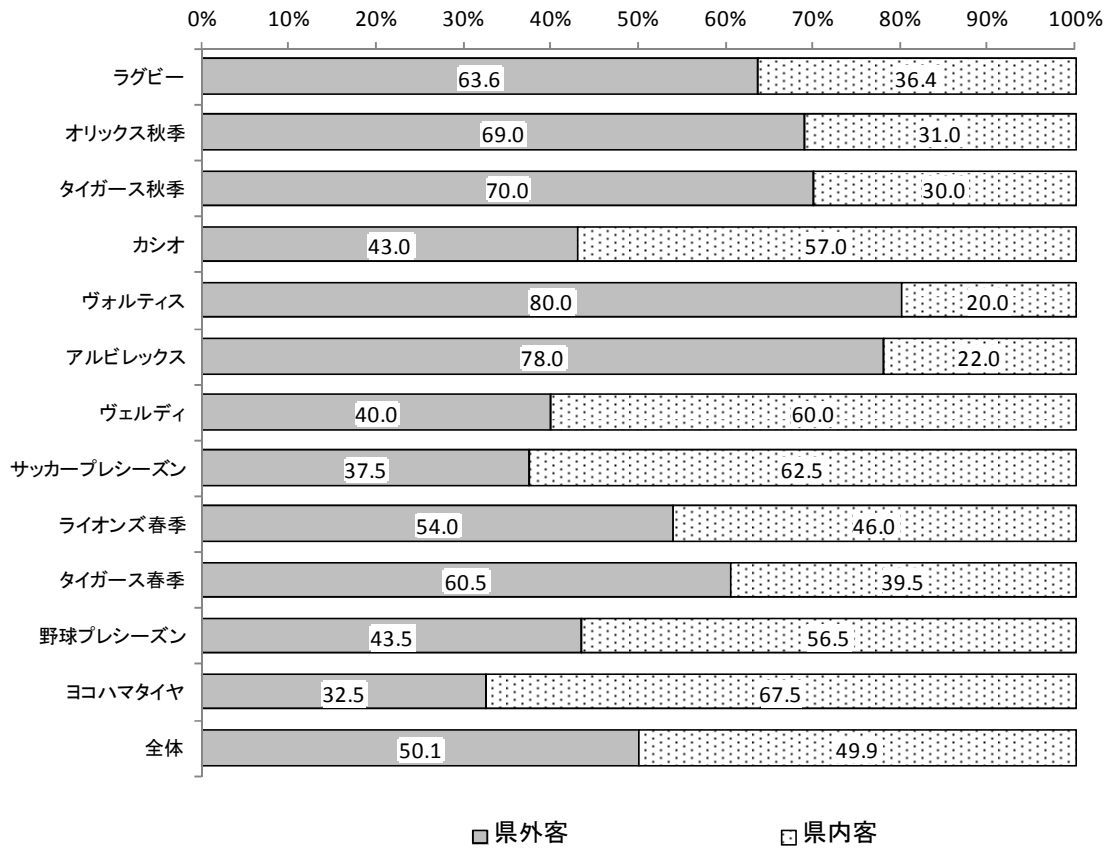


年代別にみた県内平均消費額は、50歳代が18,914円で最も高く、次いで60歳代が18,331円、70歳以上が17,271円と続いている。なお、20歳代が12,378円で最も低くなっている。

8. 県内客・県外客

8-1 県内客・県外客割合

(図 8-1) 県内客・県外客割合 (%)



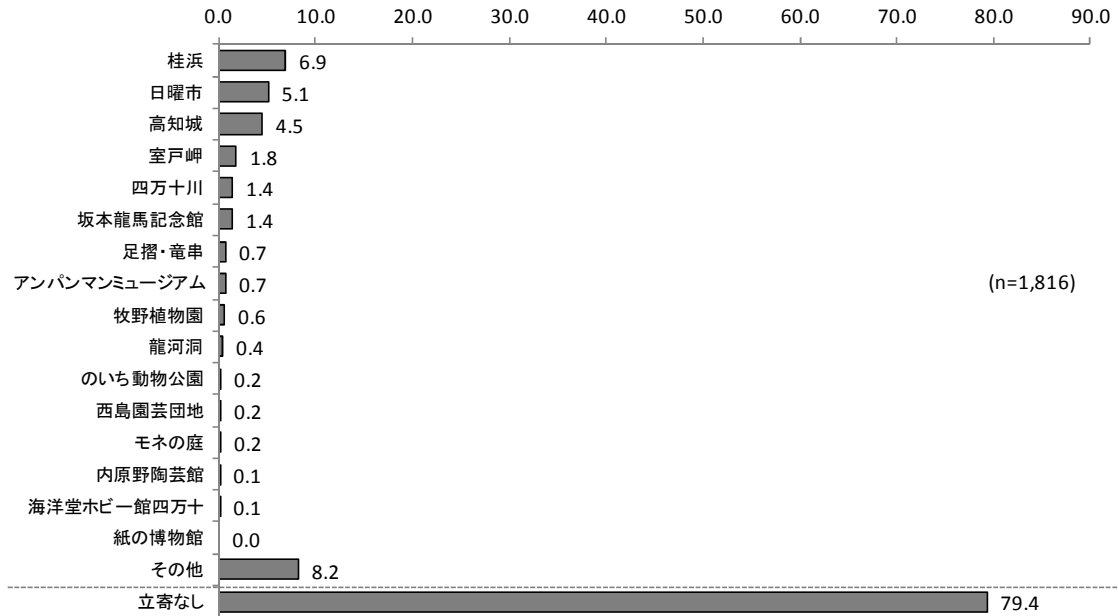
全体の県内客・県外客の割合は、県外客 50.1%、県内客が 49.9%と、ほぼ同じ割合になっている。

調査区別にみた県外客の割合は、徳島ヴォルティス春季キャンプが 80.0%で最も高く、アルビレックス新潟春季キャンプが 78.0%、阪神タイガース秋季キャンプが 70.0%などと続き、ヨコハマタイヤレディスが 32.5%で最も低くなっている。

9. 立寄観光スポット

9-1 立寄観光スポット割合

(図 9-1)立寄観光スポット割合(%)



注) 複数回答あり。

立寄観光スポットの割合は、スポーツ観戦のみの「立寄なし」が 79.4%と大半を占めている。立ち寄った（立ち寄る予定）と回答にあった観光スポットは、桂浜が 6.9%で最も高く、日曜市が 5.1%、高知城が 4.5%、室戸岬が 1.8%などと続いている。

その他の観光スポットとして挙げられた主な回答としては、“ひろめ市場”が 88 件、“道の駅”が 19 件、“歴史系の観光地”が 7 件、“ご当地グルメなどの食事”が 5 件などとなっている。

VIII 観光動態調査ルート分析

1. はじめに

● 概要

平成 24 年に行われた観光統計調査結果を、旅行者が立ち寄った県内市町村の割合を発地別、年齢別、旅行形態別、旅行目的別に集計し、それらを参考にして周遊性の特に高いルートを抽出、分析したものである。

● 調査地点

高知県内の観光地（10 地点：室戸岬、桂浜、足摺岬、高知城、龍河洞、土佐和紙工芸村、モネの庭、アンパンマンミュージアム、黒潮本陣、四万十川観光開発遊覧船乗場）でアンケート調査を実施した。

● 発地ブロック

- ・ 旅行者の居住都道府県を以下の地域ブロック単位でまとめて集計、分析を行っている。

北海道・東北	：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北陸・新潟	：新潟県、富山県、石川県、福井県
甲信・東海	：山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近畿	：三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国	：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄	：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
海外	：すべての海外旅行者

2. 立寄市町村

● 集計方法について

- 立寄市町村割合では、調査時に旅行者から回答のあった「訪問した（する予定の）観光地」のうち、観光入込客統計に関する共通基準を満たした地点を、市町村地域別に集計した。

※観光入込客統計に関する共通基準

- 非日常利用が多いと判断される地点であること。
 - 観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
 - 前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込数5千人以上であること。
- すべての割合データ（%表記）は、小数点以下2位で四捨五入した数値を使用している。そのため、合計が100%にならない場合がある。
 - 立寄市町村は16地域に区分して集計した。

01 東洋・室戸	: 東洋町、室戸市
02 奈半利・田野等	: 奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村
03 安芸・芸西	: 安芸市、芸西村
04 香南	: 香南市
05 南国・香美	: 南国市、香美市
06 本山・大豊等	: 本山町、大豊町、土佐町、大川村
07 高知	: 高知市
08 いの	: いの町
09 土佐・日高	: 土佐市、日高村
10 佐川・越知等	: 佐川町、越知町、仁淀川町
11 須崎・中土佐	: 須崎市、中土佐町
12 梶原・津野	: 梶原町、津野町
13 四万十町	: 四万十町
14 黒潮・四万十市	: 黒潮町、四万十市
15 宿毛・三原	: 宿毛市、三原村
16 土佐清水・大月	: 土佐清水市、大月町

● 立寄市町村の傾向、および特徴

回答が得られた 4,000 組の立寄市町村の延べ件数は、前年度の 9,400 件から今年度は 9,423 件と、僅かではあるが増加している。

県内 16 地域別の立寄数をみると、最も多かったのは「高知」の 3,388 件 (36.0%) で、高知県観光の中心になっている。次いで、「南国・香美」の 1,210 件 (12.8%)、「東洋・室戸」の 862 件 (9.1%)、「黒潮・四万十市」の 836 件 (8.9%)、「土佐清水・大月」の 819 件 (8.7%) と続く。この上位 5 地域で 75.5% と全体の大半を占めている。

発地ブロック別 (表 2-1-2) でみると、すべてのブロックで「高知」への立寄割合が最も多くなっているが、2 番目に多い地域は“甲信・東海”や“近畿”、“中国”、“四国”が「南国・香美」、「北海道・東北」と“関東”が「黒潮・四万十市」、「新潟・北陸」、「九州・沖縄」が「土佐清水・大月」と傾向が分かれた。

年代別 (表 2-2-2) の傾向として、全ての年代で「高知」への集中度が高くなっているが年代が上がるに従って「高知」への集中度が低くなっている。「高知」以外では 20 代から 40 代は「南国・香美」での立寄りが多く、50 代と 60 代以上は「東洋・室戸」や「土佐清水・大月」などが多くなっている。

旅行形態別 (表 2-3-2) の傾向として、「高知」以外では家族旅行と友人・知人との旅行では「南国・香美」での立寄りが目立ち、団体旅行の立寄りは「黒潮・四万十市」が多くなっている。また、団体旅行は立寄市町村が限られている。一人旅は、他の旅行形態に比べると「高知」が少なく、「東洋・室戸」と「黒潮・四万十市」、「土佐清水・大月」への立ち寄りが多くなっている。

主な旅行目的別 (表 2-4-2) の傾向としては、大半の項目で「高知」への立ち寄りが最も多くなっている。“名所旧跡”と“祭り”は「高知」と「南国・香美」を合計した割合が 6 割を超えている。“自然見物”は「高知」の割合が若干少なく、「土佐清水・大月」や「東洋・室戸」とその周辺地域がやや多くなっている。“神仏霊場”は、「東洋・室戸」や「土佐清水・大月」が多く、「高知」の割合が旅行目的別で最も少なくなっている。“アウトドア”と“スポーツ”は「黒潮・四万十市」が最も多くなっている。また、“スポーツ”は、立寄市町村が限られる特徴が見られた。“休養”と“食べ物”は「高知」に次いで「須崎・中土佐」が多く、“買い物”は「高知」に次いで「いの」が多いという結果となった。

2-1. 発地別立寄市町村割合

(表 2-1-1) 発地別立寄市町村割合 (件) [発地ブロック別]

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
北海道・東北 (n=37)	6				5		51	2			7	1		12		10	94	1.0	2.5
関東 (n=368)	87	36	8	17	77	1	564	48			33	11	14	113	2	91	1,102	11.7	3.0
北陸・新潟 (n=32)	3	5	2		7		38				3		4	11	1	14	88	0.9	2.8
甲信・東海 (n=154)	39	3	4	5	41	2	225	9			17	4	3	35	2	39	428	4.5	2.8
近畿 (n=669)	192	62	7	36	231	8	828	53		1	78	23	22	178	9	145	1,873	19.9	2.8
中国 (n=446)	100	26	5	35	193	2	555	24		1	56	4	15	94	6	121	1,237	13.1	2.8
四国 (n=2,197)	421	465	40	156	640	18	1,027	387	2	12	355	21	87	347	25	351	4,354	46.2	2.0
九州・沖縄 (n=97)	14	2	2	1	16		100	4			8	2	2	46	2	48	247	2.6	2.5
全体 (n=4,000)	862	599	68	250	1,210	31	3,388	527	2	14	557	66	147	836	47	819	9,423	100.0	2.4

(表 2-1-2) 発地別立寄市町村割合 (%) [発地ブロック別]

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月
北海道・東北 (n=37)	6.4				5.3		54.3	2.1			7.4	1.1		12.8		10.6
関東 (n=368)	7.9	3.3	0.7	1.5	7.0	0.1	51.2	4.4			3.0	1.0	1.3	10.3	0.2	8.3
北陸・新潟 (n=32)	3.4	5.7	2.3		8.0		43.2				3.4		4.5	12.5	1.1	15.9
甲信・東海 (n=154)	9.1	0.7	0.9	1.2	9.6	0.5	52.6	2.1			4.0	0.9	0.7	8.2	0.5	9.1
近畿 (n=669)	10.3	3.3	0.4	1.9	12.3	0.4	44.2	2.8		0.1	4.2	1.2	1.2	9.5	0.5	7.7
中国 (n=446)	8.1	2.1	0.4	2.8	15.6	0.2	44.9	1.9		0.1	4.5	0.3	1.2	7.6	0.5	9.8
四国 (n=2,197)	9.7	10.7	0.9	3.6	14.7	0.4	23.6	8.9	0.0	0.3	8.2	0.5	2.0	8.0	0.6	8.1
九州・沖縄 (n=97)	5.7	0.8	0.8	0.4	6.5		40.5	1.6			3.2	0.8	0.8	18.6	0.8	19.4
全体 (n=4,000)	9.1	6.4	0.7	2.7	12.8	0.3	36.0	5.6	0.0	0.1	5.9	0.7	1.6	8.9	0.5	8.7

※ **白抜き** は都道府県・ブロックで1位、**太字** は同2位

(表 2-1-3) 発地別立寄市町村割合 (%) [四国]

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月
徳島県 (n=205)	17.7	7.1	0.8	2.6	15.7	1.0	36.0	1.6		0.2	4.3	0.4	1.2	5.3	0.8	5.1
香川県 (n=383)	6.6	5.3	0.5	5.7	20.5	0.5	35.6	3.4	0.1	0.1	6.9	0.5	1.5	5.9	0.3	6.8
愛媛県 (n=478)	5.5	4.2	0.5	3.5	15.5	0.2	29.8	9.0		0.7	7.2	0.9	1.9	8.7	1.3	11.1
高知県 (n=1,131)	11.5	17.9	1.4	2.9	11.3	0.4	11.1	13.3	0.1	0.1	10.3	0.3	2.5	9.2	0.2	7.7
四国 (n=2,197)	9.7	10.7	3.0	3.6	14.7	0.4	23.6	8.9		0.3	8.2	0.5	2.0	8.0	0.6	8.1

・立寄観光地の延べ件数

旅行者が立寄った観光地は合計で 9,423 件となっている。その内訳を発地ブロック別にみると、四国が延べ 4,354 件 (46.2%) と最も多く、近畿が 1,873 件 (19.9%)、中国 1,237 件 (13.1%)、関東が 1,102 件 (11.7%) と続いている。

・上位を占めた立寄観光地の市町村

旅行者が立寄った観光地を市町村別でみると、「高知」が 3,388 件 (36.0%) と最も多く、次いで「南国・香美」の 1,210 件 (12.8%)、「東洋・室戸」の 862 件 (9.1%)、「黒潮・四万十市」の 836 件 (8.9%)、「土佐清水・大月」の 819 件 (8.7%) と続いている。

・発地ブロックごとの立寄市町村の傾向

立寄市町村を発地ブロック別でみると、すべてのブロックで「高知」への立寄り件数が最も多くなっている。2番目に立ち寄りが多かった市町村は、「甲信・東海」、「近畿」、「中国」、「四国」が「南国・香美」、「北海道・東北」、「関東」が「黒潮・四万十市」、「北陸・新潟」九州・沖縄が「土佐清水・大月」と発地ブロックにより傾向が分かれている。

なお、県内旅行者は「奈半利・田野等」、「いの」、「東洋・室戸」、「南国・香美」の順で割合が多くなっている (表 2-1-3)。

2-2. 年代別立寄市町村

(表 2-2-1) 年代別立寄市町村割合 (件)

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
10代 (n=62)	8	7	0	4	11	2	62	6	0	0	7	1	2	9	1	12	132	1.4	2.1
20代 (n=652)	147	66	11	45	275	5	672	44	0	1	76	19	21	119	1	107	1,609	17.1	2.5
30代 (n=987)	173	107	6	83	432	7	867	107	1	5	133	14	40	195	3	166	2,339	24.8	2.4
40代 (n=788)	160	109	10	49	227	6	682	107	0	2	108	11	28	166	10	175	1,850	19.6	2.3
50代 (n=718)	179	147	16	34	136	4	565	105	1	4	118	15	21	175	12	176	1,708	18.1	2.4
60代以上 (n=793)	195	163	25	35	129	7	540	158	0	2	115	6	35	172	20	183	1,785	18.9	2.3
全体 (n=4,000)	862	599	68	250	1,210	31	3,388	527	2	14	557	66	147	836	47	819	9,423	100.0	2.4

(表 2-2-2) 年代別立寄市町村割合 (%)

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月
10代 (n=62)	6.1	5.3		3.0	8.3	1.5	47.0	4.5			5.3	0.8	1.5	6.8	0.8	9.1
20代 (n=652)	9.1	4.1	0.7	2.8	17.1	0.3	41.8	2.7		0.1	4.7	1.2	1.3	7.4	0.1	6.7
30代 (n=987)	7.4	4.6	0.3	3.5	18.5	0.3	37.1	4.6	0.0	0.2	5.7	0.6	1.7	8.3	0.1	7.1
40代 (n=788)	8.6	5.9	0.5	2.6	12.3	0.3	36.9	5.8		0.1	5.8	0.6	1.5	9.0	0.5	9.5
50代 (n=718)	10.5	8.6	0.9	2.0	8.0	0.2	33.1	6.1	0.1	0.2	6.9	0.9	1.2	10.2	0.7	10.3
60代以上 (n=793)	10.9	9.1	1.4	2.0	7.2	0.4	30.3	8.9		0.1	6.4	0.3	2.0	9.6	1.1	10.3
全体 (n=4,000)	9.1	6.4	0.7	2.7	12.8	0.3	36.0	5.6	0.0	0.1	5.9	0.7	1.6	8.9	0.5	8.7

※ **白抜き** は年代で1位、**太字** は同2位

・年代別にみた立寄観光地の延べ件数

年代別に立寄った観光地の延べ件数をみると、30代の旅行者が987組で2,339件と最も多くなっている。次いで40代が788組で1,850件、60代以上が793組で1,785件、50代が718組で1,708件、20代が652組で1,609件、10代が62組で132件となっている。

平均立寄数は20代が2.5件で最も多く、次いで30代と50代が2.4件、40代と60代以上が2.3件、10代が2.1件となっている。

・年代による立寄観光地の傾向

- 10代：「高知」の47.0%が年代別で最も多い割合となっている。その一方で「黒潮・四万十市」、「東洋・室戸」は年代別で最も少なくなっている。
- 20代：「高知」が41.8%、「南国・香美」は17.1%と、共に年代別で2番目に多くなっているが、「いの」、「土佐清水・大月」、「奈半利・田野」は年代別で最も少なくなっている。
- 30代：「高知」について多かった「南国・香美」は、18.5%と全体平均を上回り、年代別で最も多くなっている。
- 40代：「高知」と「南国・香美」でほぼ半数を占めている。
- 50代・60代以上：「高知」や「南国・香美」、「香南」などで全体平均を下回っている一方で、「東洋・室戸」や「奈半利・田野等」の県東部、さらに「須崎・中土佐」や「土佐清水・大月」の県西部、「いの」で全体平均を上回っている。また、50代は「黒潮・四万十市」と「土佐清水・大月」が、共に年代別で最も多くなっている。

2-3. 旅行形態別立寄市町村

(表 2-3-1) 旅行形態別立寄市町村割合 (件)

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
家族 (n=2,563)	537	428	42	191	879	16	2,024	352	1	12	338	23	92	487	33	497	5,952	63.2	2.3
友人・知人 (n=805)	166	121	19	31	218	7	793	70	0	1	137	26	24	189	8	184	1,994	21.2	2.5
団体 (n=95)	23	9	1	5	18	0	102	11	0	0	20	4	3	25	0	21	242	2.6	2.5
その他 (n=130)	26	7	2	10	43	1	183	11	0	0	18	2	10	37	1	24	375	4.0	2.9
一人 (n=407)	110	34	4	13	52	7	286	83	1	1	44	11	18	98	5	93	860	9.1	2.1
全体 (n=4,000)	862	599	68	250	1,210	31	3,388	527	2	14	557	66	147	836	47	819	9,423	100.0	2.4

(表 2-3-2) 旅行形態別立寄市町村割合 (%)

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月
家族 (n=2,563)	9.0	7.2	0.7	3.2	14.8	0.3	34.0	5.9	0.0	0.2	5.7	0.4	1.5	8.2	0.6	8.4
友人・知人 (n=805)	8.3	6.1	1.0	1.6	10.9	0.4	39.8	3.5		0.1	6.9	1.3	1.2	9.5	0.4	9.2
団体 (n=95)	9.5	3.7	0.4	2.1	7.4		42.1	4.5			8.3	1.7	1.2	10.3		8.7
その他 (n=130)	6.9	1.9	0.5	2.7	11.5	0.3	48.8	2.9			4.8	0.5	2.7	9.9	0.3	6.4
一人 (n=407)	12.8	4.0	0.5	1.5	6.0	0.8	33.3	9.7	0.1	0.1	5.1	1.3	2.1	11.4	0.6	10.8
全体 (n=4,000)	9.1	6.4	0.7	2.7	12.8	0.3	36.0	5.6	0.0	0.1	5.9	0.7	1.6	8.9	0.5	8.7

※ **白抜き** は旅行形態で1位、**太字** は同2位

・旅行形態別にみた立寄観光地の延べ件数

旅行形態別に立寄った観光地の延べ件数をみると、集計対象の多い家族旅行者が 2,563 組で 5,952 件 (平均 2.3 件) と全体の 63.2% を占めている。次いで友人・知人が 805 組で 1,994 件 (平均 2.5 件)、一人旅が 407 人で 860 件 (平均 2.1 件)、団体旅行が 95 組で 242 件 (平均 2.5 件)、その他は 130 組で 375 件 (平均 2.9 件) となっている。

・旅行形態による立寄市町村の傾向

すべての旅行形態で「高知」が最も多い割合を占めている。2番目に多かった市町村は、家族、友人・知人、その他が「南国・香美」、団体が「黒潮・四万十市」、一人旅が「東洋・室戸」となっている。

- 家族旅行：集計対象の 63.2% を占めており、全体平均の傾向に近くなっている。
- 友人・知人：「高知」や「須崎・中土佐」「黒潮・四万十市」などで全体平均を上回り、「いの」や「香南」が少なくなっている。
- 団体旅行：「高知」が 4 割以上を占めているが、「黒潮・四万十市」も多くなっている。
- その他：「高知」と「四万十町」が旅行形態別で最も多くなっている。
- 一人旅：「東洋・室戸」や「黒潮・四万十市」、「土佐清水・大月」、「いの」などでも多くなっている。その反面で「南国・香美」や「高知」では全体平均を下回っている。

2-4. 旅行目的別立寄市町村

(表 2-4-1) 旅行目的別立寄市町村割合 (件)

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
自然見物 (n=738)	270	271	22	52	157	3	512	48	1	2	50	17	25	190	5	239	1,864	19.8	2.5
休養 (n=325)	57	37	4	19	70	2	251	55		2	111	3	14	72		59	756	8.0	2.3
祭り (n=194)	9	1		5	49	1	333	36		1	15		3	10	1	39	503	5.3	2.6
アウトドア (n=83)	14	3	2	4	6	1	40	28			17	1	3	41	1	22	183	1.9	2.2
スポーツ (n=21)		1			3		10	2			2	1	1	14		11	45	0.5	2.1
食べ物 (n=373)	50	24	2	8	63	2	352	36		5	171	4	15	71	2	39	844	9.0	2.3
神仏霊場 (n=91)	63	8	2	1	15		28	2			3	1	30	23	28	45	249	2.6	2.7
買い物 (n=113)	2	3		2	9	1	92	45			10		6	41	3	8	222	2.4	2.0
名所旧跡 (n=1,044)	190	119	29	106	588	7	1,165	65		2	38	9	19	135	2	157	2,631	27.9	2.5
なんとなく (n=512)	103	66	3	28	136	11	244	104		2	61	22	20	138	3	118	1,059	11.2	2.1
観光・その他 (n=144)	34	11		5	27	1	90	26	1		32	6	4	31	2	40	310	3.3	2.2
帰省・仕事 (n=343)	69	53	4	20	85	2	256	79			46	2	7	67		39	729	7.7	2.1
その他 (n=19)	1	2			2		15	1			1			3		3	28	0.3	1.5
全体 (n=4,000)	862	599	68	250	1,210	31	3,388	527	2	14	557	66	147	836	47	819	9,423	100.0	2.4

(表 2-4-2) 旅行目的別立寄市町村割合 (%)

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
自然見物 (n=738)	14.5	14.5	1.2	2.8	8.4	0.2	27.5	2.6	0.1	0.1	2.7	0.9	1.3	10.2	0.3	12.8			
休養 (n=325)	7.5	4.9	0.5	2.5	9.3	0.3	33.2	7.3		0.3	14.7	0.4	1.9	9.5		7.8			
祭り (n=194)	1.8	0.2		1.0	9.7	0.2	66.2	7.2		0.2	3.0		0.6	2.0	0.2	7.8			
アウトドア (n=83)	7.7	1.6	1.1	2.2	3.3	0.6	21.9	15.3			9.3	0.6	1.6	22.4	0.6	12.0			
スポーツ (n=21)		2.2			6.7		22.2	4.4			4.4	2.2	2.2	31.1		24.4			
食べ物 (n=373)	5.9	2.8	0.2	1.0	7.5	0.2	41.7	4.3		0.6	20.3	0.5	1.8	8.4	0.2	4.6			
神仏霊場 (n=91)	25.3	3.2	0.8	0.4	6.0		11.2	0.8			1.2	0.4	12.1	9.2	11.2	18.1			
買い物 (n=113)	0.9	1.4		0.9	4.1	0.5	41.4	20.3			4.5		2.7	18.5	1.4	3.6			
名所旧跡 (n=1,044)	7.2	4.5	1.1	4.0	22.4	0.3	44.3	2.5		0.1	1.4	0.3	0.7	5.1	0.1	6.0			
なんとなく (n=512)	9.7	6.2	0.3	2.6	12.8	1.0	23.0	9.8		0.2	5.8	2.1	1.9	13.0	0.3	11.1			
観光・その他 (n=144)	11.0	3.6		1.6	8.7	0.3	29.0	8.4	0.3		10.3	1.9	1.3	10.0	0.7	12.9			
帰省・仕事 (n=343)	9.5	7.3	0.6	2.7	11.7	0.3	35.1	10.8			6.3	0.3	1.0	9.2		5.4			
その他 (n=19)	3.6	7.1			7.1		53.6	3.6			3.6			10.7		10.7			
全体 (n=4,000)	9.2	6.4	0.7	2.7	12.8	0.3	36.0	5.6	0.0	0.2	5.9	0.7	1.6	8.9	0.5	8.7			

※ **白抜き** は旅行目的で 1 位、**太字** は同 2 位

・旅行目的別にみた立寄観光地の延べ件数

旅行目的別に立寄った観光地をみると、“名所旧跡”が1,044組で2,631件(平均2.5件)と全体の27.9%を占めている。次いで“自然見物”が738組で1,864件(平均2.5件)、“なんとなく”が512組で1,059件(平均2.1件)、“食べ物”が373組で844件(平均2.3件)、“休養”が325組で756件(平均2.3件)、“帰省・仕事”が343組で729件(平均2.1件)などとなっている。

・旅行目的による立寄市町村の傾向

大半の旅行目的で「高知」が最も多い割合となっている、“神仏霊場”は「東洋・室戸」、「スポーツ」と“アウトドア”は「黒潮・四万十市」が最も多くなっている。2番目に多かった市町村は、“祭り”や“名所旧跡”、“帰省・仕事”は「南国・香美」、「スポーツ」と“神仏霊場”、“観光・その他”は「土佐清水・大月」、「休養」と“食べ物”は「須崎・中土佐」、「買い物」は「いの」、「アウトドア」は「高知」となっている。

- 名所旧跡：「高知」が44.3%と最も多く、「南国・香美」も22.3%と目立って多くなっている。
- 自然見物：「高知」が最も多いが、全体平均より少なく、「東洋・室戸」や「黒潮・四万十市」、「土佐清水・大月」などが全体平均を超えて多くなっている。なお、「奈半利・田野等」が旅行目的別で最も多くなっている。
- なんとなく：「高知」が最も多いが23.1%と少ないのが特徴で、県内各地を幅広く立寄っている。
- 食べ物：「須崎・中土佐」が20.3%と全体平均を大きく上回り、旅行目的別で目立って多くなっている。
- 帰省・仕事：全体平均に近く、特に目立った傾向は無かった。
- 休養：食べ物と同様に「須崎・中土佐」が全体平均に比べて多くなっている。
- 祭り：旅行目的別で「高知」が66.2%と、目立って多くなっている。
- 買い物：「いの」、「高知」、「黒潮・四万十市」の3地域が多く、合計で80.2%となっている。
- 神仏霊場：「東洋・室戸」、「四万十町」、「宿毛・三原」は旅行目的別で最も多く、「土佐清水・大月」は2番目に多くなっている。その反面で「香南」、「高知」、「いの」、「須崎・中土佐」は旅行目的別で最も少なくなっている。
- アウトドア：「高知」、「黒潮・四万十市」の2地域がそれぞれ20%を超え、次いで「いの」、「土佐清水・大月」などが多くなっている。

3. 周遊ルート分析

- 集計方法について

- ・ 平成 24 年観光統計調査で得られた、「訪問した（する予定の）観光地」データを基に、旅行者がどのような順序で県内を観光したかを周遊 7 エリアで集計し、傾向の似通ったルートを抽出している。

※周遊 7 エリア

- 東部 : 東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、安芸市、芸西村、馬路村
- 物部川 : 香南市、南国市、香美市
- 高知市 : 高知市
- 仁淀川 : いの町、土佐市、日高村、佐川町、越知町、仁淀川町
- 高幡 : 須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町
- 幡多 : 四万十市、黒潮町、宿毛市、三原村、土佐清水市、大月町
- 嶺北 : 本山町、大豊町、土佐町、大川村

- ・ 周遊ルートの傾向をより分かりやすくするため、訪問した周遊エリアで連続したデータは省略している。

※例 「高知市」 - 「高知市」 - 「東部」の場合、「高知」 - 「東部」として集計。

- ・ 発地ブロック別分析では、北海道・東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄、海外からは入込が少数のため、この 5 ブロックを合計し、“その他”として集計している。
- ・ 県内旅行者の周遊ルートは居住地や調査地等の影響を強く受けているため、全体および四国ブロックから除外し、単独で集計している。

● 周遊ルートの傾向、および特徴

すべての県外旅行者の周遊ルート（表 3-1-1-1）をみると、「高知市」エリアのみで観光を終える割合が 17.0%と最も多くなっている。また、上位 4 位は単一エリアのみで観光を終えるルートで占められている。

発地ブロック別では、四国ブロック（表 3-1-2-1）は、単一エリアのみで観光を終えるルートが多くなっている。広範囲に移動するルートでは「高知市」と「物部川」を含むルートが多くなっている。

近畿ブロック（表 3-1-3-1）と中国ブロック（表 3-1-4-1）は、「高知市」のみのルートが最も多く、「幡多」のみが 2 位となっている。広範囲に移動するルートでは、四国ブロックと同様に、「高知市」と「物部川」を含むルートが上位になっている。

関東ブロック（表 3-1-5-1）とその他ブロック（表 3-1-6-1）は、近畿ブロックなどと同様に「高知市」のみが最も多く、「幡多」のみが 2 位となっている。広範囲に移動するルートで、「高知市」と「幡多」を含むルートが上位になっているのが特徴である。

県内旅行者（表 3-1-7-1）は、単一エリアで観光を終えるルートが大半を占めているのが特徴で、「高知市」のみが 1 位を占めた他のブロックと異なり、「東部」のみが 1 位となっている。

旅行形態別で傾向をみると、家族旅行（表 3-2-1-1）は、単一エリアで観光を終えるルートが「東部」、「高知市」、「物部川」、「幡多」、「仁淀川」の順で上位 5 位を占めている。「東部」は全体平均を大きく上回っており、「物部川」の割合も多くなっている。

友人・知人との旅行（表 3-2-2-1）は、単一エリアで観光を終えるルートが「高知市」、「東部」、「幡多」、「物部川」、「高幡」の順で上位 5 位を占めている。また、全体平均と比べ、「東部」のみの割合が多くなっている。

団体旅行（表 3-2-3-1）は、単一エリアで観光を終えるルートが「高知市」、「東部」、「幡多」、「高幡」、「物部川」の順で上位 5 位を占めている。また、全体平均と比べ、「高幡」のみの割合が多くなっている。

一人旅（表 3-2-4-1）は、単一エリアで観光を終えるルートが「幡多」、「高知市」、「仁淀川」、「東部」、「高幡」、「物部川」の順で上位 6 位を占めている。「幡多」は全体平均を大きく上回り、また、広範囲に移動するルートが目立って少なくなっている。

3-1. 発地別周遊ルート

3-1-1. 県外旅行者全体

県外旅行者 2,869 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-1-1)周遊ルート (組・%) [周遊エリア3まで]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					489	17.0%
幡多					326	11.4%
物部川					238	8.3%
東部					216	7.5%
物部川	→	高知市			171	6.0%
高知市	→	物部川			159	5.5%
高知市	→	幡多			95	3.3%
高幡					93	3.2%
高知市	→	東部			80	2.8%
幡多	→	高知市			78	2.7%

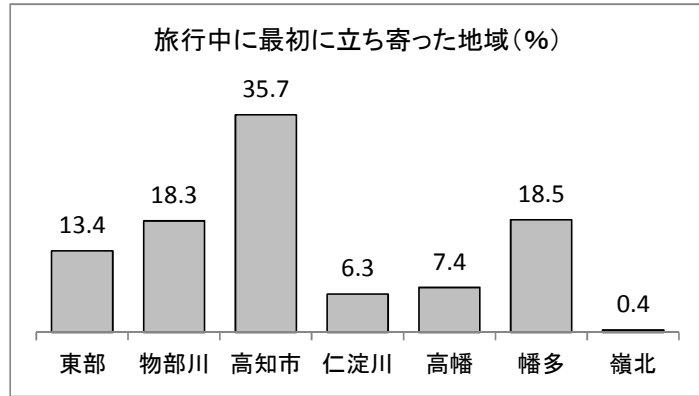
・上位を占めた周遊ルート

県外旅行者 2,869 組の周遊ルートを見ると、単一エリア内で観光を終える周遊ルートが上位 4 位を占めている。

多い順で周遊ルートを見ていくと、「高知市」を訪問し、他エリアへの立寄りがない旅行者が 489 組 (17.0%) で最も多く、「幡多」のみが 326 組 (11.4%)、「物部川」のみが 238 組 (8.3%)、「東部」のみが 216 組 (7.5%) と続く。

・周遊ルート of 玄関口

旅行中に最初に立ち寄ったエリアは、「高知市」が最も多く1,024組(35.7%)、次いで「幡多」532組(18.5%)、「物部川」524組(18.3%)、「東部」384組(13.4%)、「高幡」212組(7.4%)、「仁淀川」182組(6.3%)、「嶺北」11組(0.4%)となっている。

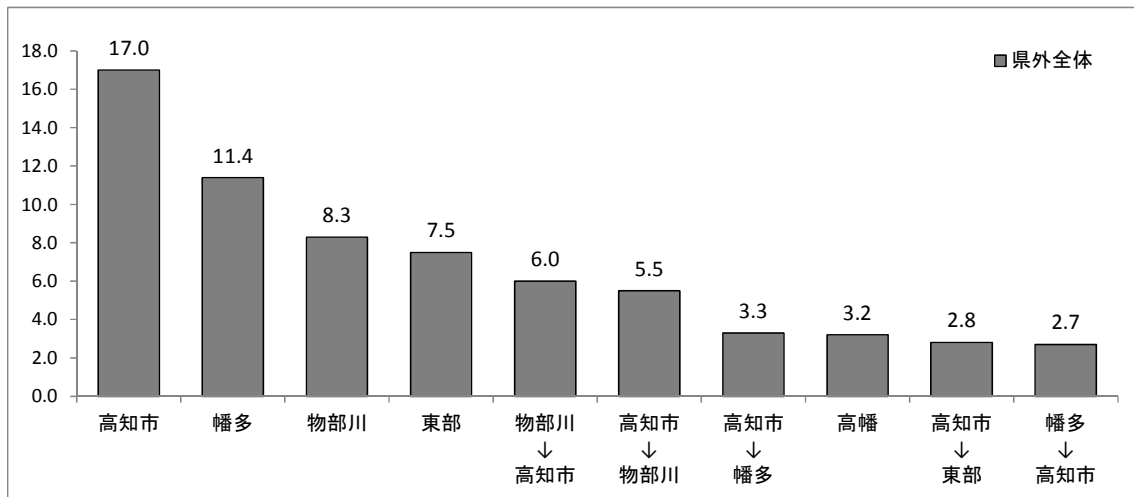


・周遊ルートの傾向

他エリアへの移動を伴う周遊ルートに限って上位をみると、「物部川」から「高知市」の6.0%、「高知市」から「物部川」の5.5%、「高知市」から「幡多」の3.3%、などとなっている(図3-1-1-2)。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートの場合、「高知市」を含むということが、傾向として表れている。

(図3-1-1-2) 主な周遊ルート割合 (%) [上位10位まで]



3-1-2. 四国

高知県をのぞく四国3県からの旅行者1,066組の周遊ルートの上位10位は以下の通りになっている。

(表 3-1-2-1) 発地別周遊ルート (組・%) [周遊エリア3まで]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	147	13.8%
物部川	143	13.4%
幡多	142	13.3%
東部	113	10.6%
物部川 → 高知市	68	6.4%
高知市 → 物部川	64	6.0%
高幡	53	5.0%
仁淀川	34	3.2%
高幡 → 幡多	25	2.3%
東部 → 高知市	22	2.1%

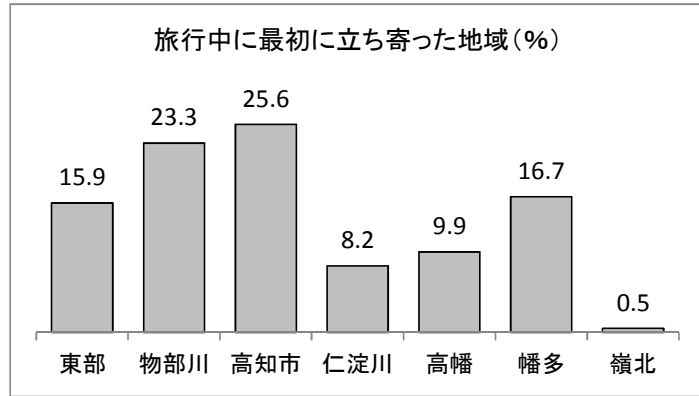
・上位を占めた周遊ルート

四国3県の旅行者1,066組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終えた旅行者が147組(13.8%)と最も多く、次いで「物部川」のみが143組(13.4%)、「幡多」のみが142組(13.3%)、「東部」のみが113組(10.6%)となっている。このように、上位4位までを単一エリアのみで観光を終える周遊ルートが占めている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートの上位を見ると、「物部川」から「高知市」の68組(6.4%)、「高知市」から「物部川」の64組(6.0%)、などとなっている。

・周遊ルート of 玄関口

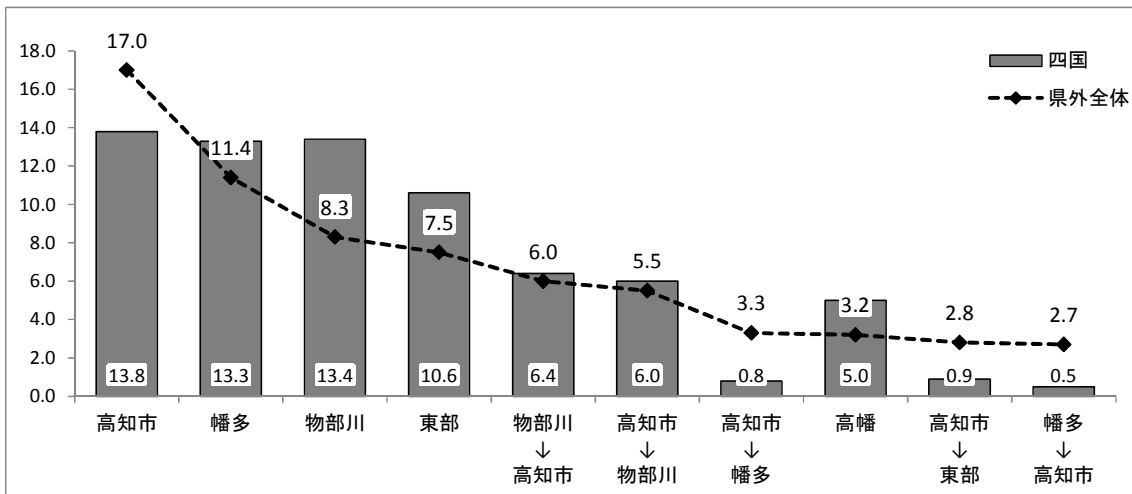
旅行中に最初に立ち寄った周遊エリアは、「高知市」が最も多く 273 組 (25.6%)、次いで「物部川」248 組 (23.3%)、「幡多」178 組 (16.7%)、「東部」169 組 (15.9%)、「高幡」106 組 (9.9%)、「仁淀川」87 組 (8.2%)、「嶺北」5 組 (0.5%) となっている。



・周遊ルートの傾向

他のブロックや県外全体と比べ、「高知市」を含む周遊ルートの割合が少なくなっている。特に、県外全体では最も多い「高知市」のみで観光を終えた割合は 3.2 ポイント少ない 13.8% となった。「高知市」から「幡多」へのルートと、その逆のルート、また、「高知市」から「安芸」へのルートも少なくなっている。一方で、「幡多」や「物部川」、「東部」のみで観光を終えた割合は県外全体よりも多くなっている (図 3-1-2-2)。

(図 3-1-2-2) 主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-1-3. 近畿

近畿ブロックからの旅行者 669 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-3-1) 発地別周遊ルート (組・%) [周遊エリア3まで]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	110	16.4%
幡多	65	9.7%
東部	56	8.4%
物部川	41	6.1%
物部川 → 高知市	38	5.7%
高知市 → 物部川	35	5.2%
高知市 → 東部	32	4.8%
高知市 → 幡多	31	4.6%
幡多 → 高知市	15	2.2%
高知市 → 物部川 → 東部	15	2.2%

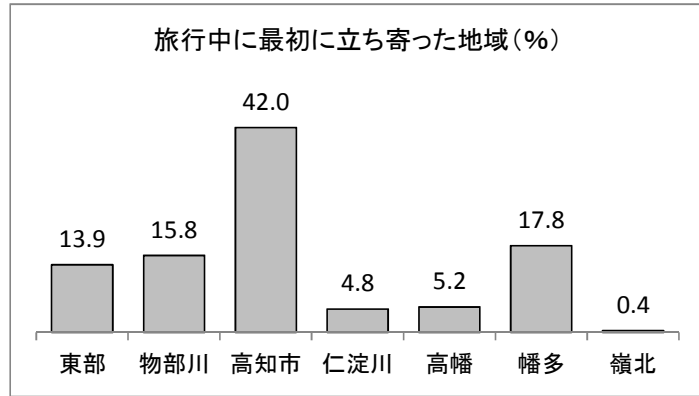
・上位を占めた周遊ルート

近畿ブロックからの旅行者 669 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみを訪問した旅行者が 110 組 (16.4%) と最も多く、次いで「幡多」のみが 65 組 (9.7%)、「安芸」のみが 56 組 (8.4%)、「物部川」のみが 41 組 (6.1%)、となっている。四国ブロック同様、上位 4 位まで単一エリアのみで観光を終える周遊ルートとなっている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートの上位は、「物部川」から「高知市」の 38 組 (5.7%)、「高知市」から「物部川」の 35 組 (5.2%)、「高知市」から「安芸」の 32 組 (4.8%)、「高知市」から「幡多」の 31 組 (4.6%)、「幡多」から「高知市」の 15 組 (2.2%) などとなっている。また、「高知市」から「物部川」を経て、さらに「安芸」へと周遊した旅行者が 15 組 (2.2%) となっている。

・周遊ルート of 玄関口

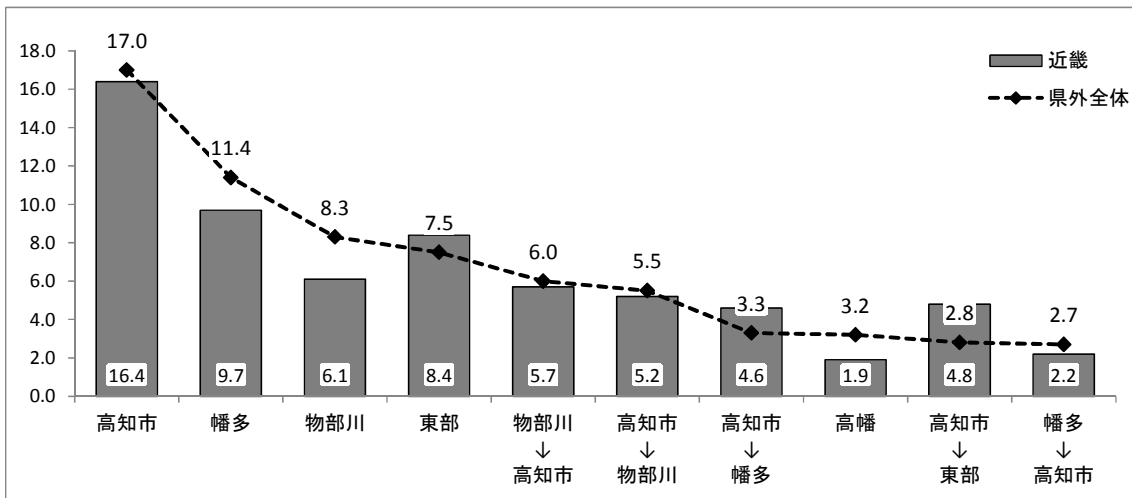
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 281 組 (42.0%)、次いで「幡多」119 組 (17.8%)、「物部川」106 組 (15.8%)、「東部」93 組 (13.9%)、「高幡」35 組 (5.2%)、「仁淀川」32 組 (4.8%)、「嶺北」3 組 (0.4%) となっている。



・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」を含む周遊ルートの割合が多くなっている。また、「安芸」のみや、「高知市」から「東部」へと周遊した旅行者が多くなっている。その一方で、「幡多」、「物部川」、「高幡」のみで観光を終えた割合は県外全体よりも少なくなっている (図 3-1-3-2)。

(図 3-1-3-2) 主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-1-4. 中国

中国ブロックからの旅行者 446 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-4-1) 発地別周遊ルート (組・%) [周遊エリア3まで]

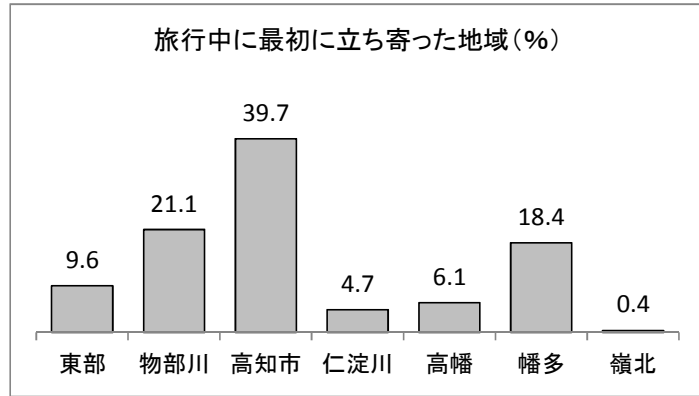
周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					88	19.7%
幡多					52	11.7%
物部川	→	高知市			40	9.0%
物部川					32	7.2%
高知市	→	物部川			30	6.7%
東部					22	4.9%
高知市	→	東部			15	3.4%
高知市	→	幡多			14	3.1%
高知市	→	物部川	→	高知市	11	2.5%
高幡	→	幡多			11	2.5%

・上位を占めた周遊ルート

中国ブロックからの旅行者 446 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終えた旅行者が 88 組 (19.7%) と最も多くなっている。次いで「幡多」のみが 52 組 (11.7%)、「物部川」から「高知市」のルートが 40 組 (9.0%)、「物部川」のみが 32 組 (7.2%)、「高知市」から「物部川」のルートが 30 組 (6.7%)、「東部」のみが 22 組 (4.9%) などとなっている。

・周遊ルート of 玄関口

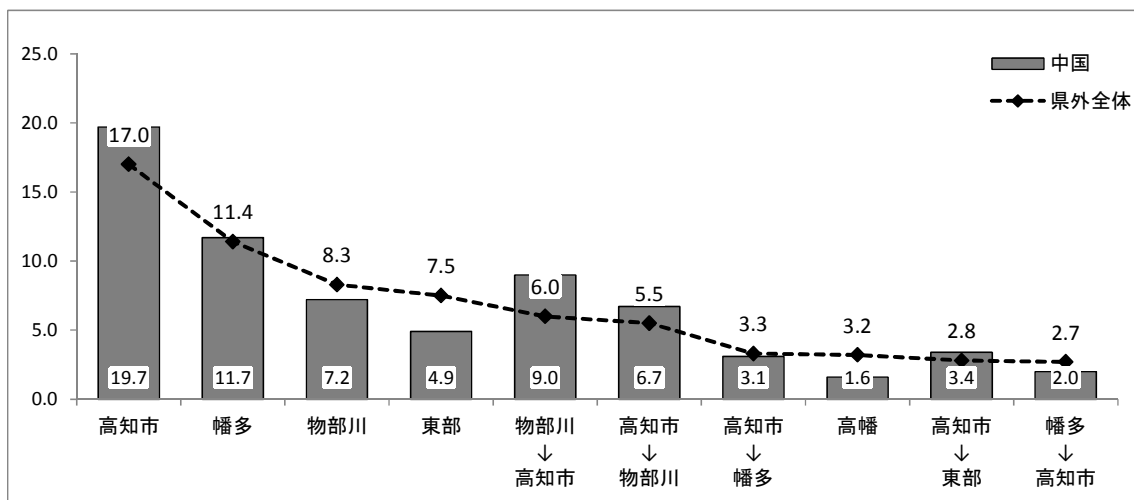
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 177 組 (39.7%)、次いで「物部川」の 94 組 (21.1%)、「幡多」の 82 組 (18.4%)、「東部」の 43 組 (9.6%)、「高幡」の 27 組 (6.1%)、「仁淀川」の 21 組 (4.7%)、「嶺北」2 組 (0.4%) となっている。



・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」のみ「物部川」から「高知市」とその逆ルートの割合が多くなっている (図 3-1-4-2)。

(図 3-1-4-2) 主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-1-5. 関東

関東ブロックからの旅行者 368 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-5-1) 発地別周遊ルート (組・%) [周遊エリア3まで]

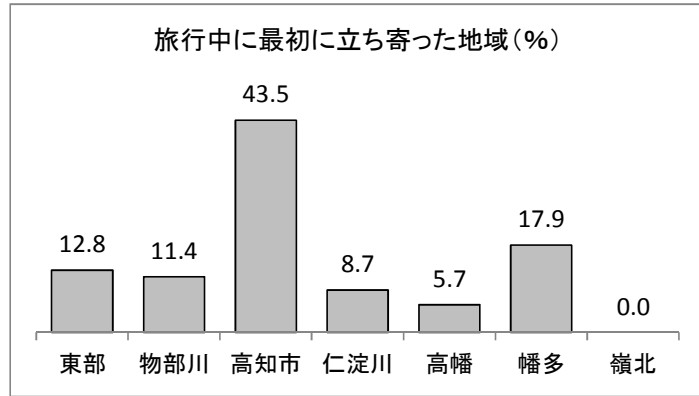
周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					75	20.4%
幡多					24	6.5%
高知市	→	幡多			24	6.5%
幡多	→	高知市			23	6.3%
高知市	→	物部川			18	4.9%
仁淀川					15	4.1%
東部					14	3.8%
東部	→	高知市			14	3.8%
物部川	→	高知市			11	3.0%
仁淀川	→	高知市			11	3.0%

・上位を占めた周遊ルート

関東ブロックからの旅行者 368 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終えた旅行者が 75 組 (20.4%) と最も多くなっている。次いで「幡多」のルートが 24 組 (6.5%)、「高知市」から「幡多」のルートが 24 組 (6.5%)、「幡多」から「高知市」のルートが 23 組 (6.3%)、「高知市」から「物部川」のルートが 18 組 (4.9%)、「仁淀川」のみが 15 組 (4.1%) などとなっている。

・周遊ルート of 玄関口

旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 160 組 (43.5%)、次いで「幡多」の 66 組 (17.9%)、「東部」の 47 組 (12.8%)、「物部川」の 42 組 (11.4%)、「仁淀川」の 32 組 (8.7%)、「高幡」の 21 組 (5.7%) となっている。

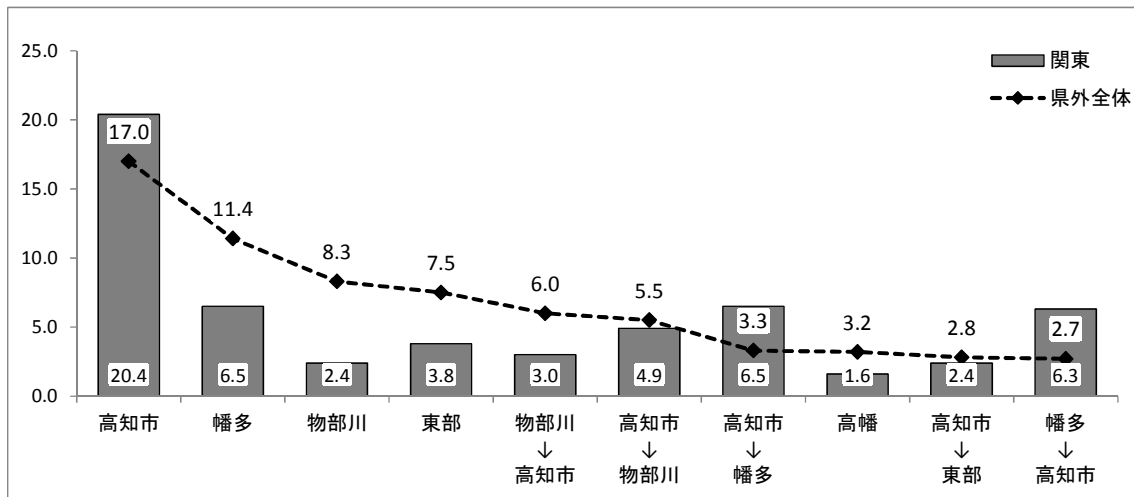


・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」のみ「高知市」から「幡多」とその逆ルートの割合が多くなっている。その一方で、「高知市」以外の単一エリアのみで観光を終えた割合は県外全体よりも少なくなっている (図 3-1-5-2)。

周遊ルートの上位を「高知市」と「幡多」を含むルートで占めていることから、高知県観光の中心が「高知市」と「幡多」になっていることが分かる。

(図 3-1-5-2) 主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-1-6. その他(北海道・東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄、海外)

その他5ブロックからの旅行者320組の周遊ルートの上位10位は以下の通りになっている。

(表 3-1-6-1) 発地別周遊ルート (組・%) [周遊エリア3まで]

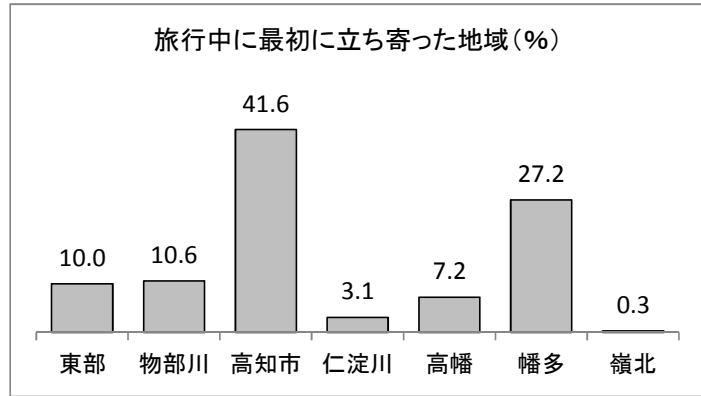
周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	69	21.6%
幡多	43	13.4%
幡多 → 高知市	26	8.1%
高知市 → 幡多	17	5.3%
物部川 → 高知市	14	4.4%
高知市 → 東部	14	4.4%
高幡	14	4.4%
物部川	13	4.1%
高知市 → 物部川	12	3.8%
東部	11	3.4%

・上位を占めた周遊ルート

その他5ブロックからの旅行者320組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで旅行を終えた旅行者が69組(21.6%)と最も多く、次いで「幡多」のみが43組(13.4%)、「幡多」から「高知市」のルートが26組(8.1%)、「高知市」から「幡多」のルートが17組(5.3%)などとなっている。

・周遊ルート of 玄関口

旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 133 組 (41.6%)、次いで「幡多」の 87 組 (27.2%)、「物部川」の 34 組 (10.6%)、「東部」の 32 組 (10.0%)、「高幡」の 23 組 (7.2%)、「仁淀川」の 10 組 (3.1%)、「嶺北」の 1 組 (0.3%) となっている。

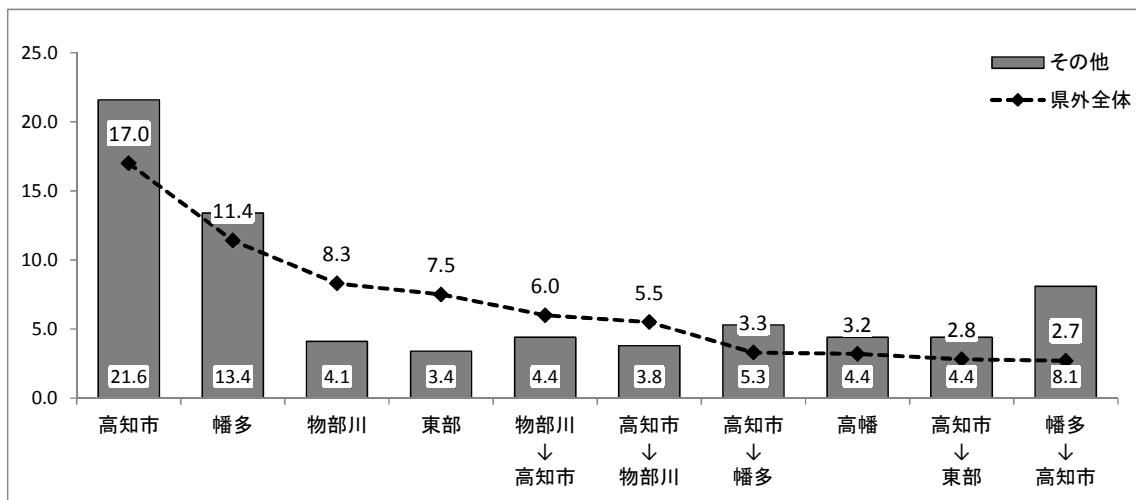


・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」のみ、「幡多」のみ、「高知市」から「幡多」とその逆ルートの割合が多くなっている (図 3-1-6-2)。

関東ブロックと同様に、高知県観光の中心が「高知市」と「幡多」になっていることが分かる。

(図 3-1-6-2) 主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-1-7. 高知県

高知県からの旅行者 1,131 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになった。

(表 3-1-7-1) 発地別周遊ルート (組・%) [周遊エリア3まで]

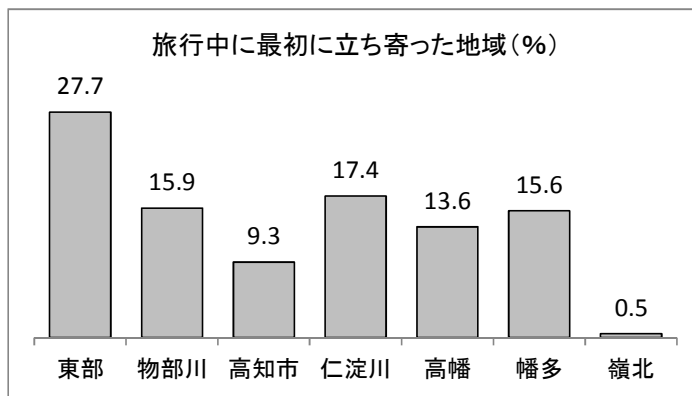
周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
東部	288	25.5%
仁淀川	165	14.6%
物部川	158	14.0%
幡多	157	13.9%
高幡	111	9.8%
高知市	85	7.5%
高幡 → 幡多	25	2.2%
仁淀川 → 高幡	16	1.4%
東部 → 物部川	16	1.4%
高幡 → 仁淀川	16	1.4%

・上位を占めた周遊ルート

県内旅行者 1,131 組の周遊ルートを見ると、「東部」のみで旅行を終えた旅行者が 288 組 (25.5%) と最も多くなっている。次いで「仁淀川」のみが 165 組 (14.6%)、「物部川」のみが 158 組 (14.0%)、「幡多」のみが 157 組 (13.9%)、「高幡」のみが 111 組 (9.8%)、「高知市」のみが 85 組 (7.5%) と、単一エリアのみで観光を終える周遊ルートが上位 6 位を占めている。

・周遊ルート of 玄関口

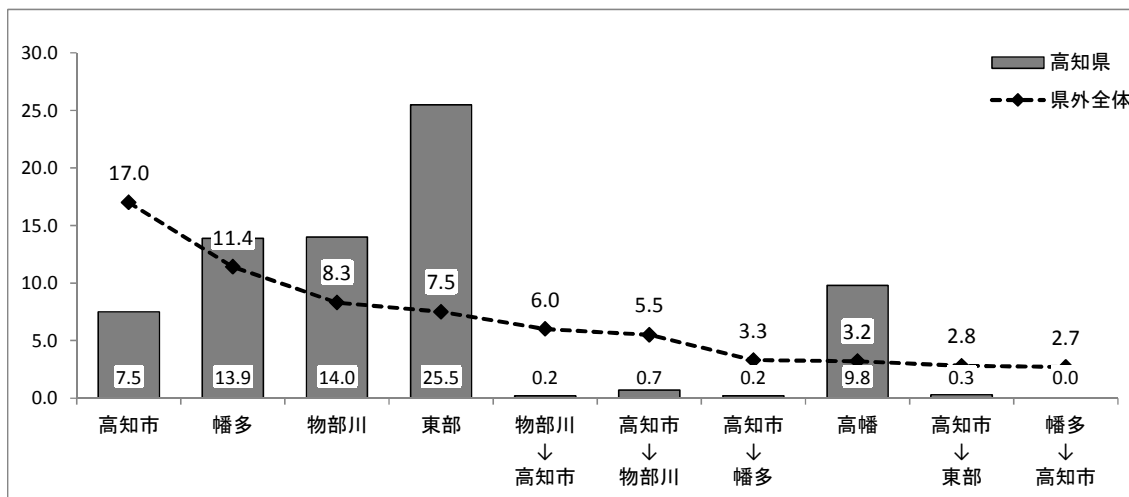
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「安芸」が最も多く 313 組 (27.7%)、次いで「仁淀川」の 197 組 (17.4%)、「物部川」の 180 組 (15.9%)、「幡多」の 176 組 (15.6%)、「高幡」の 154 組 (13.6%)、「高知市」の 105 組 (9.3%)、「嶺北」の 6 組 (0.5%) となっている。



・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」のみで観光を終える割合が目立って少なくなっている一方で、「高知市」以外の単一エリアのみで観光を終える割合が多くなっている。特に、「安芸」のみの割合が、全体平均を大きく上回っている (図 3-1-7-2)。

(図 3-1-7-2) 主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-2. 旅行形態別周遊ルート

3-2-1. 家族

家族旅行 2,563 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-2-1-1) 旅行形態別周遊ルート (組・%) [周遊エリア3まで]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
東部					355	13.9%
高知市					329	12.8%
物部川					313	12.2%
幡多					290	11.3%
仁淀川					151	5.9%
物部川	→	高知市			135	5.3%
高幡					117	4.6%
高知市	→	物部川			112	4.4%
高知市	→	東部			50	2.0%
高知市	→	幡多			48	1.9%

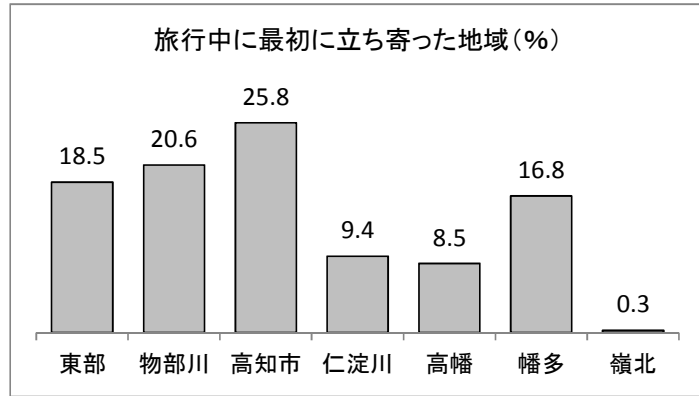
・上位を占めた周遊ルート

家族旅行 2,563 組の周遊ルートを見ると、「東部」のみで観光を終えた旅行者が 355 組 (13.9%) と最も多くなっている。次いで「高知市」のみが 329 組 (12.8%)、「物部川」のみが 313 組 (12.2%)、「幡多」のみが 290 組 (11.3%)、「仁淀川」のみが 151 組 (5.9%) などと単一エリアのみで観光を終える周遊ルートが上位 5 位を占めている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川」から「高知市」の 135 組 (5.3%)、「高知市」から「物部川」の 112 組 (4.4%)、「高知市」から「東部」の 50 組 (2.0%)、「高知市」から「幡多」の 48 組 (1.9%) などとなっている。

・周遊ルート of 玄関口

旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 662 組 (25.8%)、次いで「物部川」の 529 組 (20.6%)、「東部」の 474 組 (18.5%)、「幡多」の 431 組 (16.8%)、「仁淀川」の 242 組 (9.4%)、「高幡」の 217 組 (8.5%)、「嶺北」の 8 組 (0.3%) となっている。

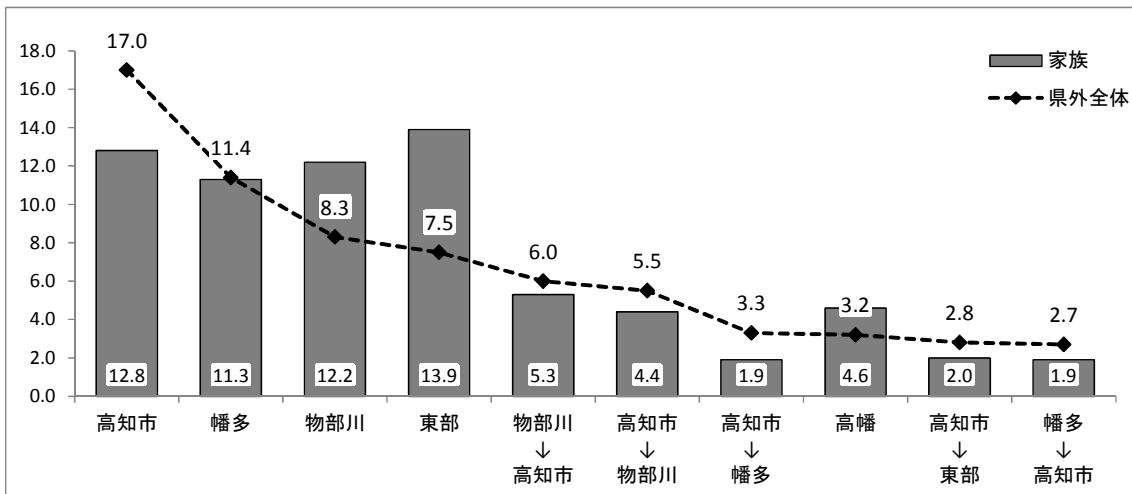


・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」のみで観光を終える割合が少なく、「物部川」のみ、「東部」のみ、「高幡」のみの割合が多くなっている (図 3-2-1-2)。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートは、すべて全体平均を下回っており、単一のエリアを目的とした訪問が、家族旅行の人気を集めていることが分かる。

(図 3-2-1-2) 主な周遊ルート割合 (%) [旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-2-2. 友人・知人

友人・知人との旅行者 805 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-2-2-1) 旅行形態別周遊ルート (組・%) [周遊エリア3まで]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	131	16.3%
東部	94	11.7%
幡多	90	11.2%
物部川	54	6.7%
高幡	54	6.7%
高知市 → 物部川	38	4.7%
高知市 → 幡多	35	4.3%
仁淀川	31	3.9%
物部川 → 高知市	24	3.0%
幡多 → 高知市	22	2.7%

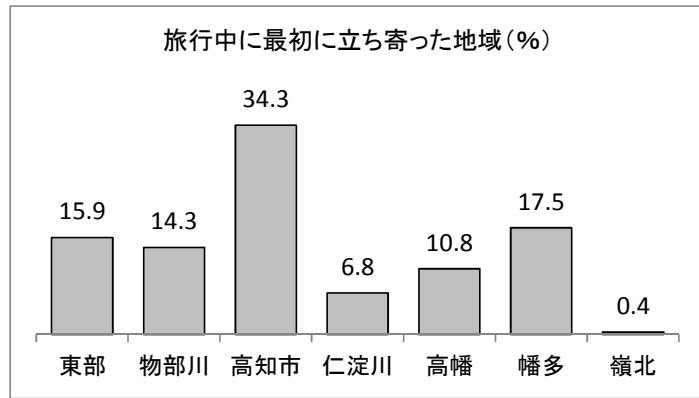
・上位を占めた周遊ルート

友人・知人との旅行者 805 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終えた旅行者が 131 組 (16.3%) と最も多くなっている。次いで「東部」のみが 94 組 (11.7%)、「幡多」のみが 90 組 (11.2%)、「物部川」のみと「高幡」のみが 54 組 (6.7%) など家族旅行と同様に、単一エリアだけで観光を終える周遊ルートで上位 5 位を占めている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市」から「物部川」の 38 組 (4.7%)、「高知市」から「幡多」の 35 組 (4.3%)、「物部川」から「高知市」の 24 組 (3.0%)、「幡多」から「高知市」の 22 組 (2.7%) などとなっている。

・周遊ルート of 玄関口

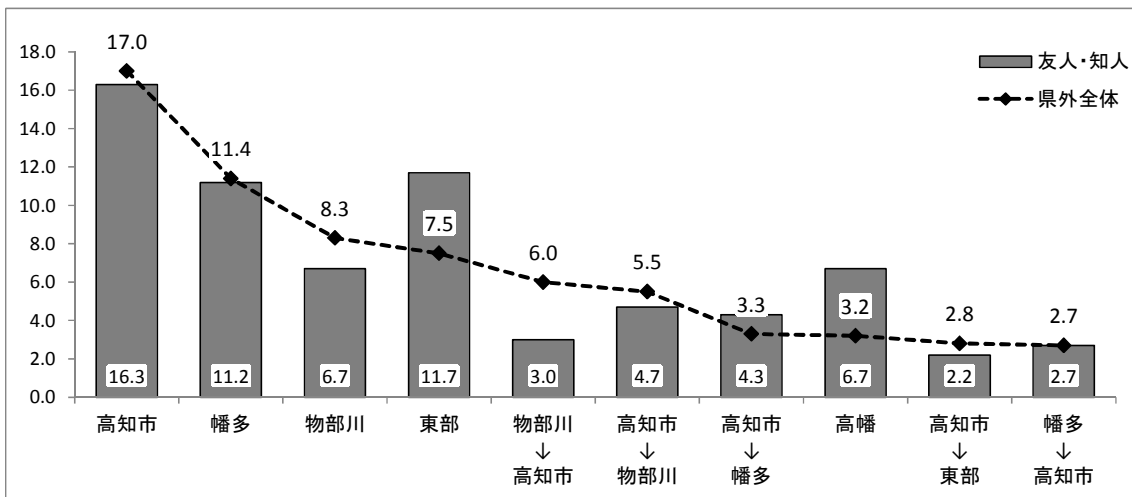
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 276 組 (34.3%)、次いで「幡多」の 141 組 (17.5%)、「東部」の 128 組 (15.9%)、「物部川」の 115 組 (14.3%)、「高幡」の 87 組 (10.8%)、「仁淀川」の 55 組 (6.8%)、「嶺北」の 3 組 (0.4%) となっている。



・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「東部」のみと、「高幡」のみの割合が多くなっている。また、「物部川」を含む観光ルートは、全体平均を下回っている (図 3-2-2-2)。

(図 3-2-2-2) 主な周遊ルート割合 (%) [旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-2-3. 団体

団体旅行 95 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-2-3-1) 旅行形態別周遊ルート (組・%) [周遊エリア3まで]

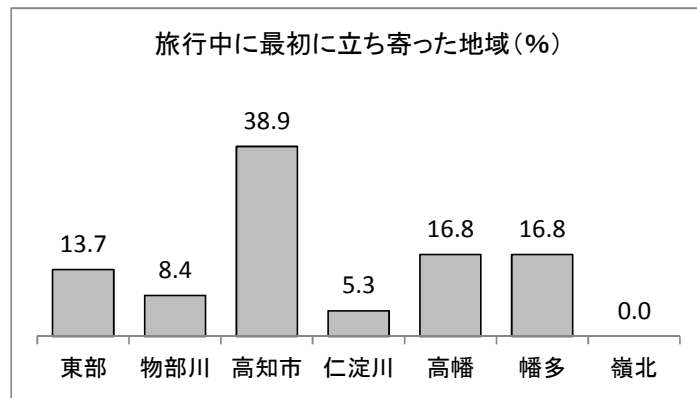
周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	19	20.0%
東部	10	10.5%
幡多	10	10.5%
高幡	7	7.4%
物部川	5	5.3%
高知市 → 物部川	4	4.2%
高知市 → 幡多	3	3.2%
高知市 → 東部	3	3.2%
高幡 → 幡多	3	3.2%
(※対象多数のため略)	2	2.1%

・上位を占めた周遊ルート

団体旅行 95 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終えた団体旅行が 19 組 (20.0%) と最も多くなっている。次いで「東部」のみと「幡多」のみが 10 組 (10.5%)、「高幡」のみが 7 組 (7.4%)、「物部川」のみが 5 組 (5.3%) となっている。家族旅行、友人・知人同様、単一エリアのみで観光を終える周遊ルートが上位 5 位までを占めている。

・周遊ルートの玄関口

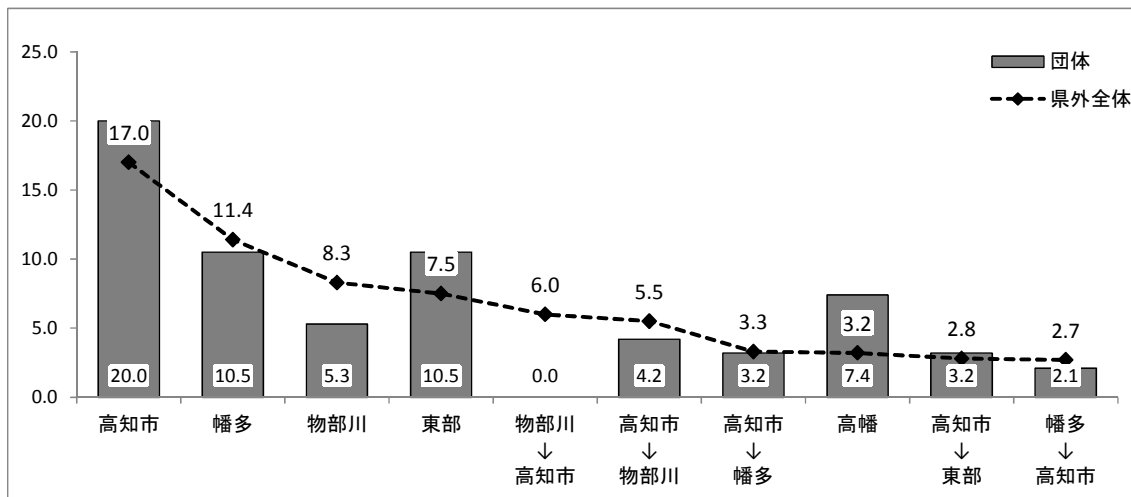
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 37 組 (38.9%)、次いで「幡多」と「高幡」の 16 組 (16.8%)、「安芸」の 13 組 (13.7%)、「物部川」の 8 組 (8.4%)、「仁淀川」の 5 組 (5.3%) となっている。



・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」のみと「東部」のみ、「高幡」のみの割合が多くなっている (図 3-2-3-2)。調査時も、桂浜の観光と高知市内での昼食の後、四国内の他県へ周遊するというツアー客が多かった。

(図 3-2-3-2) 主な周遊ルート割合 (%) [旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-2-4. 一人

一人旅の旅行者 407 人の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになった。

(表 3-2-4-1) 旅行形態別周遊ルート (人) [周遊エリア3まで]

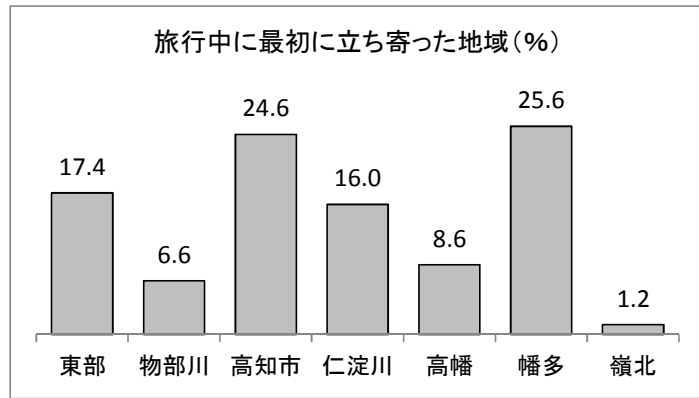
周遊1 → 周遊2 → 周遊3	人数	割合
幡多	84	20.6%
高知市	67	16.5%
仁淀川	51	12.5%
東部	38	9.3%
高幡	23	5.7%
物部川	13	3.2%
高知市 → 東部	9	2.2%
東部 → 高知市	9	2.2%
(※対象多数のため略)	6	1.5%

・上位を占めた周遊ルート

一人旅の旅行者 407 人の周遊ルートを見ると、「幡多」のみを訪問した旅行者が 84 人 (20.6%) と最も多くなっている。次いで「高知市」のみが 67 人 (16.5%)、「仁淀川」のみが 51 人 (12.5%)、「東部」のみが 38 人 (9.3%)、「高幡」のみが 23 人 (5.7%)、「物部川」のみが 13 人 (3.2%)、などとなっている。このように単一エリアのみで観光を終える周遊ルートが上位 6 位を占めている。

・周遊ルート of 玄関口

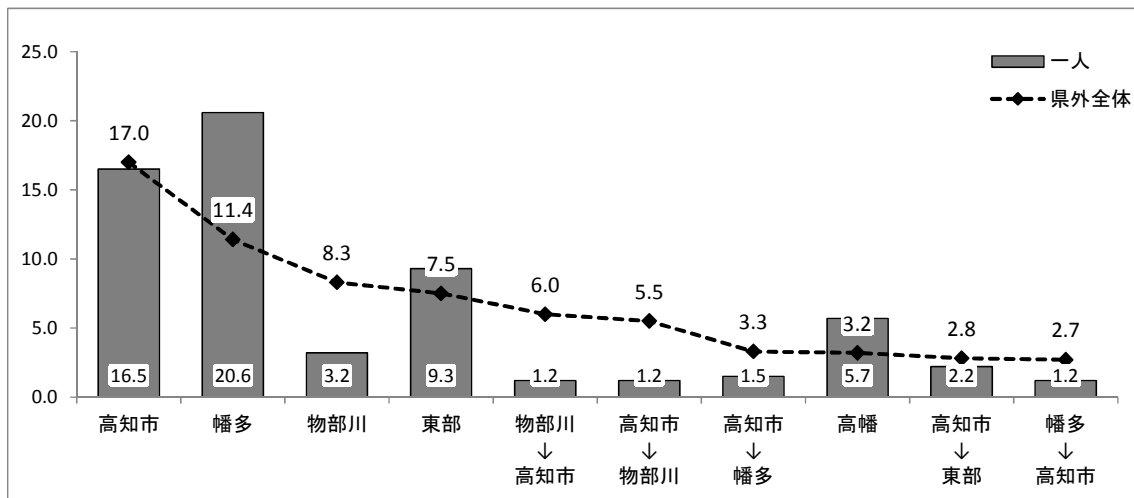
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「幡多」が最も多く 104 人 (25.6%)、次いで「高知市」の 100 人 (24.6%)、「東部」71 人 (17.4%)、「仁淀川」65 人 (16.0%)、「高幡」35 人 (8.6%)、「物部川」27 人 (6.6%)、「嶺北」が 5 人 (1.2%) となっている。



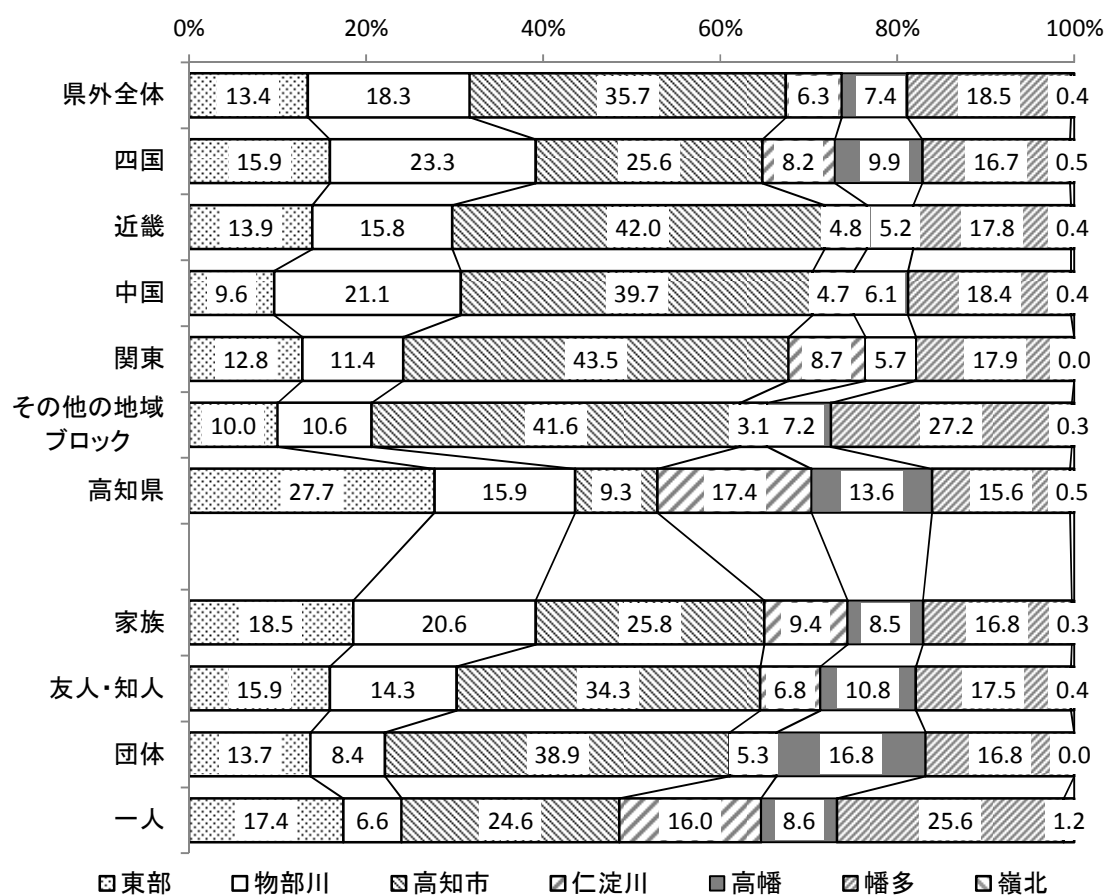
・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「幡多」のみ、「東部」のみ、「高幡」のみの割合が多くなっている。また、一人旅では、エリアを越える周遊ルートの割合が非常に少なくなっている (図 3-2-4-2)。

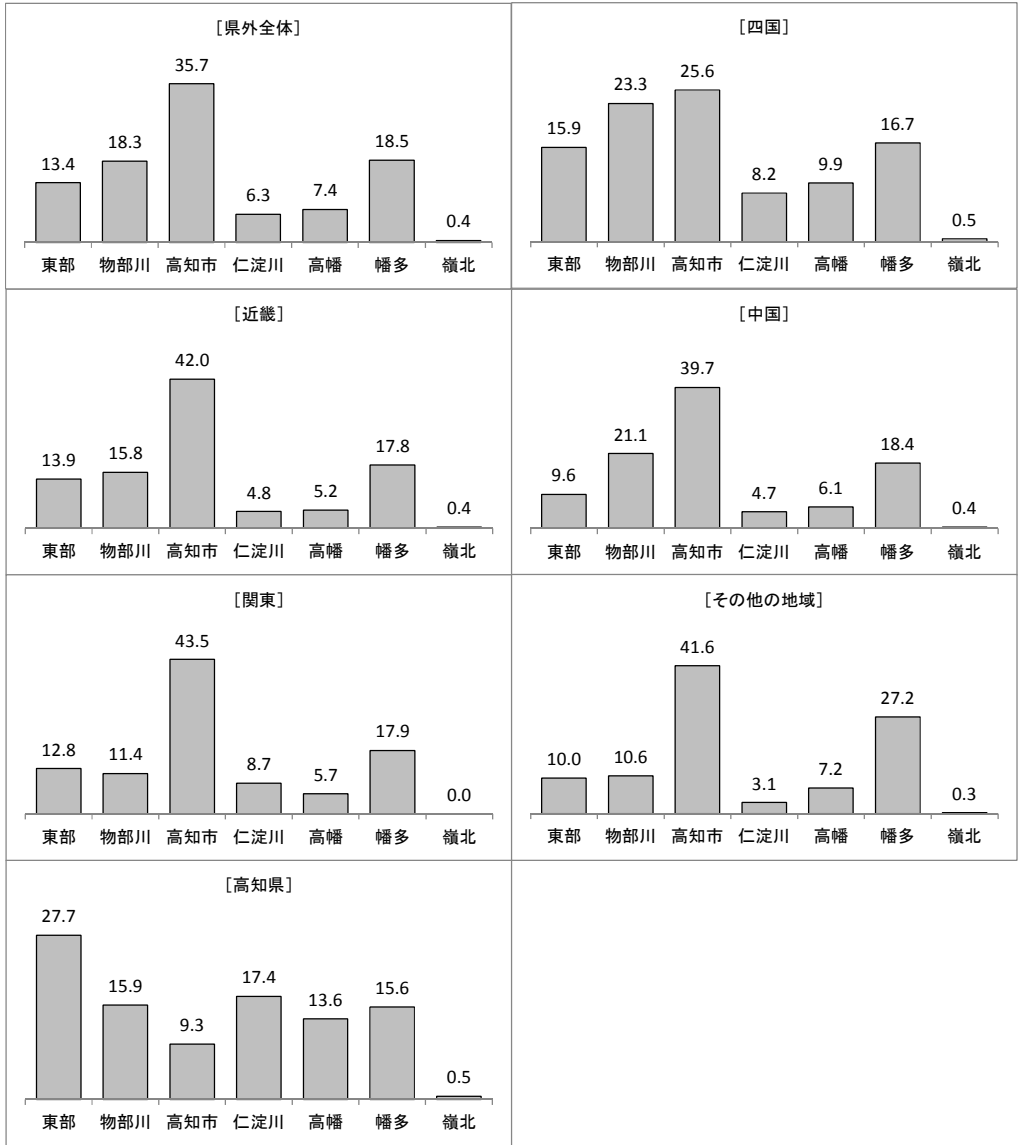
(図 3-2-4-2) 主な周遊ルート割合 (%) [旅行者全体の上位 10 位との比較]



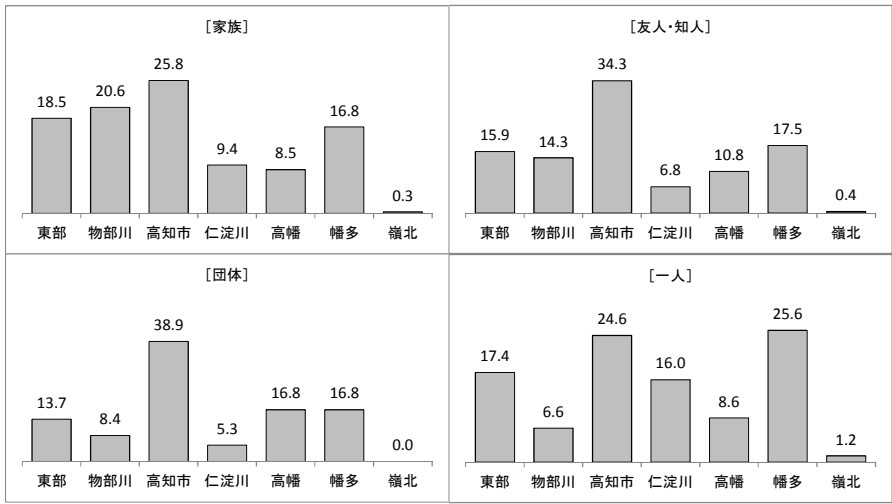
(参考 1)発地ブロック別・旅行形態別旅行中で最初に立寄った地域(%)



(参考 2)旅行中に最初に立寄った地域－発地ブロック別－(%)



(参考 3)旅行中に最初に立寄った地域－旅行形態別－(%)



IX 参考資料（市町村報告分）

1 祭り・イベントの入込状況

市町村名	祭り・イベント名	平成24年開催日	平成24年入込数(単位:人)
高知市	南国土佐皿鉢祭	3/4	20,000
	高知城花回廊	4/6～8	57,000
	こうち春花まつり	5/3～5	190,401
	よさこい祭り	8/9～12	1,000,000
	高知市納涼花火大会	8/9	55,000
	龍馬まつり	11/18	8,000
	梅まつり	3/7～25	4,590
室戸市	ふるさと室戸まつり	7/15	5,000
	室戸市産業祭	11/25	3,000
	灯台まつり	11/2～3	696
安芸市	手づくり登り窯フェスタ	11/10～11	1,500
	安芸市納涼市民祭	8/4～5	17,000
南国市	菊人形・菊花展つらゆき時代まつり	11/10	1,000
	土佐の食1グランプリ	3/31～4/1	10,000
	第9回ごめんの軽トラ市	2/12	2,000
	第10回ごめんの軽トラ市	5/27	1,500
土佐市	宇佐大鍋まつり	5/3	8,000
	蓮池ハスまつり	7/8	2,000
	宇佐港まつり	8/12	7,000
	大綱まつり	8/18	12,000
	南中町コスモスまつり	中止	
	ふれあいフェスタ2011 in TOSA City	11/4	8,000
須崎市	桑田山雪割桜	2～3月	10,000
	須崎まつり	8/3～5	20,000
	須崎市ドラゴンカヌー大会	8/5	3,000
	くろしおフェアinすさき	9/1～2	20,000
	桑田山菊花園	11月	3,000
	海の駅・須崎の魚祭り	中止	
宿毛市	市民祭宿毛まつり	10/6～8	16,000
	寒蘭の里 とさ宿毛展示大会	11/10～11	800
	宿毛花へんろマラソン	3/18	1,248
土佐清水市	あしずり祭	8/3	38,000
	産業祭	12/1～2	19,314
四万十市	四万十桜まつり	3/17～4/8	10,000
	納涼花火大会	8/25	40,000
	大文字送り火	9/2	2,000
	不破八幡宮大祭	10/6～7	15,000
	一條神社大祭	11/22～23	35,000
	観光カヌー開き	4/22	0 (神事のみ実施)
香南市	どろめ祭り	4/29	10,000
	絵金祭り	7/21～22	19,000
	冬の夏祭り	12/1～2	7,000
	香南市みなこい港まつり	7/29	23,000
	手結盆踊り	8/15	18,000
	マリンフェスティバルYASU	7/15	10,000
	海辺のイルミネーション	12/1～30	24,260

市町村名	祭り・イベント名		
香 美 市	桜まつり	3/25~4/9	5,300
	土佐山田まつり	8/4	8,000
	刃物まつり	10/20~21	25,000
	川上様夏祭り	7/27	3,000
	川上様秋祭り	11/3	2,000
	奥物部湖水祭	8/15	5,000
東 洋 町	東洋町納涼祭	7/28	2,000
奈 半 利 町	奈半利町港まつり	8/16	10,000
田 野 町	みんなの夏まつり	8/15	2,000
安 田 町	唐浜駅まつり	7/7	1,000
	安田の夢まつり	8/11	1,000
	なかやま山芋まつり	12/9	800
芸 西 村	琴ヶ浜松原観月の宴	中止	
	芸西フェスタ	11/18	800
	カシオワールドオープン	11/22~25	18,026
本 山 町	もとやま花まつり	3/24~5/6	8,400
大 豊 町	福寿草まつり	2/10~3/10	4,340
土 佐 町	やまびこカーニバル	8/4,5	3,000
大 川 村	謝肉祭	11/3	1,500
い の 町	仁淀川紙のこいのぼり	5/3~5	17,000
	いの大国様春大祭	2/24	8,000
	ほのほの王国もみじまつり	11/8	900
仁 淀 川 町	秋葉まつり	2/11	10,000
	茶霧湖まつり	8/16	1,000
中 土 佐 町	かつお祭	5/20	16,000
	久礼八幡宮大祭	9/29,30	25,000
	上ノ加江黒潮ふれあい祭り	11/25	1,500
佐 川 町	さくらまつり	3/26~4/11	5,000
越 知 町	によどかあにばる	7/28	10,000
	コスモスまつり	9/29~10/14	110,000
日 高 村	日高村菜の花エコまつり	中止	
	目高大池アジサイ祭り	6/10	100
	ひだか茂平マラソン	11/25	4,500
津 野 町	津野町ふれあい特産市	5/27	3,000
	津野町夏まつり	8/15	2,000
	津野町産業祭	11/4	1,500
四 万 十 町	台地まつり・谷干城まつり	11/10,11	2,300
	米・こめフェスタ	11/4	9,350
	四万十大正あゆまつり	8/19	3,000
	こいのぼりの川渡し	4/16~5/19	15,000
	「よってこい四万十」こいのぼり交流の集い	5/3	1,500
大 月 町	大月まつり	8/18	3,500
	大月町産業祭	11/3	5,000
	大月コスモスまつり	中止	
三 原 村	つつじまつり	4/21	200
	清流まつり	7/15	600
	みはら祭り	8/15	1,500
	どぶろく祭り	11/3	3,500
黒 潮 町	とさ佐賀のもどりガツオ祭	10/20	6,000
	Tシャツアート展	5/2~6	14,260
	高知大方シーサイドはだしマラソン全国大会	5/3	840
	シーサイドギャラリー夏(花火大会他)	8/15	12,000

2 道の駅・朝市・市場利用状況

※朝市・市場は地元以外からの集客が見込まれるもので、観光の対象として取り扱っているもの。

(道の駅)		(単位:人)		
市町村名	名 称	平成24年	平成23年	対前年比(%)
室戸市	道の駅「キラメッセ室戸」	247,163	244,968	100.9
安芸市	道の駅「大山」	58,874	59,110	99.6
南国市	道の駅「南国」	357,182	345,517	103.4
須崎市	道の駅「かわうその里すさき」	429,685	444,399	96.7
宿毛市	道の駅「すくも(サニーサイドパーク)」	162,195	150,000	108.1
土佐清水市	道の駅「メジカの里土佐清水」	31,751	26,941	117.9
香南市	道の駅「やす」	344,758	352,558	97.8
東洋町	海の駅 東洋町	—	153,445	—
田野町	道の駅「田野駅屋」	213,719	208,675	102.4
大豊町	道の駅「大杉」	18,475	17,231	107.2
土佐町	道の駅「土佐さめうら」	33,921	28,998	117.0
いの町	道の駅「木の香」	35,936	53,147	67.6
	道の駅「633美の里」	100,504	98,532	102.0
	道の駅「土佐和紙工芸村」	93,703	89,457	104.7
梶原町	道の駅「ゆすはら(太郎川公園)」	111,363	119,911	92.9
津野町	道の駅「布施ヶ坂」	156,958	161,163	97.4
四万十町	道の駅「あぐり窪川」	320,686	366,984	87.4
	道の駅「四万十大正」	16,114	14,627	110.2
	道の駅「四万十とおわ」	119,677	147,758	81.0
黒潮町	道の駅「ビオスおおがた」	423,150	400,434	105.7

(朝市・市場)		(単位:人)		
市町村名	名 称	平成24年	平成23年	対前年比(%)
高知市	日曜市	957,000	1,000,000	95.7
南国市	土曜市	15,000	15,000	100.0
土佐市	日曜市	25,000	35,000	71.4
香南市	道の駅やす「やすらぎ市」	216,142	215,446	100.3
香美市	奥物部ふるさと市	59,574	63,892	93.2
芸西村	かっぱ市	120,521	88,664	135.9
本山町	本山さくら市	160,124	172,500	92.8
越知町	おち産市	86,819	78,488	110.6
中土佐町	久礼大正町市場	144,000	144,000	100.0
	久礼魚河岸市	開催なし	開催なし	—
四万十町	道の駅「ふるさと市」	500	1,500	33.3
大月町	ふれあい市	142,351	143,774	99.0

3 キャンプ場・海水浴場利用状況

市町村からの報告により掲載。

(キャンプ場)

(単位:人)

	名 称	平成24年	平成23年	対前年比(%)
室戸市	夕陽ヶ丘キャンプ場	1,008	599	168.3
宿毛市	笹平キャンプ場	1,400	2,800	50.0
	白岩岬キャンプ場	2,000	1,000	200.0
四万十市	とまろっと	13,423	13,567	98.9
	四万十カヌーとキャンプの里かわらっこ	7,244	7,942	91.2
	四万十ひろば	1,430	1,690	84.6
香南市	舞川キャンプ場	126	231	54.5
香美市	日ノ御子キャンプ場	6,274	6,071	103.3
	べふキャンプ場	266	415	64.1
東洋町	白浜キャンプ場	1,335	1,409	94.7
安田町	安田川アユおどる清流キャンプ場	2,201	3,046	72.3
馬路村	魚梁瀬オートキャンプ場	616	700	88.0
本山町	白髪山ふれあいの村休養センター	388	390	99.5
大豊町	ゆとりすとパークおおとよ	1,729	1,679	103.0
土佐町	さめうら森林公園	503	580	86.7
大川村	白滝の里オートキャンプ場	118	135	87.4
いの町	グリーンパークほどの	3,293	2,829	116.4
中土佐町	天満宮前キャンプ場	1,500	1,605	93.5
梶原町	太郎川公園	9,065	8,203	110.5
四万十町	リバーパーク轟キャンプ場	129	351	36.8
	ウェル花夢	5,585	6,186	90.3
	ふるさと交流センター	1,350	1,757	76.8
	三島キャンプ場	800	769	104.0
大月町	大月エコロジーキャンプ場	2,813	2,437	115.4
	檜西キャンプ場	2,000	2,000	100.0
	柏島キャンプ場	—	4,500	—
黒潮町	松原キャンプ場	1,817	1,693	107.3

(海水浴場)

(単位:人)

市町村名	名 称	平成24年	平成23年	対前年比(%)
宿毛市	沖の島久保浦	1,400	1,400	100.0
	沖の島うどの浜	2,000	2,000	100.0
土佐清水市	大岐浜	16,071	16,459	97.6
	桜浜海水浴場	2,086	1,662	125.5
香南市	ヤ・シィパーク	259,044	215,000	120.5
東洋町	白浜海水浴場	7,310	8,205	89.1
四万十町	興津海水浴場	16,725	20,896	80.0
大月町	檜西海水浴場	5,500	5,000	110.0
	柏島海水浴場	—	5,500	—
黒潮町	浮津海水浴場	4,753	4,470	106.3
	入野海水浴場	—	1,474	—

4 温泉施設利用状況

※地元以外の集客が多く見込まれ、物品販売等の観光のサービスが集積しているもので、市町村から報告のあったもの。

(単位:人)

市町村名	温泉施設				
	名称	平成24年	平成23年	対前年比(%)	備考
高知市	三翠園・水哉閣	101,497	66,150	153.4	宿泊含む
	温泉RIO	29,048	29,682	97.9	温泉利用者のみ
安芸市	温泉こまどり	8,718	7,956	109.6	食事含む
須崎市	山里温泉	1000	1,190	84.0	宿泊含む
土佐清水市	足摺テルメ	23,513	28,309	83.1	宿泊含む
四万十市	四万十いやしの里	94,874	88,753	106.9	宿泊含む
	山村ヘルスセンター	4,213	4,804	87.7	宿泊含む
	ホテル星羅四万十	6,281	7,181	87.5	宿泊含む
香美市	夢の温泉	5,871	5,750	102.1	宿泊含む
	べふ峡温泉	13,846	15,635	88.6	宿泊含む
北川村	森林センター北川温泉	22,871	25,059	91.3	宿泊含む
馬路村	馬路温泉	23,821	24,336	97.9	宿泊含む
芸西村	よさこい温泉(土佐ロイヤルホテル)	111,205	69,053	161.0	宿泊含む
いの町	蘇鶴温泉	12,537	14,842	84.5	温泉利用者のみ
	かんぼの宿伊野(仁淀川伊野温泉)	80,341	79,811	100.7	温泉利用者のみ
	木の香温泉	35,936	31,611	113.7	温泉利用者のみ
	吾北むささび温泉	43,356	44,071	98.4	温泉利用者のみ
仁淀川町	中津溪谷ゆの森	31,609	28,912	109.3	温泉利用者のみ
中土佐町	黒潮本陣	35,842	36,264	98.8	温泉利用者のみ
	四万十源流の家	1,915	2,425	79.0	温泉利用者のみ
梶原町	雲の上の温泉	49,726	52,647	94.5	温泉利用者のみ
四万十町	松葉川温泉	43,371	48,937	88.6	温泉利用者のみ